

院内がん登録 2022 年全国集計

拠点外病院等含む

令和 6 年 1 月

国立研究開発法人 国立がん研究センター

がん対策研究所 がん登録センター

国立がん研究センターでは、2007 年の診断例より、毎年がん診療連携拠点病院を含む全国のがん診療施設から院内がん情報の提供を受け、各がん種に関して進行度やその治療方法の分布等の集計を実施してきました。通常、診断年の翌年にデータ収集を行い、収集した年度中に報告書を公表してきました。この度、2022 年診断例について 851 施設からデータ提供をいただきました。

2020 年 1 月に世界保健機関が「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態 (Public Health Emergency of International Concern: PHEIC)」と宣言して以降、現在に至るまで新型コロナウイルス感染症 (Coronavirus disease: COVID-19) の流行は少なからずがん診療にも影響を与えていると思料しています。そこで、2020 年より継続する新型コロナウイルス流行下におけるわが国のがん診療の状況の推移について情報提供するために、昨年に引き続き 2018 年診断例から毎年継続的にデータ提供のあった 749 施設のデータ (約 511 万例) を用いて、経年比較を行いました。

2022 年診断例の登録数は 2018-19 年の平均登録数を上回りましたが、2021 年診断例の登録数と同程度でした。月別登録数の減少は初期には緊急事態宣言発出時に見られ、それ以降は新型コロナウイルス感染症新規患者数の急激な増加時に見られました。しかし、必ずしも同様の推移にはなっていない時期もあることから、社会情勢やウイルス対策の状況など様々な要因が新規院内がん登録数の推移に影響しているものと考えられます。がん種、病期別、治療別などの登録数の詳細な解析結果については、報告書本文をご参照ください。本報告が、新型コロナウイルス感染症流行下におけるわが国のがん診療の実態を把握する資料として活用され、今後同様の緊急事態下におけるがん対策に活用されることを期待します。

令和 6 年 1 月

国立研究開発法人国立がん研究センター 理事長
中 釜 齊

目次

はじめに がん診療連携拠点病院等院内がん登録 2022 年全国集計報告書公表について.....	2
I. 2022 年全国集計 調査方法	4
1. 収集の対象と方法.....	4
(1) 収集の対象.....	4
(2) 収集方法.....	5
(3) 収集項目と定義.....	5
2. 集計の対象と集計方法.....	7
(1) 集計の対象.....	7
(2) 集計項目の定義.....	7
(3) 公表の対象について.....	9
(4) 症例区分 80：その他 の扱いについて.....	9
(5) UICC TNM 病期分類の版について	9
II. 2022 年全国集計 結果概要	14
III. 2022 年全国集計 結果詳細（診断情報）：症例区分 80 を除いた集計.....	17
1. <u>上皮内癌等を含む/含まない</u>	17
2. <u>診断時住所</u>	18
3. <u>年齢</u>	19
4. <u>症例区分</u>	20
5. <u>来院経路</u>	22
6. <u>発見経緯</u>	23
7. <u>部位</u>	24
IV. 2022 年全国集計 結果詳細（腫瘍情報）	27
V. 2022 年全国集計 特別集計	115
付表 1（2022 年 都道府県別 症状緩和的治療の有無 登録数）	

I. 調査方法

I. 2022 年全国集計 調査方法

1. 収集の対象と方法

(1) 収集の対象

令和 5 (2023) 年 6 月時点で厚生労働省から指定されていたがん診療連携拠点病院等 456 施設、及び小児がん拠点病院 6 施設（成人の拠点病院に指定されていない）に院内がん登録全国集計への協力を依頼した。また、令和 5 (2023) 年度がん診療拠点病院以外の 397 施設（「拠点外病院[#]」）に対してもデータ提出を依頼した。提出を依頼したデータは、令和 4 (2022) 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの 1 年間に登録対象となる腫瘍の種類^{*}に該当するもののうち、入院・外来を問わず、自施設において、当該腫瘍に対して初回の診断が行なわれた腫瘍である。初回の診断とは、自施設における、当該腫瘍に関して初めての、診断及び/又は治療等の診療行為のことを指し、入院・外来を問わず、自施設において、当該腫瘍について初診し、診断及び/又は治療等の対象となった腫瘍が登録対象となる。

[#]拠点外病院

2022 年全国集計報告書より、がん診療連携拠点病院等と小児がん拠点病院以外の施設の総称として使用する。2021 年全国集計報告書までの都道府県推薦病院及び任意参加施設を合わせた分類となっている。

* 登録対象となる腫瘍の種類

がん診療連携拠点病院等での院内がん登録においては、登録の対象を、全国がん登録と同様に、『国際疾病分類-腫瘍学第 3 版 (3.2)』（ICD-0-3）における形態コードの性状コードが 2（上皮内癌）もしくは 3（悪性、原発部位）のものとする。ただし、以下の腫瘍においては、例外的に登録対象とする。

a) 中枢神経系腫瘍

頭蓋内に原発した、いわゆる「脳腫瘍」のみならず、髄膜・脳・脊髄および中枢神経系に発生した腫瘍に関しては、原則的に良性であっても、登録対象とする。中枢神経系腫瘍での登録の対象となる部分は、ICD-0-3 の局在コードが以下のものである。

C70.0, C70.1, C70.9, C71.0, C71.1, C71.2, C71.3, C71.4, C71.5, C71.6, C71.7, C71.8, C71.9, C72.0, C72.1, C72.2, C72.3, C72.4, C72.5, C72.8, C72.9, C75.1, C75.2, C75.3

b) 消化管間質腫瘍 (Gastrointestinal stromal tumor: GIST)

ICD-0-3.2 において、消化管間質腫瘍について、性状コード「/0」「/1」が廃止され「/3」のみとなったが、2021 年症例でも、2019 年症例までと同様に偶発的に発見し、その後加療しない消化管間質腫瘍は登録対象外とされている。一方で登録においては、ICD-0-3 の局在コードで 8936/1 となる性状不詳および 8936/0 となる良性の消化管間質腫瘍としての登録があったため今回の集計には含めている。

c) 境界悪性の卵巣腫瘍の一部

死因統計に用いられる「疾病、傷害および死因統計分類提要 ICD-10 準拠」に従い、ICD-0-3 の形態コードで、下記に該当する卵巣に原発するものは、性状コードが「/1」であっても、登録の対象とする。具体的な卵巣に原発した登録対象の形態コードは下記のとおりとする。

8442/1 (境界悪性漿液性のう胞腺腫*)

8313/1 (境界悪性明細胞のう胞腫瘍)

8451/1 (境界悪性乳頭状のう胞腺腫*)

8442/1 (境界悪性漿液性乳頭状のう胞腺腫*)

8442/1 (境界悪性漿液性表在性乳頭腫瘍)

8472/1 (境界悪性粘液性のう胞腺腫)

8472/1 (境界悪性乳頭状粘液性のう胞腺腫)

*ICD-0-3 の表記は「漿液性のう胞腺腫、境界悪性」「乳頭状のう胞腺腫、境界悪性」

更に、ICD-03.1 から ICD-03.2 への移行に伴い、性状コードが「/3」が「/1」に変更となった次の形態用語についてはすべて登録対象である。

8323/1 Clear cell papillary renal cell carcinoma

I. 調査方法

8335/1 Follicular carcinoma, encapsulated, NOS
 8452/1 Solid pseudopapillary tumor of ovary
 8832/1 Dermatofibrosarcoma protuberans, NOS
 8832/1 Dermatofibrosarcoma, NOS
 8833/1 Pigmented dermatofibrosarcoma protuberans
 8833/1 Bednar tumor
 9080/1 Immature teratoma of lung
 9080/1 Immature teratoma of thymus
 9080/1 Immature teratoma of thyroid
 9222/1 Chondrosarcoma, grade 1
 9709/1 Primary cutaneous CD4 positive small/medium T-cell lymphoma
 9718/1 Primary cutaneous CD30 positive T-cell lymphoproliferative disorder
 9718/1 Lymphomatoid papulosis
 9725/1 Hydroa vacciniforme-like lymphoma
 9751/1 Langerhans cell histiocytosis, NOS
 9751/1 Langerhans cell histiocytosis, monostotic
 9751/1 Langerhans cell histiocytosis, polystotic
 9971/1 Polymorphic post-transplant lymphoproliferative disorder

その他 ICD-O-3.2 に伴う変更については、院内がん登録支援サイトを参照。

*各施設における登録患者について

各施設における登録対象は、登録を実施する自施設での新規の診断患者または他施設で診断後に自施設を初診した患者であり、初発例、再発例を含む。また、治療を行わない経過観察例も含まれる。従来、1 入院 1 登録などの形であっても、集計などの際に 1 腫瘍 1 登録に変換できることを許容していたが、平成 28 (2016) 年 1 月 1 日以降の新規診断症例の登録からは、1 腫瘍 1 登録となるように登録することとする。1 腫瘍 1 登録の原則に基づき、同一患者に複数のがん病巣が存在し、それらが臨床的・病理学的に独立した“がん”と判断された場合、多重がんであるとする。多重がんの判断については、2018 年

症例より SEER2018 準拠ルールに基づいて登録する。登録済みの同じがんについて当該施設で治療中に再発した患者については登録対象ではないが、同じ患者が同じがんで複数のがん診療連携拠点病院を受診した場合は、異なる施設において同じ患者の同じがんが登録されている可能性がある。

本院内がん登録全国集計では、提供されたデータは匿名化後のデータであるため、重複の整理は行わない。

(2) 収集方法

がん診療連携拠点病院等（小児がん拠点病院を含む）の施設に対しては令和 5 年 6 月に、拠点外病院に対しては 8 月に、調査への協力の依頼書を送付した。データ提出期間は、がん診療連携拠点病院等が令和 5 年 7 月 3 日から 8 月 4 日まで、拠点外病院については 8 月 14 日から 9 月 15 日までとし、データは全てがん登録共通届出システム（VPN 回線）を用いて提出していただいた。

提出項目は、「がん診療連携拠点病院等院内がん登録標準登録様式 2016 年版」において定義された標準登録項目とした。なお、データ収集時に、定義通りの項目・区分で登録がされているか、関連する項目間の登録内容に矛盾はないか等を確認するための専用の品質管理ツールを配布し、データ提出前に各施設においてデータを確認し、必要であれば修正をした上でデータを提供していただいた。

(3) 収集項目と定義

主な項目の定義と注意について以下に記載する。このほかの項目の定義については、がん診療連携拠点病院等院内がん登録標準登録様式 2016 年版をご覧ください。

i. 症例区分

院内がん登録の目的の一つとして、病院のがん医療の評価のための基礎的資料を提供することがあげられる。そのためには、病院のがん診療実態を他施設と比較する必要がある、どのがん症例を含めるのかを識別しておく必要がある。この症例区分の項目

I. 調査方法

は、当該腫瘍の診断および初回治療の過程において、自施設でどのように関係したかを判断するための重要な項目である。本全国集計のデータ収集対象は、症例区分に関わらず全症例としている。

ii. 治療前ステージ

国際比較のため、UICC (The Union for International Cancer Control) の定める病期分類方法に基づき、何らかの治療が行われる以前に診断されたステージを指す。わが国の一般的な臨床現場で使用されている癌取り扱い規約に基づくステージとは若干異なる部分がある。肝臓については、取り扱い規約のステージも合わせて標準項目として登録することとなっている。

なお、前医で治療がなされており治療前のステージが不明の場合などは「不明」で登録される。

iv. 術後病理学的ステージ

手術が行われた患者に関して、術後に検体が提出され病理学的に算出されたステージを登録する。手術が行われなかった場合には手術なしで、術前に化学療法や放射線療法などが行われた場合には、手術前の治療の影響が想定されるため、術後病理学的ステージは適応外として登録される。術後病理学的ステージは、腫瘍やリンパ節を顕微鏡的に観察して得られるステージであることから、治療前ステージと比較して、治療開始時点でのがんの状態をより正確に表しているといえる。

v. 治療の有無

一般にがん治療とは、1) 原発巣・転移巣のがん組織に対して行なわれた治療と、2) がん組織に対するものではなくても、がんによる症状の緩和・軽減のために行なわれた特異的な治療（吻合術などの外科手術）の両者を指す。ある治療が、1) がん組織に対して何らかの影響（がん組織の増大傾向を止めたり、切除したり、消失させたりする行為）、あるいは2) 症状の軽減を及ぼすことを意図して行なわれた場合、たとえそれが、根治的ではない、もしくは期待する治療効果が得られなかったとしても、がん治療として定義される。しかし、院内がん登録に

おけるがん初回治療は、運用上の必要等から、1) の治療、すなわち、当該腫瘍の縮小・切除を意図したがん組織に対する治療のうち、当該腫瘍に関する最初の診断に引き続き行なわれた、腫瘍に対する治療とする。最初の診断に引き続き行なわれた治療の範囲は、治療計画等に記載された治療とし、経過観察が計画された場合あるいは治療前に死亡された場合は経過観察という行為を初回治療としてみなして扱うこととする。なお、この範囲が不明確な場合は、病状が進行・再発したりするまでに施行されたか、あるいはおよそ5ヶ月以内に施行されたものを初回治療とする。

従来の院内がん登録標準登録様式では、がんに伴う症状の改善を意図して行なわれた治療も初回治療に含めることとされてきたが、2016年版からは、がんそのものの縮小・切除を意図した治療のみが初回治療の対象となった。このため、従来、初回治療の対象となっていた症状の緩和等を意図して行なわれた特異的な症状緩和的な治療を含む症状緩和的な治療は、初回治療に準ずる形で計画され、かつ自施設で実施された場合に限って、データの継続性の担保と診断早期からの症状緩和的な治療の実施状況を把握する目的で、別途「790 症状緩和的な治療の有無（自施設）」において登録される。なお、症状緩和的な治療の有無は、従来の「特異的」症状緩和治療の範囲に限定されず、診療行為として緩和ケア加算が算定されている場合や投薬・処置等の医療行為が対象となる。

① 外科的治療

肉眼的視野下の外科的手技による病巣切除術を「外科的治療」とする。侵襲性の高い治療として位置づけられ、いわゆる観血的な手術療法のうち、光学機器による視野を用いた「鏡視下治療」および「内視鏡的治療」を除いたものを指し、肉眼的視野下での一般的な開頭術、開腹術や開胸術などがこれに当たる。

② 鏡視下治療

皮膚切開を加えるなど、自然開口部（口唇、鼻孔、

I. 調査方法

尿道口、肛門、膣口、乳管等）以外から挿入された光学機器を用いて（光学機器の視野下で）行なわれる病巣切除術を「鏡視下治療」とする。また前立腺癌でのTUR-P、胃癌・大腸癌での粘膜下層剥離（ESD）は内視鏡的治療として登録される。

③ 内視鏡治療

自然開口部（口唇、鼻孔、尿道口、肛門、膣口、乳管等）から挿入された光学機器による視野を用いた病巣の切除等の観血的治療が行なわれた場合を内視鏡的治療とする。膀胱癌のTUR-BT、胃癌・大腸癌での粘膜下層剥離術ESDなど。

④ 放射線療法

X線やγ線等の電磁放射線、あるいは陽電子線や重イオン線等の粒子放射線による腫瘍の縮小あるいは消失を目的とした治療を放射線療法とする。原発巣に対する放射線治療だけではなく転移巣に対する放射線治療も含まれる。重粒子線・陽子線・中性子線などの荷電粒子線を利用した治療、イブリツモマブチウキセタンのように、分子標的薬と放射性同位元素の両方の作用を狙った治療I-131内容療法等の内照射療法、密封小線源による治療を含む。

⑤ 化学療法

アルキル化薬をはじめとする狭義の抗がん剤の他、分子標的薬などの薬剤を用いた、腫瘍の縮小あるいは消失を目的とした治療をその投与経路は問わず、化学療法とする。イブリツモマブチウキセタンのように、分子標的薬と放射性同位元素の両方の作用を狙った治療、肝動脈化学塞栓療法のような血管塞栓術も併用した抗がん剤投与、ニボルマブなど、免疫療法薬とされる分子標的薬の薬物治療も含む。

⑥ 内分泌療法

特定のホルモン分泌を抑制することで腫瘍の増殖を阻止する目的で、薬剤投与あるいはホルモン分泌器官の切除により、腫瘍の縮小あるいは消失を目的とした治療を内分泌療法とする。前立腺癌における除睾術、ステロイド単剤での薬物治療も含む。

⑦ その他の治療

当該腫瘍の縮小・消失を目的に腫瘍に対して行なわれた初回治療のうち、外科的治療、鏡視下治療、内視鏡的治療、放射線療法、化学療法、内分泌療法のいずれにも該当しない治療をその他の治療とする。例えば、免疫療法、肝動脈化学塞栓療法のような血管塞栓術、レーザー等による腫瘍そのものを焼灼する光線焼灼術や光線力学的治療、ラジオ波などの電子波を用いた腫瘍焼灼術、腫瘍病巣にエタノール等の壊死性薬物を注入するPEITなどの治療がある。

2. 集計の対象と集計方法

(1) 集計の対象

がん診療連携拠点病院等456施設、小児がん拠点病院6施設（成人のがん診療連携拠点病院に指定されていない）、拠点外病院389施設からデータ提供があった。よって、集計対象施設は、全体で851施設であった。

本集計においては、悪性新生物＜腫瘍＞及び上皮内癌（性状コード3, 2）、また脳腫瘍の局在コードがC70.0, **C70.1**, C70.9, C71.0, C71.1, C71.2, C71.3, C71.4, C71.5, C71.6, C71.7, C71.8, C71.9, **C72.0**, **C72.1**, C72.2, C72.3, C72.4, C72.5, C72.8, C72.9, C75.1, C75.2, C75.3の良性及び良性又は悪性の別不詳、胃腸間質腫瘍、NOS（組織型8936）の良性又は悪性の別不詳（性状コード0, 1）、およびICD-O-3の形態コードで先の登録対象として述べた境界悪性の卵巣に原発するものを集計対象とした。

(2) 集計項目の定義

● 診断日

項目[400]診断施設が「1:自施設診断」の場合は、項目[370]自施設診断日、「2:他施設診断」の場合は、項目[350]当該腫瘍初診日を診断日（起算日）とする。

● 症例区分

当該腫瘍に対しての自施設の位置づけを総合的に判断する項目。

10：診断のみ→自施設で診断したが、治療の施行は

I. 調査方法

他施設へ紹介・依頼した場合。

20：自施設診断・自施設初回治療開始→自施設で診断および初回治療に関する決定をし、腫瘍そのものへの治療を開始した場合（経過観察の決定および実行した場合も含む）。

21：自施設診断・自施設初回治療継続→自施設で診断した後、他施設で初回治療が開始され、その後、自施設で初回治療の一部を実施した場合（自施設での経過観察の実行は含まない）

30：他施設診断・自施設初回治療開始→他施設で診断された後、自施設を受診し、自施設で腫瘍そのものへの治療を開始した場合（経過観察の決定および実行した場合も含む）

31：他施設診断・自施設初回治療継続→他施設で診断した後、他施設で初回治療の一部を実施した場合（自施設での経過観察の実行は含まない）

40：初回治療終了後→他施設で初回治療終了後に自施設を受診した場合。自施設受診後の治療の有無は問わない。

80：その他→10～40のいずれにも分類できない場合。他施設診断症例で、治療目的に紹介されたが、自施設では治療は行なわず、他施設へ紹介した場合も含まれる。

2022 年診断例について、症例区分 21：自施設診断・自施設初回治療継続例、31：他施設診断・自施設初回治療継続例であっても、その他治療無しで、かつ自施設における外科的治療、鏡視下治療、内視鏡的治療、放射線療法、化学療法、内分泌療法が行われているが、いずれの治療においても施行日が診断から 5 ヶ月（155 日）を超えていた場合は、当該治療を実施していなかった、すなわち症例区分 21：自施設診断・自施設初回治療継続例は、10：診断のみへ、症例区分 31：他施設診断・自施設初回治療継続例は、80：その他へ変換して集計した。但し、造血器系腫瘍（院内がん登録部位分類における悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、白血病、他の造血器腫瘍）においては、経過観察が病院間で引き継がれることがあり、このような変換からは除外した。尚、診断日より 1 ヶ月以上（31 日）前に実施された治療は当該

腫瘍に対する治療ではないとし、治療なしとした。

● 性別

半陰陽や性同一性障害による戸籍性別の変更等のため、性別で特有の臓器に発生した腫瘍と戸籍上の性別が矛盾する場合も、登録された性を用いて分類した。

● 年齢

年齢は、生年月日と診断日を用いて、下記の定義で求めた。

生年月日と診断日の日付情報に不明が含まれない場合は、「(診断日(年月日)(日単位)－生年月日(日単位))÷365.25」とし、小数点以下は切り捨てとした。

生年月日と診断日の日情報に不明が含まれる場合は、「診断年月の月>生年月日の月のときは、診断年月の年－生年」「診断年月の月<生年月日の月のときは、診断年月の年－生年－1」とした。

● 部位区分

表 1-1 部位分類コード対応に基づき、作成した。なお、上皮内癌等を含む、すなわち性状コード 2、3 及び頭蓋内腫瘍の性状 0、1 を持つ症例の合計を基本の集計単位としており、特に明記の無い場合は、上皮内がん等を含んでいる。上皮内がん等を含まない（悪性新生物<腫瘍>）と定義されている場合は、性状コード 3 の症例を対象としている。

● 臨床病期

治療前ステージ

本報告書において集計対象とした形態コードは後述のとおりである。

術後病理学的ステージ

「項目：外科的・鏡視下・内視鏡的治療の範囲」の結果の区分で手術がなしと登録されていた例は集計から除外した。

総合ステージ

I. 調査方法

病期は患者の予後に影響する重要な要因である。そこで、治療開始時点でのがんの状態をより正確に表しているとされる術後病理学的ステージを第一優先とし、術前治療が行われた術後病理学的ステージの適用外及び術後病理学的ステージが不詳であった例、観血的治療を行っていない例では、治療前ステージを用いてがんの治療開始時点での病期を示す指標として総合ステージを算出した。

● 治療方法

手術

外科的治療と鏡視下治療のいずれか、または両方が実施された患者を合算して手術として集計した。

薬物療法

化学療法、内分泌療法のいずれかが実施された患者を合算して薬物療法として集計した。但し、内分泌療法には前立腺癌における除睾術等も含まれる。

その他の治療

肝動脈塞栓術、アルコール注入療法、温熱療法、ラジオ波焼灼を含むレーザー等焼灼療法、その他の治療のいずれかが実施された患者をその他の治療として集計した。

集計用の治療方法の分類は、下記のとおり。

1. 手術のみ
2. 内視鏡のみ
3. 手術＋内視鏡
4. 放射線のみ
5. 薬物療法のみ
6. 放射線＋薬物
7. 薬物＋その他
8. 手術/内視鏡＋放射線
9. 手術/内視鏡＋薬物
10. 手術/内視鏡＋その他
11. 手術/内視鏡＋放射線＋薬物
12. 他の組み合わせ
13. 経過観察

但し、2016 年診断例より自施設での治療施行日が登録されている外科的治療、鏡視下治療、内視鏡的治療、放射線治療、化学療法、内分泌療法の自施設治療施行日が 5 ヶ月（155 日）を超えていた場合は、当該治療を実施しなかったとして集計した。また、診断日より 1 ヶ月（31 日）より前に行なわれた治療は当該腫瘍に対する治療ではなかったとし、治療実施なしとして集計した。なお、参考として 5 ヶ月を超えて実施された治療を含めての集計結果を合わせて表示した。

（３）公表の対象について

各集計表において、集計値が 10 以下の場合、個人が特定される可能性が高い反面、患者、家族や国民に対して有用な診療情報を提供するため、第 9 回がん診療提供体制のあり方に関する検討会資料として提出された「資料 2 少数例のがんの情報提供について」の通り、1 件以上 10 件未満の場合は、1～3 件、4～6 件、7～9 件として公表し、10 件以上は原則実数で公表する。

（４）症例区分 80：その他の扱いについて

症例区分 80（その他）は、セカンドオピニオンのみの症例については、登録しなくてもよいこととなっているが、2015 年診断例までは任意で登録されていたため施設によっては、登録されている場合が考えられる。そこで、症例区分 80 を含む数を全登録数、症例区分 80 を除いた数を集計登録数と定義し、結果 II では、症例区分 80 を除いた集計を行なった。

（５）UICC TNM 病期分類の版について

2022 年診断症例は第 8 版準拠で登録を促している。

I. 調査方法

病期分類対象コード：各部位に発生した主に上皮性のがんが対象

	局在	組織形態
胃癌	C160, 161-166, 168, 169	8000-8158(8153を除く), 8160-8162, 8170-8231, 8244, <u>8245</u> , 8246/32-8247/39, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8980-8981
大腸癌	C180, 182-189, 199, 209	8000-8158(8153を除く), 8160-8162, 8170-8231, 8244, <u>8245</u> , 8246/32-8247/39, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8980-8981
肝細胞癌	C220	8170-8175, 8020
肝内胆管癌	C221	8140/2, 8148/2, 8160-8163, 8180, 8470, 8480, 8503, 8560, 8033, 8032, 8430, 8490, 8070, 8041
肺癌	C340-343, 348, 349	8000-8158, 8160-8162, 8170-8231, 8240-8245, 8246-8247, 8249, 8250- <u>8552</u> , 8560-8576, 8940-8941, 8972, 8980-8981,
肺小細胞癌		<u>8002</u> , 8041-8045
肺非小細胞癌		8000-8158 (8013, 8041-8045を除く), 8160-8162, 8170-8231, 8240-8245, 8246-8247, 8249, 8250- <u>8552</u> , 8560-8576, 8940-8941, 8972, 8980-8981
乳癌	C500-509	8000-8158, 8160-8162, 8170-8231, 8246/32-8247/39, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8982, 8980-8981
食道癌	C150-152, 158, 159	8000-8005, 8010-8015, 8020-8022, 8030-8046, 8050
		(扁平上皮癌) 8051-8052, 8070-8078, 8081, 8083-8084, 8094, 8560, 8980-8981
		(腺癌) 8140, 8141, 8143, 8145, 8147, 8150, 8154, 8160, 8163, 8190, 8200, 8201, 8210, 8211, 8213, 8214, 8215, 8220, 8221, 8244, <u>8245</u> , 8250, 8251, 8255, 8260, 8261, 8262, 8263, 8270, 8280, 8290, 8300, 8310, 8312, 8320, 8322, 8323, 8330, 8331, 8332, 8333, 8340, 8350, 8370, 8380, 8382, 8383, 8384, 8400, 8401, 8408, 8410, 8413, 8420, 8441, 8450, 8460, 8470, 8480, 8481, 8482, 8490, 8500, 8503, 8504, 8510, 8520, 8525, 8550, 8570, 8571, 8572, 8573, 8574, 8576
膵臓癌	C250-252, 259	8000-8158 (8150-8153, 8155, 8156を除く), 8160-8163, 8170-8231, 8243-8245, 8246/32-8247/39, 8250-8551, 8552, 8560-8576, 8940-8941, 8971, 8980-8981
高分化型神経内分泌腫瘍(膵臓)	C250-252, 259	8150-8153, 8155, 8156, 8246/31
前立腺癌	C619	8000, 8010, 8013, 8020, 8041, 8140-8384, 8400, 8408, 8410, 8413, 8420, 8441, 8450, 8460, 8470, 8480-8482, 8490, 8500, 8503-8504, 8520, 8525, 8530, 8550 (旧ルール登録があるため), 8560, 8570, 8571-8574, 8576, 9070, 9110
子宮頸癌	C530-531, 538, 539	8000-8158, 8160-8162, 8170-8231, 8240, 8246/32-8247/39, 8249, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8980-8981
子宮体癌	C540-543, 548, 549	8000-8158, 8160-8162, 8170-8231, 8240, 8246/32-8247/39, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8980, 8981
子宮肉腫	C530-531, 538, 539, 540-543, 548, 549	8890-8896(平滑筋肉腫), 8930-8931(子宮内膜間質肉腫), 8933(腺肉腫)
膀胱癌	C670-679	8000-8158, 8160-8162, 8170-8231, 8246/32-8247/39, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8980-8981
甲状腺乳頭・濾胞癌	C739	8140, 8260, 8290, 8330-8344 (8335/1 含), 8350
甲状腺未分化癌	C739	8020, 8021
甲状腺髄様癌	C739	8345, 8346, 8347
胆嚢癌	C23.9, 24.0 (付加因子 7001のみ)	8000-8158, 8160-8163, 8170-8231, 8243, 8244, 8246/32-8247/39, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8980-8981
喉頭癌	C32.0, 32.1, 32.2, 10.1	8000-8158, 8160-8162, 8170-8231, 8246/32-8247/39, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8980-8981
腎癌	C64.9	8000-8158, 8160-8162, 8170-8231, 8246/32-8247/39, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941
腎盂尿管癌	C65.9, 66.9	8000-8158, 8160-8162, 8170-8231, 8246/32-8247/39, 8250-8551, 8560-8576, 8940-8941, 8980-8981

	局在	組織形態
卵巣（卵管、 腹膜含、女）	C56.9	8000-8158, 8160-8162, 8170-8231, 8246/32-8247/39, 8250-8551, 8560-8576, 8600-8670, 8930-8935, 8940-8941, 8950-8973, 8980, 8982-8983, 8990-8991, 9000-9015, 9020, 9040-9044, 9060-9090, 9100-9105, 9110
	C57.0, C48.1, C48.2, C48.8	8000-8158, 8160-8162, 8170-8231, 8246/32-8247/39, 8250-8551, 8560-8576, 8620, 8940-8941, 8980, 9000, 9014-9015, 9060, 9071, 9070, 9072, 9080, 9100, 9085

表 1-1 部位分類コード対応

部位名	第 1 段階 ICD-O-3 形態コード	第 2 段階 ICD-O-3 部位コード
口腔・口唇		C00、C02.0-02.3、C02.8-02.9、C03.0-C05.0、 <u>C05.8-C06.9</u>
<u>大唾液腺</u>		C07、C08
<u>上咽頭</u>		C11
<u>中咽頭</u>		C01、C02.4、C05.1-05.2、C09、C10.0、C10.2-10.9、C14
<u>下咽頭</u>		C12-C13
食道		C15
胃		C16
<u>小腸</u>		C17
結腸		C18
直腸		C19-C20
大腸		C18-C20
<u>肛門/肛門管</u>		C21
肝臓		C22
胆嚢・胆管		C23-C24
膵臓		C25
喉頭		<u>C10.1</u> 、C32
肺		C33-C34
骨・骨軟部		C40-C41、C47、C49
皮膚（黒色腫を含む）		C44
乳房		C50
<u>膣・外陰</u>		C51、C52
子宮頸部		C53
子宮体部		C54
子宮		C55
卵巣		C56
前立腺		C61
<u>精巣</u>		C62、C63.0、C63.1
<u>腎</u>		C64
膀胱		C67
<u>腎盂・尿管</u>		C65、C66、C68
脳・中枢神経系		C70、C71、C72、C751-C753
甲状腺		C73
悪性リンパ腫	959-972 974-975	
多発性骨髄腫	973、976	
白血病	980-994	
他の造血器腫瘍	995-998、999	C421
その他		第 1 段階、第 2 段階で変換された以外の症例

都道府県別拠点病院数の推移：指定年別

	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年
北海道	21	20	20	22	22	22	22	22	22	22
青森	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5
岩手	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
宮城	7	8	7	7	7	7	7	8	8	8
秋田	8	9	9	9	10	10	10	10	10	10
山形	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
福島	9	9	9	9	9	9	9	6	6	6
茨城	9	10	10	11	11	11	10	10	10	10
栃木	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
群馬	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9
埼玉	12	13	13	13	13	13	13	14	14	14
千葉	14	13	13	14	15	15	15	15	15	16
東京	27	27	28	29	29	29	30	30	30	30
神奈川	17	17	18	18	18	18	19	20	22	22
新潟	9	8	8	9	9	9	8	9	9	9
富山	8	7	7	7	7	7	6	5	5	5
石川	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
福井	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
山梨	4	5	5	5	5	5	5	4	4	4
長野	8	9	11	11	11	11	12	12	12	12
岐阜	7	7	7	7	7	7	8	8	8	8
静岡	11	10	12	12	12	12	12	12	12	13
愛知	15	17	17	17	17	17	19	19	19	19
三重	6	5	4	4	4	4	5	5	5	5
滋賀	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7
京都	9	13	12	12	12	12	13	13	13	13
大阪	16	17	17	17	17	17	17	18	18	18
兵庫	14	14	14	14	14	14	16	18	18	18
奈良	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6
和歌山	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
鳥取	5	5	5	5	5	5	4	3	3	3
島根	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
岡山	7	9	9	9	9	9	9	9	9	9
広島	11	11	11	11	11	11	12	12	12	12
山口	7	9	8	8	8	8	8	8	8	8
徳島	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5
香川	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
愛媛	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
高知	4	3	3	3	4	4	4	4	4	4
福岡	15	15	17	17	17	17	21	24	24	24
佐賀	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
長崎	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
熊本	8	8	8	7	7	7	7	7	7	7
大分	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6
宮崎	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
鹿児島	10	11	12	12	12	12	12	12	12	13
沖縄	3	4	5	6	6	6	6	6	6	6
（再掲）地域がん診療病院		21	28	34	36	46	45	46	45	41
（再掲）特定領域がん診療 連携拠点病院		1	1	1	1	1	1	1	1	1
（再掲）地域がん診療連携拠点病院（特例型）							26	2	6	6
合計	409	422	427	434	437	437	447	451	453	456

Ⅱ. 2022 年全国集計 結果概要

1. 全登録数

がん診療連携拠点病院等 456 施設から 826,050 例、小児がん拠点（成人のがん診療連携拠点病院に指定されていない施設）6 施設から 572 例、拠点外病院から 389 施設から 277,202 例、合計 851 施設から、1,103,824 例（全登録数）のデータ提供があった。表 2-1、図 2-1 に全登録数の推移を示した。がん診療連携拠点病院等について昨年と比較すると、3 施設増加した。施設別にみた全登録数の中央値は、がん診療連携拠点病院等が 1,585 例、最小 126 例、最大 9,344 例であった。付表 2-1 に、集計対象施設の集計対象数及び対前年増減率を示した（症例区分 80 を除く）。

2. 全登録数に関する注意点について

付表 2-2 に、施設別、症例区分別の全登録数を示した。本全国集計では、「Ⅱ 結果概要」ではこれまでと同様に、症例区分に関わらず全登録患者を対象に集計をし、「Ⅲ 結果詳細（診断情報）」では、「症例区分:80」を除いて集計をしている。2013 年全国集計の報告書から、地域がん診療病院（隣接する地域のがん診療連携拠点病院のグループとして指定され、拠点病院と連携しつつ、専門的ながん医療の提供、相談支援や情報提供などの役割を担う病院）と、特定領域がん診療連携拠点病院（特定のがん種について、都道府県内で最も多くの診療実績を持つ、がん診療連携拠点病院）が集計対象に含まれている。2016 年集計から特に表示がない場合は、国が指定するがん診療連携拠点病院等に加え、各都道府県から推薦された都道府県推薦病院を含めて集計し、さらに 2017 年集計より任意で院内がん登録全国集計に参加した施設を含めて集計している。また、2022 年集計からは、都道府県推薦病院と任意参加病院を併せて拠点外病院として依頼、集計した。症例区分:80 を除いた集計登録数は、がん診療連携拠点病院等が全登録数の 97.0%であり、2021 年診断例とほぼ同程度であった。症例区分 20 と 30 の割合は、がん診療連携拠点病院等が 80.1%と 2021 年診断例とほぼ同様であった。

表 2-1 全登録数

	がん診療連携拠点病院等				小児がん拠点				拠点外病院				全体
	2019	2020	2021	2022	2019	2020	2021	2022	2019	2020	2021	2022	2022
拠点病院数（調査時）	447	451	453	456	6	6	6	6	-	-	-	-	459
集計対象施設数	446	450	453	456	6	6	6	6	397	407	411	389	851
全登録数（集計対象）	802,375	764,378	809,527	826,050	617	701	627	572	297,423	275,300	289,710	277,202	1,103,824
男性	443,457	422,670	444,337	454,926	356	375	354	310	168,326	155,218	162,603	155,336	610,572
女性	358,918	341,708	365,190	371,124	261	326	273	262	129,097	120,082	127,107	121,866	493,252
上皮内癌等を含まない	698,984	670,593	708,106	723,778	476	487	490	435	258,895	240,945	252,516	241,983	966,196
1施設当たりの全登録数													
中央値	1,612	1,520	1,592	1,585	92	109	108	96	0	0	0	670	1,034
最小値	131	120	161	126	44	53	36	40	0	0	0	46	40
最大値	9,530	8,203	9,228	9,344	200	208	144	143	0	0	0	2,728	9,344
症例区分その他を除く集計登録数	777,820	742,253	786,551	801,452	596	662	606	555	292,545	270,574	284,115	272,111	1,074,118
（全登録数に占める割合）	(96.9)	(97.1)	(97.2)	(97.0)	(96.6)	(94.4)	(96.7)	(97.0)	(98.4)	(98.3)	(98.1)	(98.2)	(97.3)
自施設初回治療開始例のみ	642,251	612,554	652,568	661,614	474	546	492	464	222,389	204,473	214,547	204,393	866,471
（全登録数に占める割合）	(80.0)	(80.1)	(80.6)	(80.1)	(76.8)	(77.9)	(78.5)	(81.1)	(74.8)	(74.3)	(74.1)	(73.7)	(78.5)

※小児がん拠点病院は 20 歳以上を含む

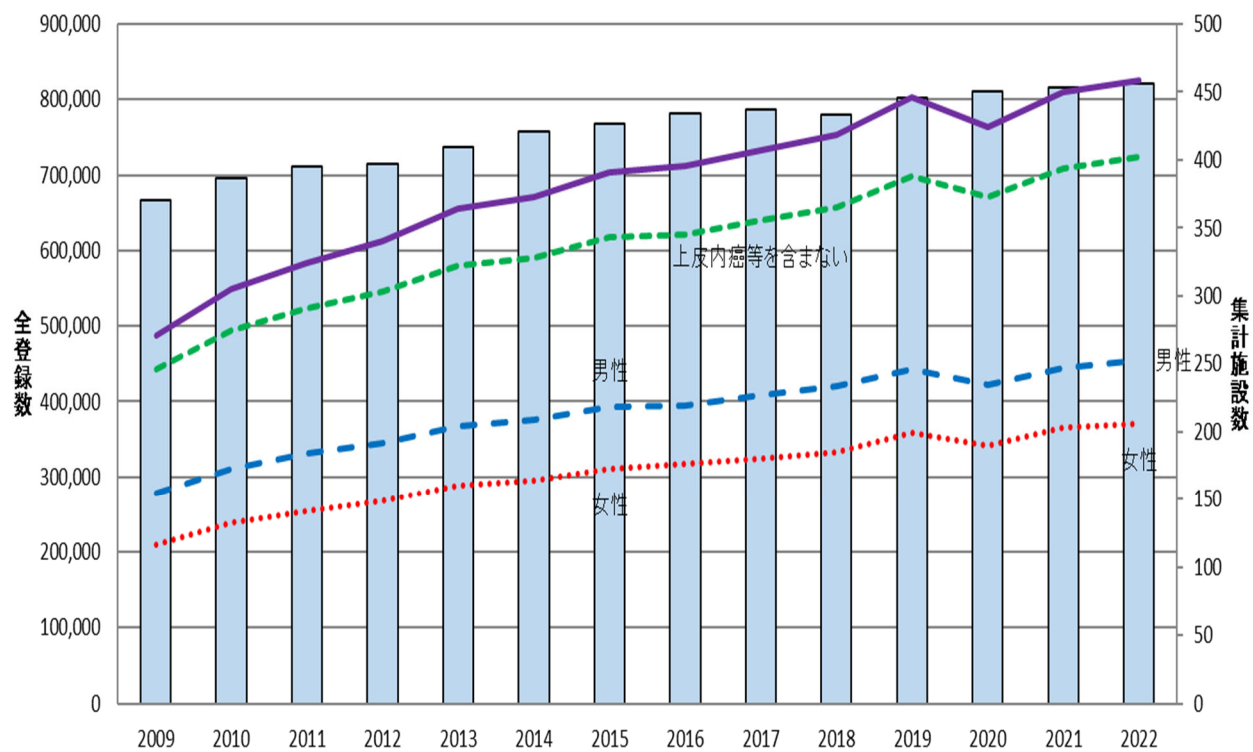


図 2-1 がん診療連携拠点病院等の全登録数の推移

(小児がん拠点病院及び非拠点病院を除く)

3. がん診療連携拠点病院等における 5 部位のがんの全登録数の推移

がん診療連携拠点病院等（小児がん拠点病院、拠点外病院を除く）における 5 部位のがん（胃、大腸、肝臓、肺、前立腺または乳房）について全登録数の推移を図 2-2、2-3 に示した。がん診療連携拠点病院等に指定された施設数は年々増加しているものの、2022 年は男女ともに肝臓はほぼ横ばいであるのに対し、特に男性では前立腺、女性では乳房が増加傾向であった。

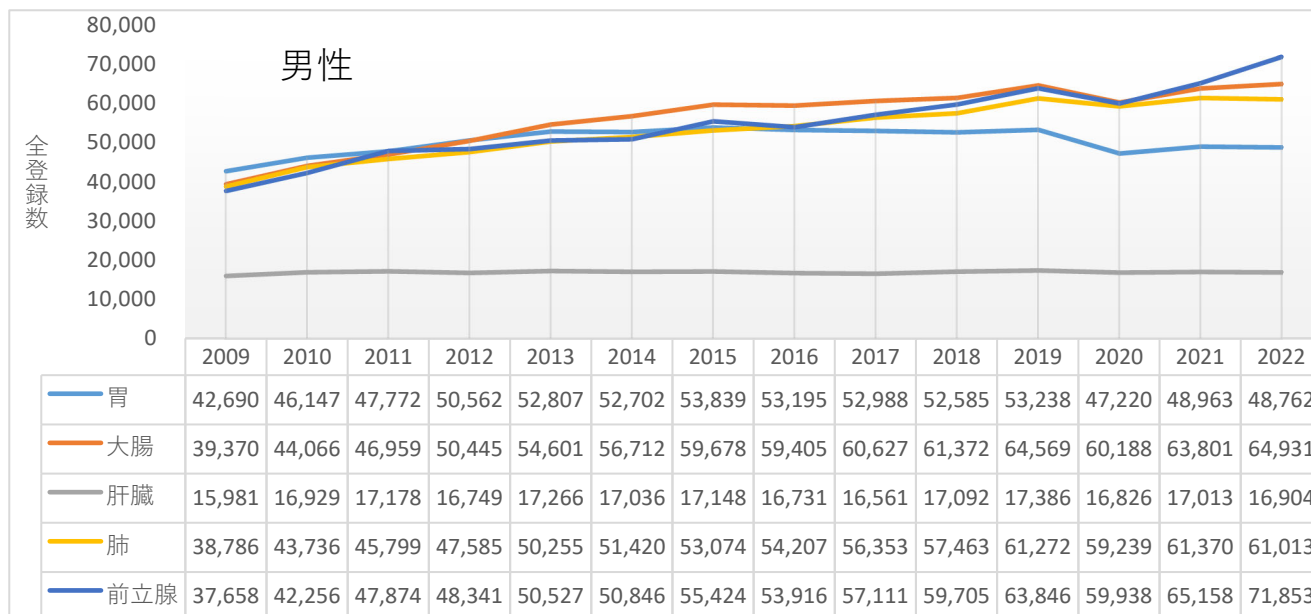


図 2-2 がん診療連携拠点病院等における 5 部位のがんの全登録数の推移

（上皮内がん等を含む、男女別、小児がん拠点病院 6 施設、拠点外病院を除く）

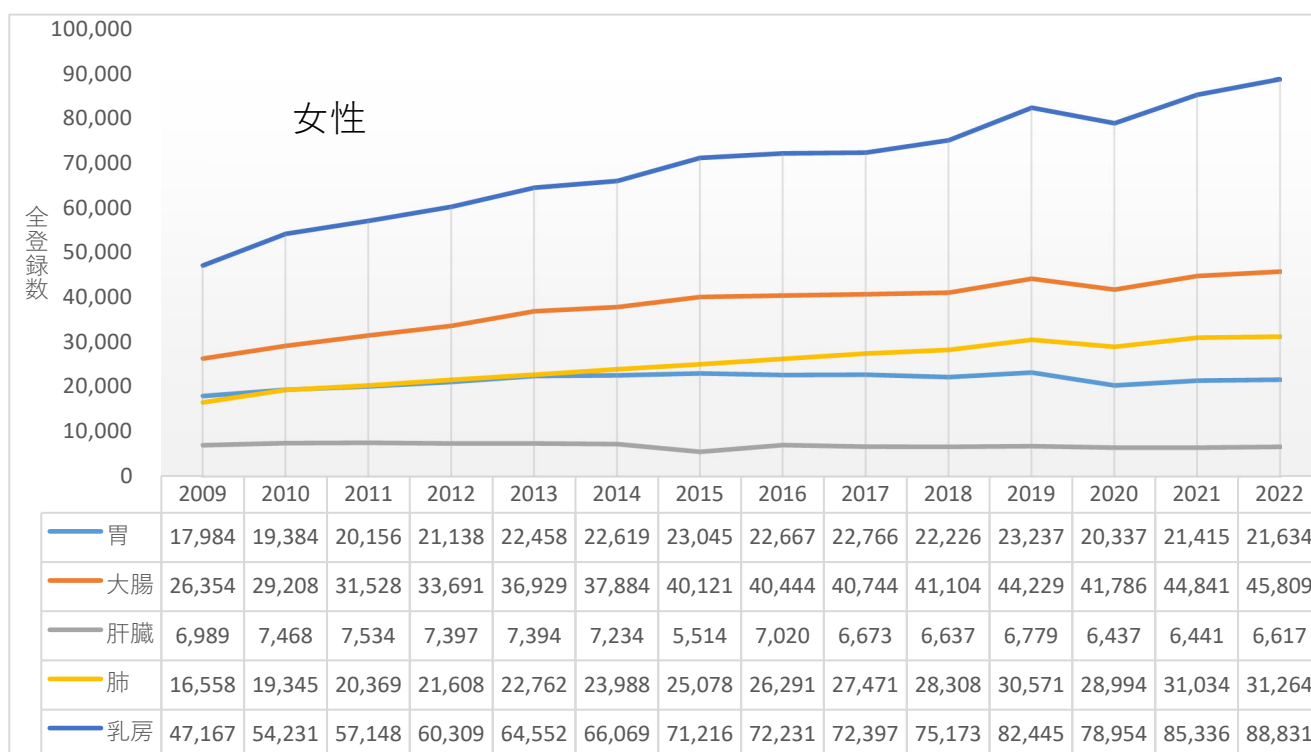


図 2-3 がん診療連携拠点病院等における 5 部位のがんの全登録数の推移

（上皮内がん等を含む、男女別、小児がん拠点病院 6 施設、拠点外病院を除く）

Ⅲ. 2022年全国集計 結果詳細（診断情報）：症例区分80を除いた集計

1. 上皮内癌等を含む/含まない

施設別、都道府県別の悪性新生物＜腫瘍＞、上皮内癌、良性腫瘍又は良悪性の別不詳の割合の分布を表 3-1-1 に示した。がん診療連携拠点病院等における悪性新生物＜腫瘍＞の割合、上皮内癌の割合は昨年度とほぼ同様であった。上皮内癌の平均登録割合は、全体、がん診療連携拠点病院等、拠点外病院とも10%程度であった。良性腫瘍又は良悪性の別不詳の登録が1例もない施設がある一方で、約40.1%を占めた施設があり、これは拠点外病院であった。がん診療連携拠点病院等のみでみると、平均2.1%であり2021年診断例とほぼ同様であった。収集対象の良性腫瘍及び良悪性の別不詳の腫瘍としては頭蓋内腫瘍及びGIST（消化管 間質腫瘍）、卵巣の境界悪性腫瘍（一部）が含まれる。

表3-1-1 悪性新生物＜腫瘍＞の割合の分布：登録年別

施設別	平均	標準偏差	中央値	最小値	p25	p75	最大値
2020(全体)	87.7	4.8	87.8	31.2	85.8	90.0	100.0
成人拠点	87.8	3.0	87.1	76.3	86.0	89.5	97.7
県推薦	88.0	4.9	88.1	68.0	85.7	90.6	100.0
任意	87.6	8.7	88.7	31.2	86.9	91.0	99.3
2021(全体)	87.6	4.4	87.6	56.3	85.5	89.9	100.0
成人拠点	87.5	2.9	87.5	76.0	85.9	89.2	96.7
県推薦	87.8	5.2	87.8	58.6	84.8	90.7	100.0
任意	88.2	5.4	88.6	67.2	86.2	91.1	100.0
2022(全体)	87.7	4.3	87.7	58.5	85.5	89.8	100.0
成人拠点	87.6	2.8	87.7	77.2	86.1	89.5	96.7
拠点外	87.9	5.2	87.8	58.5	85.0	90.7	100.0
都道府県別							
2020	87.6	1.1	87.5	85.0	86.8	88.4	89.3
2021	87.5	1.0	87.6	85.4	86.7	88.1	89.4
2022	87.6	1.0	87.7	85.4	87.0	88.2	90.0

表3-1-2 上皮内癌の割合の分布：登録年別

施設別	平均	標準偏差	中央値	最小値	p25	p75	最大値
2020(全体)	10.2	4.2	10.1	0.0	8.1	11.9	68.8
成人拠点	10.1	2.7	10.2	2.3	8.4	11.5	18.3
県推薦	10.4	4.6	10.2	0.0	7.8	12.5	32.0
任意	10.6	8.6	9.7	0.0	7.6	11.3	68.8
2021(全体)	10.3	3.9	10.3	0.0	8.3	12.2	41.4
成人拠点	10.3	2.6	10.2	3.3	8.5	11.8	18.0
県推薦	10.6	4.8	10.5	0.0	7.8	13.3	41.4
任意	9.6	4.4	9.3	0.0	7.0	12.0	21.2
2022(全体)	10.2	3.7	10.2	0.0	8.1	12.3	23.7
成人拠点	10.2	2.5	10.1	3.1	8.5	11.9	17.8
拠点外	10.3	4.6	10.5	0.0	7.7	13.1	23.7
都道府県別							
2020	10.2	0.9	10.2	8.5	9.5	10.7	12.5
2021	10.3	0.8	10.1	9.0	9.7	10.9	12.4
2022	10.2	0.8	10.1	8.2	9.6	10.7	12.1

表3-1-3 良性腫瘍又は良悪性の別不詳の割合の分布：登録年別

施設別	平均	標準偏差	中央値	最小値	p25	p75	最大値
2020(全体)	2.1	3.1	1.6	0.0	0.6	2.7	47.5
成人拠点	2.2	1.6	1.9	0.0	1.1	2.9	10.9
県推薦	1.6	1.8	1.1	0.0	0.3	2.3	12.5
任意	1.8	3.2	1.1	0.0	0.0	2.1	20.8
2021(全体)	2.1	2.8	1.6	0.0	0.7	2.7	43.8
成人拠点	2.2	1.5	2.1	0.0	1.2	3.0	10.7
県推薦	1.6	1.9	1.1	0.0	0.3	2.2	16.3
任意	2.2	4.1	1.0	0.0	0.2	2.7	31.4
2022(全体)	2.1	2.9	1.6	0.0	0.7	2.8	40.1
成人拠点	2.1	1.5	1.9	0.0	1.1	2.9	11.6
拠点外	1.7	2.8	1.2	0.0	0.3	2.4	40.1
都道府県別							
2020	2.2	0.4	2.1	1.3	2.0	2.6	3.1
2021	2.3	0.4	2.3	1.4	1.9	2.5	3.3
2022	2.2	0.4	2.2	1.5	1.9	2.4	3.2

2. 診断時住所

交通の利便や、医療機関の専門性を考慮すると、全ての患者が居住地と同一県内の拠点病院を受診するとは限らないため、登録患者の診断時住所と施設所在地との関係をここに示した。表3-2に、患者の診断時の居住地と登録されている拠点病院の所在地が同じであった割合の分布を示した。全体でみると居住する都道府県の病院で登録された患者の平均登録割合は93.6%であった。

2009年以降、居住する県の病院で登録された患者の割合はほとんど変化がない。

表 3-2 居住する県の病院で登録された患者の割合の分布：登録年別

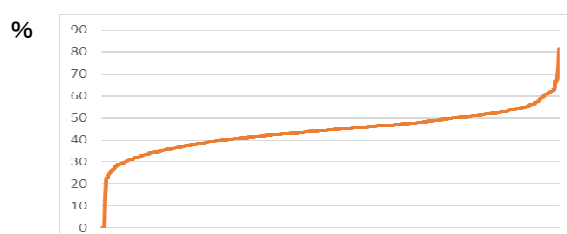
	登録数	平均	標準偏差	中央値	最小値	p25	p75	最大値
全体								
2020(全体)	1,013,489	93.5	5.0	94.8	76.0	91.0	97.3	99.5
成人拠点	742,253	93.0	5.5	94.7	73.8	91.0	96.9	99.4
県推薦	240,828	88.7	23.9	96.3	0.0	91.5	98.8	99.7
任意	29,746	36.9	46.9	0.0	0.0	0.0	93.9	99.8
2021(全体)	1,071,272	93.7	5.0	95.0	77.1	91.0	97.6	99.5
成人拠点	786,551	37.9	5.5	95.1	75.1	91.2	97.0	99.4
県推薦	245,012	89.2	24.0	97.1	0.0	91.0	98.8	99.8
任意	39,103	38.9	47.4	83.1	0.0	0.0	97.1	99.8
2022(全体)	1,074,118	93.6	4.9	95.1	76.4	91.2	97.1	99.4
成人拠点	801,452	93.1	5.2	95.2	75.5	91.3	96.9	99.3
拠点外	272,111	92.3	15.0	96.4	0.0	92.0	98.2	99.6
20歳以上								
2020(全体)	1,008,650	93.5	5.0	94.9	76.0	91.1	97.4	99.5
成人拠点	738,542	93.0	5.5	94.7	73.9	91.1	96.7	99.4
県推薦	240,382	88.8	23.9	96.3	0.0	91.5	98.8	99.7
任意	29,710	38.0	46.9	0.0	0.0	0.0	93.9	99.8
2021(全体)	1,066,321	93.8	5.0	95.0	77.2	91.1	97.6	99.5
成人拠点	782,706	93.2	5.5	95.1	75.2	91.4	97.0	99.4
県推薦	244,562	89.2	24.0	97.1	0.0	91.0	98.8	99.8
任意	39,048	52.2	47.4	83.1	0.0	0.0	97.1	99.8
2022(全体)	1,069,504	93.6	4.9	95.1	76.5	91.3	97.1	99.4
成人拠点	797,800	93.2	5.2	95.2	75.6	91.4	96.9	99.3
拠点外	271,692	92.3	15.0	96.4	0.0	92.0	98.2	99.6

3. 年齢

登録患者の年齢分布は、都道府県の人口構成分布や施設の所在地の人口構成、また高齢者もしくは若年者に多い特定のがんを多く診療している場合には偏った値になると考えられる。表 3-3-1に登録患者の平均年齢を、施設別、都道府県別、登録年別に示した。年齢の最小値が低いのは小児がん拠点病院を含めたためであり、がん診療連携拠点病院等でみると平均年齢の最小値は、62.1歳であった。図3-3-1、表 3-3-2に施設別にみた20歳未満の登録患者数の分布を示した。20歳未満の登録が1例もなかった施設は、2021年で320施設であった。図3-3-2、表 3-3-3に施設別にみた75歳以上の登録患者の割合の分布を登録年別に示した。75歳以上の患者の登録の占める割合は、拠点外病院が47.7%であった。



各施設



各施設

図3-3-1 施設別20歳未満の登録数の分布

図3-3-2 施設別75歳以上の登録割合の分布

表3-3-1 登録患者の平均年齢：施設別、都道府県別、登録年別

施設別	平均	標準偏差	中央値	最小値	p25	p75	最大値
2020(全体)	70.5	6.5	71.2	4.4	69.2	72.8	79.1
成人拠点	70.1	2.7	70.4	61.2	68.3	72.0	78.4
県推薦	71.8	4.4	72.1	13.5	70.3	73.8	79.1
任意	72.0	4.8	72.8	42.5	70.9	74.5	76.5
2021(全体)	70.6	6.5	71.3	5.2	69.4	73.0	80.1
成人拠点	70.2	2.7	70.6	61.9	68.5	72.1	77.1
県推薦	71.9	4.6	72.2	12.5	70.5	73.9	80.1
任意	72.5	2.5	72.4	66.3	70.8	74.3	77.0
2022(全体)	70.9	6.6	71.6	5.5	69.8	73.3	81.4
成人拠点	70.6	2.7	71.0	62.1	69.1	72.3	78.2
拠点外	72.3	4.6	72.6	8.3	70.9	74.3	81.4
都道府県別							
2020	70.0	0.9	70.0	67.1	69.7	70.5	71.8
2021	70.2	0.9	70.2	67.0	69.7	70.8	71.6
2022	70.5	0.9	70.6	67.3	70.1	71.0	71.9

表3-3-2 施設別にみた20歳未満の登録患者数の分布：登録年別

	登録数	中央値	最小値	p25	p75	最大値	登録数0の施設数
2020(全体)	4839	1	0	0	4	200	340
成人拠点	3711	3	0	1	9	108	104
県推薦	446	0	0	0	1	46	195
任意	36	0	0	0	1	9	41
2021(全体)	4951	1	0	0	4	139	333
成人拠点	3845	2	0	1	9	121	91
県推薦	450	0	0	0	1	39	193
任意	55	0	0	0	1	9	49
2022(全体)	4614	1	0	0	3	132	320
成人拠点	3652	2	0	1	9	126	101
拠点外	419	0	0	0	1	44	219

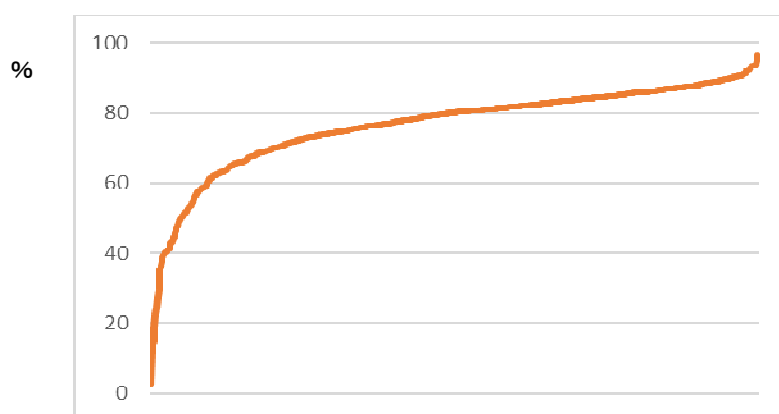
表3-3-3 施設別にみた75歳以上の登録患者の割合の分布：登録年別

	中央値	最小値	p25	p75	最大値
2020(全体)	43.4	0.0	38.4	48.0	69.2
成人拠点	41.0	19.7	35.4	45.3	61.7
県推薦	46.3	0.0	41.5	50.5	69.2
任意	48.7	0.9	42.7	53.5	61.5
2021(全体)	43.0	0.0	38.2	48.0	73.7
成人拠点	40.8	19.4	35.3	44.9	60.2
県推薦	45.5	0.0	41.7	50.4	73.7
任意	46.3	29.4	41.4	53.4	58.9
2022(全体)	44.6	0.0	39.6	49.4	81.4
成人拠点	42.4	21.4	36.9	46.2	62.1
拠点外	47.7	0.0	42.9	52.3	81.4

4. 症例区分

症例区分は、がん診療連携拠点病院が、がんの診断から再発治療までの一連の治療の流れの中で、主にどのような役割を担っているのかを推察するための項目の一つである。平成26年1月からは院内がん登録数（入院、外来は問わない自施設初回治療 例）年間500例以上が、がん診療連携拠点病院等の指定にあたり施設の診療実績を図る指標の一つとなっている。この条件は、従来症例区分20と30の件数に相当する。ここでは従来と比較するために、症例区分20、30の登録割合について提示する。

表3-4-1に症例区分20（自施設診断・自施設初回治療開始）と30（他施設診断・自施設初回治療開始）の登録患者の割合の分布を、施設別、都道府県別、登録年別に示した。図3-4には症例区分20と30の登録割合を施設別に図示した。また表3-4-2に症例区分40（初回治療終了後）の分布を示した。全体でみると施設別に見た症例区分20と30の登録割合の最大値は、96.4%であった。がん診療連携拠点病院等のみで見ると最小値は39.4%であった。また、症例区分40がなかった施設は、がん診療連携拠点病院等が1施設、拠点外病院が6施設であった。



各施設
図3-4 施設別にみた症例区分20、30の登録割合

表3-4-1 症例区分20と30の登録患者の割合の分布：都道府県別、施設別、登録年別

	平均	標準偏差	中央値	最小値	p25	p75	最大値
施設別							
2020(全体)	76.9	11.9	80.2	8.9	72.6	84.5	97.4
成人拠点	80.8	8.1	82.5	36.8	77.5	85.8	94.7
県推薦	73.7	12.9	77.3	8.9	67.8	82.8	97.4
任意	65.0	16.4	69.1	10.2	57.8	76.6	89.5
2021(全体)	76.9	12.2	80.5	15.1	72.7	85.0	94.7
成人拠点	81.0	8.3	82.8	40.7	78.1	86.4	94.7
県推薦	73.6	13.3	77.6	15.1	66.4	83.0	93.5
任意	66.4	16.4	71.6	15.6	53.5	77.4	92.9
2022(全体)	76.5	12.8	80.1	2.9	72.6	84.7	96.4
成人拠点	80.7	8.4	82.3	39.4	77.3	85.9	95.3
拠点外	71.5	15.1	75.7	2.9	65.8	81.8	96.4
都道府県別							
2020	81.0	3.0	80.7	72.1	79.9	82.7	87.1
2021	81.2	3.0	81.5	72.4	79.4	82.6	85.7
2022	81.0	3.2	81.1	71.9	79.5	83.1	87.1

表3-4-2 症例区分40の登録患者の割合の分布：施設別、都道府県別、登録年別

	平均	標準偏差	中央値	最小値	p25	p75	最大値	症例区分40が 0の施設数
施設別								
2020(全体)	9.6	8.8	7.3	0.0	4.5	11.5	83.5	11
成人拠点	8.0	5.3	6.8	0.2	4.7	9.9	52.2	0
県推薦	10.7	10.3	7.7	0.0	4.4	13.5	83.5	8
任意	15.3	14.8	10.4	0.0	4.2	23.7	72.6	3
2021(全体)	9.4	9.0	6.8	0.0	4.4	10.8	81.0	12
成人拠点	7.7	5.1	6.6	0.0	4.5	9.4	45.1	1
県推薦	10.7	11.1	6.9	0.0	4.2	13.5	81.0	9
任意	14.0	13.8	8.5	0.0	4.7	21.8	71.0	2
2022(全体)	9.6	9.4	7.1	0.0	4.5	11.1	81.1	7
成人拠点	7.9	5.1	6.8	0.0	4.7	10.1	49.2	1
拠点外	11.6	12.4	7.7	0.0	4.3	13.5	81.1	6
都道府県別								
2020	7.9	1.7	7.6	4.9	6.6	9.3	13.0	
2021	7.7	1.7	7.6	5.4	6.5	8.8	12.7	
2022	7.9	1.9	7.5	4.7	6.5	9.2	12.2	

表3-4-3 症例区分21と31の登録患者の割合の分布：施設別、都道府県別、登録年別

	平均	標準偏差	中央値	最小値	p25	p75	最大値
症例区分21							
施設別							
2020(全体)	0.3	0.9	0.1	0.0	0.0	0.3	17.8
成人拠点	0.3	0.5	0.1	0.0	0.0	0.3	6.4
県推薦	0.4	1.2	0.0	0.0	0.0	0.3	17.8
任意	0.2	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3	1.7
2021(全体)	0.3	0.6	0.1	0.0	0.0	0.4	5.8
成人拠点	0.3	0.5	0.1	0.0	0.0	0.4	3.6
県推薦	0.3	0.7	0.1	0.0	0.0	0.4	5.8
任意	0.3	0.5	0.0	0.0	0.0	0.3	2.9
2022(全体)	0.3	0.7	0.1	0.0	0.0	0.3	7.7
成人拠点	0.3	0.6	0.1	0.0	0.1	0.3	5.3
拠点外	0.3	0.7	0.1	0.0	0.0	0.4	7.7
都道府県別							
2020	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.3	0.8
2021	0.3	0.2	0.2	0.1	0.2	0.4	1.0
2022	0.3	0.2	0.2	0.1	0.2	0.3	1.1
症例区分31							
施設別							
2020(全体)	3.3	3.8	2.5	0.0	1.4	4.1	59.1
成人拠点	3.5	2.4	3.0	0.0	1.9	4.3	17.2
県推薦	3.1	4.5	1.8	0.0	0.9	3.7	59.1
任意	3.0	6.1	1.5	0.0	0.8	3.4	44.5
2021(全体)	3.3	3.6	2.5	0.0	1.3	4.2	43.6
成人拠点	3.4	2.4	3.0	0.0	1.9	4.3	20.5
県推薦	2.8	3.5	1.8	0.0	0.9	3.3	40.9
任意	4.1	7.4	1.6	0.0	0.8	4.3	43.6
2022(全体)	3.4	3.6	2.5	0.0	1.3	4.3	42.9
成人拠点	3.5	2.5	2.9	0.0	1.8	4.5	19.3
拠点外	3.1	4.4	1.8	0.0	0.8	3.6	42.9
都道府県別							
2020	3.4	1.0	3.3	1.9	2.7	3.6	6.9
2021	3.2	1.0	3.1	2.0	2.6	3.6	7.1
2022	3.4	1.0	3.2	1.8	2.7	3.6	6.6

5. 来院経路

来院経路は、患者がどのような経路を経て自施設を受診したかを把握し、拠点病院が地域においてどのような機能を担っているのかを、他の医療機関との関係から推察するための項目である。来院経路では、がん検診・健康診断及び人間ドックは、検診機関からの紹介状を持った患者が受診した場合に適用され、次項の発見経緯のがん検診・健康診断・人間ドックの割合と比べて必ず小さな値となる。図3-5-1に、全登録数における来院経路別の割合を示した。

最も多いのは他施設からの紹介、次いで他疾患経過観察中で、この2区分で全体の90%を占める。この傾向は昨年とほぼ同様である。表3-5 に他施設からの紹介の登録患者割合の分布を施設別、都道府県別、登録年別に示した。図3-5-2には他施設からの紹介の登録患者の割合を施設別に図示した。平均値は、都道府県別には約70%、施設別には約65%であった。2009年以降、施設別、都道府県別の他施設からの紹介の登録患者の分布には大きな変動は認められていない。

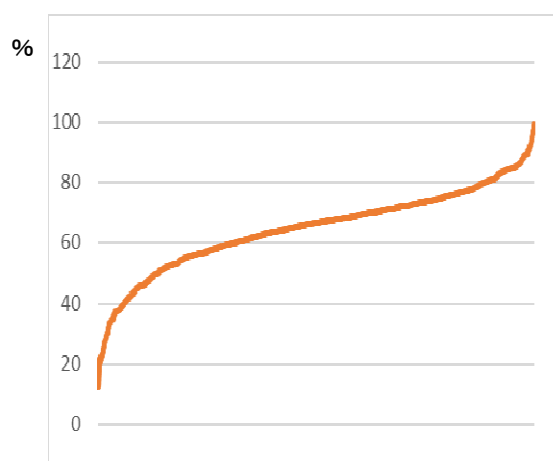
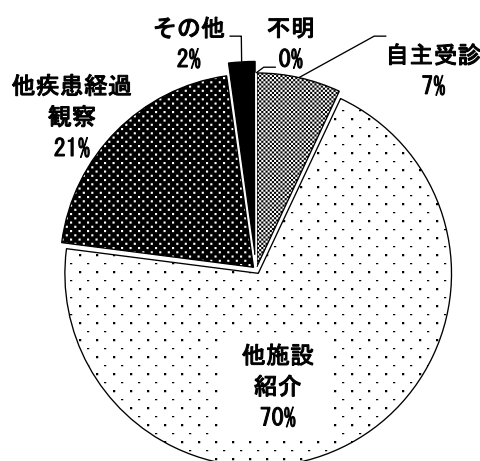


図3-5-1 来院経路別割合（全体）

図3-5-2 施設別にみた来院経路
他施設からの紹介の割合

表3-5 他施設からの紹介の登録患者の割合の分布：施設別、都道府県別、登録年別

	平均	標準偏差	中央値	最小値	p25	p75	最大値
施設別							
2020(全体)	64.3	13.8	66.0	1.8	57.5	73.4	98.5
成人拠点	68.8	10.9	69.7	24.0	63.0	76.1	92.1
県推薦	59.9	13.8	61.3	13.3	53.2	67.9	96.3
任意	54.0	18.6	56.7	1.8	44.2	64.5	98.5
2021(全体)	64.3	13.7	66.2	10.2	57.1	73.3	100.0
成人拠点	68.8	10.9	70.1	17.4	62.6	76.2	92.9
県推薦	59.7	14.0	61.8	10.2	51.5	68.4	97.7
任意	56.1	17.0	57.0	10.3	45.1	67.0	100.0
2022(全体)	64.7	13.8	66.5	12.3	57.0	73.6	99.4
成人拠点	69.1	10.9	70.1	12.3	63.6	75.8	91.9
拠点外	59.2	14.6	60.7	18.0	50.3	68.3	99.4
都道府県別							
2020	69.5	4.8	68.8	57.7	66.1	72.9	85.1
2021	69.4	4.8	69.4	58.3	66.1	72.7	84.5
2022	69.8	4.7	70.0	56.9	66.8	73.0	85.5

6. 発見経緯

発見経緯は、来院経路とは異なり、当該腫瘍が診断される発端となった状況を把握するための項目である。「がん検診・健康診断・人間ドック」をまとめた割合は、症状受診前に発見された患者の指標の一つとなる。表3-6に、発見経緯「がん検診・健康診断・人間ドック」の登録患者割合を、施設別、都道府県別、登録年別に示した。図3-6には発見経緯「がん検診・健康診断・人間ドック」の患者割合を施設別に図示した。しかし、施設別にみると「がん検診・健康診断・人間ドック」の登録患者割合の最大値は、約39%であり、がん検診・健康診断・人間ドックでの発見例を多く見ている施設があった。

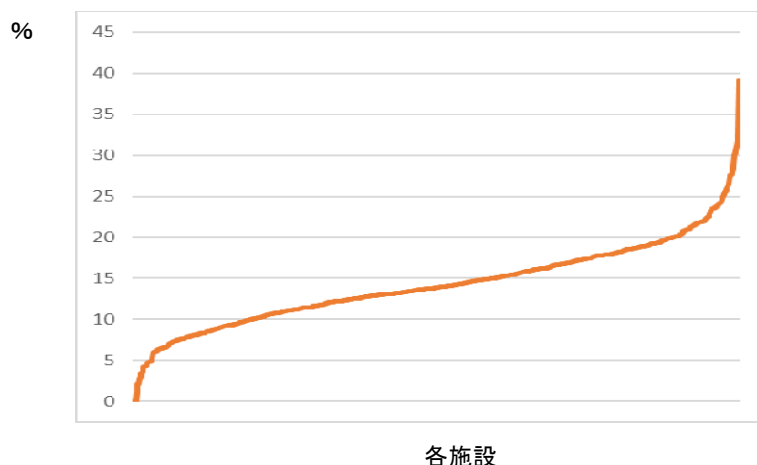


図3-6 施設別にみた発見経緯「がん検診・健康診断・人間ドック」の登録患者の割合

表3-6 「がん検診・健康診断・人間ドック」の登録患者の割合の分布：施設別、都道府県別、登録年別

	平均	標準偏差	中央値	最小値	p25	p75	最大値
施設別							
2020(全体)	13.2	4.9	13.0	0.0	10.1	16.2	51.4
成人拠点	13.6	4.3	13.2	2.8	10.5	16.1	41.2
県推薦	13.0	5.0	12.8	1.0	9.6	16.3	33.1
任意	13.2	7.1	12.2	2.8	8.8	16.8	51.4
2021(全体)	14.1	5.0	13.7	0.0	10.8	17.3	38.0
成人拠点	14.6	4.4	14.1	3.7	11.5	17.1	38.0
県推薦	13.9	5.5	13.4	0.0	9.8	17.7	35.0
任意	13.5	5.0	12.9	3.0	9.9	16.9	28.7
2022(全体)	14.2	5.1	13.8	0.0	11.0	17.4	39.2
成人拠点	14.6	4.5	14.0	3.7	11.6	17.3	39.2
拠点外	14.0	5.5	13.8	0.0	10.0	17.7	32.6
都道府県別							
2020	13.8	2.3	14.0	9.0	12.0	15.5	19.2
2021	14.7	2.5	15.1	9.9	12.4	16.4	21.4
2022	14.9	2.5	15.3	10.0	12.6	16.9	20.6

7. 部位別

表3-7-1に、登録上位11部位を示した。2009年以降大腸、肺、乳房、胃、前立腺が上位5部位を占めている。膵臓、悪性リンパ腫、膀胱、子宮頸部、食道、肝臓は、約3～4%で推移している。部位別の登録数を評価する際の注意点としては、2018年診断例からはSEER2018準拠で多重がんの登録が行われることになったが、ルールが適応されたばかりであり登録精度を検討する必要がある。なお、本集計では、これまでの集計との比較のため第一がん等に限ってはいない。また、2015年診断例までは膀胱癌のTisと Taは別のがんとして登録されてきたが、2016年診断例からは同一がんとして登録ルールが変更となっている。そして、これまで腎盂・尿管と膀胱のがんは別のがんとして登録されてきたが、2016年より腎盂・尿管・膀胱にあるがんは1つのがんとして登録されるようルールが変更となっている。表3-7-2にがん診療連携拠点病院における5部位のがん（胃、大腸、肝臓、肺、乳房）の登録割合を登録年別に示す。都道府県別に昨年度の登録割合と比較すると、5部位のがんの登録割合は50%程度で推移している。表3-7-3に、都道府県別の5部位のがんの登録割合の分布を登録年別に示した。都道府県別にみるとその登録割合は平均48.5%であった。表3-7-4に施設別にみた5部位のがん登録数の分布を登録年別に示した。

表3-7-1 集計登録数上位11部位

順位	2022年		2021年		2020年		2019年		2018年	
	全体	100%	全体	100%	全体	100%	全体	100%	全体	100%
1 大腸	14.7	1	14.8	1	14.8	1	14.9	1	14.9	1
2 肺	11.3	2	11.4	2	11.6	2	11.6	2	11.5	2
3 乳房	10.9	3	10.6	3	10.4	4	10.3	4	10.2	4
4 胃	8.9	4	9.1	4	9.2	3	9.9	3	10.3	3
5 前立腺	8.9	5	8.2	5	7.9	5	8.1	5	8.0	5
6 膵臓	4.0	6	3.9	6	4.0	6	3.8	6	3.7	6
7 悪性リンパ腫	3.7	7	3.8	8	3.8	7	3.6	8	3.6	8
8 膀胱	3.7	8	3.7	7	3.8	7	3.6	6	3.7	6
9 子宮頸部	3.2	9	3.4	9	3.3	9	3.3	9	3.4	9
10 食道	2.9	10	2.9	10	3.0	10	3.0	10	3.1	10
11 肝臓	2.8	11	2.9	11	3.0	-	0.0	-	0.0	0.0

表3-7-2 都道府県別にみた5部位のがんの登録割合

	2022年	2021年	2020年	2019年	2018年
全体	48.5	48.8	48.9	49.6	50.0
北海道	50.3	50.0	50.8	51.1	51.3
青森	52.7	52.9	53.3	54.4	54.0
岩手	50.8	51.7	50.1	51.4	52.4
宮城	48.7	50.0	48.8	52.0	51.3
秋田	49.8	50.5	50.2	50.9	51.4
山形	48.7	48.7	50.3	50.6	51.4
福島	50.0	50.2	51.0	50.8	51.8
茨城	49.7	50.7	50.2	50.1	50.2
栃木	49.0	48.8	49.5	50.0	49.7
群馬	47.7	49.8	49.5	51.1	50.6
埼玉	48.9	49.7	49.5	50.1	50.6
千葉	47.8	48.1	48.4	49.3	49.1
東京	47.2	47.5	47.3	48.5	48.7
神奈川	47.8	48.6	47.9	48.6	49.3
新潟	50.9	49.6	50.7	51.3	51.7
富山	49.9	49.2	49.6	50.8	51.4
石川	53.1	52.1	51.6	51.6	53.2
福井	49.9	51.5	52.4	50.5	50.1
山梨	43.3	44.7	43.4	47.1	46.8
長野	45.5	46.0	46.5	46.7	47.2
岐阜	48.2	48.8	49.3	50.6	49.7
静岡	47.7	47.9	47.8	48.9	49.5
愛知	47.6	47.6	48.8	48.8	48.2
三重	49.0	48.9	48.9	49.5	49.5
滋賀	49.5	48.6	49.2	49.3	50.0
京都	48.7	48.3	49.7	50.5	50.0
大阪	49.6	49.9	50.8	51.0	51.2
兵庫	48.5	48.7	49.3	49.6	51.2
奈良	47.7	49.0	47.7	49.3	49.2
和歌山	48.2	47.5	48.4	49.7	51.6
鳥取	49.4	50.0	49.3	48.6	51.0
島根	49.0	49.4	48.9	50.7	52.4
岡山	48.5	48.1	47.8	48.8	48.9
広島	50.4	50.6	49.6	51.6	51.6
山口	48.8	49.1	49.1	49.3	50.0
徳島	48.9	50.9	49.0	48.5	51.0
香川	47.2	47.4	46.8	48.5	47.3
愛媛	49.6	50.4	51.2	51.0	51.4
高知	48.9	48.7	47.5	48.7	47.9

福岡	47.5	47.9	48.4	49.0	49.5
佐賀	47.7	49.4	49.8	50.3	50.5
長崎	50.2	48.5	47.9	49.8	49.3
熊本	47.3	46.9	47.4	47.2	47.9
大分	44.0	46.8	47.4	47.5	46.6
宮崎	41.9	41.1	39.8	41.0	45.6
鹿児島	48.4	48.3	47.2	48.5	49.2
沖縄	47.4	47.2	48.5	47.3	48.0

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

表3-7-3 5部位のがんの登録割合の分布：都道府県別、登録年別

	平均	標準偏差	中央値	最小値	p25	p75	最大値
2018	50.0	1.8	50.0	45.6	49.1	51.4	54.0
2019	49.6	2.0	49.7	41.0	48.6	50.8	54.4
2020	48.9	2.2	49.1	39.8	47.9	50.1	53.3
2021	48.9	1.9	48.8	41.1	47.9	50.0	52.9
2022	48.5	2.0	48.7	41.9	47.7	49.7	53.1

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

表3-7-4 施設別にみた5部位のがんの登録数の分布：登録年別

	平均	標準偏差	中央値	最小値	p25	p75	最大値
胃							
2020(全体)	108	83	93	0	53	141	851
拠点(成人)	146	92	131	5	9	181	851
都道府県推薦	71	45	65	0	40	94	419
任意	52	29	49	0	32	73	118
2021(全体)	112	87	94	0	54	149	894
拠点(成人)	151	97	135	10	93	189	894
都道府県推薦	74	46	66	0	43	98	356
任意	52	32	49	0	29	68	141
2022(全体)	112	89	93	0	52	149	931
成人拠点	150	99	135	9	90	186	931
拠点外	69	46	62	0	40	92	437
大腸							
2020(全体)	173	114	156	0	97	228	1,024
拠点(成人)	222	124	205	8	140	278	1,024
都道府県推薦	127	73	119	0	73	170	414
任意	91	47	86	0	60	117	209
2021(全体)	182	124	162	0	100	240	1,094
拠点(成人)	235	135	218	8	143	295	1,094
都道府県推薦	133	78	126	1	77	172	456
任意	98	55	93	9	59	126	262
2022(全体)	186	125	166	0	102	244	1,058
成人拠点	238	136	218	14	149	300	1,058
拠点外	127	76	117	0	73	171	492
肝							
2020(全体)	35	32	26	0	15	46	227
拠点(成人)	50	36	40	1	24	65	227
都道府県推薦	21	15	18	0	10	28	111
任意	16	13	13	0	5	21	59
2021(全体)	35	32	26	0	14	46	208
拠点(成人)	50	36	39	1	25	65	208
都道府県推薦	20	15	19	0	10	28	103
任意	16	12	14	0	7	21	60
2022(全体)	35	32	26	0	14	46	222
成人拠点	49	36	40	1	25	63	222
拠点外	20	15	16	0	8	25	98
肺							
2020(全体)	136	118	105	0	49	195	1,204
拠点(成人)	191	128	179	8	104	249	1,204
都道府県推薦	80	68	66	0	30	105	467
任意	61	47	51	0	26	86	220
2021(全体)	141	122	111	0	50	196	1,237
拠点(成人)	199	133	182	8	106	260	1,237
都道府県推薦	83	67	69	0	34	116	473
任意	60	49	40	2	23	86	206
2022(全体)	142	121	114	0	52	199	1,151
成人拠点	198	130	180	4	111	259	1,151
拠点外	80	67	66	0	30	110	483
乳							
2020(全体)	122	126	90	0	42	161	1,200
拠点(成人)	173	146	143	2	78	209	1,200
都道府県推薦	70	62	56	0	27	96	501

任意	51	54	34	2	21	51	300
2021(全体)	131	134	96	0	44	176	1,438
拠点（成人）	186	156	150	3	84	231	1,438
都道府県推薦	75	65	61	0	27	107	466
任意	57	59	43	2	23	71	399
2022(全体)	137	138	104	0	47	186	1,413
成人拠点	192	159	157	1	87	239	1,413
拠点外	75	67	58	0	26	107	328

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

IV. 2022全国集計 結果詳細(腫瘍情報)

各部位に発生した主に上皮性のがんを対象に治療前ステージ、術後病理学的ステージ、総合ステージ、治療方法等を集計した。2018年診断例より UICC TNM分類（第8版）準拠で登録されている。

集計対象は、以下の条件を満たす登録例である。

1. 症例区分 20 又は 30
(20: 自施設診断・自施設初回治療開始、30: 他施設診断・自施設初回治療開始)
2. 対象のがんの一覧については、「I. 全国集計調査方法」を参照
3. 術後病理学的ステージ別の集計では、上記1、2に加えて、「項目：外科的、鏡視下、内視鏡的治療の範囲」の結果の区分が手術なしではない例を対象とした。

<総合ステージについて>

病期は、患者の予後に影響を与える重要な要因である。本集計では、治療前のがんの状態をより正確に表す術後病理学的ステージを第一優先として用い、術後病理学的ステージが登録対象外、適応外や不詳の場合に治療前ステージを用いて、治療前のがんの状態を表す指標として総合ステージを算出した。

<治療方法の集計について>

2016 年診断例から標準登録様式の変更に伴い、自施設における外科的治療、鏡視下治療、内視鏡的治療、放射線療法、化学療法、内分泌療法の施行日が登録されることとなった。本集計では、院内がん登録情報のデータ収集日が例年7月頃から開始されることを考慮し、対象例の観察期間を一定にするため、診断日（起算日）より5ヶ月（155日）を超えて実施された治療は、当該治療を未実施として集計を行なった。なお、2018年診断例より5ヶ月を超えて実施された治療についても登録することとされている。

がん治療において、初回治療が5 ヶ月以内に完結しない場合もあり、参考として5ヶ月を超えて登録されていた治療を含めた治療方法の集計も示した。

また、2019年診断例より放射線療法の定義が変更となり、腫瘍に対して放射線療法は行われた場合、その目的にかかわらず放射線療法ありとして登録される。

2016年標準登録様式より、他施設における外科的治療、鏡視下治療、内視鏡的治療、放射線療法、化学療法、内分泌療法、その他の治療の有無が登録されることとなった。

がん治療においては、治療設備、患者の利便性など病院間で連携して治療がなされる場合もあることから、本集計では、他施設での実施の有無を加味し、当該腫瘍の治療方法の割合を算出した。

1. 胃がん（胃癌）

	全登録		症例区分80 その他を除く	初回治療開始例	治療前ステージ集計			術後病理学的ステージ集計		
	全登録数	施設数			対象数*1	%*2	施設数	対象数*1	%*2	施設数
2020	95,830	852	93,329	83,003	79,649	96.0	845	61,273	73.8	837
2021	99,812	861	97,304	86,907	83,280	95.8	850	64,457	74.2	844
2022	97,637	840	95,168	84,965	81,331	95.7	832	63,161	74.3	822

*1治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象数の定義は、集計方法を参照

*2分母は自施設初回治療開始例

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

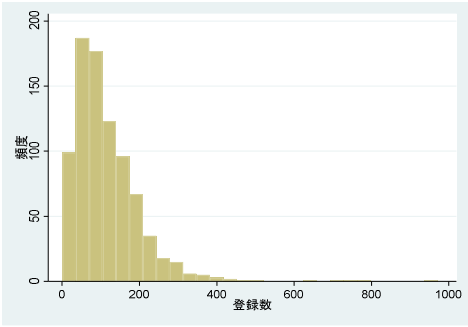
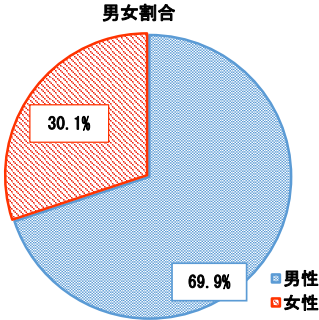
●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は81で、最小登録数が1例、最大登録数が817例で2021年診断例と比較すると最大値で増加を認めた。

対象施設数	832
平均	98
最小値	1
中央値	81
最大値	817

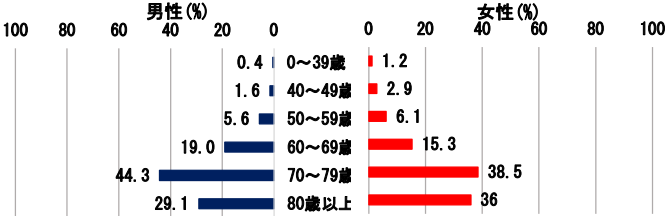
●性別

男性	56,875
女性	24,456
不明	-



●年齢

	平均	標準偏差	中央値
全体	74.6	10.2	75.3
拠点	74.1	10.2	75.0
拠点外	75.8	10.0	76.6



●UICC TNM病期分布

表4-1-3より男女別にみると、男性はI期63.8%、IV期17.2%、女性はI期60.8%、IV期18.9%であり、女性の方がIV期の登録が若干多い傾向にあった。また女性では、男性と比較若干80歳以上の年齢の高い登録数が多い傾向にあった。

表4-1-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明	該当無	合計
2020	59.6	0.0	0.0	8.4	2.3	6.0	9.6	0.0	0.0	0.0	17.2	1.5	15.7	5.3	0.0	79,649
2021	60.5	0.0	0.0	8.4	2.3	6.1	9.3	0.0	0.0	0.0	16.4	1.4	15.1	5.3	0.0	83,280
2022	60.9	0.0	0.0	8.3	2.2	6.1	9.0	0.0	0.0	0.0	16.2	1.4	14.8	5.5	0.0	81,331

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-1-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	適用外等/術前治療後	不明	該当無	合計
2020	74.4	69.4	5.0	9.1	4.9	4.2	9.9	5.0	3.3	1.7	3.9	2.3	0.3	0.0	61,273
2021	75.1	70.2	4.9	9.1	4.8	4.3	9.4	4.6	3.1	1.7	3.6	2.4	0.4	0.0	64,457
2022	75.8	71.0	4.7	8.7	4.7	4.0	9.2	4.6	3.0	1.6	3.5	2.5	0.4	-	63,161

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-1-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

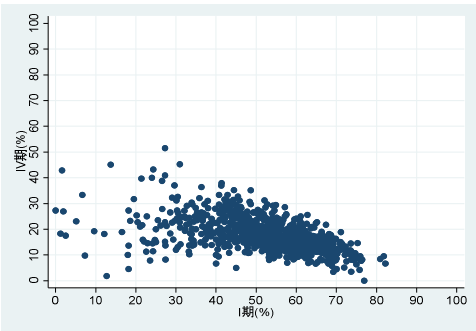
	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明	該当無	合計
2020	61.2	53.4	3.8	8.3	4.2	4.1	9.8	3.8	2.5	1.3	18.8	1.0	14.8	1.9	0.0	79,649
2021	62.2	54.4	3.8	8.5	4.2	4.3	9.5	3.6	2.4	1.3	18.0	1.0	14.2	1.9	0.0	83,280
2022	62.9	55.2	3.7	8.2	4.1	4.1	9.4	3.6	2.3	1.3	17.7	1.0	14.1	1.8	0.0	81,331
男性	63.8	55.9	3.7	8.1	4.2	3.9	9.2	3.6	2.2	1.2	17.2	0.9	13.8	1.6	0.0	56,875
女性	60.8	53.5	3.5	8.3	3.8	4.5	9.8	3.6	2.5	1.4	18.9	1.2	14.7	2.2	0.0	24,456

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-1-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布 (対象例20例以上の770施設)

	中央値	最小値	25%値	(四分位範囲)	75%値	最大値
I 期	58.7	0.0	49.1	17.3	66.4	87.3
II 期	8.3	0.0	6.0	5.1	11.1	29.2
III 期	8.7	0.0	6.3	6.1	12.4	37.7
IV 期	17.1	1.9	12.8	8.7	21.5	53.8

(参考) 施設毎のI期とIV期の割合の分布図



●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-1-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療)

総合ステージ	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明
全体	51,162	44,872	2,986	6,660	3,335	3,325	7,635	2,924	1,880	1,035	14,418	804	11,434	1,456
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
手術のみ	22.7	20.0	88.4	45.8	56.2	35.4	30.5	42.2	38.8	34.8	5.6	—	—	1.0
内視鏡のみ	65.7	74.6	1.4	0.2	0.4	0.0	—	—	—	0.0	—	0.0	0.0	3.6
手術＋内視鏡	3.6	3.7	4.9	1.0	1.5	0.5	0.1	—	—	—	—	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	0.1	0.0	0.0	0.7	—	1.1	0.6	0.0	0.0	0.0	1.9	3.0	2.2	2.1
薬物療法のみ	0.3	0.0	0.0	2.9	2.1	3.8	6.5	0.0	0.0	0.0	49.0	47.5	58.4	8.4
放射線＋薬物	—	0.0	0.0	—	—	—	0.3	0.0	0.0	0.0	1.8	—	2.3	—
薬物＋その他	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.1	—	0.2	0.0
手術/内視鏡＋放射線	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋薬物	0.7	0.3	4.6	37.8	32.2	43.5	54.2	56.9	60.9	64.8	11.5	12.6	1.9	2.0
手術/内視鏡＋その他	0.1	0.1	0.0	—	—	0.0	—	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	—	0.0	—	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.1	—	—	0.0
他の組み合わせ	0.1	0.0	0.0	—	—	—	—	0.0	0.0	—	0.2	—	0.2	0.9
治療なし	6.7	1.3	0.6	11.2	7.0	15.3	7.5	0.4	—	—	29.6	35.2	34.8	81.5
(内訳) 外科的治療	4.9	—	—	32.0	—	—	42.6	—	—	—	10.9	—	—	1.5
鏡視下治療	21.9	—	—	52.7	—	—	42.3	—	—	—	6.4	—	—	1.4

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-1-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む)

総合ステージ	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明
全体	51,162	44,872	2,986	6,660	3,335	3,325	7,635	2,924	1,880	1,035	14,418	804	11,434	1,456
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
手術のみ	22.9	20.2	88.7	45.2	55.7	34.7	30.1	41.9	37.7	34.6	5.5	—	—	1.0
内視鏡のみ	66.3	75.2	1.0	—	—	0.0	—	—	—	0.0	—	0.0	0.0	3.6
手術＋内視鏡	4.0	4.2	5.3	0.9	1.5	0.4	—	—	—	—	—	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	0.1	0.0	0.0	0.7	—	1.1	0.6	0.0	0.0	0.0	1.9	3.0	2.2	2.1
薬物療法のみ	0.3	0.0	0.0	2.8	2.0	3.6	5.4	0.0	0.0	0.0	47.8	43.4	57.2	8.4
放射線＋薬物	—	0.0	0.0	—	—	—	0.3	0.0	0.0	0.0	1.9	—	2.3	—
薬物＋その他	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.1	—	0.2	0.0
手術/内視鏡＋放射線	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋薬物	0.8	0.3	4.9	39.1	33.5	44.8	55.9	57.6	62.2	65.1	12.8	16.4	3.2	2.2
手術/内視鏡＋その他	0.1	0.1	0.0	—	—	0.0	—	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	—	0.0	—	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.1	—	—	0.0
他の組み合わせ	0.1	0.0	0.0	—	—	—	—	0.0	0.0	—	0.2	—	0.2	0.9
治療なし	5.6	—	0.0	10.8	6.5	15.0	7.3	0.0	0.0	0.0	29.5	35.2	34.7	81.3
(内訳) 外科的治療	4.9	—	—	32.0	—	—	42.6	—	—	—	10.9	—	—	1.5
鏡視下治療	21.9	—	—	52.7	—	—	42.3	—	—	—	6.4	—	—	1.4

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-1-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む)

総合ステージ	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明
全体	51,162	44,872	2,986	6,660	3,335	3,325	7,635	2,924	1,880	1,035	14,418	804	11,434	1,456
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
手術のみ	22.9	20.1	88.7	44.7	55.3	34.1	29.4	41.0	36.8	33.6	5.4	—	—	1.1
内視鏡のみ	66.1	75.1	1.0	—	—	0.0	—	—	—	0.0	—	0.0	—	3.6
手術＋内視鏡	4.1	4.3	5.4	1.0	1.5	0.4	—	—	—	—	—	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	0.1	0.0	0.0	0.7	—	1.2	0.6	0.0	0.0	0.0	1.9	3.1	2.2	2.1
薬物療法のみ	0.3	0.0	0.0	2.7	2.0	3.5	5.4	0.0	0.0	0.0	47.8	43.3	57.2	8.4
放射線＋薬物	—	0.0	0.0	—	—	—	0.3	0.0	0.0	0.0	2.0	—	2.4	—
薬物＋その他	—	0.0	0.0	—	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.2	—	0.2	0.0
手術/内視鏡＋放射線	—	—	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋薬物	0.8	0.4	5.0	39.6	33.9	45.4	56.6	58.4	62.9	66.1	12.9	16.7	3.2	2.2
手術/内視鏡＋その他	0.1	0.1	0.0	—	—	0.0	—	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	—	0.0	—	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.1	—	—	0.0
他の組み合わせ	0.1	0.0	0.0	0.2	—	—	—	—	—	—	0.2	—	0.2	1.0
治療なし	5.5	—	0.0	10.8	6.5	15.0	7.2	0.0	0.0	0.0	29.4	34.8	34.6	81.0
(内訳) 外科的治療	5.1	—	—	32.3	—	—	43.3	—	—	—	11.7	—	—	1.6
鏡視下治療	22.5	—	—	53.1	—	—	43.0	—	—	—	6.9	—	—	1.6

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。(URL: <https://jhor-cs.ganjoho.jp/hbortables/>)

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-1-1 (1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療）
（2020年-2022年）

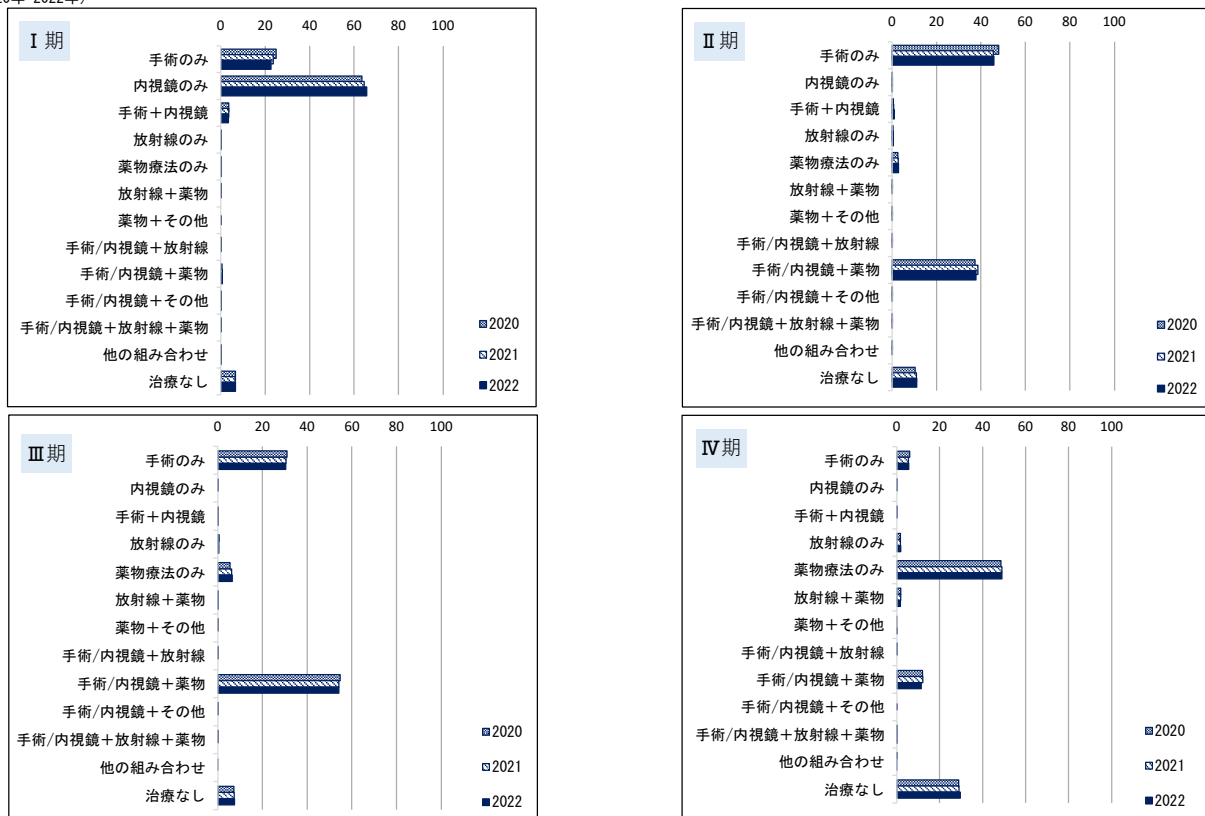
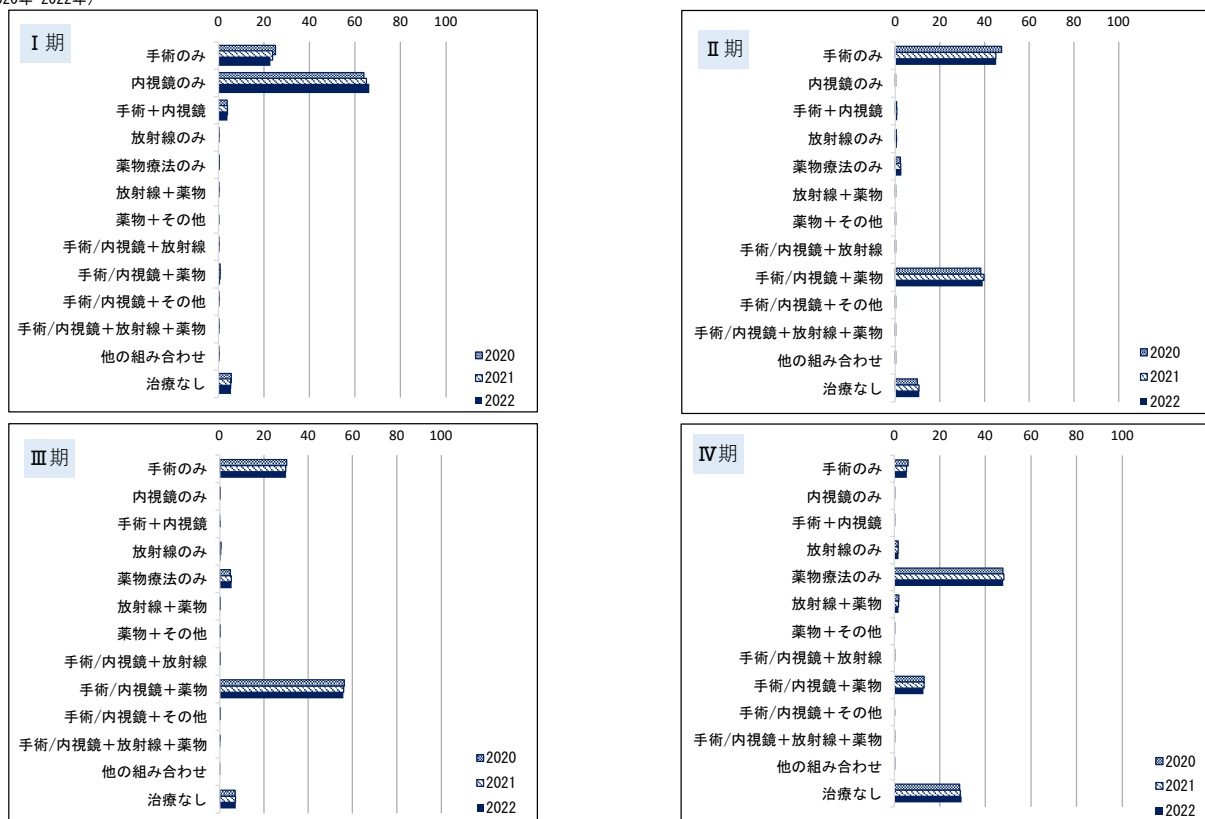


表4-1-1 (2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療）
（2020年-2022年）



2. 大腸がん（大腸癌）

	全登録		症例区分80 その他を除く	初回治療開始例	治療前ステージ集計			術後病理学的ステージ集計		
	全登録数	施設数			対象数*1	%*2	施設数	対象数*1	%*2	施設数
2020	152,122	855	149,600	131,650	128,010	97.2	847	112,352	85.3	841
2021	161,363	866	158,645	140,335	136,249	97.1	855	118,893	84.7	849
2022	160,861	844	157,900	139,235	134,374	96.5	834	116,669	83.8	831

*1治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象数の定義は、集計方法を参照

*2分母は自施設初回治療開始例

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は146例で、最小登録数が1例、最大登録数が833例であった。

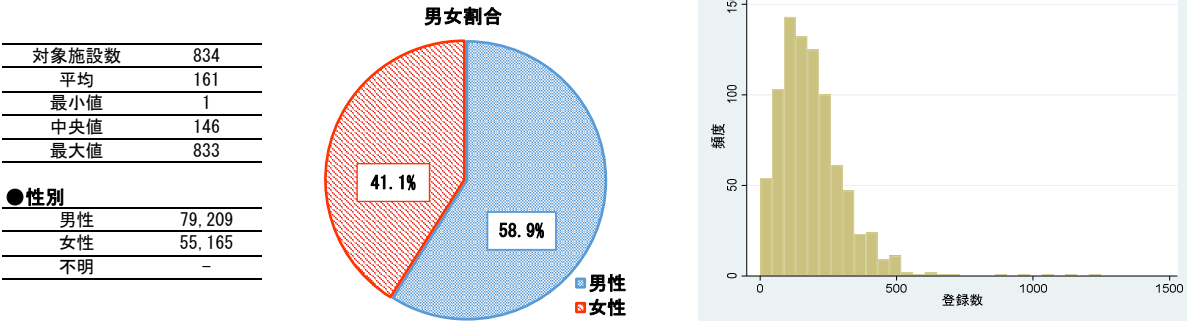


表4-2①-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

潜伏期	0期	I期	II期	IIA	IIB	IIC	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	IVC	不明	該当無	合計
2020	12.9	19.0	15.3	12.1	2.3	0.9	19.8	1.6	13.6	4.5	14.4	7.7	3.5	3.0	18.5	0.0	128,010
2021	13.1	18.8	15.0	12.0	2.2	0.8	20.1	1.8	13.7	4.5	14.2	7.6	3.5	3.0	18.8	0.0	136,249
2022	13.2	18.8	15.2	12.2	2.2	0.9	20.0	1.7	13.7	4.5	14.0	7.5	3.4	2.9	18.7	-	134,374

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-2①-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	0期	I期	II期	IIA	IIB	IIC	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	IVC	適用外等	不明	その他	合計
2020	30.0	20.5	20.1	16.5	2.4	1.2	18.5	2.3	12.7	3.6	7.8	4.6	1.2	2.0	2.8	0.3	0.0	112,352
2021	30.4	20.7	19.8	16.3	2.5	1.1	18.6	2.3	12.8	3.4	7.2	4.2	1.1	1.9	3.0	0.3	0.0	118,893
2022	30.7	20.5	20.1	16.6	2.4	1.1	18.3	2.3	12.6	3.5	7.0	4.1	1.0	1.8	3.1	0.3	-	116,669

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-2①-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

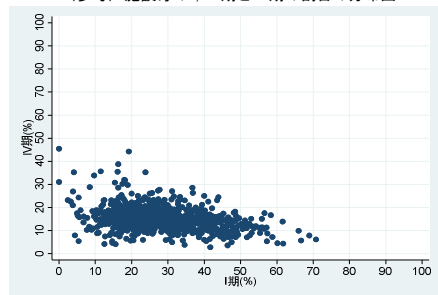
	0期	I期	II期	IIA	IIB	IIC	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	IVC	不明	その他	合計
2020	26.4	19.2	19.2	15.4	2.4	1.4	18.8	2.2	12.4	4.2	15.2	7.6	3.5	3.9	1.2	0.0	128,010
2021	26.6	19.3	18.9	15.2	2.4	1.3	19.0	2.2	12.6	4.1	14.9	7.5	3.5	3.8	1.3	0.0	136,249
2022	26.8	19.1	19.1	15.4	2.4	1.3	18.9	2.2	12.4	4.3	14.8	7.5	3.4	3.8	1.3	0.0	134,374
男性	29.1	19.6	17.9	14.7	2.1	1.1	17.8	2.1	11.8	4.0	14.4	7.6	3.4	3.3	1.2	0.0	79,209
女性	23.4	18.4	20.8	16.5	2.7	1.6	20.5	2.4	13.3	4.8	15.3	7.3	3.4	4.4	1.5	0.0	55,165

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-2①-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布 (対象例20例以上の812施設)

	中央値	最小値	25%値	(四分位範囲)	75%値	最大値
0期	8.9	0.0	3.5	14.3	17.8	60.3
I期	18.0	0.0	14.1	8.1	22.2	67.5
II期	15.1	0.0	11.3	8.0	19.3	37.5
III期	20.0	0.0	15.8	9.2	25.0	45.7
IV期	14.0	2.7	11.4	5.8	17.2	39.1

(参考) 施設毎の0/I期とIV期の割合の分布図



院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-2①-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以内に施設で実施した治療)

総合ステージ	0期	I期	II期	IIIA期	IIIB期	IIIC期	IIIV期	IIIA期	IIIB期	IIIC期	IV期	IVA期	IVB期	IVC期	不明
全体	35,969 100.0	25,628 100.0	25,691 100.0	20,731 100.0	3,163 100.0	1,787 100.0	25,459 100.0	2,965 100.0	16,644 100.0	5,789 100.0	19,855 100.0	10,024 100.0	4,572 100.0	5,064 100.0	1,772 100.0
手術のみ	7.2	53.0	72.6	77.0	61.1	42.4	34.7	30.5	38.2	27.3	15.4	19.0	8.2	14.7	2.9
内視鏡のみ	91.4	26.5	0.2	0.2	—	0.0	0.2	0.7	0.1	—	0.1	—	—	—	7.9
手術+内視鏡	0.5	12.2	0.4	0.5	0.3	—	0.6	3.6	0.2	—	0.1	0.2	0.0	0.0	—
放射線のみ	0.0	0.2	0.3	0.3	—	1.3	0.6	0.3	0.5	1.0	1.0	0.7	2.2	0.7	2.5
薬物療法のみ	0.0	0.6	1.2	0.6	1.4	8.2	3.4	1.2	1.9	8.9	31.1	27.5	42.3	28.0	7.2
放射線+薬物	0.0	0.3	1.0	0.9	0.6	3.3	2.5	0.9	2.1	4.6	1.9	1.8	3.0	1.1	1.4
薬物+その他	0.0	0.0	—	—	0.0	—	—	0.0	0.0	—	0.2	0.2	—	0.2	—
手術/内視鏡+放射線	—	0.1	0.2	0.1	—	—	0.3	—	0.3	0.4	0.3	0.4	—	—	—
手術/内視鏡+薬物	0.2	1.3	18.2	15.8	28.3	29.0	50.2	55.8	50.7	46.4	27.4	30.9	19.2	28.1	1.4
手術/内視鏡+その他	0.0	0.1	0.1	—	—	—	0.0	0.0	—	—	0.1	0.1	—	—	0.0
手術/内視鏡+放射線+薬物	—	0.4	0.8	0.7	0.9	1.9	2.3	1.0	2.0	3.9	0.7	0.9	0.6	0.3	—
他の組み合わせ	—	—	0.1	0.1	—	—	0.1	—	0.1	0.2	0.4	0.4	0.3	0.3	0.8
治療なし	0.6	5.3	4.9	3.9	6.6	12.6	4.9	5.7	3.8	7.0	21.5	17.8	23.6	26.5	75.1
(内訳) 外科的治療	0.0	0.0	0.0	—	—	—	17.1	—	—	—	15.9	—	—	—	100.0
鏡視下治療	100.0	100.0	100.0	—	—	—	71.1	—	—	—	28.1	—	—	—	100.0

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-2①-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以降に施設で実施した治療を含む)

総合ステージ	0期	I期	II期	IIIA期	IIIB期	IIIC期	IIIV期	IIIA期	IIIB期	IIIC期	IV期	IVA期	IVB期	IVC期	不明
全体	35,969 100.0	25,628 100.0	25,691 100.0	20,731 100.0	3,163 100.0	1,787 100.0	25,459 100.0	2,965 100.0	16,644 100.0	5,789 100.0	19,855 100.0	10,024 100.0	4,572 100.0	5,064 100.0	1,772 100.0
手術のみ	7.3	53.3	72.6	77.0	61.0	42.3	34.3	29.6	37.9	26.8	14.7	18.0	8.0	14.5	2.9
内視鏡のみ	91.7	26.0	0.2	0.2	—	0.0	0.1	—	0.1	—	0.1	—	—	—	8.0
手術+内視鏡	0.5	12.8	0.4	0.5	0.3	—	0.5	3.1	0.2	—	0.1	0.1	0.0	0.0	—
放射線のみ	0.0	0.2	0.3	0.3	—	1.3	0.5	0.3	0.4	0.8	1.0	0.6	2.2	0.7	2.5
薬物療法のみ	—	0.6	0.9	0.4	0.9	6.3	2.2	0.8	1.1	5.9	29.2	25.0	40.6	27.3	6.6
放射線+薬物	0.0	0.3	0.7	0.5	0.4	2.5	1.5	0.5	1.2	2.9	1.7	1.4	3.2	1.1	1.1
薬物+その他	0.0	0.0	—	—	0.0	—	—	0.0	0.0	—	0.2	0.1	—	0.2	—
手術/内視鏡+放射線	—	0.1	0.2	0.2	—	—	0.4	—	0.4	0.5	0.3	0.4	—	—	—
手術/内視鏡+薬物	0.2	1.4	18.8	16.1	29.1	31.3	52.2	58.3	52.0	50.0	29.8	34.4	20.8	29.0	2.1
手術/内視鏡+その他	0.0	0.1	0.1	—	—	—	0.0	0.0	—	—	0.1	0.1	—	—	0.0
手術/内視鏡+放射線+薬物	—	0.5	1.2	1.1	1.2	2.9	3.5	1.4	3.1	5.9	1.1	1.6	0.8	0.4	0.6
他の組み合わせ	—	—	0.1	0.1	—	—	0.1	—	0.1	0.2	0.4	0.4	0.3	0.3	0.8
治療なし	0.2	4.9	4.6	3.7	6.4	12.4	4.6	5.4	3.6	6.8	21.4	17.7	23.5	26.4	74.9
(内訳) 外科的治療	0.0	0.0	20.0	—	—	—	0.0	—	—	—	17.0	—	—	—	3.6
鏡視下治療	100.0	100.0	73.2	—	—	—	100.0	—	—	—	29.2	—	—	—	2.4

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-2①-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以降に施設で実施した治療と他施設実施を含む)

総合ステージ	0期	I期	II期	IIIA期	IIIB期	IIIC期	IIIV期	IIIA期	IIIB期	IIIC期	IV期	IVA期	IVB期	IVC期	不明
全体	35,969 100.0	25,628 100.0	25,691 100.0	20,731 100.0	3,163 100.0	1,787 100.0	25,459 100.0	2,965 100.0	16,644 100.0	5,789 100.0	19,855 100.0	10,024 100.0	4,572 100.0	5,064 100.0	1,772 100.0
手術のみ	7.3	53.3	72.4	76.8	60.7	41.7	33.7	29.0	37.2	26.1	14.4	17.6	7.8	14.0	2.9
内視鏡のみ	91.6	25.8	0.2	0.2	—	0.0	0.1	—	0.1	—	—	—	—	—	8.0
手術+内視鏡	0.5	13.0	0.4	0.5	0.3	—	0.5	3.0	0.2	—	0.1	0.1	0.0	0.0	—
放射線のみ	0.0	0.2	0.3	0.2	—	1.2	0.5	—	0.4	0.8	1.0	0.6	2.2	0.7	2.2
薬物療法のみ	—	0.6	0.8	0.4	0.8	6.0	2.1	0.8	1.0	5.8	29.1	24.8	40.4	27.4	6.5
放射線+薬物	0.0	0.3	0.7	0.6	0.4	2.6	1.6	0.5	1.2	3.0	1.8	1.5	3.4	1.1	1.4
薬物+その他	0.0	0.0	—	—	0.0	—	—	0.0	0.0	—	0.2	0.1	—	0.2	—
手術/内視鏡+放射線	—	0.1	0.2	0.2	—	—	0.4	—	0.4	0.5	0.3	0.4	—	—	—
手術/内視鏡+薬物	0.2	1.5	18.9	16.2	29.3	31.8	52.7	58.9	52.5	50.4	30.2	34.8	21.0	29.5	2.1
手術/内視鏡+その他	0.1	0.1	0.1	0.1	—	—	0.1	0.0	—	—	0.1	0.1	—	—	—
手術/内視鏡+放射線+薬物	—	0.5	1.3	1.1	1.2	3.0	3.7	1.5	3.2	6.1	1.2	1.7	0.9	0.4	0.6
他の組み合わせ	—	—	0.1	0.1	—	0.6	0.2	—	0.1	0.2	0.4	0.4	0.4	0.4	0.8
治療なし	0.2	4.9	4.6	3.7	6.4	12.4	4.6	5.4	3.6	6.8	21.3	17.6	23.4	26.2	74.7
(内訳) 外科的治療	1.4	6.9	20.1	—	—	—	17.7	—	—	—	17.1	—	—	—	3.6
鏡視下治療	6.6	61.2	73.2	—	—	—	73.4	—	—	—	29.2	—	—	—	2.6

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。(URL: <https://jher-cs.ganjocho.jp/hcrtables/>)

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-2①-1(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療）
(2020年-2022年)

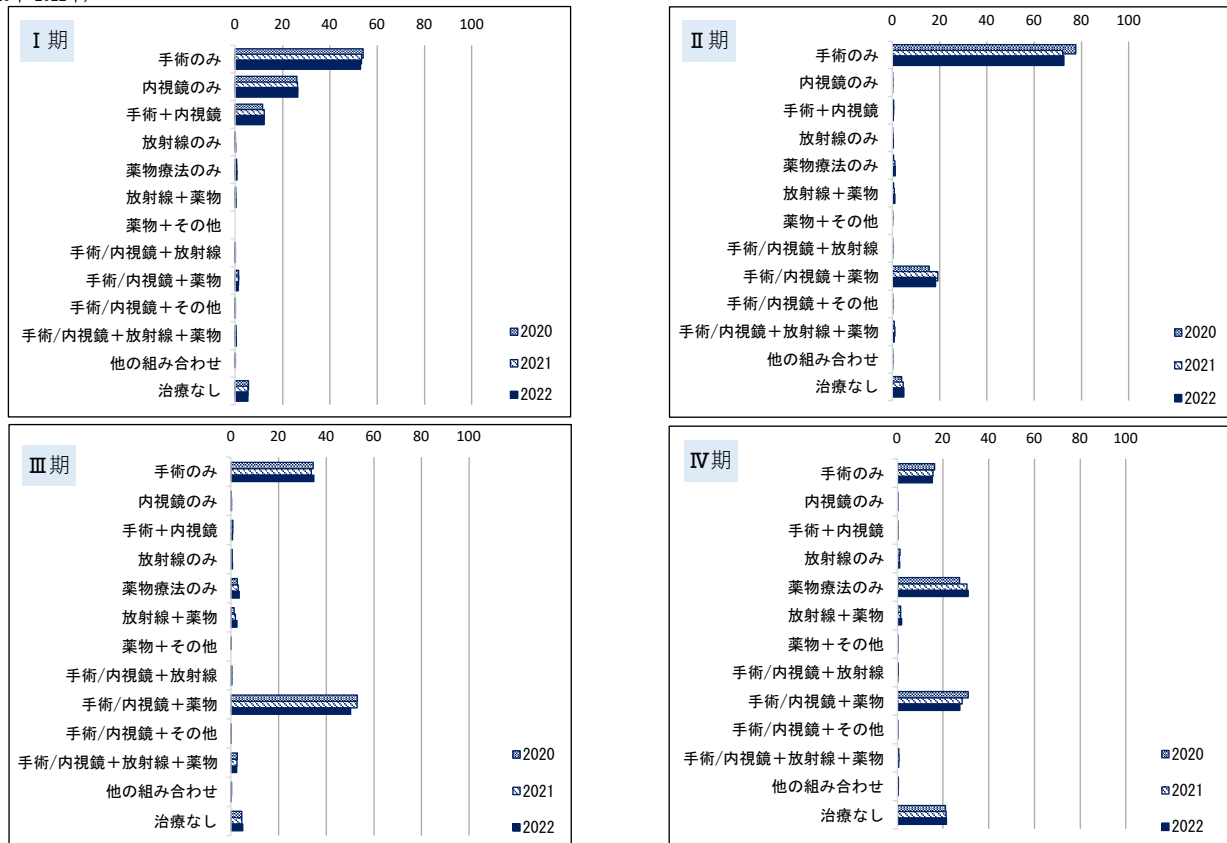
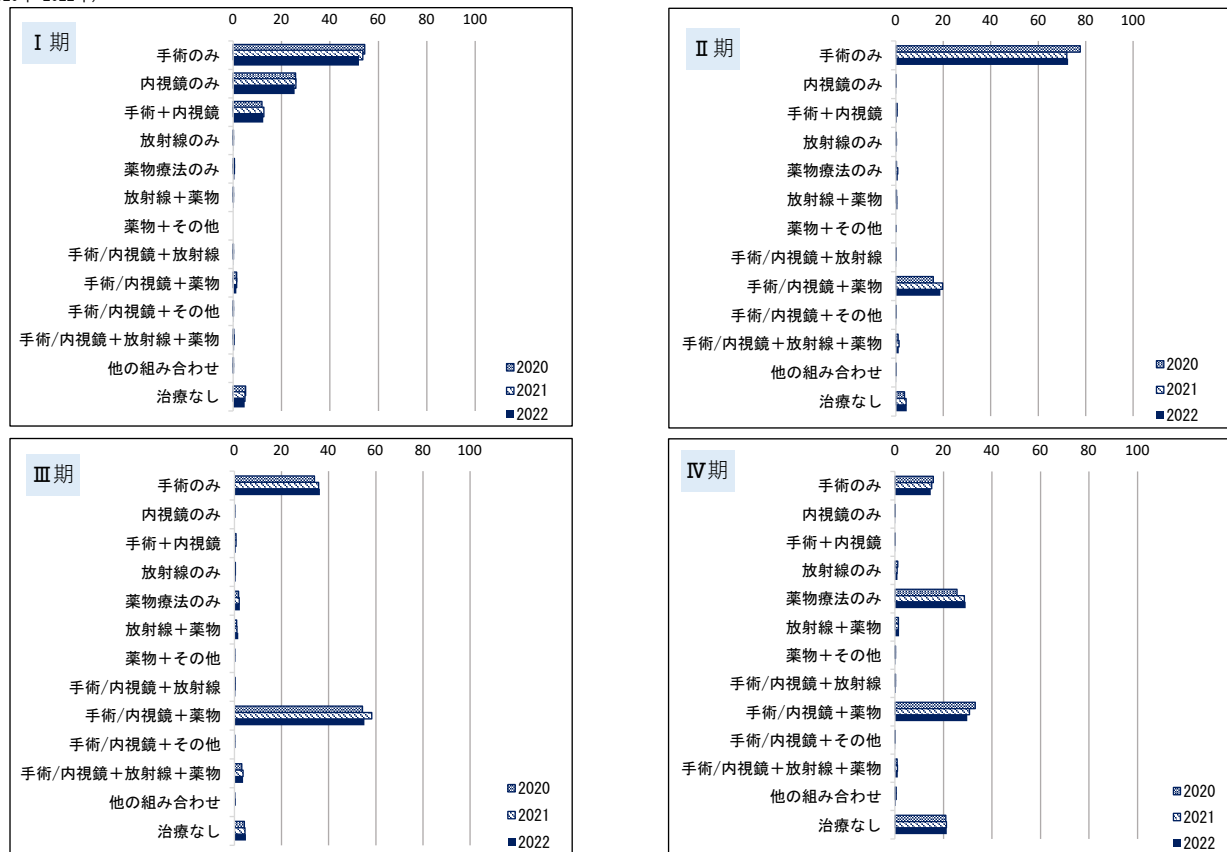


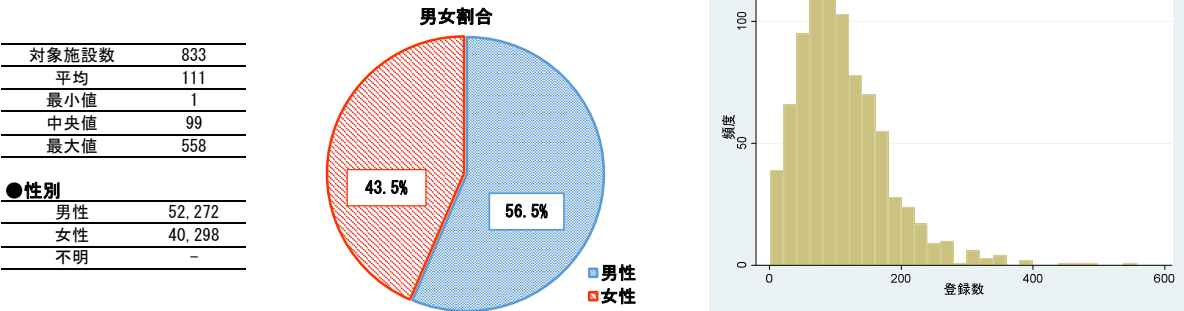
表4-2①-1(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む）
(2020年-2022年)



結腸がん（結腸癌）

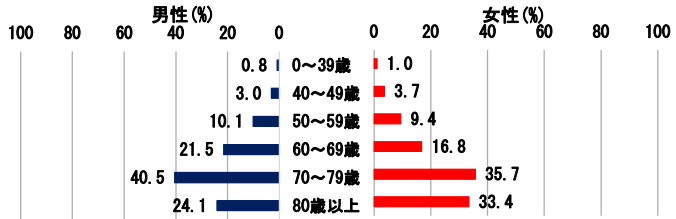
●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数を見ると、1施設当たりの登録数の中央値は99例で、最小登録数が1例、最大登録数が558例であった。



●年齢

	平均	標準偏差	中央値
全体	72.9	11.5	74.2
拠点	72.5	11.4	74.0
拠点外	73.6	11.5	74.8



●UICC TNM病期分布

治療前ステージ別の登録数では不明が約21%程度と多いが、手術を受けて病期等が確定される場合が少なくないため、ほかの部位よりも治療前ステージ別と総合ステージ別の登録数の割合に変動がある。

表4-2②-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	0期	1期	2期	11A	11B	11C	111期	111A	111B	111C	1V期	1VA	1VB	1VC	不明	該当無	合計
2020	13.8	18.5	15.0	11.6	2.5	0.8	18.4	1.4	12.8	4.1	13.7	7.0	3.0	3.5	20.6	0.0	88,694
2021	14.0	18.3	14.5	11.4	2.4	0.7	18.7	1.6	12.8	4.2	13.7	7.0	3.0	3.5	20.8	0.0	93,841
2022	14.1	18.4	14.8	11.6	2.4	0.8	18.7	1.5	13.0	4.1	13.4	6.9	2.9	3.4	20.6	-	92,570

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-2②-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	0期	I期	II期	IIIA	IIIB	IIC	IIIA期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	IVC	適用外等	不明	その他	合計
2020	32.2	19.7	21.0	16.8	2.8	1.4	17.7	1.9	12.3	3.5	8.1	4.5	1.2	2.4	1.0	0.3	0.0	78,831
2021	32.6	19.9	20.8	16.8	2.8	1.2	17.8	1.9	12.5	3.4	7.6	4.2	1.1	2.3	1.0	0.3	0.0	82,942
2022	32.7	20.0	21.2	17.2	2.8	1.2	17.5	1.8	12.2	3.5	7.3	4.0	1.0	2.2	1.1	0.3	-	81,623

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-2②-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

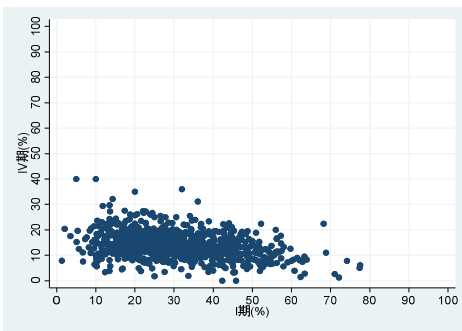
	0期	I期	II期	IIIA	IIIB	IIC	IIIA	IIIB	IIC	IV期	IVA	IVB	IVC	不明	その他	合計	
2020	28.7	18.8	19.7	15.6	2.6	1.5	17.0	1.8	11.5	3.6	14.6	6.9	3.0	4.5	1.3	0.0	88,694
2021	29.0	18.7	19.5	15.5	2.6	1.4	17.0	1.8	11.6	3.6	14.5	6.9	3.0	4.5	1.3	0.0	93,841
2022	28.9	18.8	19.8	15.8	2.6	1.4	16.9	1.8	11.4	3.7	14.3	6.8	2.9	4.4	1.3	0.0	92,570
男性	32.5	19.6	18.2	14.7	2.3	1.1	15.1	1.6	10.3	3.2	13.4	6.7	2.8	3.8	1.2	0.0	52,272
女性	24.2	17.8	22.0	17.3	3.0	1.6	19.2	2.0	12.8	4.4	15.4	7.0	3.1	5.1	1.5	0.0	40,298

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-2②-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布 (対象例20例以上の799施設)

	中央値	最小値	25%値	(四分位範囲)	75%値	最大値
0期	9.3	0.0	3.6	15.3	18.9	65.6
I期	17.9	1.3	13.5	8.8	22.3	68.4
II期	14.4	0.0	10.4	8.6	19.0	44.2
IIIA	18.8	0.0	14.5	9.9	24.4	50.0
IV期	13.3	0.0	10.3	6.9	17.2	40.0

(参考) 施設毎の0/I期とIV期の割合の分布図



●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-2②-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）

総合ステージ	0期	I期	II期	IIIA	IIIB	IIIC	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	IVC	不明
全体	26,754 100.0	17,409 100.0	18,358 100.0	14,663 100.0	2,431 100.0	1,259 100.0	15,616 100.0	1,635 100.0	10,532 100.0	3,414 100.0	13,212 100.0	6,307 100.0	2,712 100.0	4,057 100.0
手術のみ	7.7	50.7	75.1	79.1	64.1	48.9	39.4	31.9	42.6	33.4	16.9	21.0	9.6	15.8
内視鏡のみ	91.0	29.0	0.2	0.2	—	0.0	0.2	0.7	0.1	—	—	—	—	0.0
手術＋内視鏡	0.5	12.8	0.4	0.5	—	—	0.6	4.2	0.2	—	0.1	0.2	0.0	0.0
放射線のみ	0.0	—	0.1	—	0.0	—	—	—	—	—	0.6	—	1.9	0.5
薬物療法のみ	—	0.6	0.8	0.4	0.8	6.2	2.2	0.7	0.9	6.8	27.7	24.5	37.4	26.3
放射線＋薬物	0.0	—	—	—	0.0	—	—	0.0	—	—	0.7	—	2.1	0.9
薬物＋その他	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	—	0.2	—	—	—
手術/内視鏡＋放射線	0.0	—	—	—	—	0.0	—	0.0	—	—	0.2	0.3	—	—
手術/内視鏡＋薬物	0.2	1.1	18.4	15.7	27.8	31.4	52.1	54.8	51.8	52.0	29.2	32.8	21.6	28.8
手術/内視鏡＋その他	—	0.1	0.1	—	—	—	—	0.0	—	—	0.1	0.2	—	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	—	—	—	—	—	—	0.0	0.0	—	0.2	—	0.4	0.3
他の組み合わせ	—	—	0.1	—	—	—	0.1	—	0.1	—	0.4	0.5	—	0.3
治療なし	0.7	5.6	4.8	3.9	6.5	11.8	5.2	7.6	4.1	7.0	23.6	20.1	26.2	26.8
（内訳）外科的治療	1.5	7.5	22.5	—	—	—	21.2	—	—	—	18.8	—	—	—
鏡視下治療	6.8	57.2	71.4	—	—	—	71.0	—	—	—	28.1	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-2②-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）

総合ステージ	0期	I期	II期	IIIA	IIIB	IIIC	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	IVC	不明
全体	26,754 100.0	17,409 100.0	18,358 100.0	14,663 100.0	2,431 100.0	1,259 100.0	15,616 100.0	1,635 100.0	10,532 100.0	3,414 100.0	13,212 100.0	6,307 100.0	2,712 100.0	4,057 100.0
手術のみ	7.7	51.0	75.1	79.2	64.0	48.8	39.1	31.4	42.3	32.8	16.3	19.9	9.4	15.6
内視鏡のみ	91.3	28.6	0.2	0.2	—	0.0	0.1	—	0.1	—	—	—	—	0.0
手術＋内視鏡	0.5	13.3	0.4	0.5	—	—	0.5	3.6	0.2	—	0.1	0.2	0.0	0.0
放射線のみ	0.0	—	0.1	—	0.0	—	—	—	—	—	0.6	—	1.9	0.5
薬物療法のみ	—	0.5	0.7	0.3	0.6	4.7	1.6	—	0.7	4.9	26.4	22.6	36.4	25.7
放射線＋薬物	0.0	—	—	—	0.0	—	—	0.0	0.0	—	0.8	—	2.3	0.9
薬物＋その他	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	—	0.1	—	—	—
手術/内視鏡＋放射線	0.0	—	—	—	—	0.0	—	0.0	—	—	0.2	0.3	—	—
手術/内視鏡＋薬物	0.2	1.2	18.8	16.0	28.3	33.2	53.4	57.0	52.6	54.7	31.1	35.8	22.6	29.7
手術/内視鏡＋その他	—	0.1	0.1	—	—	—	—	0.0	—	—	0.1	0.2	—	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	—	—	—	—	—	—	0.0	—	—	0.3	0.2	0.4	0.3
他の組み合わせ	—	—	0.1	—	—	—	0.1	—	0.1	—	0.4	0.5	—	0.3
治療なし	0.2	5.1	4.5	3.6	6.2	11.6	5.0	7.0	3.8	6.7	23.5	19.9	26.2	26.7
（内訳）外科的治療	1.5	7.6	22.7	—	—	—	21.6	—	—	—	19.8	—	—	—
鏡視下治療	6.8	58.1	71.7	—	—	—	71.6	—	—	—	28.5	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-2②-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む**）

総合ステージ	0期	I期	II期	IIIA	IIIB	IIIC	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	IVC	不明
全体	26,754 100.0	17,409 100.0	18,358 100.0	14,663 100.0	2,431 100.0	1,259 100.0	15,616 100.0	1,635 100.0	10,532 100.0	3,414 100.0	13,212 100.0	6,307 100.0	2,712 100.0	4,057 100.0
手術のみ	7.7	51.0	74.9	79.0	63.8	48.1	38.5	31.1	41.8	32.2	15.9	19.5	9.1	15.0
内視鏡のみ	91.3	28.4	0.2	0.2	—	0.0	0.1	—	0.1	—	—	—	—	0.0
手術＋内視鏡	0.5	13.5	0.5	0.5	—	—	0.5	3.5	0.2	—	0.1	0.2	0.0	0.0
放射線のみ	0.0	—	0.1	—	0.0	—	—	—	—	—	0.6	—	1.9	0.5
薬物療法のみ	—	0.5	0.6	0.3	0.6	4.5	1.6	—	0.7	4.9	26.4	22.6	36.3	25.8
放射線＋薬物	0.0	—	—	—	—	—	—	0.0	0.0	—	0.8	—	2.5	0.9
薬物＋その他	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	—	0.1	—	—	0.2
手術/内視鏡＋放射線	—	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—	0.2	0.3	—	—
手術/内視鏡＋薬物	0.2	1.3	18.9	16.1	28.5	33.9	53.9	57.4	53.1	55.1	31.5	36.2	22.9	30.2
手術/内視鏡＋その他	0.1	0.1	0.1	—	—	—	—	0.0	—	—	0.1	0.2	—	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	—	—	—	—	—	—	0.0	—	—	0.3	0.2	0.6	0.4
他の組み合わせ	—	—	0.1	—	—	—	0.1	—	0.1	—	0.4	0.5	—	0.4
治療なし	0.2	5.1	4.5	3.6	6.2	11.5	4.9	7.0	3.8	6.7	23.4	19.9	26.1	26.5
（内訳）外科的治療	1.5	7.6	22.7	—	—	—	21.6	—	—	—	19.8	—	—	—
鏡視下治療	6.8	58.2	71.7	—	—	—	71.6	—	—	—	28.5	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL: <https://jhcr-cs.ganjocho.jp/hbortables/>）

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-2②-1 (1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）
(2020年-2022年)

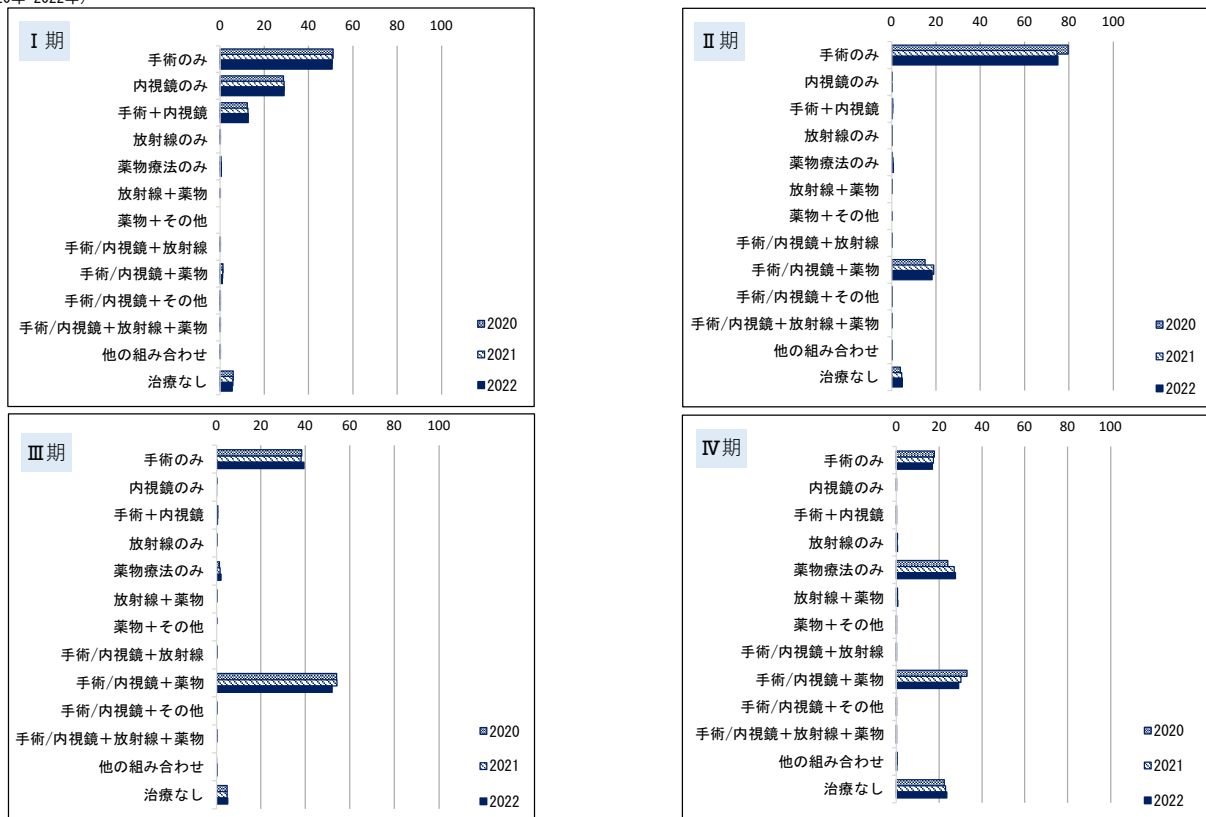
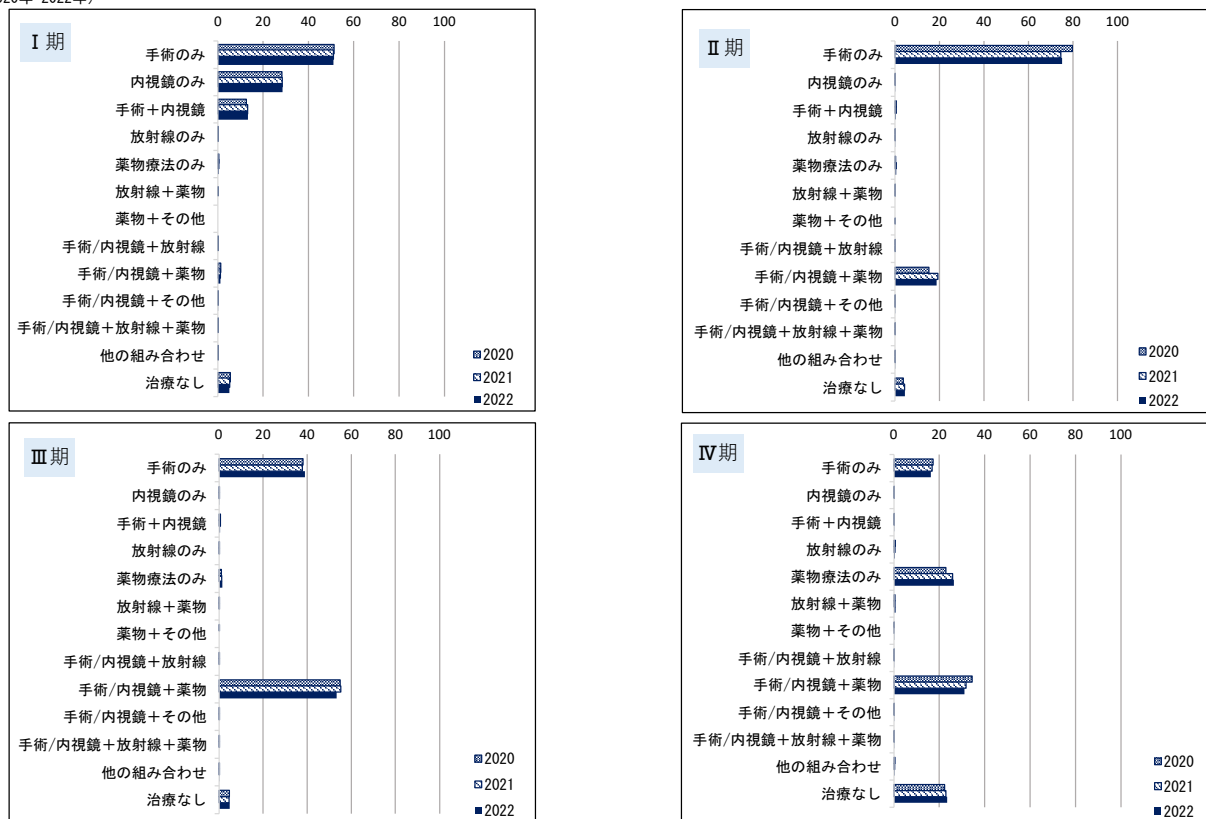


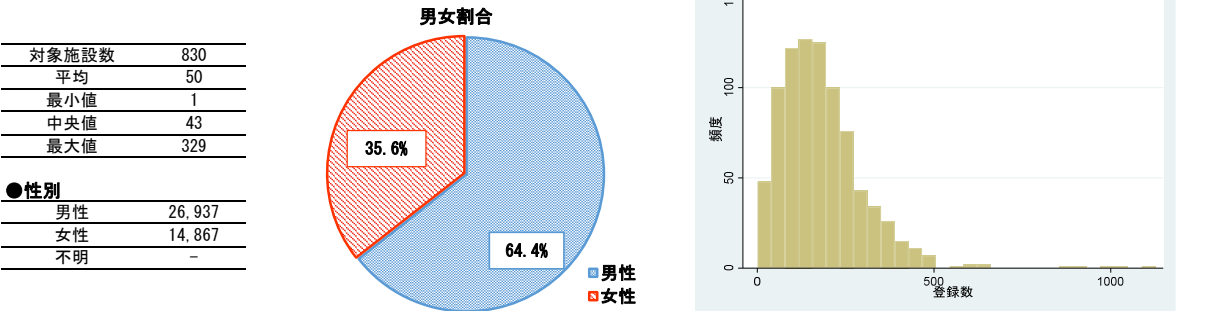
表4-2②-1 (2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）
(2020年-2022年)



直腸がん（直腸癌）

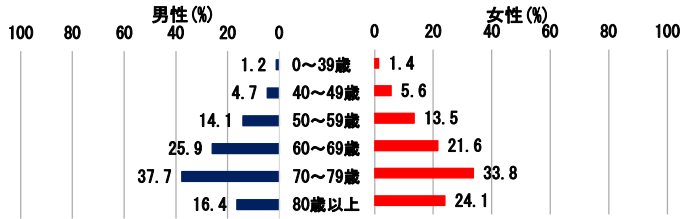
●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数を見ると、1施設当たりの登録数の中央値は43例で、最小登録数が1例、最大登録数が329例であった。



●年齢

	平均	標準偏差	中央値
全体	69.8	11.7	71.5
拠点	69.4	11.8	71.2
拠点外	70.8	11.5	72.3



●UICC TNM病期分布

治療前ステージ別の登録数では不明が約15%程度と多いが、手術を受けて病期等が確定される場合が少なくないため、ほかの部位よりも治療前ステージ別と総合ステージ別の登録数の割合に変動がある。

表4-2③-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	0期	I期	II期	IIIA期	IIIB期	IIC期	IIIC期	IIIA期	IIIB期	IIC期	IV期	IVA期	IVB期	IVC期	不明	該当無	合計
2020	11.0	20.1	16.2	13.3	1.8	1.0	22.9	2.1	15.3	5.3	15.8	9.3	4.6	1.8	13.9	0.0	39,316
2021	11.1	20.0	16.1	13.3	1.7	1.1	23.1	2.2	15.7	5.2	15.3	8.8	4.5	1.8	14.3	0.0	42,408
2022	11.1	19.6	16.3	13.4	1.7	1.1	22.9	2.0	15.4	5.4	15.4	8.9	4.5	1.9	14.7	0.0	41,804

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-2③-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	0期	I期	II期	IIIA期	IIIB期	IIC期	IIIC期	IIIA期	IIIB期	IIC期	IV期	IVA期	IVB期	IVC期	適用外等	不明	その他	合計
2020	24.7	22.2	18.1	15.5	1.7	0.9	20.6	3.2	13.5	3.9	7.2	4.9	1.2	1.1	7.0	0.3	0.0	33,521
2021	25.2	22.6	17.6	15.1	1.8	0.7	20.3	3.1	13.6	3.5	6.4	4.3	1.1	1.0	7.6	0.3	0.0	35,951
2022	26.2	21.7	17.6	15.2	1.7	0.7	20.2	3.4	13.4	3.5	6.3	4.2	1.1	1.0	7.7	0.3	-	35,046

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-2③-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

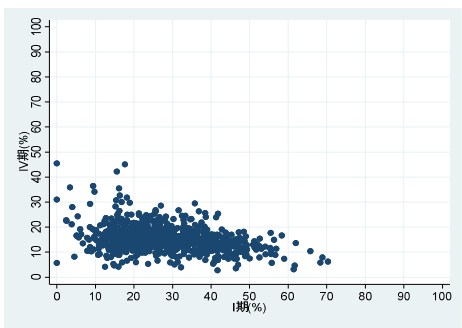
	0期	I期	II期	IIIA期	IIIB期	IIC期	IIIC期	IIIA期	IIIB期	IIC期	IV期	IVA期	IVB期	IVC期	不明	その他	合計
2020	21.1	20.3	17.9	14.8	1.8	1.3	23.0	3.1	14.3	5.6	16.4	9.2	4.6	2.5	1.2	0.0	39,316
2021	21.5	20.5	17.6	14.5	1.8	1.3	23.2	3.0	14.7	5.4	15.9	8.9	4.5	2.4	1.3	0.0	42,408
2022	22.0	19.7	17.5	14.5	1.8	1.3	23.5	3.2	14.6	5.7	15.9	8.9	4.4	2.4	1.3	0.0	41,804
男性	22.5	19.5	17.4	14.7	1.7	1.0	23.2	2.9	14.6	5.6	16.3	9.2	4.5	2.3	1.1	0.0	26,937
女性	21.2	19.9	17.8	14.2	1.8	1.7	24.2	3.7	14.6	5.9	15.2	8.3	4.3	2.5	1.6	0.0	14,867

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-2③-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布 (対象例20例以上の687施設)

	中央値	最小値	25%値 (四分位範囲)	75%値	最大値
0期	9.1	0.0	3.4	12.8	51.7
I期	18.8	0.0	14.3	9.3	65.8
II期	15.4	0.0	11.1	9.4	47.6
IIIA期	21.9	2.6	16.7	11.6	46.4
IV期	15.0	0.0	11.1	7.5	18.6

(参考) 施設毎の0/I期とIV期の割合の分布図



●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-2③-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療）

総合ステージ	0期	I期	II期	IIIA	IIIB	IIIC	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	IVC	不明
全体	9,215 100.0	8,219 100.0	7,333 100.0	6,068 100.0	732 100.0	528 100.0	9,843 100.0	1,330 100.0	6,112 100.0	2,375 100.0	6,643 100.0	3,717 100.0	1,860 100.0	1,007 100.0
手術のみ	6.0	57.9	66.4	71.7	51.1	26.7	27.3	28.6	30.5	18.5	12.3	15.7	6.2	10.4
内視鏡のみ	92.7	21.1	—	—	—	0.0	0.1	—	—	—	—	—	—	—
手術＋内視鏡	0.5	11.0	0.4	0.4	—	—	0.6	3.0	0.2	—	—	—	0.0	0.0
放射線のみ	0.0	0.4	1.0	0.8	—	3.6	1.4	—	1.2	2.2	1.9	1.6	2.6	1.4
薬物療法のみ	—	0.8	2.2	1.1	3.4	13.1	5.4	2.0	3.5	11.9	37.7	32.8	49.5	34.7
放射線＋薬物	0.0	0.8	3.5	3.0	2.6	10.6	6.4	2.0	5.6	10.9	4.1	4.6	4.4	2.1
薬物＋その他	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	0.2	—	—	—
手術/内視鏡＋放射線	—	0.2	0.5	0.4	—	—	0.9	—	0.9	1.0	0.4	0.6	—	—
手術/内視鏡＋薬物	0.2	1.6	17.9	15.9	29.9	23.5	47.3	57.0	48.8	38.4	23.8	27.7	15.5	25.3
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	1.3	2.9	2.5	3.8	6.1	6.0	2.2	5.5	9.3	1.6	2.3	0.9	—
他の組み合わせ	—	—	—	—	—	—	0.2	—	—	—	0.3	—	—	—
治療なし	0.5	4.9	5.0	3.9	6.8	14.6	4.4	3.5	3.3	7.1	17.5	14.0	19.8	25.2
(内訳) 外科的治療	1.1	5.0	13.0	—	—	—	10.7	—	—	—	10.3	—	—	—
鏡視下治療	5.6	66.1	75.1	—	—	—	71.4	—	—	—	28.0	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-2③-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む）

総合ステージ	0期	I期	II期	IIIA	IIIB	IIIC	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	IVC	不明
全体	9,215 100.0	8,219 100.0	7,333 100.0	6,068 100.0	732 100.0	528 100.0	9,843 100.0	1,330 100.0	6,112 100.0	2,375 100.0	6,643 100.0	3,717 100.0	1,860 100.0	1,007 100.0
手術のみ	6.1	58.1	66.3	71.6	50.8	26.7	26.8	27.3	30.2	18.0	11.6	14.7	6.0	10.2
内視鏡のみ	92.8	20.6	—	—	0.0	0.0	0.1	—	—	—	—	—	—	—
手術＋内視鏡	0.6	11.6	0.4	0.4	—	—	0.5	2.5	0.2	—	—	—	0.0	0.0
放射線のみ	0.0	0.4	1.0	0.7	—	3.6	1.3	—	1.1	1.8	1.8	1.5	2.6	1.5
薬物療法のみ	—	0.7	1.5	0.7	1.6	10.0	3.1	1.2	1.8	7.3	34.7	29.0	46.7	33.8
放射線＋薬物	0.0	0.8	2.3	1.8	1.8	7.8	3.8	1.1	3.2	6.7	3.5	3.5	4.4	1.9
薬物＋その他	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	0.2	—	—	—
手術/内視鏡＋放射線	—	0.2	0.5	0.5	—	—	0.9	—	0.9	1.1	0.5	0.7	—	—
手術/内視鏡＋薬物	0.2	1.8	18.8	16.5	31.8	26.7	50.3	60.0	51.0	43.3	27.2	32.1	18.2	26.5
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	1.4	4.2	3.7	4.9	9.3	9.0	3.1	8.3	14.2	2.8	4.1	1.3	—
他の組み合わせ	—	—	—	—	—	—	0.2	—	—	—	0.4	0.3	—	—
治療なし	0.2	4.3	4.8	3.7	6.8	14.4	4.2	3.3	3.2	6.9	17.3	13.8	19.6	24.9
(内訳) 外科的治療	1.1	5.1	13.4	—	—	—	11.3	—	—	—	11.7	—	—	—
鏡視下治療	5.7	67.2	76.9	—	—	—	76.1	—	—	—	30.5	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-2③-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む）

総合ステージ	0期	I期	II期	IIIA	IIIB	IIIC	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	IVC	不明
全体	9,215 100.0	8,219 100.0	7,333 100.0	6,068 100.0	732 100.0	528 100.0	9,843 100.0	1,330 100.0	6,112 100.0	2,375 100.0	6,643 100.0	3,717 100.0	1,860 100.0	1,007 100.0
手術のみ	6.1	58.1	66.1	71.4	50.3	26.5	26.0	26.5	29.3	17.3	11.3	14.3	5.9	10.0
内視鏡のみ	92.7	20.2	—	—	0.0	0.0	0.1	—	—	—	—	—	0.0	—
手術＋内視鏡	0.6	11.9	0.4	0.5	—	—	0.4	2.3	0.2	—	—	—	0.0	0.0
放射線のみ	0.0	0.4	0.9	0.7	—	3.4	1.2	—	1.0	1.6	1.8	1.4	2.6	1.3
薬物療法のみ	—	0.6	1.4	0.6	1.6	9.5	2.9	1.2	1.6	7.0	34.3	28.6	46.3	33.8
放射線＋薬物	0.0	0.8	2.4	1.9	1.8	8.1	4.0	1.2	3.4	7.0	3.7	3.7	4.8	2.1
薬物＋その他	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	0.2	—	—	—
手術/内視鏡＋放射線	—	0.3	0.5	0.5	—	—	0.9	—	0.9	1.1	0.4	0.6	—	—
手術/内視鏡＋薬物	0.2	1.9	18.9	16.6	32.2	26.9	50.7	60.7	51.5	43.6	27.5	32.5	18.2	26.6
手術/内視鏡＋その他	—	0.1	—	—	—	0.0	—	0.0	—	—	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	1.4	4.4	3.8	4.9	9.7	9.4	3.4	8.6	14.8	2.9	4.4	1.5	—
他の組み合わせ	—	—	—	—	—	—	0.2	—	—	—	0.4	0.3	0.6	—
治療なし	0.2	4.3	4.8	3.7	6.8	14.4	4.1	3.3	3.1	6.8	17.3	13.8	19.6	24.9
(内訳) 外科的治療	1.1	5.2	13.4	—	—	—	11.4	—	—	—	11.8	—	—	—
鏡視下治療	5.8	67.4	77.0	—	—	—	76.2	—	—	—	30.6	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL: <https://jhc-rs.gan.joho.jp/hbortables/>）

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-2③-1(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）
(2020年-2022年)

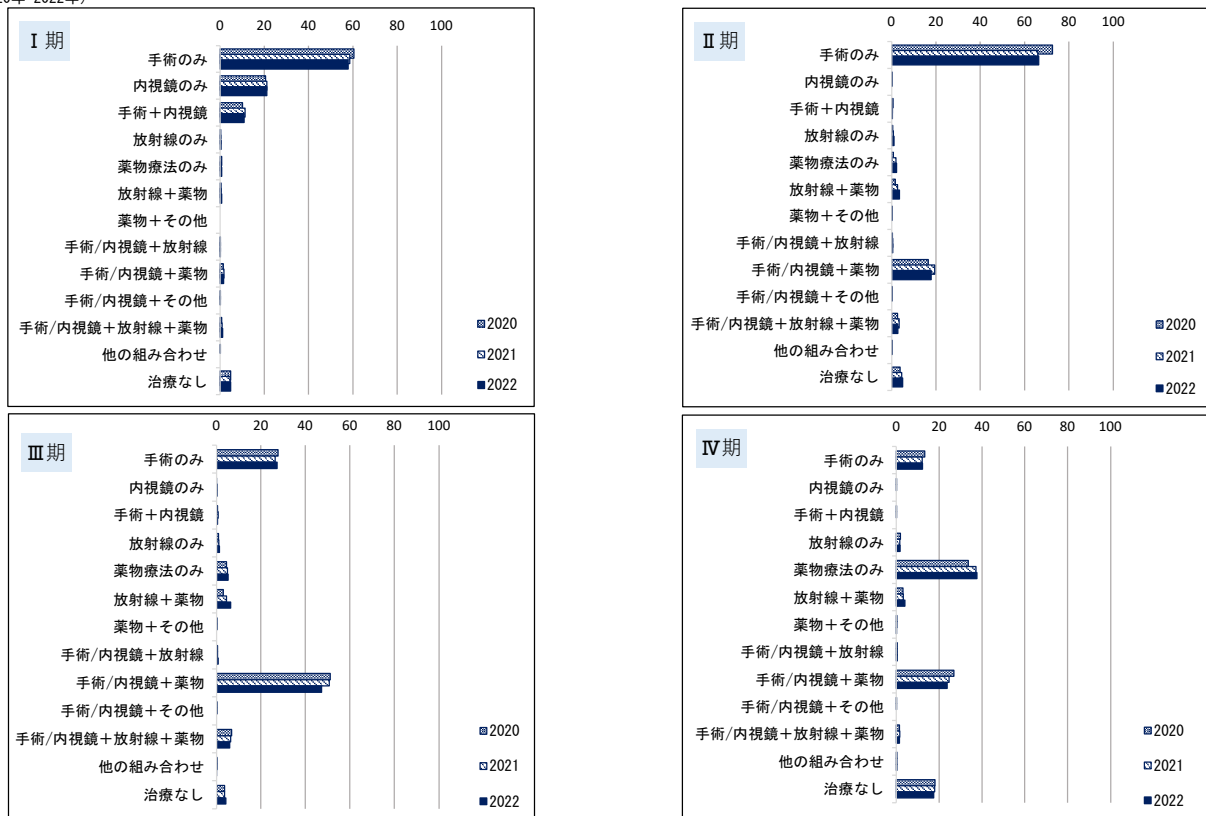
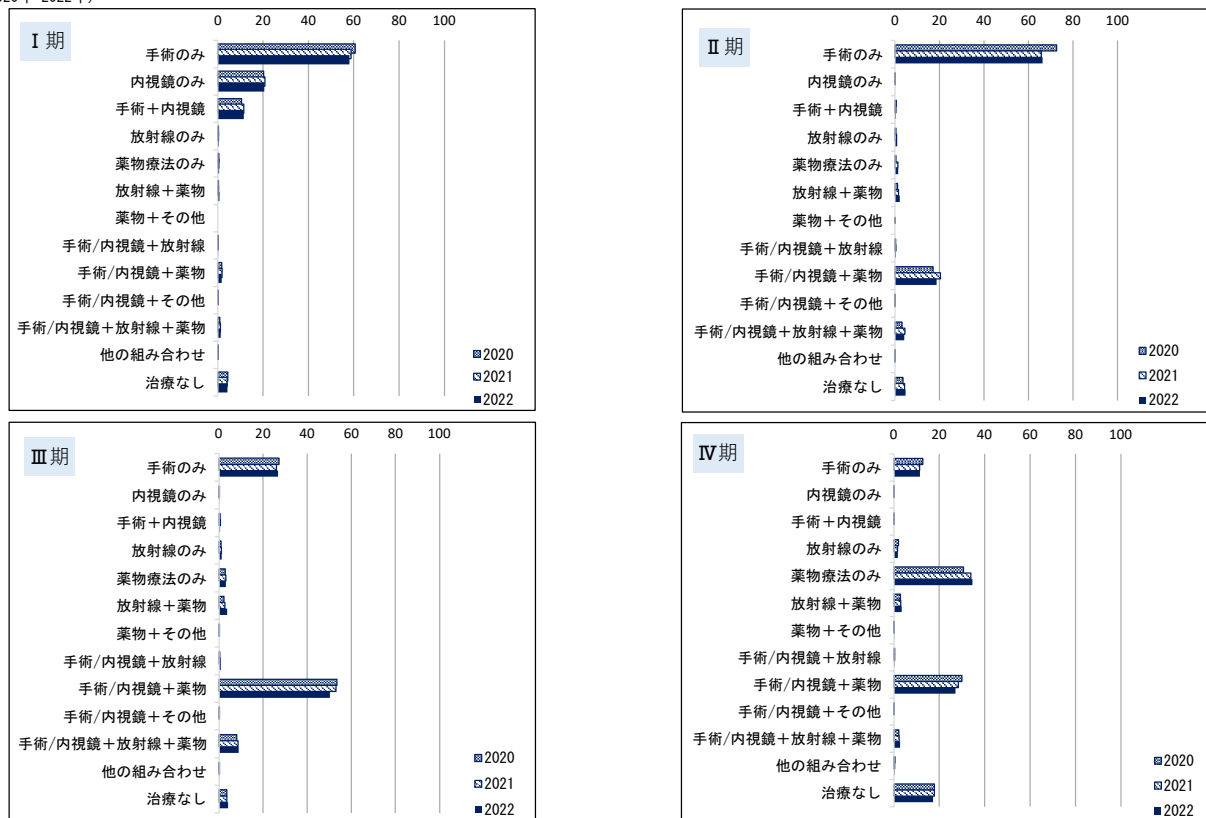


表4-2③-1(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）
(2020年-2022年)



3. 肝細胞がん（肝細胞癌）・肝内胆管がん（肝内胆管癌）

	全登録		症例区分80 その他を除く	初回治療開始例	治療前ステージ集計			術後病理学的ステージ集計		
	全登録数	施設数			対象数*1	%*2	施設数	対象数*1	%*2	施設数
2020	31,703	852	30,582	23,680	肝細胞癌	19,411	82.0	819	6,031	25.5
					肝内胆管癌	3,860	16.3	738	1,252	5.3
2021	31,741	863	30,647	23,816	肝細胞癌	19,296	81.0	831	6,089	25.6
					肝内胆管癌	4,119	17.3	738	1,466	6.2
2022	31,351	844	30,037	23,044	肝細胞癌	18,518	80.4	805	5,822	25.3
					肝内胆管癌	4,128	17.9	730	1,414	6.1

*1治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象数の定義は、集計方法を参照

*2分母は自施設初回治療開始例

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

肝細胞がん（肝細胞癌）

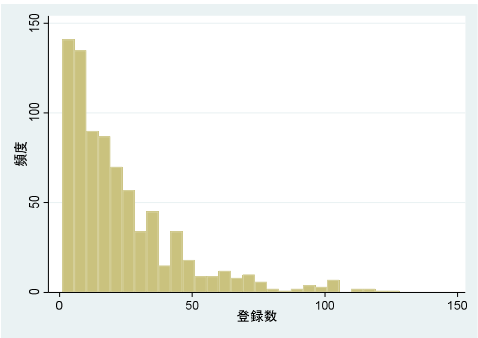
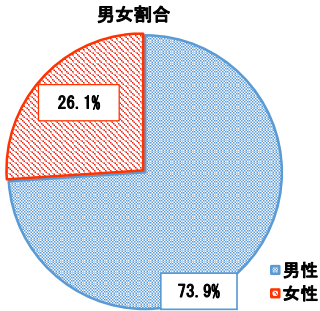
●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は16例で、最小登録数が1例、最大登録数が128例で2021年診断例とほぼ同様であった。

対象施設数	805
平均	23
最小値	1
中央値	16
最大値	128

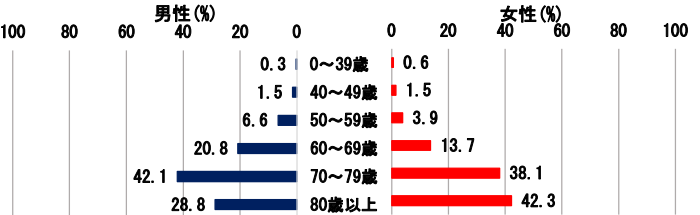
●性別

男性	13,692
女性	4,826
不明	-



●年齢

	平均	標準偏差	中央値
全体	74.7	9.9	75.4
拠点	74.4	9.8	75.1
拠点外	75.9	10.1	76.7



●UICC TNM病期分布

I期の割合が最も多く約50%程度を占める傾向は変わっていない。UICC TNM分類 第8版への改訂に従い、2020年からはIA・IB期の集計を行っている。

表4-3①-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	I期	IA	IB	II期	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明	その他	合計
2020	49.9	-	-	22.1	15.4	7.9	7.5	9.3	2.1	7.3	3.2	0.0	19,411
2021	49.9	19.7	30.2	22.1	15.2	7.7	7.5	9.4	2.1	7.3	3.4	0.0	19,296
2022	50.1	19.1	31.0	21.3	15.5	7.6	7.9	9.4	2.4	7.0	3.6	-	18,518

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-3①-2 取扱い規約分類ステージ別登録数の割合

	I期	II期	III期	IV期	IVA	IVB	不明	その他	合計
2020	21.0	38.9	22.0	14.9	7.9	7.0	3.2	0.1	19,411
2021	20.2	39.6	22.0	14.8	7.8	6.9	3.3	0.1	19,296
2022	19.5	40.1	22.0	14.6	7.9	6.6	3.7	0.1	18,518

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-3①-3 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	I期	IA	IB	II期	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	適用外等/ 術前治療後	不明	その他	合計
2020	57.4	-	-	27.3	8.3	5.3	3.0	1.3	0.3	1.0	5.3	-	0.3	6,031
2021	56.2	20.3	35.9	28.5	8.5	5.7	2.7	1.2	0.3	0.9	5.3	-	0.3	6,089
2022	56.0	19.0	37.0	28.7	8.2	5.7	2.5	1.0	0.2	0.8	5.4	-	0.7	5,822

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-3①-4 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

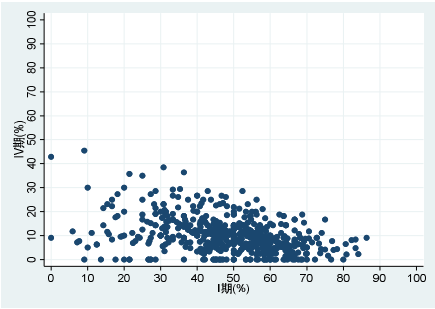
	I期	IA	IB	II期	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明	その他	合計
2020	47.8	-	-	24.7	15.6	8.1	7.5	9.4	2.0	7.4	2.5	0.0	19,411
2021	47.5	20.4	27.2	24.9	15.6	8.0	7.5	9.4	2.1	7.3	2.5	0.0	19,296
2022	49.5	19.5	27.9	26.0	16.2	7.9	7.9	9.8	2.3	7.1	2.6	0.0	18,518
男性	46.0	17.9	28.1	25.1	16.4	8.3	8.1	9.8	2.5	7.3	2.7	0.0	13,692
女性	51.5	24.3	27.2	22.7	14.1	6.7	7.4	8.5	2.1	6.5	3.2	0.0	4,826

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-3①-5 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布 (対象例10例以上の549施設)

	中央値	最小値	25%値	〈四分位範囲〉	75%値	最大値
I 期	50.0	0.0	39.4	19.2	58.6	86.4
II 期	20.0	0.0	15.0	12.3	27.3	68.2
III 期	15.0	0.0	9.1	12.2	21.3	48.4
IV 期	9.1	0.0	5.3	9.0	14.3	45.5

(参考) 施設毎の I 期と IV 期の割合の分布図



●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-3①-6(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）

総合ステージ	I期	IA	IB	II期	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明
全体	8,779 100.0	3,620 100.0	5,159 100.0	4,527 100.0	2,928 100.0	1,463 100.0	1,465 100.0	1,752 100.0	435 100.0	1,317 100.0	529 100.0
手術のみ	36.6	30.1	41.2	34.7	13.8	19.5	8.1	1.9	—	1.9	—
内視鏡のみ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
放射線のみ	4.6	2.9	5.8	1.5	2.6	2.1	3.2	5.2	—	6.5	2.5
薬物療法のみ	2.3	0.9	3.4	8.4	26.0	23.3	28.7	30.7	37.0	28.5	10.0
放射線＋薬物	—	—	—	—	1.2	—	2.1	5.2	—	6.5	—
薬物＋その他	21.4	20.2	22.2	30.0	20.6	26.5	14.8	8.4	11.3	7.4	13.2
手術／内視鏡＋放射線	—	0.0	—	—	—	—	0.0	—	0.0	—	0.0
手術／内視鏡＋薬物	0.3	—	0.4	0.6	1.4	1.4	1.3	1.3	—	1.4	—
手術／内視鏡＋その他	0.6	0.3	0.9	1.7	2.1	2.3	2.0	—	—	—	0.0
手術／内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0
他の組み合わせ	25.3	38.4	16.1	13.5	8.0	6.7	9.4	4.1	3.9	4.2	10.2
治療なし	8.8	7.0	10.1	9.3	24.1	17.8	30.3	42.9	42.1	43.2	62.2
（内訳）外科的治療	16.1	—	—	21.6	14.5	—	—	3.0	—	—	—
鏡視下治療	22.3	—	—	16.5	4.2	—	—	0.8	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-3①-6(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）

総合ステージ	I期	IA	IB	II期	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明
全体	8,779 100.0	3,620 100.0	5,159 100.0	4,527 100.0	2,928 100.0	1,463 100.0	1,465 100.0	1,752 100.0	435 100.0	1,317 100.0	529 100.0
手術のみ	36.9	30.5	41.4	34.9	13.7	19.3	8.1	1.8	—	1.8	—
内視鏡のみ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
放射線のみ	4.7	3.0	5.8	1.5	2.6	2.1	3.2	5.2	—	6.5	2.5
薬物療法のみ	2.3	0.9	3.3	8.4	25.8	23.0	28.5	30.7	36.8	28.7	9.8
放射線＋薬物	—	—	—	—	1.3	—	2.1	5.1	—	6.4	—
薬物＋その他	21.8	20.7	22.5	30.2	20.7	26.8	14.7	8.4	11.3	7.4	13.4
手術／内視鏡＋放射線	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	—	—	—	0.0
手術／内視鏡＋薬物	0.4	—	0.6	0.8	1.8	2.1	1.6	1.4	—	1.5	—
手術／内視鏡＋その他	0.6	0.3	0.8	1.7	2.0	2.1	2.0	—	—	—	0.0
手術／内視鏡＋放射線＋薬物	—	0.0	—	0.0	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0
他の組み合わせ	24.9	37.9	15.9	13.4	8.0	6.5	9.5	4.1	3.9	4.2	10.0
治療なし	8.4	6.5	9.7	9.0	23.9	17.5	30.2	42.8	41.8	43.1	62.2
（内訳）外科的治療	16.4	—	—	21.9	15.0	—	—	3.2	—	—	—
鏡視下治療	22.6	—	—	16.9	4.3	—	—	0.9	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-3①-6③ UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む**）

総合ステージ	I期	IA	IB	II期	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明
全体	8,779 100.0	3,620 100.0	5,159 100.0	4,527 100.0	2,928 100.0	1,463 100.0	1,465 100.0	1,752 100.0	435 100.0	1,317 100.0	529 100.0
手術のみ	36.8	30.4	41.4	34.9	13.7	19.3	8.1	1.7	—	1.7	—
内視鏡のみ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
手術＋内視鏡	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	4.7	3.0	5.9	1.5	2.6	2.1	3.1	5.4	—	6.7	2.5
薬物療法のみ	2.2	0.9	3.2	8.3	25.4	22.8	27.9	30.5	36.6	28.5	9.8
放射線＋薬物	—	—	—	—	1.6	—	2.7	5.3	—	6.5	—
薬物＋その他	21.7	20.7	22.4	30.0	20.8	26.6	14.9	8.4	11.5	7.4	13.2
手術／内視鏡＋放射線	—	—	—	—	—	—	0.0	—	—	—	0.0
手術／内視鏡＋薬物	0.4	—	0.6	0.8	1.8	2.1	1.6	1.5	—	1.6	—
手術／内視鏡＋その他	0.7	0.4	0.9	1.7	2.2	2.2	2.1	—	—	—	—
手術／内視鏡＋放射線＋薬物	—	0.0	—	0.0	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0
他の組み合わせ	25.0	38.0	16.0	13.6	8.1	6.8	9.4	4.3	3.9	4.5	10.0
治療なし	8.3	6.4	9.6	8.9	23.8	17.5	30.2	42.4	41.6	42.7	62.2
（内訳）外科的治療	16.4	—	—	21.9	15.2	—	—	3.2	—	—	—
鏡視下治療	22.6	—	—	16.9	4.3	—	—	0.9	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL：<https://jhcr-cs.ganjocho.jp/hbortables/>）

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-3①-1 (1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）
(2020年-2022年)

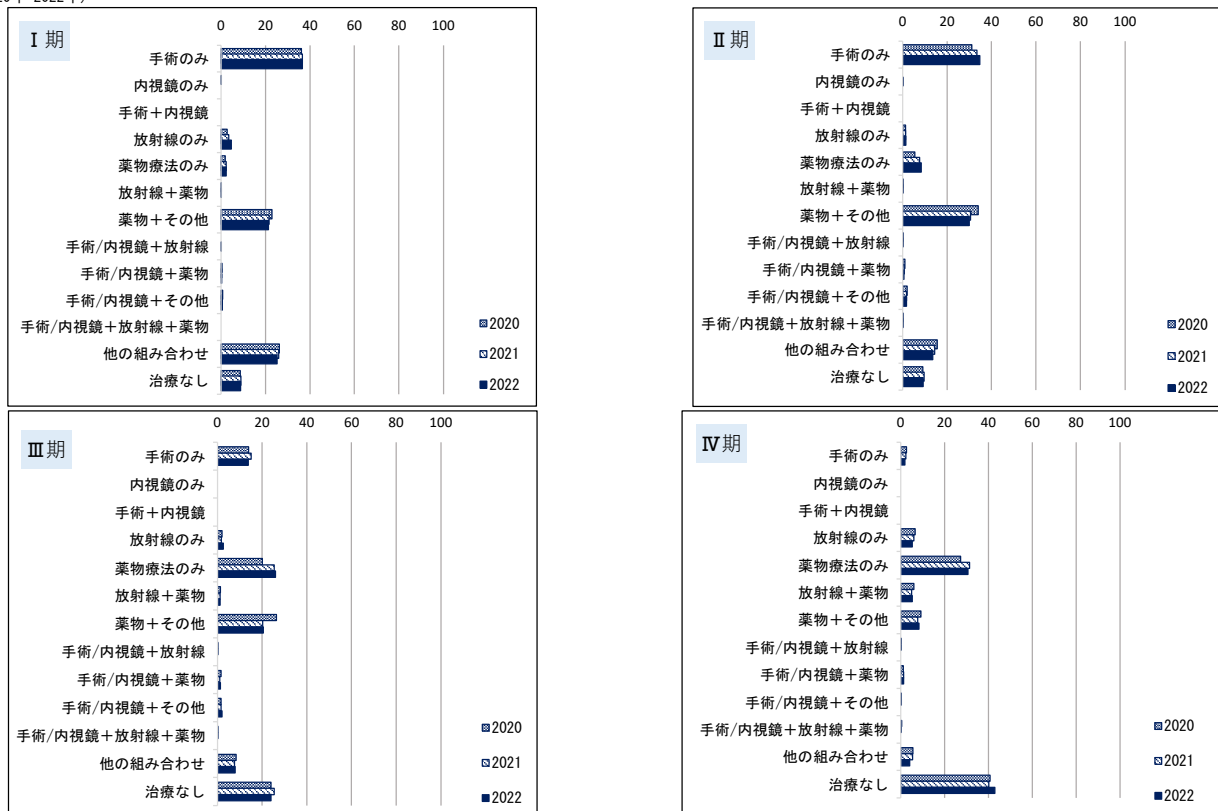
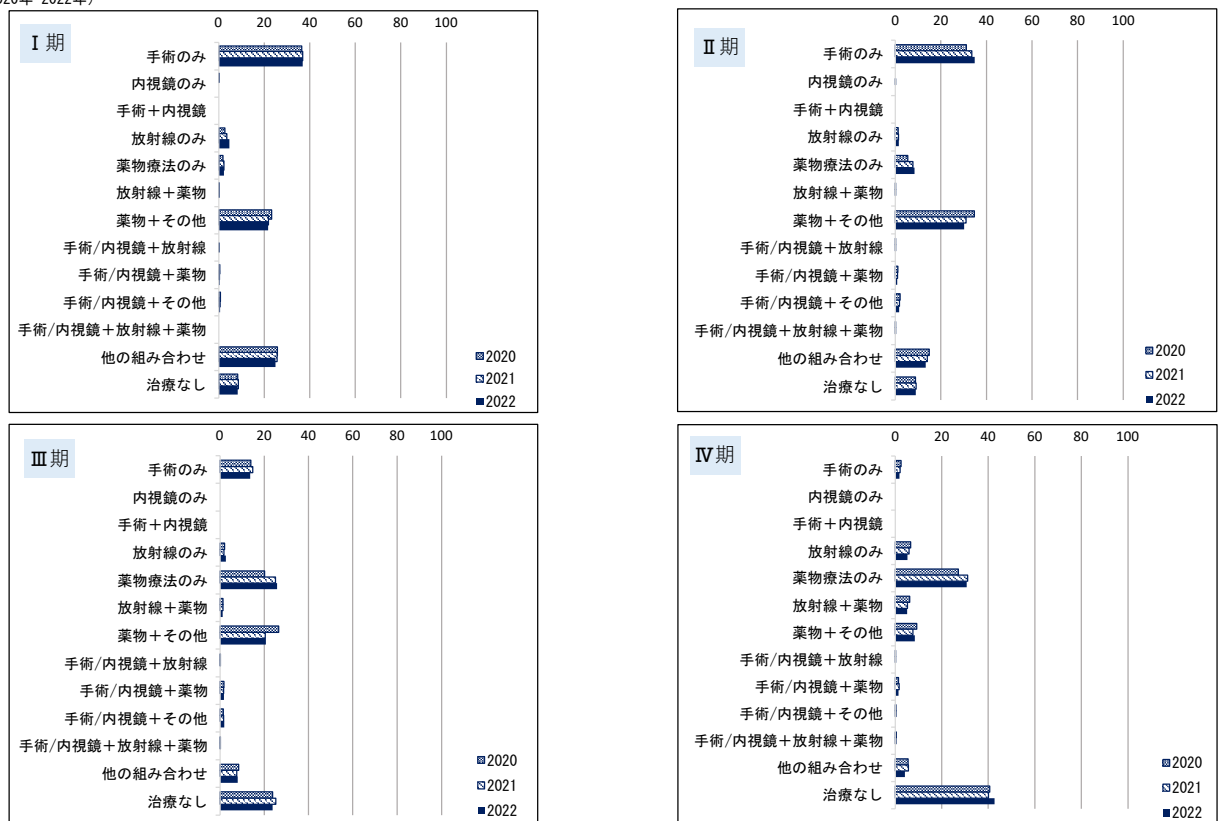


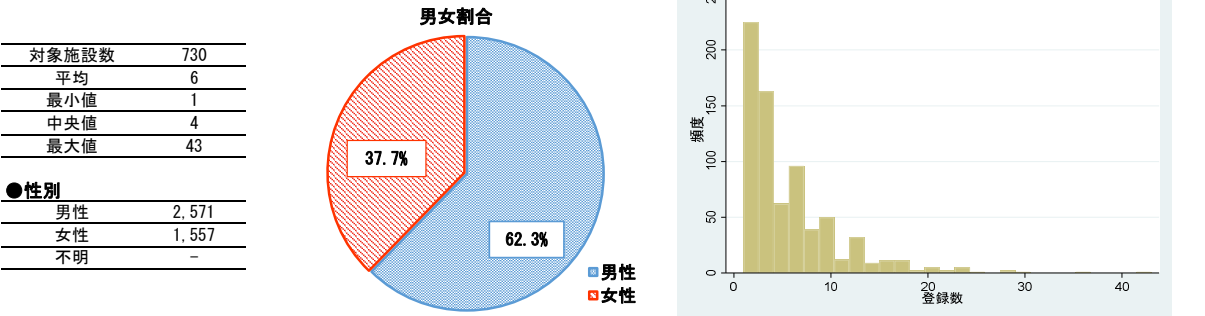
表4-3①-1 (2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）
(2020年-2022年)



肝内胆管がん（肝内胆管癌）

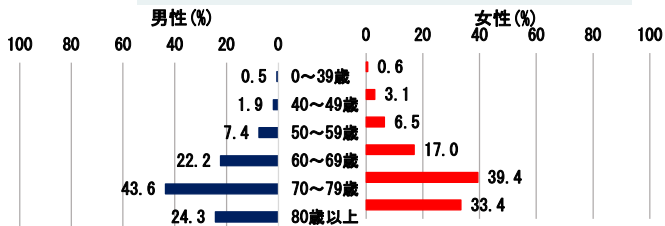
●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は4例で、最小登録数が1例、最大登録数が43例で2021年診断例とほぼ同様であった。



●年齢

	平均	標準偏差	中央値
全体	73.7	10.5	74.7
拠点	73.0	10.5	74.2
拠点外	75.9	10.2	77.0



●UICC TNM病期分布

表4-3②-4より男女別にみると、男性はI期18.0%、IV期35.6%、女性はI期16.5%、IV期36.7%であり、女性の方が進行した状態での登録が若干多い傾向にあるが、女性の方がより高齢での登録が多いことを留意すべきである。

表4-3②-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	0期	1期	1A	1B	11期	111期	111A	111B	1V期	不明	該当無	合計
2020	0.3	19.3	14.6	4.1	14.8	18.6	1.7	16.9	38.8	7.7	0.4	3,860
2021	0.5	20.1	15.6	4.1	17.7	17.2	1.6	15.6	36.0	8.2	0.4	4,119
2022	0.4	21.3	16.6	4.6	16.0	18.0	2.3	15.7	35.2	8.8	-	4,128

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-3②-2 取扱い規約分類ステージ別登録数の割合

	0期	I期	II期	III期	IV期	IVA	IVB	不明	その他	合計
2020	0.2	6.0	15.2	14.2	50.5	15.4	34.0	10.2	3.7	3,860
2021	0.4	5.9	17.9	14.5	47.6	14.2	32.4	9.7	4.0	4,119
2022	0.3	5.2	18.9	14.9	45.9	14.8	29.8	10.5	4.2	4,128

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-3②-3 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	0期	I期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IV期	適用外等/ 術前治療後	不明	該当無	合計
2020	2.4	30.5	23.4	6.7	36.3	20.8	3.9	0.0	3.4	1.1	0.5	1,252
2021	2.4	29.7	24.8	4.4	40.4	17.0	2.9	14.1	4.4	5.0	0.7	1,466
2022	2.3	33.3	28.4	4.7	36.6	17.5	4.8	12.7	3.7	6.0	-	1,414

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-3②-4 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

	0期	1期	1A	1B	11期	111期	111A	111B	1V期	不明	該当無	合計
2020	0.8	15.3	11.4	3.5	19.3	20.4	2.0	18.4	39.8	4.0	0.4	3,860
2021	1.0	16.0	12.6	3.0	22.7	19.4	1.9	17.5	36.9	3.6	0.4	4,119
2022	0.8	17.5	13.6	3.7	21.1	20.3	2.6	17.7	36.0	4.2	-	4,128
男性	0.6	18.0	14.4	3.6	21.7	19.8	2.6	17.2	35.6	4.0	-	2,571
女性	1.2	16.5	12.4	4.0	20.0	21.0	2.5	18.5	36.7	4.4	-	1,557

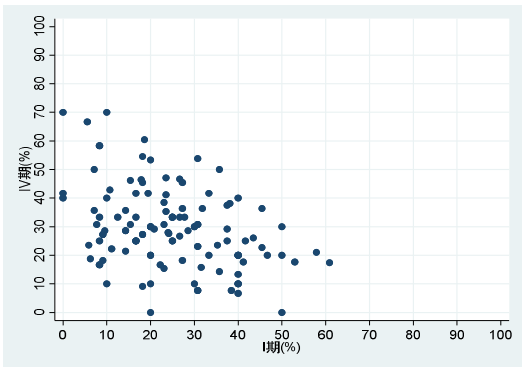
亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-3②-5 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布

	中央値	最小値	25%値	(四分位範囲)	75%値	最大値
0期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
I期	23.5	0.0	15.4	17.9	33.3	60.9
II期	16.7	0.0	10.0	15.0	25.0	60.0
III期	16.7	0.0	9.1	14.4	23.5	45.5
IV期	28.6	0.0	20.0	16.4	36.4	70.0

(対象例10例以上の117施設)

(参考) 施設毎のI期とIV期の割合の分布図



●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-3②-6(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）

総合ステージ	I期	IA	IB	II期	III期	IIIA	IIIB	IV期	不明
全体	721 100.0	562 100.0	154 100.0	869 100.0	836 100.0	107 100.0	729 100.0	1,488 100.0	172 100.0
手術のみ	53.8	58.2	37.0	40.9	14.4	35.5	11.2	1.3	—
内視鏡のみ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	—	—	—	—
放射線のみ	5.5	5.5	—	1.3	1.8	0.0	2.1	4.0	—
薬物療法のみ	7.2	5.2	14.9	18.6	38.0	17.8	41.0	51.1	21.5
放射線＋薬物	—	0.0	—	—	—	0.0	—	3.8	0.0
薬物＋その他	—	—	—	1.2	—	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋薬物	12.9	14.2	8.4	18.9	16.6	29.0	14.8	1.9	—
手術/内視鏡＋その他	—	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	—	—	0.0	—	0.0	—	—	0.0
他の組み合わせ	2.8	2.8	—	1.4	—	—	—	—	—
治療なし	16.0	12.8	27.3	16.7	26.0	12.1	28.0	36.4	70.3
（内訳）外科的治療	36.5	-	-	40.4	28.1	-	-	3.0	—
鏡視下治療	31.3			20.8	4.2			0.7	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-3②-6(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）

総合ステージ	I期	IA	IB	II期	III期	IIIA	IIIB	IV期	不明
全体	721 100.0	562 100.0	154 100.0	869 100.0	836 100.0	107 100.0	729 100.0	1,488 100.0	172 100.0
手術のみ	53.8	58.5	35.7	39.4	13.6	34.6	10.6	1.3	—
内視鏡のみ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	—	—	—	—
放射線のみ	5.5	5.5	—	1.3	1.8	0.0	2.1	3.9	—
薬物療法のみ	7.2	5.2	14.9	18.0	36.8	17.8	39.6	50.5	20.9
放射線＋薬物	—	0.0	—	—	—	0.0	—	3.9	0.0
薬物＋その他	—	—	—	1.2	—	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋薬物	13.3	14.4	9.7	21.1	18.5	30.8	16.7	2.5	—
手術/内視鏡＋その他	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	—	—	—	—	0.0	—	—	0.0
他の組み合わせ	2.9	3.0	—	1.4	—	—	—	—	—
治療なし	15.5	12.3	27.3	16.5	25.7	11.2	27.8	36.4	70.3
（内訳）外科的治療	36.5	-	-	41.2	29.3	-	-	3.5	—
鏡視下治療	31.8			20.9	4.3			0.7	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-3②-6(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む**）

総合ステージ	I期	IA	IB	II期	III期	IIIA	IIIB	IV期	不明
全体	721 100.0	562 100.0	154 100.0	869 100.0	836 100.0	107 100.0	729 100.0	1,488 100.0	172 100.0
手術のみ	53.3	58.0	35.1	39.4	12.7	34.6	9.5	1.3	—
内視鏡のみ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	—	—	—	—
放射線のみ	5.7	5.7	—	1.4	1.8	0.0	2.1	3.8	—
薬物療法のみ	6.8	5.0	13.6	17.6	36.6	17.8	39.4	50.3	21.5
放射線＋薬物	—	0.0	—	—	—	0.0	—	4.3	0.0
薬物＋その他	—	—	—	1.2	—	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋薬物	13.9	14.9	10.4	21.2	19.3	30.8	17.6	2.6	—
手術/内視鏡＋その他	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	—	—	—	—	0.0	—	—	0.0
他の組み合わせ	3.1	3.2	—	1.4	—	—	—	0.7	—
治療なし	15.4	12.1	27.3	16.3	25.7	11.2	27.8	36.2	69.8
（内訳）外科的治療	36.6	-	-	41.3	29.3	-	-	3.5	—
鏡視下治療	31.8			20.9	4.3			0.7	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL: <https://jhor-cs.ganjocho.jp/hbortables/>）

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-3②-1 (1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）
（2020年-2022年）

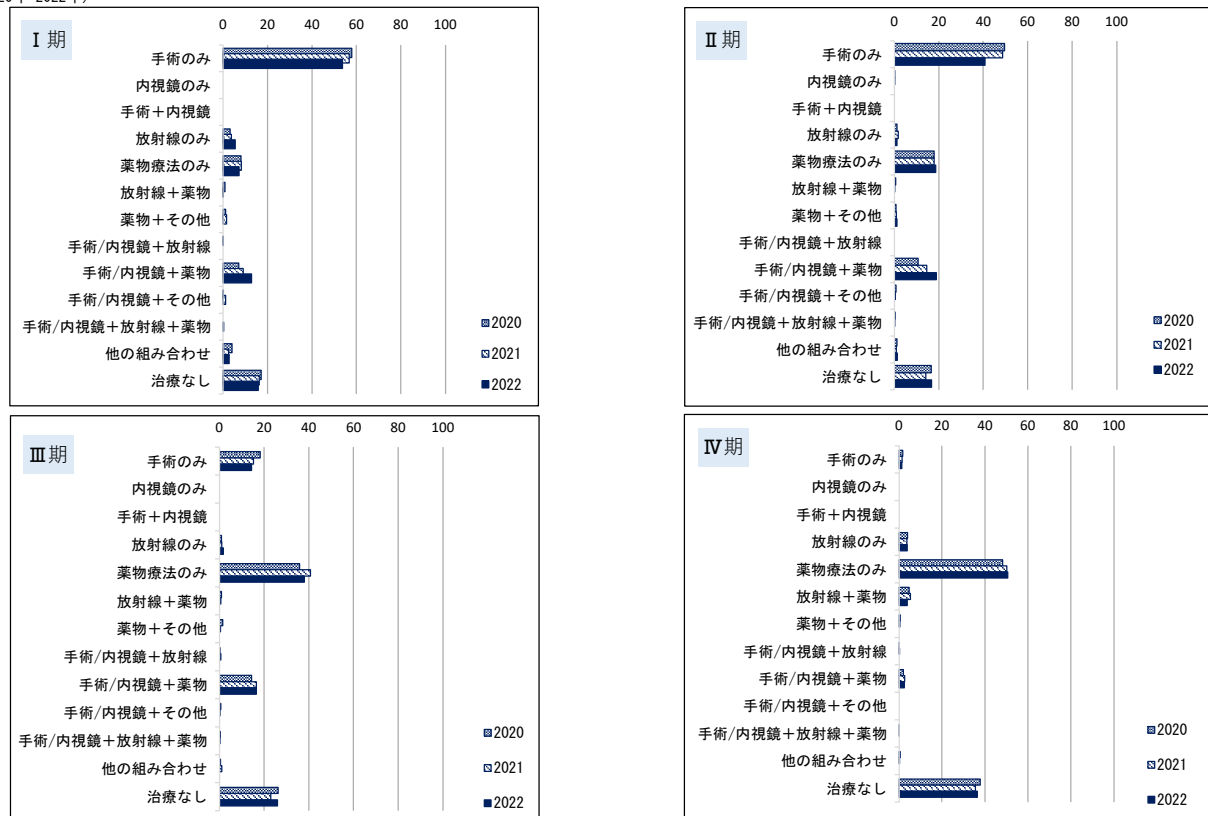
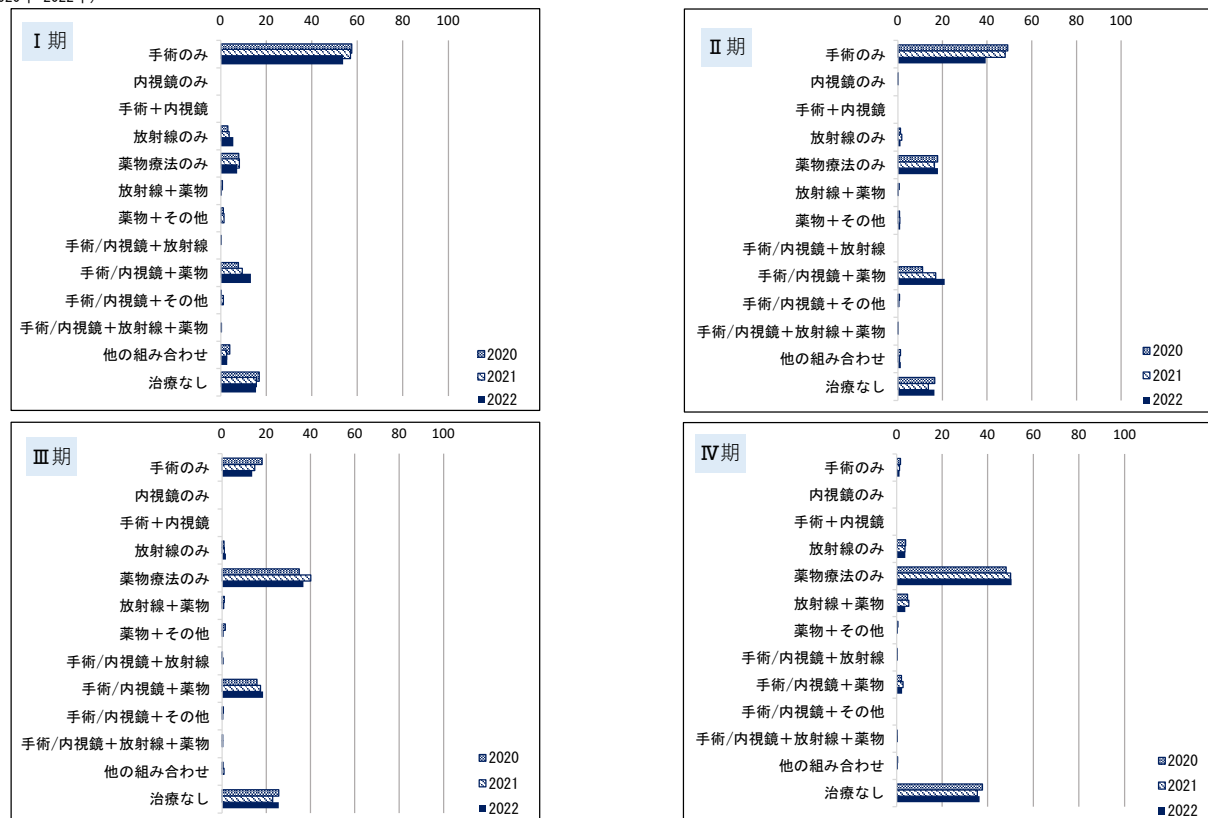


表4-3②-1 (2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）
（2020年-2022年）



4. 小細胞肺がん（小細胞肺癌）・非小細胞肺がん（非小細胞肺癌）

	全登録		症例区分80 その他を除く	初回治療開始 例	治療前ステージ集計			術後病理学的ステージ集計		
	全登録数	施設数			対象数*1	%*2	施設数	対象数*1	%*2	施設数
2020	120,330	854	117,522	95,351	小細胞癌	8,177	8.6	718	928	1.0
					非小細胞癌	86,101	90.3	851	41,404	43.4
2021	125,336	862	122,422	99,345	小細胞癌	8,255	8.3	728	977	1.0
					非小細胞癌	89,932	90.5	854	43,739	44.0
2022	123,886	845	121,098	98,491	小細胞癌	8,080	8.2	710	885	0.9
					非小細胞癌	89,383	90.8	837	43,560	44.2

*1治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象数の定義は、集計方法を参照

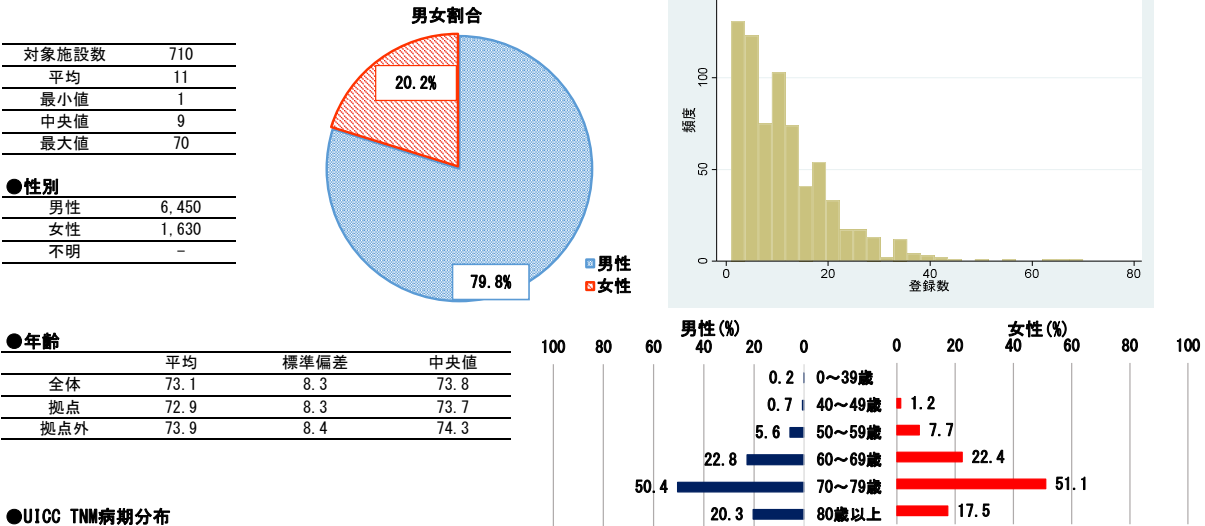
*2分母は自施設初回治療開始例

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

小細胞肺がん（小細胞肺癌）

●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は9例で、最小登録数が1例、最大登録数が70例で2021年診断例とほぼ同様であった。



●UICC TNM病期分布

術後病理学的ステージ別とその他の基準でのステージ別割合に大きく差があるが、術後病理学的は全体の1割程度しか集計対象としておらず、集計対象上の違いがあることに留意する必要がある。

表4-4①-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	潜伏がん	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明	該当無	合計
2020	0.0	0.0	8.9	6.9	2.1	6.0	0.6	5.4	25.0	10.2	10.1	4.7	57.6	23.0	34.4	2.5	0.0	8,177
2021	0.0	0.0	8.9	7.1	1.8	6.0	0.6	5.4	23.5	10.1	9.3	4.1	58.8	23.9	34.8	2.7	0.0	8,255
2022	-	0.0	8.8	7.1	1.7	6.1	0.5	5.5	23.1	9.8	8.9	4.5	59.4	22.7	36.6	2.6	0.0	8,077

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-4①-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	潜伏がん	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	適用外等/ 術前治療後	不明	該当無	合計
2020	0.0	0.0	51.7	32.1	19.6	18.9	1.9	16.9	15.3	12.0	3.3	0.0	11.2	0.0	0.0	2.0	0.9	0.0	928
2021	0.0	0.0	50.9	31.5	19.3	18.6	2.5	16.2	16.1	13.8	2.3	0.0	12.6	7.8	4.8	1.2	0.5	0.1	977
2022	-	0.0	51.8	31.7	20.1	22.2	2.6	19.6	12.2	10.4	1.8	0.0	10.5	6.2	4.3	1.8	1.5	0.0	884

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-4①-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

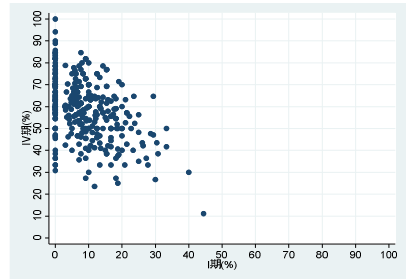
	潜伏がん	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明	該当無	合計
2020	0.0	0.0	7.7	4.7	2.9	6.6	0.6	6.0	25.8	10.8	10.2	4.7	58.0	23.4	34.5	1.9	0.0	8,177
2021	0.0	0.0	7.9	4.9	3.0	6.5	0.6	5.9	24.4	10.9	9.4	4.1	59.4	24.4	34.8	1.8	0.0	8,255
2022	-	0.0	7.5	4.7	2.8	6.9	0.5	6.3	23.8	10.4	8.9	4.5	59.9	23.1	36.7	1.9	0.0	8,079
男性	0.0	0.0	7.9	4.9	3.0	7.2	-	6.7	22.9	10.2	8.4	4.2	60.3	23.2	37.0	1.7	0.0	6,450
女性	-	0.0	6.0	4.2	1.8	5.3	-	5.0	27.6	11.2	10.7	5.6	58.5	22.8	35.4	2.6	0.0	1,629

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-4①-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布 (対象例10例以上の347施設)

	中央値	最小値	25%値	(四分位範囲)	75%値	最大値
0期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
I期	7.7	0.0	0.0	13.6	13.6	44.4
II期	5.9	0.0	0.0	10.0	10.0	28.6
III期	23.1	0.0	16.7	13.3	30.0	54.5
IV期	59.5	11.1	50.0	19.2	69.2	100.0

(参考) 施設毎のI期とIV期の割合の分布図



院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-4①-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）

総合ステージ	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明
全体	606 100.0	382 100.0	224 100.0	554 100.0	41 100.0	513 100.0	1,924 100.0	842 100.0	719 100.0	363 100.0	4,841 100.0	1,866 100.0	2,966 100.0	154 100.0
手術のみ	37.0	35.9	38.8	14.3	36.6	12.5	2.0	3.8	—	0.0	0.5	0.8	0.3	—
内視鏡のみ	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
放射線のみ	7.1	9.2	—	2.9	—	2.7	2.2	2.5	1.8	—	3.3	1.9	4.2	—
薬物療法のみ	5.9	6.0	5.8	17.5	—	18.1	38.3	29.8	42.0	50.4	66.7	68.7	65.4	35.1
放射線＋薬物	6.3	6.5	5.8	39.5	26.8	40.5	48.4	52.3	47.8	40.5	13.5	7.6	17.3	35.1
薬物＋その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	38.1	37.4	39.3	19.3	—	19.3	3.1	6.2	—	0.0	1.0	1.9	0.4	—
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	—	—	2.0	0.0	2.1	0.5	—	—	0.0	0.5	—	0.6	0.0
他の組み合わせ	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0	—	—	—	—
治療なし	5.0	4.5	5.8	4.0	—	4.1	5.5	4.5	5.8	6.9	14.2	18.4	11.5	21.4
（内訳）外科的治療	6.1	-		6.3	-		1.5	-		-	1.3	-		—
鏡視下治療	69.5	-		29.6	-		4.1	-		-	0.8	-		—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-4①-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）

総合ステージ	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明
全体	606 100.0	382 100.0	224 100.0	554 100.0	41 100.0	513 100.0	1,924 100.0	842 100.0	719 100.0	363 100.0	4,841 100.0	1,866 100.0	2,966 100.0	154 100.0
手術のみ	36.0	35.3	37.1	14.3	36.6	12.5	1.9	3.8	—	0.0	0.5	0.8	0.3	—
内視鏡のみ	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
放射線のみ	6.9	8.9	—	2.9	—	2.9	2.1	2.4	1.8	—	3.3	1.9	4.2	—
薬物療法のみ	5.4	5.5	5.4	16.1	—	16.8	37.5	28.7	41.4	49.9	65.5	67.4	64.3	35.1
放射線＋薬物	6.9	7.3	6.3	40.6	31.7	41.3	49.2	53.3	48.3	41.3	14.7	9.0	18.4	35.1
薬物＋その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	38.9	38.0	40.6	19.3	—	19.3	3.1	5.9	—	0.0	1.0	1.9	0.4	—
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	—	—	2.7	0.0	2.9	0.8	1.4	—	0.0	0.5	—	0.6	0.0
他の組み合わせ	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0	—	—	—	—
治療なし	4.5	4.2	4.9	3.6	—	3.7	5.4	4.4	5.8	6.6	14.1	18.2	11.5	21.4
（内訳）外科的治療	6.1	-		6.7	-		1.5	-		-	1.3	-		—
鏡視下治療	70.0	-		30.0	-		4.3	-		-	0.8	-		—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-4①-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む**）

総合ステージ	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明
全体	606 100.0	382 100.0	224 100.0	554 100.0	41 100.0	513 100.0	1,924 100.0	842 100.0	719 100.0	363 100.0	4,841 100.0	1,866 100.0	2,966 100.0	154 100.0
手術のみ	35.0	34.6	35.7	13.7	34.1	12.1	1.9	3.7	—	0.0	0.5	0.8	0.4	—
内視鏡のみ	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
放射線のみ	7.3	9.2	—	2.9	—	2.9	2.1	2.4	1.8	—	3.3	1.9	4.1	—
薬物療法のみ	5.3	5.2	5.4	15.5	—	16.2	36.8	28.3	40.3	49.6	64.7	66.9	63.4	35.1
放射線＋薬物	6.9	7.3	6.3	41.2	31.7	41.9	49.7	53.6	49.2	41.6	15.6	9.5	19.4	35.7
薬物＋その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	—	—	0.0	0.0	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	40.1	39.0	42.0	19.9	—	19.7	3.2	6.2	—	0.0	0.9	1.8	0.4	—
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	—	—	2.7	0.0	2.9	0.8	1.4	—	0.0	0.6	—	0.7	0.0
他の組み合わせ	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0	—	—	—	—
治療なし	4.1	3.9	4.5	3.6	—	3.7	5.4	4.4	5.8	6.6	14.0	18.2	11.4	20.8
（内訳）外科的治療	6.1	-		6.7	-		1.6	-		-	1.3	-		—
鏡視下治療	70.1	-		30.0	-		4.3	-		-	0.8	-		—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL: <https://jhcr-cs.ganjoho.jp/hbortables/>）

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-4①-1 (1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）
(2020年-2022年)

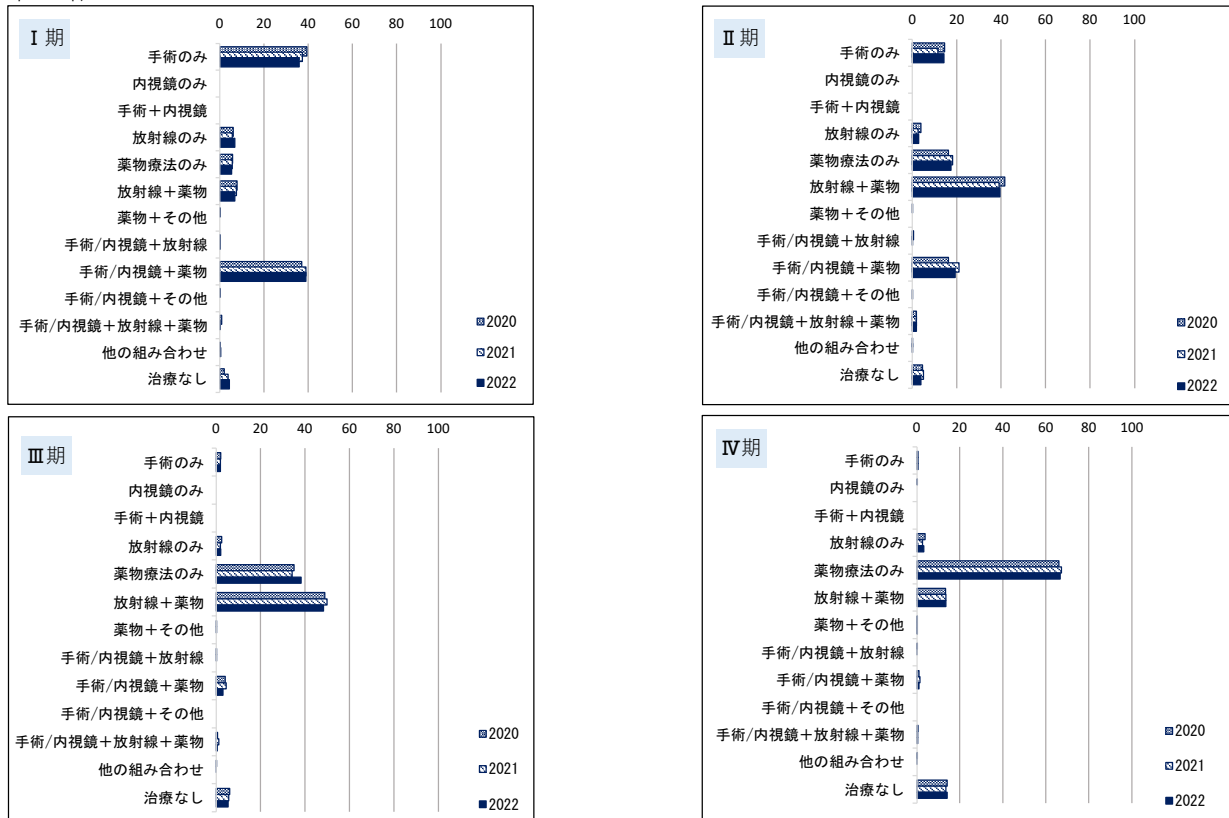
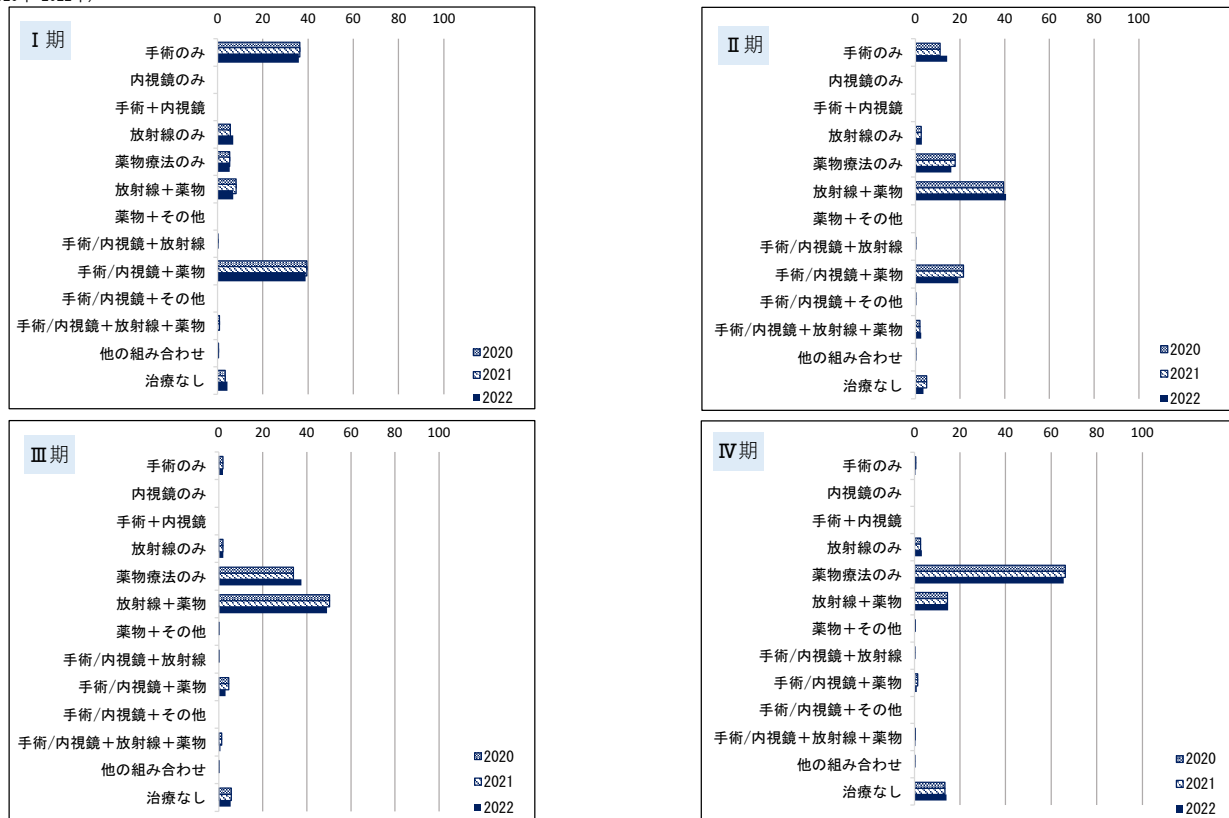


表4-4①-1 (2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）
(2020年-2022年)



非小細胞肺がん（非小細胞肺癌）

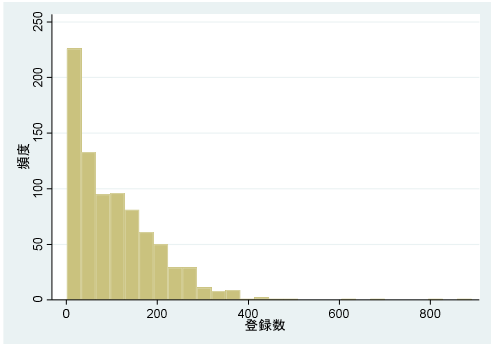
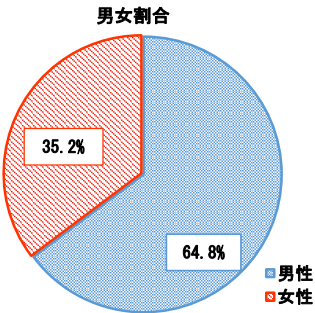
●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数を見ると、1施設当たりの登録数の中央値が84例で、最小登録数が1例、最大登録数が890例で2021年診断例とほぼ同様であった。

対象施設数	837
平均	107
最小値	1
中央値	84
最大値	890

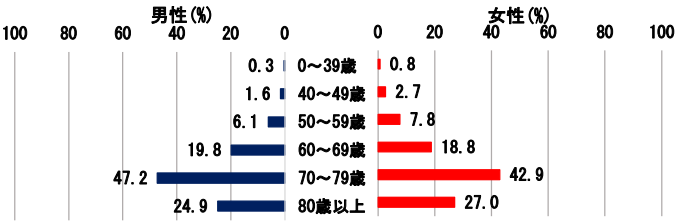
●性別

男性	57,885
女性	31,498
不明	-



●年齢

	平均	標準偏差	中央値
全体	73.7	9.8	74.5
拠点	73.2	9.8	74.3
拠点外	75.1	9.9	75.6



●UICC TNM病期分布

表4-4②-3より男女別にみると、男性は0/I期40.2%、IV期31.0%、女性は0/I期54.7%、IV期26.9%であり、男性の方が進行した状態での登録が若干多い傾向にある。

表4-4②-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	潜伏がん	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明	該当無	合計
2020	0.1	2.1	41.5	34.9	6.5	7.6	1.9	5.7	14.0	7.1	5.2	1.7	30.0	15.3	14.6	4.8	0.0	86,101
2021	0.1	2.2	42.7	35.9	6.8	7.5	2.0	5.5	13.4	6.9	4.8	1.7	29.4	14.9	14.4	4.7	0.1	89,932
2022	0.1	2.3	43.1	36.6	6.6	7.6	2.1	5.6	13.3	6.9	4.7	1.7	28.9	14.2	14.7	4.7	0.0	89,302

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-4②-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	潜伏がん	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	適用外等/ 術前治療後	不明	該当無	合計
2020	0.0	7.7	66.9	53.2	13.7	11.5	2.5	9.0	9.1	7.4	1.6	0.0	3.1	0.0	0.0	1.5	0.2	0.0	41,404
2021	0.0	7.7	67.5	53.8	13.7	11.3	2.6	8.7	8.7	7.1	1.5	0.0	3.1	2.3	0.9	1.4	0.2	0.0	43,739
2022	-	7.5	68.2	54.5	13.7	11.2	2.6	8.5	8.8	7.2	1.5	-	3.0	2.1	0.8	1.1	0.2	0.0	43,558

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-4②-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

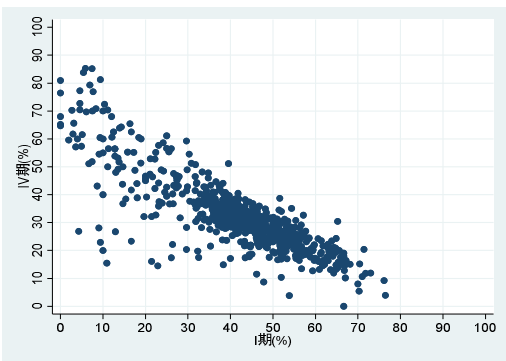
	潜伏がん	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明	該当無	合計
2020	-	3.7	39.5	31.4	8.1	8.1	1.7	6.4	15.8	8.5	5.6	1.7	30.6	15.9	14.6	2.2	0.0	86,101
2021	0.0	3.7	41.3	33.1	8.2	8.0	1.8	6.1	15.0	8.2	5.1	1.7	29.3	14.6	14.6	2.0	0.0	89,932
2022	0.0	3.7	41.6	33.3	8.3	8.0	1.9	6.2	15.1	8.3	5.1	1.7	29.5	14.7	14.7	2.0	0.0	89,346
男性	0.0	2.2	38.0	29.2	8.8	9.1	2.1	7.0	17.6	9.4	6.0	2.1	31.0	15.4	15.4	2.2	0.0	57,861
女性	0.0	6.5	48.2	40.9	7.3	6.0	1.4	4.6	10.6	6.2	3.4	1.0	26.9	13.5	13.4	1.7	0.0	31,485

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-4②-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布 (対象例20例以上の665施設)

	中央値	最小値	25%値	(四分位範囲)	75%値	最大値
0期	1.0	0.0	0.0		3.0	19.3
I期	41.7	0.0	33.3		48.6	75.5
II期	7.3	0.0	5.2		9.4	23.3
III期	13.3	0.0	10.3		16.4	35.3
IV期	30.3	0.0	23.5		37.0	85.3

(参考) 施設毎の0/I期とIV期の割合の分布図



●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-4②-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）

	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明
全体	3,338 100.0	37,152 100.0	29,755 100.0	7,397 100.0	7,155 100.0	1,653 100.0	5,502 100.0	13,509 100.0	7,404 100.0	4,583 100.0	1,522 100.0	26,388 100.0	13,175 100.0	13,131 100.0	1,804 100.0
手術のみ	95.5	68.9	72.1	56.0	41.7	47.5	39.9	13.6	20.7	6.6	—	1.6	2.6	0.6	1.2
内視鏡のみ	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
手術＋内視鏡	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
放射線のみ	0.6	11.4	11.9	9.4	10.4	11.7	10.1	7.0	7.2	6.4	7.5	9.4	5.3	13.6	10.1
薬物療法のみ	—	0.8	0.6	1.4	4.0	3.2	4.2	18.1	11.2	23.3	35.3	44.4	48.6	40.5	8.4
放射線＋薬物	0.0	0.2	0.1	0.5	4.5	1.8	5.3	29.7	22.8	38.0	38.1	12.7	6.2	19.4	5.5
薬物＋その他	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.1	—	—	—	0.1	0.1	0.1	0.0
手術/内視鏡＋放射線	—	0.1	0.1	0.1	1.0	—	1.3	0.5	0.7	0.2	0.0	0.4	0.3	0.4	—
手術/内視鏡＋薬物	0.8	10.1	6.6	24.0	25.3	21.3	26.5	14.0	21.4	6.7	—	2.4	3.7	1.0	0.7
手術/内視鏡＋その他	—	0.0	—	—	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	0.0	—	—	1.2	—	1.5	2.1	2.5	2.1	—	0.6	0.5	0.8	0.0
他の組み合わせ	—	0.2	0.2	—	0.2	—	—	0.2	0.2	0.3	—	0.2	0.3	0.2	0.6
治療なし	2.7	8.3	8.4	8.3	11.7	14.0	11.0	14.8	13.3	16.3	17.5	28.0	32.4	23.4	73.3
（内訳）外科的治療	3.3	4.6	—	—	15.2	—	—	8.7	—	—	—	2.2	—	—	—
鏡視下治療	93.0	74.5	—	—	54.0	—	—	21.4	—	—	—	2.8	—	—	1.6

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-4②-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明
全体	3,338 100.0	37,152 100.0	29,755 100.0	7,397 100.0	7,155 100.0	1,653 100.0	5,502 100.0	13,509 100.0	7,404 100.0	4,583 100.0	1,522 100.0	26,388 100.0	13,175 100.0	13,131 100.0	1,804 100.0
手術のみ	97.3	69.4	72.9	55.7	40.9	47.0	39.0	13.1	19.9	6.3	—	1.5	2.3	0.6	1.2
内視鏡のみ	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
手術＋内視鏡	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
放射線のみ	0.6	11.7	12.2	9.6	10.5	11.8	10.1	6.9	7.2	6.3	7.4	9.5	5.3	13.6	10.2
薬物療法のみ	—	0.8	0.6	1.5	4.0	3.2	4.2	17.9	11.1	23.2	35.2	44.3	48.5	40.2	8.3
放射線＋薬物	0.0	0.2	0.2	0.5	4.6	1.8	5.4	29.9	23.0	38.2	38.4	13.0	6.3	19.8	5.6
薬物＋その他	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	0.1	0.1	0.1	0.0
手術/内視鏡＋放射線	—	0.1	0.1	0.2	1.0	—	1.3	0.4	0.6	0.2	0.0	0.4	0.4	0.5	—
手術/内視鏡＋薬物	0.8	10.5	6.9	24.8	26.3	22.1	27.5	14.7	22.3	7.2	—	2.5	4.0	1.1	0.8
手術/内視鏡＋その他	—	0.0	—	—	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	0.1	—	0.1	1.3	—	1.7	2.3	2.7	2.2	—	0.7	0.6	0.8	0.0
他の組み合わせ	—	0.2	0.2	—	0.2	—	—	0.2	0.2	0.3	—	0.2	0.3	0.2	0.6
治療なし	0.8	7.0	6.9	7.4	11.3	13.6	10.6	14.5	13.0	16.1	17.3	27.8	32.1	23.2	73.2
（内訳）外科的治療	3.4	4.7	—	—	15.3	—	—	8.9	—	—	—	2.2	—	—	—
鏡視下治療	94.8	75.5	—	—	54.3	—	—	21.6	—	—	—	2.9	—	—	1.6

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-4②-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む**）

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明
全体	3,338 100.0	37,152 100.0	29,755 100.0	7,397 100.0	7,155 100.0	1,653 100.0	5,502 100.0	13,509 100.0	7,404 100.0	4,583 100.0	1,522 100.0	26,388 100.0	13,175 100.0	13,131 100.0	1,804 100.0
手術のみ	97.3	69.2	72.7	55.2	40.4	46.7	38.5	12.7	19.4	6.0	—	1.4	2.3	0.5	1.1
内視鏡のみ	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
手術＋内視鏡	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
放射線のみ	0.6	11.8	12.3	9.8	10.5	11.8	10.1	6.8	7.1	6.3	7.2	9.4	5.3	13.5	10.2
薬物療法のみ	—	0.8	0.6	1.5	3.9	3.2	4.2	17.6	10.8	22.8	34.7	43.7	48.3	39.3	8.3
放射線＋薬物	0.0	0.2	0.2	0.5	4.6	1.9	5.4	30.3	23.4	38.5	39.0	13.8	6.7	21.0	5.8
薬物＋その他	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	0.1	0.2	0.1	0.0
手術/内視鏡＋放射線	—	0.1	0.1	0.2	1.1	—	1.4	0.5	0.7	0.3	0.0	0.4	0.4	0.5	—
手術/内視鏡＋薬物	0.8	10.7	7.0	25.2	26.7	22.5	28.0	15.0	22.6	7.4	—	2.4	3.9	0.9	0.8
手術/内視鏡＋その他	—	0.0	0.0	—	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	0.1	0.0	0.1	1.4	—	1.8	2.3	2.8	2.3	—	0.9	0.7	1.1	—
他の組み合わせ	—	0.2	0.2	—	0.2	—	0.2	0.2	0.2	0.3	—	0.3	0.3	0.3	0.7
治療なし	0.8	6.9	6.8	7.2	11.2	13.4	10.5	14.5	12.9	16.0	17.3	27.6	32.0	23.0	72.9
（内訳）外科的治療	3.4	4.7	—	—	15.3	—	—	8.9	—	—	—	2.2	—	—	—
鏡視下治療	94.8	75.5	—	—	54.3	—	—	21.6	—	—	—	2.9	—	—	1.6

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL: <https://jhcr-cs.ganjoho.jp/hbcrtables/>）

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-4②-1(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）
(2020年-2022年)

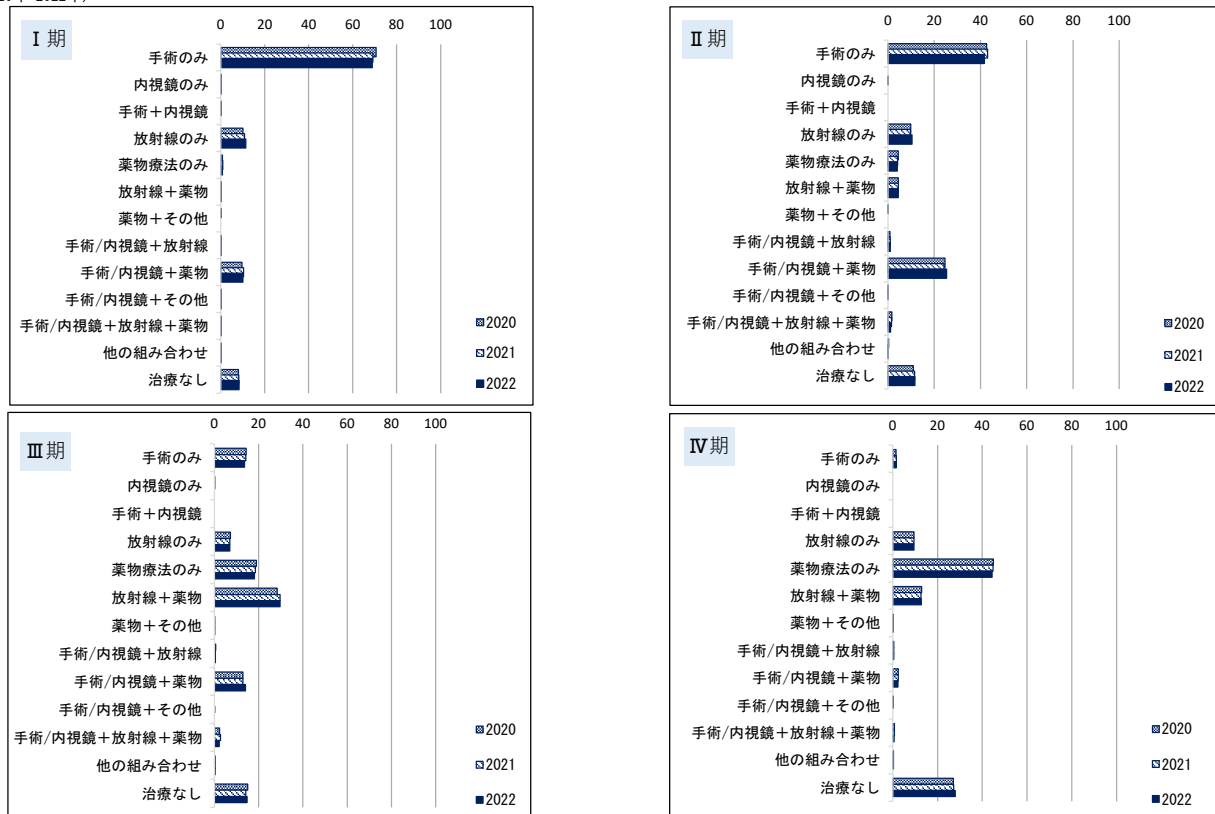
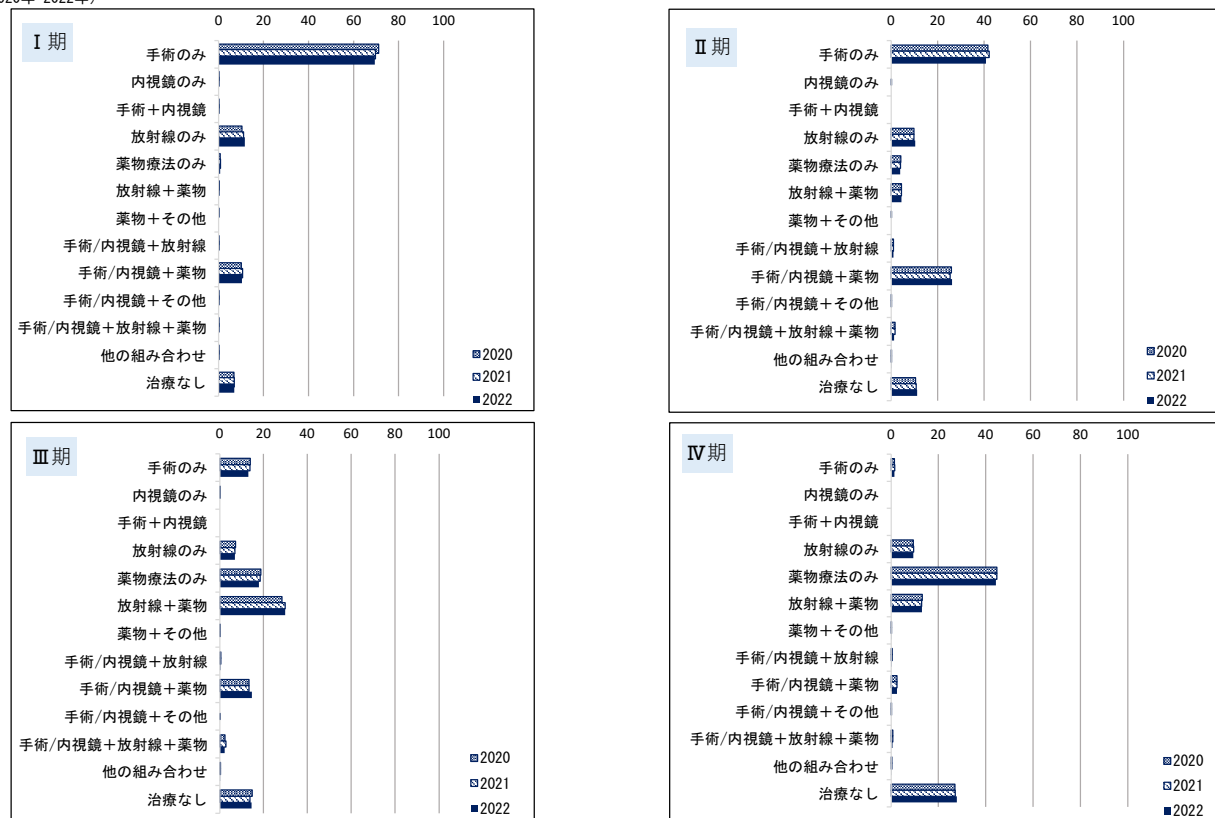


表4-4②-1(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）
(2020年-2022年)



5. 乳がん（乳癌）

	全登録		症例区分80 その他を除く	初回治療開始例	治療前ステージ集計			術後病理学的ステージ集計		
	全登録数	施設数			対象数*1	%*2	施設数	対象数*1	%*2	施設数
2020	107,123	856	105,319	79,052	78,839	99.7	827	68,755	87.0	797
2021	115,884	860	113,829	86,827	86,626	99.8	830	75,562	87.0	795
2022	119,088	841	116,857	88,225	87,989	99.7	812	76,328	86.5	773

*1治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象数の定義は、集計方法を参照

*2分母は自施設初回治療開始例

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

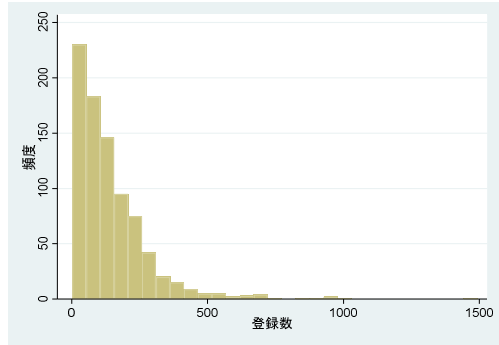
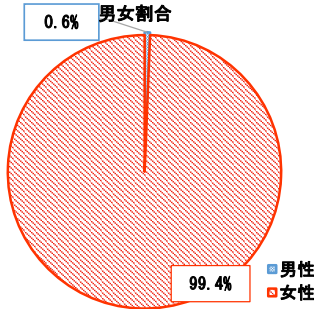
●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は76例で、最小登録数が1例、最大登録数が1309例であった。

対象施設数	812
平均	108
最小値	1
中央値	76
最大値	1,309

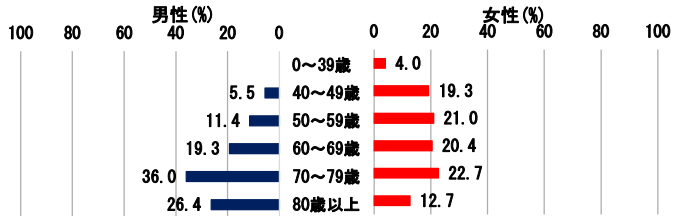
●性別

男性	561
女性	87,428
不明	-



●年齢

	平均	標準偏差	中央値
全体	62.9	14.3	63.0
拠点	62.2	14.2	62.2
拠点外	64.9	14.4	66.0



●UICC TNM病期分布

表4-5-3より0/I期の割合が最も多く約54%を占め、次いでII期が約30%であった。登録割合の傾向について2018年以降の変化は少ない。

表4-5-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	0期	I期	IIA	IIB	II期	IIIA	IIIB	IIIC	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	不明	該当無	合計
2020	15.0	39.8	39.8	0.0	30.3	22.5	7.7	7.4	1.9	3.5	2.0	5.8	1.8	0.0	78,839
2021	15.4	39.7	39.7	0.0	30.4	22.7	7.6	7.2	1.8	3.6	1.8	5.5	1.8	0.0	86,626
2022	15.6	39.6	39.6	0.0	30.4	22.9	7.5	7.0	1.8	3.3	1.9	5.6	1.8	-	87,989

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-5-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	0期	I期	IIA	IIB	II期	IIIA	IIIB	IIIC	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	適用外等/ 術前治療後	不明	該当無	合計
2020	14.0	41.6	40.3	1.3	23.5	17.0	6.5	5.6	2.9	1.3	1.4	0.3	14.7	0.2	0.0	68,755
2021	14.2	40.8	39.4	1.4	22.9	16.4	6.5	5.4	2.8	1.2	1.4	0.3	16.2	0.2	0.0	75,562
2022	14.4	40.2	38.8	1.3	22.4	16.2	6.2	5.2	2.8	1.1	1.3	0.3	17.4	0.2	-	76,328

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-5-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

	0期	I期	IIA	IIB	II期	IIIA	IIIB	IIIC	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	不明	該当無	合計
2020	13.2	40.7	39.6	1.2	29.7	20.2	9.5	10.1	3.9	3.3	2.9	5.8	0.5	0.0	78,839
2021	13.5	40.5	39.2	1.2	30.2	20.5	9.7	9.9	3.7	3.3	2.8	5.5	0.4	0.0	86,626
2022	13.5	40.3	39.2	1.2	30.3	20.8	9.5	9.7	3.8	3.1	2.8	5.7	0.4	-	87,989
男性	9.6	34.9	32.8	2.1	31.6	24.6	7.0	18.0	4.1	10.3	3.6	5.2	-	0.0	561
女性	13.6	40.4	39.2	1.2	30.3	20.8	9.6	9.6	3.8	3.1	2.8	5.7	0.4	-	87,428

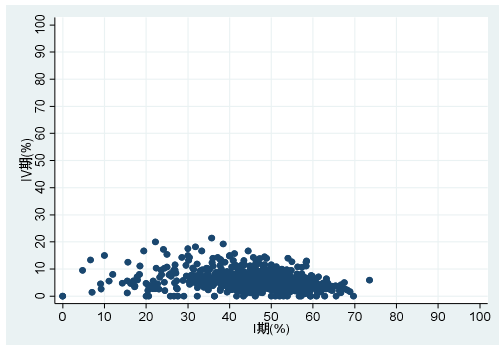
亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-5-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布

	中央値	最小値	25%値	(四分位範囲)	75%値	最大値
0期	13.6	0.0	9.1	8.7	17.8	33.2
I期	39.8	13.3	34.9	9.1	44.0	72.7
II期	30.4	4.5	26.2	8.7	34.9	52.4
III期	7.1	0.0	5.1	4.7	9.8	26.8
IV期	5.7	0.0	3.8	4.3	8.1	24.1

(対象例20例以上の671施設)

(参考) 施設毎の0/I期とIV期の割合の分布図



●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-5-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療)

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	不明
全体	11,921 100.0	35,503 100.0	34,476 100.0	1,027 100.0	26,680 100.0	18,285 100.0	8,395 100.0	8,521 100.0	3,311 100.0	2,738 100.0	2,472 100.0	4,972 100.0	391 100.0
手術のみ	56.2	15.7	15.8	12.1	11.5	12.3	9.7	8.6	10.4	7.5	7.4	1.0	7.4
内視鏡のみ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
手術+内視鏡	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	—	0.2	0.0	0.5	—	2.2	—
薬物療法のみ	3.5	6.9	7.1	0.0	26.7	22.5	35.8	45.0	30.6	55.7	52.3	71.2	56.5
放射線+薬物	—	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.2	0.0	0.5	—	11.6	—
薬物+その他	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	—	—	0.3	—
手術/内視鏡+放射線	19.3	5.7	5.7	6.5	2.1	2.4	1.5	1.7	1.9	1.2	2.1	0.2	—
手術/内視鏡+薬物	11.3	47.2	46.8	58.8	48.6	50.4	44.6	37.4	50.5	26.5	31.9	3.8	7.2
手術/内視鏡+その他	—	—	—	0.0	—	—	—	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡+放射線+薬物	6.1	22.8	22.8	22.3	9.6	10.8	7.1	5.0	5.7	5.0	3.9	0.7	—
他の組み合わせ	0.1	0.2	0.2	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	0.2	—
治療なし	3.2	1.4	1.4	—	1.3	1.4	1.1	1.7	0.9	2.9	1.5	8.7	22.3
(内訳) 外科的治療	92.6	91.0	—	—	71.6	—	—	52.5	—	—	—	5.5	17.9
鏡視下治療	0.5	0.5	—	—	0.3	—	—	0.2	—	—	—	0.4	0.0

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-5-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む)

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	不明
全体	11,921 100.0	35,503 100.0	34,476 100.0	1,027 100.0	26,680 100.0	18,285 100.0	8,395 100.0	8,521 100.0	3,311 100.0	2,738 100.0	2,472 100.0	4,972 100.0	391 100.0
手術のみ	54.4	13.1	13.3	7.1	8.9	9.8	7.2	6.8	7.3	6.8	6.0	1.0	7.2
内視鏡のみ	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術+内視鏡	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	—	0.2	0.0	0.5	—	2.2	—
薬物療法のみ	2.6	3.6	3.7	0.0	9.3	8.6	10.7	18.6	8.5	29.3	20.3	67.9	50.1
放射線+薬物	—	0.1	0.2	0.0	0.2	0.2	0.2	0.4	—	0.7	0.6	11.8	—
薬物+その他	—	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	—	0.0	—	—	0.3	—
手術/内視鏡+放射線	20.8	4.6	4.6	4.3	1.4	1.6	1.0	1.5	1.6	1.1	1.9	0.2	—
手術/内視鏡+薬物	12.3	48.0	47.8	57.4	57.8	58.2	56.7	42.1	48.6	39.5	36.2	5.7	12.3
手術/内視鏡+その他	—	—	—	0.0	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡+放射線+薬物	7.5	29.3	29.3	31.3	21.3	20.5	23.2	28.9	33.4	19.3	33.5	2.3	4.3
他の組み合わせ	0.1	0.2	0.2	0.0	0.1	0.1	—	—	—	—	—	0.2	—
治療なし	2.1	0.9	0.9	0.0	0.9	1.0	0.8	1.3	0.5	2.5	1.1	8.4	21.7
(内訳) 外科的治療	94.5	94.7	—	—	89.2	—	—	79.2	—	—	—	8.8	24.6
鏡視下治療	0.5	0.5	—	—	0.3	—	—	0.2	—	—	—	0.3	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-5-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む)

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	不明
全体	11,921 100.0	35,503 100.0	34,476 100.0	1,027 100.0	26,680 100.0	18,285 100.0	8,395 100.0	8,521 100.0	3,311 100.0	2,738 100.0	2,472 100.0	4,972 100.0	391 100.0
手術のみ	50.7	11.3	11.5	6.1	7.8	8.5	6.1	5.9	6.0	6.5	5.1	0.9	7.4
内視鏡のみ	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術+内視鏡	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	—	—	0.2	0.0	0.5	—	2.1	2.6
薬物療法のみ	2.6	3.5	3.6	0.0	9.0	8.4	10.4	18.3	8.2	29.1	19.7	67.4	50.4
放射線+薬物	—	0.1	0.1	0.0	0.2	0.2	0.1	0.4	—	0.7	0.5	12.3	—
薬物+その他	0.0	—	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0	—	—	0.3	—
手術/内視鏡+放射線	23.5	4.2	4.2	3.1	1.2	1.3	0.9	1.5	1.6	0.9	2.0	—	—
手術/内視鏡+薬物	11.7	45.0	44.7	54.3	56.2	56.7	55.0	39.5	45.5	37.1	34.1	5.6	11.8
手術/内視鏡+その他	—	—	—	0.0	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡+放射線+薬物	9.1	34.6	34.6	36.4	24.5	23.6	26.5	32.8	38.1	22.5	37.2	2.5	4.9
他の組み合わせ	0.1	0.2	0.3	0.0	0.1	0.1	—	0.1	—	—	—	0.2	—
治療なし	2.1	0.9	0.9	0.0	0.9	1.0	0.8	1.3	0.5	2.4	1.1	8.4	21.0
(内訳) 外科的治療	94.5	94.8	—	—	89.5	—	—	79.5	—	—	—	8.9	24.8
鏡視下治療	0.5	0.5	—	—	0.3	—	—	0.2	—	—	—	0.3	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。(URL: <https://jhcr-cs.ganjoho.jp/hbortables/>)

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-5-1 (1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療）
（2020年-2022年）

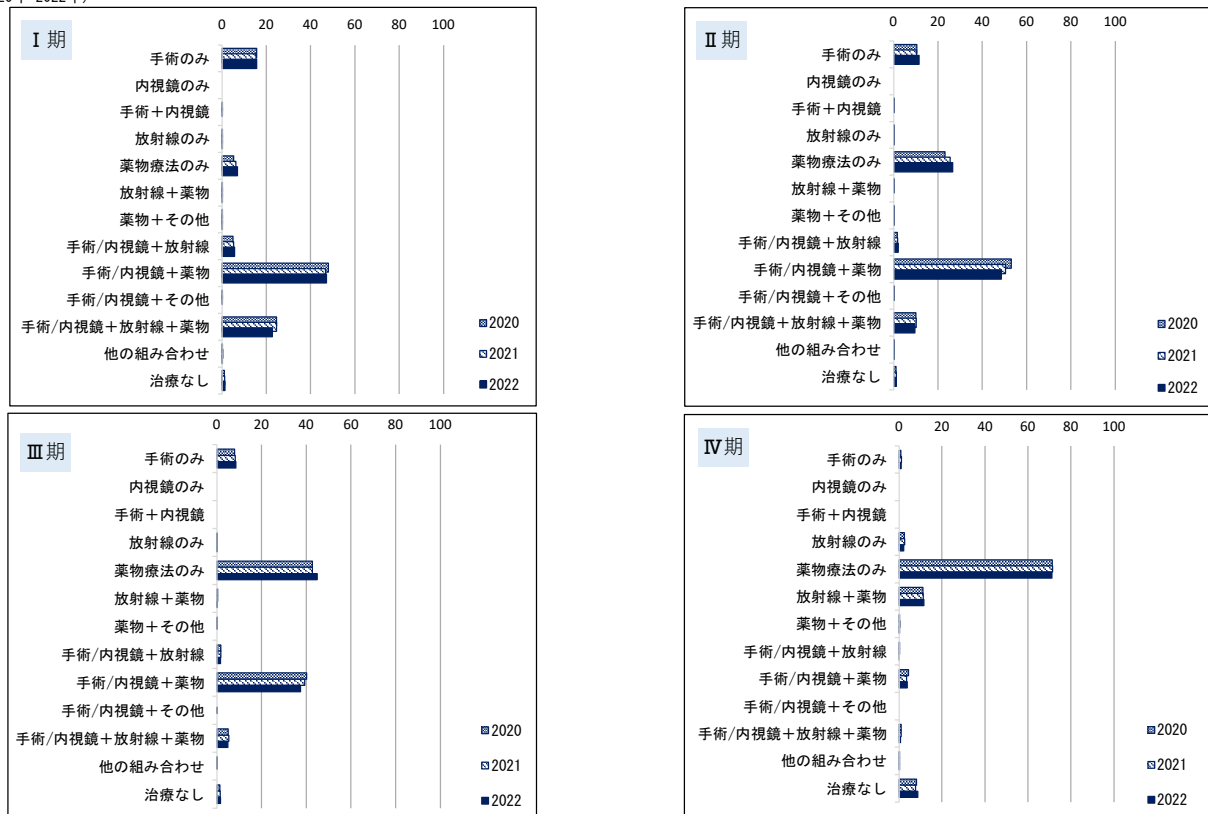
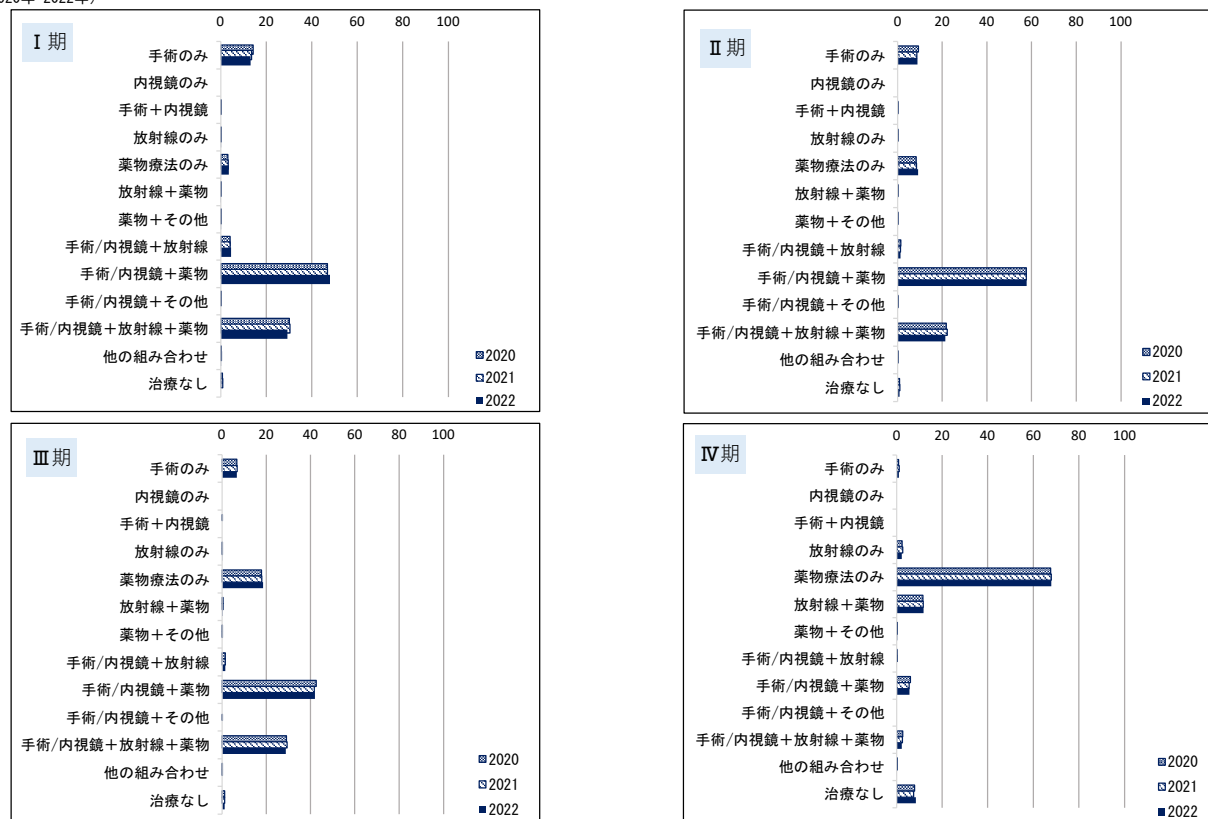


表4-5-1 (2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む）
（2020年-2022年）



6. 食道がん（食道癌）

	全登録		症例区分80 その他を除く	初回治療開始例	治療前ステージ集計			術後病理学的ステージ集計		
	全登録数	施設数			対象数*1	%*2	施設数	対象数*1	%*2	施設数
2020	30,453	851	29,092	23,593	23,372	99.1	807	13,818	58.6	705
2021	32,538	856	31,051	25,370	25,142	99.1	810	15,140	59.7	713
2022	32,171	838	30,702	25,326	25,126	99.2	790	15,082	59.6	680

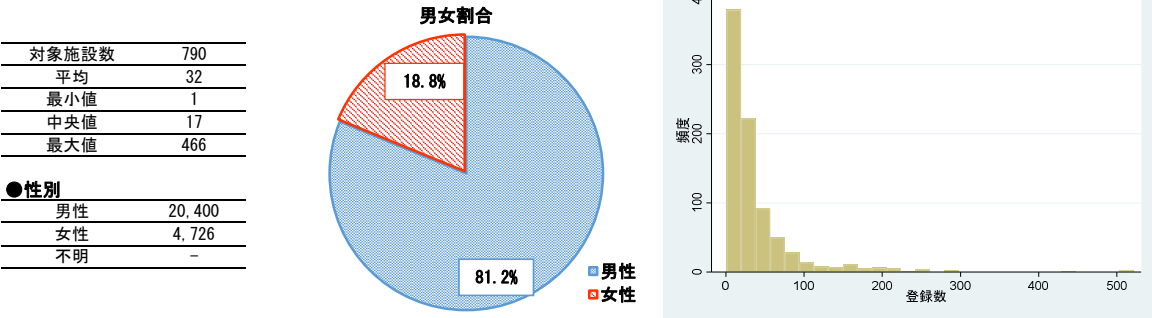
*1治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象数の定義は、集計方法を参照

*2分母は自施設初回治療開始例

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

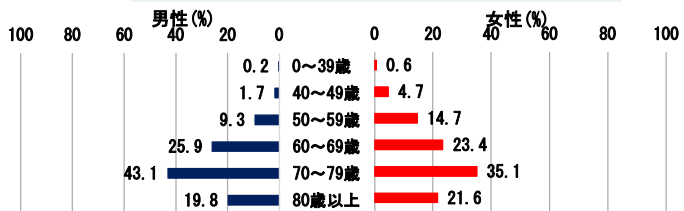
●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は17例で、最小登録数が1例、最大登録数が466例で2021年診断例とほぼ同様であった。



●年齢

	平均	標準偏差	中央値
全体	71.7	9.8	72.8
拠点	71.3	9.8	72.5
拠点外	73.4	9.8	74.2



●UICC TNM病期分布

表4-6-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	0期	I期	IIA期	IIB期	II期	IIIA期	IIIB期	IIIC期	IIIA期	IIIB期	IIIC期	IV期	IVA期	IVB期	不明	該当無	合計
2020	13.9	34.6	0.0	0.0	10.4	0.1	0.5	14.0	0.1	0.5	0.0	21.5	8.3	13.2	3.3	2.3	23,372
2021	14.5	36.0	0.0	0.0	9.9	0.1	0.5	13.5	0.0	0.0	0.0	20.6	7.8	12.8	3.2	2.2	25,142
2022	14.0	36.4	0.0	0.0	9.8	0.1	0.4	13.2	0.0	0.0	0.0	21.0	7.6	13.4	3.6	2.0	25,126

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-6-1a UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合 <扁平上皮癌>

	0期	I期	II期	IIIA期	IIIB期	IIIC期	IV期	IVA期	IVB期	不明	その他	合計
2020	15.2	35.4	10.7	13.9	21.5	8.5	13.1	3.2	0.0			21,275
2021	15.8	36.7	10.3	13.3	20.7	8.0	12.7	3.2	0.0			22,796
2022	15.1	37.2	10.2	12.9	21.0	7.6	13.4	3.6	0.0			22,825

表4-6-1b UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合 <腺癌>

	0期	I期	II期	IIIA期	IIIB期	IIIC期	IV期	IVA期	IVB期	不明	その他	合計
2020	2.1	36.0	8.6	1.3	7.3	20.5	27.8	8.5	19.3	5.1	0.0	1,553
2021	2.5	38.4	8.5	1.2	7.3	20.0	26.5	8.4	18.1	4.1	0.0	1,783
2022	3.4	37.0	7.1	1.0	6.1	20.5	26.8	9.6	17.3	5.1	0.0	1,796

表4-6-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	0期	I期	IIA期	IIB期	II期	IIIA期	IIIB期	IIIC期	IIIA期	IIIB期	IV期	IVA期	IVB期	適用外等/ 術前治療後	不明	該当無	合計
2020	16.7	50.7	41.6	9.1	3.7	0.7	3.0	3.2	0.8	2.4	1.9	1.1	0.8	23.0	0.4	0.4	13,818
2021	16.7	52.6	43.3	9.3	3.3	0.6	2.8	2.8	0.7	2.1	1.6	1.0	0.6	22.2	0.4	0.4	15,140
2022	15.4	53.8	45.1	8.7	3.2	0.7	2.5	2.5	0.7	1.8	1.4	0.8	0.5	23.0	0.4	0.3	15,082

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-6-2a UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合 <扁平上皮癌>

	0期	I期	IIA期	IIB期	II期	IIIA期	IIIB期	IIIC期	IIIA期	IIIB期	IV期	IVA期	IVB期	適用外等/ 術前治療後	不明	該当無	合計
2020	18.1	50.6	42.2	8.4	3.4	0.6	2.8	2.8	0.7	2.1	1.4	0.7	0.6	23.4	0.4	0.0	12,702
2021	18.2	52.4	43.8	8.6	3.0	0.4	2.5	2.3	0.6	1.7	1.1	0.7	0.5	22.7	0.4	0.0	13,846
2022	16.7	54.0	45.9	8.1	2.9	0.5	2.4	1.9	0.6	1.3	0.9	0.5	0.4	23.2	0.4	0.0	13,785

表4-6-2b UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合 <腺癌>

	0期	I期	IIA期	IIB期	II期	IIIA期	IIIB期	IIIC期	IIIA期	IIIB期	IV期	IVA期	IVB期	適用外等/ 術前治療後	不明	該当無	合計
2020	1.1	54.5	36.3	18.2	8.4	2.2	6.2	8.8	1.9	7.0	7.8	5.5	2.3	19.1	0.3	0.0	1,064
2021	1.2	56.9	38.8	18.1	7.9	2.3	5.6	9.0	2.0	7.0	6.8	4.8	1.9	18.0	0.1	0.2	1,241
2022	1.8	53.8	38.0	15.8	6.4	2.1	4.3	9.5	2.4	7.1	6.2	4.4	1.7	21.8	-	0.0	1,259

表4-6-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明	該当無	合計
2020	11.7	37.7	24.6	5.4	10.5	0.4	1.9	14.3	0.5	1.4	21.9	8.5	13.4	1.6	2.3	23,372
2021	11.8	39.6	26.1	5.6	10.1	0.4	1.8	13.7	0.4	1.3	21.1	8.2	13.0	1.5	2.2	25,142
2022	11.0	40.5	27.1	5.2	10.1	0.4	1.7	13.4	0.4	1.1	21.4	7.9	13.5	1.6	2.0	25,126
男性	10.7	41.7	27.7	5.3	9.7	0.4	1.6	13.3	0.5	1.2	21.2	7.6	13.5	1.6	1.9	20,400
女性	12.4	35.3	24.3	4.7	12.2	0.3	1.9	13.7	0.4	0.8	22.2	8.8	13.5	1.6	2.6	4,726

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-6-3a UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合 <扁平上皮癌>

	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明	該当無	合計
2020	12.8	38.5	25.2	5.0	10.9	0.4	1.6	14.4	0.4	1.2	21.9	8.6	13.2	1.5	0.0	21,275
2021	12.9	40.3	26.6	5.2	10.5	0.3	1.5	13.7	0.4	1.0	21.1	8.3	12.8	1.5	0.0	22,796
2022	12.0	41.4	27.7	4.9	10.6	0.3	1.4	13.2	0.3	0.8	21.2	7.8	13.5	1.5	0.0	22,825

表4-6-3b UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合 <腺癌>

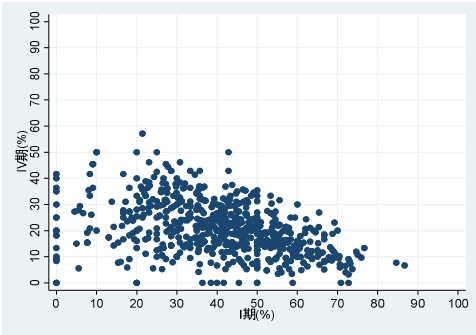
	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明	該当無	合計
2020	0.9	39.7	24.9	12.5	8.5	1.9	6.6	17.7	1.3	4.8	30.7	10.2	20.5	2.5	0.0	1,553
2021	0.8	42.0	27.0	12.6	8.1	2.0	6.2	18.2	1.4	4.9	28.8	9.9	18.8	2.1	0.0	1,783
2022	1.6	40.8	26.6	11.1	6.8	1.6	5.2	19.0	1.7	5.0	29.2	11.3	17.9	2.6	0.0	1,796

表4-6-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布

(対象例10例以上の529施設)

	中央値	最小値	25%値	(四分位範囲)	75%値	最大値
0期	11.8	0.0	5.6	14.6	20.2	66.7
I期	34.3	0.0	24.1	19.4	43.5	80.0
II期	9.1	0.0	5.6	8.7	14.3	41.2
III期	11.8	0.0	6.7	10.9	17.6	38.5
IV期	20.6	0.0	15.4	13.2	28.6	63.6

(参考) 施設毎の0/I期とIV期の割合の分布図



<食道癌全集計>

●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-6-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明
全体	2,772 100.0	10,173 100.0	6,805 100.0	1,314 100.0	2,550 100.0	104 100.0	420 100.0	3,356 100.0	109 100.0	274 100.0	5,375 100.0	1,975 100.0	3,400 100.0	395 100.0
手術のみ	0.7	8.9	5.6	39.6	12.9	84.6	56.7	7.9	58.7	72.6	2.0	3.3	1.3	0.0
内視鏡のみ	80.3	64.6	89.7	33.8	0.4	—	—	—	—	—	—	0.0	—	3.3
手術＋内視鏡	—	1.6	0.5	9.9	0.8	—	4.3	—	—	—	—	0.0	—	0.0
放射線のみ	0.8	2.8	0.0	0.0	8.7	0.0	—	5.3	0.0	0.0	8.2	8.3	8.2	8.6
薬物療法のみ	0.7	1.2	0.0	0.0	9.2	0.0	—	12.3	0.0	0.0	29.0	17.4	35.8	10.9
放射線＋薬物	0.6	6.7	0.0	0.0	18.3	0.0	—	19.7	0.0	0.0	32.4	39.0	28.5	8.9
薬物＋その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	—	—	—
手術/内視鏡＋放射線	—	0.4	0.2	1.9	—	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	—	2.7	0.2	1.7	37.2	9.6	28.6	45.7	35.8	21.9	11.6	16.2	9.0	—
手術/内視鏡＋その他	—	0.2	0.3	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	2.5	1.3	11.3	1.5	0.0	—	3.1	—	—	1.7	2.3	1.3	—
他の組み合わせ	2.0	0.8	—	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.4	—	0.4	3.0
治療なし	14.4	7.6	2.2	1.7	10.6	—	4.0	5.4	0.0	—	14.4	12.9	15.4	62.3
（内訳）外科的治療	—	2.1	—	—	9.2	—	—	10.2	—	—	4.0	—	—	—
鏡視下治療	0.6	10.9	—	—	43.0	—	—	46.8	—	—	11.4	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-6-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明
全体	2,772 100.0	10,173 100.0	6,805 100.0	1,314 100.0	2,550 100.0	104 100.0	420 100.0	3,356 100.0	109 100.0	274 100.0	5,375 100.0	1,975 100.0	3,400 100.0	395 100.0
手術のみ	0.7	9.0	5.7	40.2	12.6	84.6	54.8	7.7	56.9	70.8	2.0	3.2	1.2	0.0
内視鏡のみ	82.6	65.6	91.5	32.6	—	—	—	—	0.0	—	—	0.0	—	3.3
手術＋内視鏡	—	1.8	0.6	10.4	0.8	—	4.3	—	—	0.0	—	0.0	—	0.0
放射線のみ	0.8	2.8	0.0	0.0	8.8	0.0	—	5.3	0.0	0.0	8.2	8.3	8.1	8.9
薬物療法のみ	0.6	0.9	0.0	0.0	7.6	0.0	—	10.8	0.0	0.0	27.9	16.7	34.4	10.6
放射線＋薬物	0.6	6.9	0.0	0.0	18.7	—	—	19.8	0.0	0.0	32.5	39.0	28.7	9.1
薬物＋その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	—	—	—
手術/内視鏡＋放射線	—	0.5	0.2	2.6	—	0.0	—	—	—	—	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	—	3.0	0.2	1.9	39.0	9.6	32.6	46.5	38.5	23.7	12.1	16.3	9.6	—
手術/内視鏡＋その他	—	0.2	0.3	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	2.8	1.4	12.3	1.9	0.0	—	4.0	—	3.6	2.3	3.0	1.9	—
他の組み合わせ	1.9	0.8	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.4	—	0.4	3.0
治療なし	11.9	5.7	—	0.0	10.0	—	2.9	5.3	0.0	0.0	14.3	12.6	15.3	61.8
（内訳）外科的治療	—	2.2	—	—	9.7	—	—	10.4	—	—	4.2	—	—	—
鏡視下治療	0.6	11.4	—	—	44.4	—	—	48.1	—	—	12.3	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-6-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む**）

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明
全体	2,772 100.0	10,173 100.0	6,805 100.0	1,314 100.0	2,550 100.0	104 100.0	420 100.0	3,356 100.0	109 100.0	274 100.0	5,375 100.0	1,975 100.0	3,400 100.0	395 100.0
手術のみ	0.7	9.0	5.7	40.1	12.5	84.6	54.5	7.6	56.0	70.1	1.9	3.1	1.2	0.0
内視鏡のみ	82.6	65.2	91.3	30.6	—	—	—	—	0.0	—	—	0.0	—	3.5
手術＋内視鏡	—	1.9	0.7	11.3	0.8	—	4.3	—	—	0.0	—	0.0	—	0.0
放射線のみ	0.8	2.7	0.0	0.0	8.7	0.0	—	5.2	0.0	0.0	7.6	7.6	7.6	8.9
薬物療法のみ	0.6	0.9	0.0	0.0	6.9	0.0	—	9.8	0.0	0.0	27.6	16.2	34.1	10.6
放射線＋薬物	0.6	6.9	0.0	0.0	18.9	—	—	20.1	0.0	0.0	33.3	39.7	29.5	9.1
薬物＋その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	—	—	—
手術/内視鏡＋放射線	—	0.6	0.2	2.9	—	0.0	—	—	—	—	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	—	3.0	0.2	1.8	39.6	9.6	32.9	47.3	39.4	24.1	12.3	16.7	9.7	—
手術/内視鏡＋その他	—	0.3	0.4	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	3.0	1.5	13.2	2.0	0.0	—	4.1	—	3.6	2.4	3.2	2.0	—
他の組み合わせ	2.0	0.8	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.3	0.0	—	0.4	0.5	0.4	3.0
治療なし	11.9	5.7	—	0.0	10.0	—	2.9	5.3	0.0	0.0	14.2	12.6	15.2	61.5
（内訳）外科的治療	0.4	2.3	—	—	10.0	—	—	10.6	—	—	4.3	—	—	—
鏡視下治療	0.6	11.5	—	—	44.7	—	—	48.7	—	—	12.4	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL: <https://jhcr-cs.ganjoho.jp/hbortables/>）

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-6-1 (1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）
(2020年-2022年)

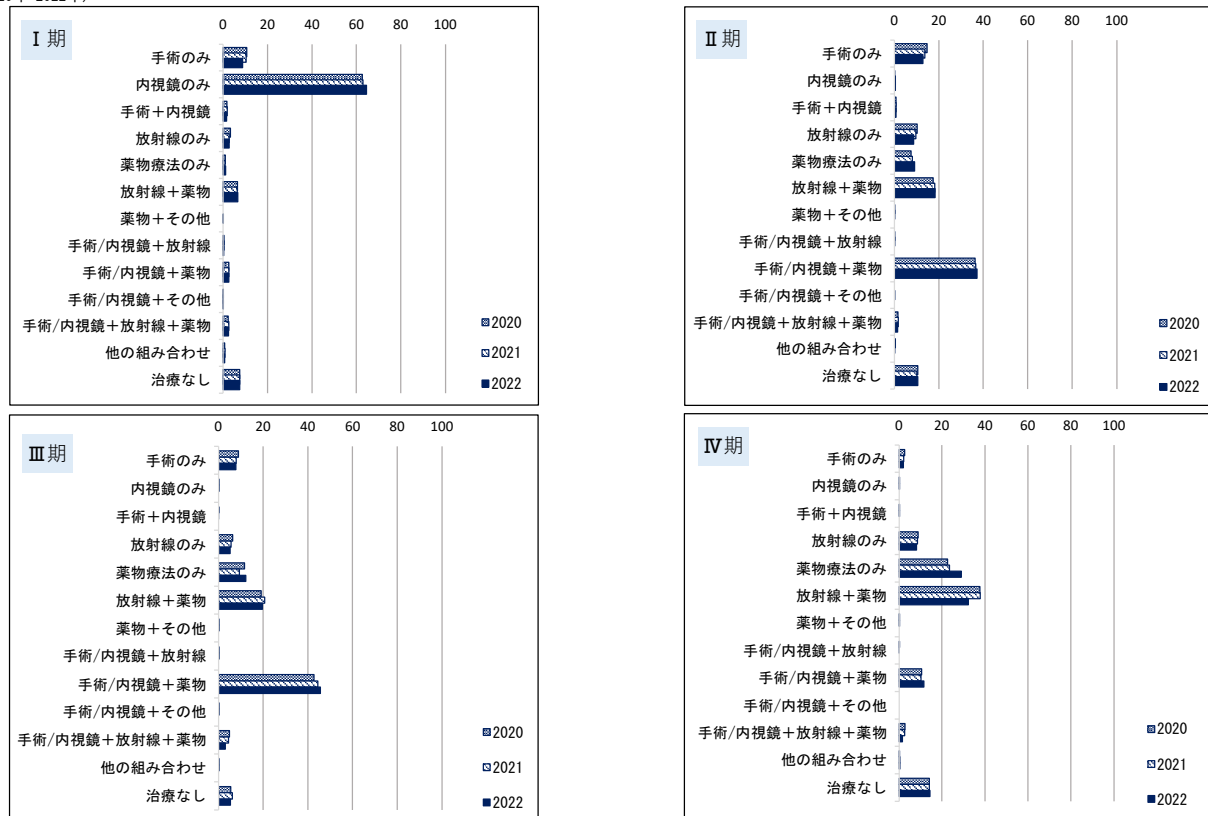
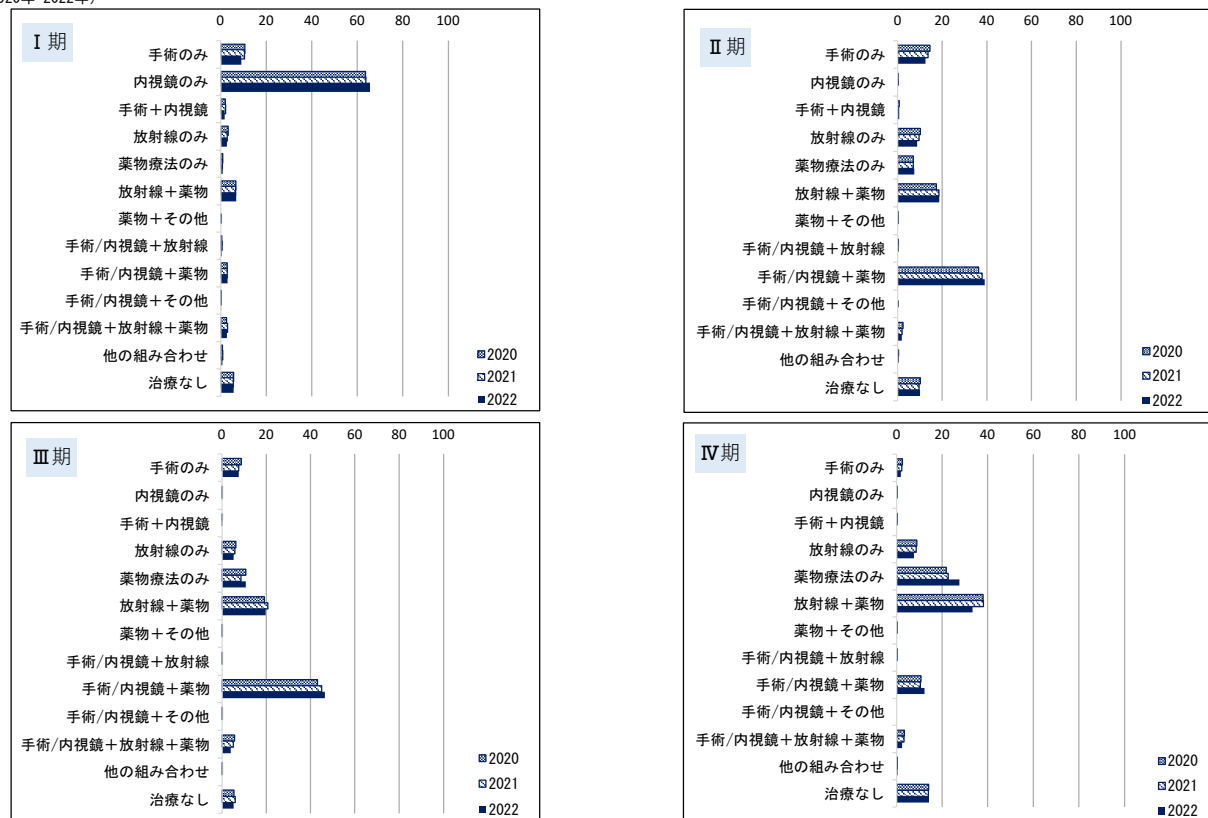


表4-6-1 (2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）
(2020年-2022年)



<扁平上皮癌>

●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合 <扁平上皮癌>

表4-6-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療)

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明
全体	2,744 100.0	9,441 100.0	6,327 100.0	1,115 100.0	2,428 100.0	75 100.0	327 100.0	3,014 100.0	79 100.0	185 100.0	4,850 100.0	1,772 100.0	3,078 100.0	348 100.0
手術のみ	0.7	8.0	5.0	39.0	11.2	85.3	62.7	6.7	65.8	81.1	1.5	2.3	1.1	0.0
内視鏡のみ	80.4	64.6	90.1	34.0	0.5	—	—	—	0.0	—	—	0.0	—	3.2
手術+内視鏡	—	1.3	0.5	8.2	0.6	—	4.0	—	—	—	—	0.0	—	0.0
放射線のみ	0.8	3.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	5.8	0.0	0.0	8.7	9.0	8.6	8.6
薬物療法のみ	0.7	1.2	0.0	0.0	9.4	0.0	0.0	12.7	0.0	0.0	28.1	17.4	34.3	9.5
放射線+薬物	0.6	7.2	0.0	0.0	19.0	0.0	0.0	21.3	0.0	0.0	34.7	42.6	30.2	10.1
薬物+その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	—	—	—
手術/内視鏡+放射線	—	0.4	0.2	2.2	—	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	0.0
手術/内視鏡+薬物	—	2.8	0.2	1.7	37.7	—	27.5	44.4	29.1	11.4	10.1	11.9	9.1	—
手術/内視鏡+その他	—	0.2	0.3	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡+放射線+薬物	—	2.6	1.4	13.3	1.6	0.0	—	3.4	—	—	1.8	2.6	1.4	—
他の組み合わせ	2.0	0.9	—	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.4	—	0.4	3.4
治療なし	14.3	7.7	2.3	1.5	10.5	0.0	—	5.1	0.0	—	14.2	13.4	14.7	62.4
(内訳) 外科的治療	—	1.8	—	—	8.7	—	—	9.3	—	—	3.6	—	—	—
鏡視下治療	0.6	10.0	—	—	42.2	—	—	45.5	—	—	10.1	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-6-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む)

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明
全体	2,744 100.0	9,441 100.0	6,327 100.0	1,115 100.0	2,428 100.0	75 100.0	327 100.0	3,014 100.0	79 100.0	185 100.0	4,850 100.0	1,772 100.0	3,078 100.0	348 100.0
手術のみ	0.7	8.1	5.1	39.4	10.9	85.3	60.6	6.6	63.3	80.0	1.5	2.3	1.0	0.0
内視鏡のみ	82.7	65.8	92.0	32.6	—	—	—	—	0.0	—	—	0.0	—	3.2
手術+内視鏡	—	1.4	0.5	8.5	0.7	—	4.3	—	—	0.0	—	0.0	—	0.0
放射線のみ	0.8	3.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	5.8	0.0	0.0	8.7	9.0	8.5	8.9
薬物療法のみ	0.6	1.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	11.2	0.0	0.0	27.2	16.8	33.1	9.2
放射線+薬物	0.7	7.4	0.0	0.0	19.4	0.0	0.0	21.4	0.0	0.0	34.9	42.6	30.4	10.3
薬物+その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	—	—	—
手術/内視鏡+放射線	—	0.6	0.2	3.0	—	0.0	—	—	—	—	—	—	—	0.0
手術/内視鏡+薬物	—	3.1	0.2	2.0	39.5	—	31.8	45.0	32.9	12.4	10.5	12.0	9.6	—
手術/内視鏡+その他	—	0.2	0.3	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡+放射線+薬物	—	3.0	1.5	14.3	2.0	0.0	—	4.4	—	5.4	2.5	3.3	2.0	—
他の組み合わせ	2.0	0.8	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.4	—	0.4	3.4
治療なし	11.9	5.8	—	0.0	10.0	0.0	0.0	5.1	0.0	0.0	14.1	13.1	14.6	61.8
(内訳) 外科的治療	—	1.9	—	—	9.2	—	—	9.5	—	—	3.7	—	—	—
鏡視下治療	0.6	10.4	—	—	43.6	—	—	46.7	—	—	10.9	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-6-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む)

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明
全体	2,744 100.0	9,441 100.0	6,327 100.0	1,115 100.0	2,428 100.0	75 100.0	327 100.0	3,014 100.0	79 100.0	185 100.0	4,850 100.0	1,772 100.0	3,078 100.0	348 100.0
手術のみ	0.7	8.1	5.1	39.3	10.9	85.3	60.2	6.5	62.0	79.5	1.5	2.3	1.0	0.0
内視鏡のみ	82.7	65.4	91.8	30.4	—	—	—	—	0.0	—	—	0.0	—	3.4
手術+内視鏡	—	1.5	0.6	9.4	0.7	—	4.3	—	—	0.0	—	0.0	—	0.0
放射線のみ	0.8	2.9	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	8.1	8.3	8.0	8.9
薬物療法のみ	0.7	0.9	0.0	0.0	7.0	0.0	0.0	10.2	0.0	0.0	26.8	16.4	32.8	9.2
放射線+薬物	0.7	7.4	0.0	0.0	19.6	0.0	0.0	21.7	0.0	0.0	35.7	43.3	31.3	10.3
薬物+その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	—	—	—
手術/内視鏡+放射線	—	0.6	0.3	3.4	—	0.0	—	—	—	—	—	—	—	0.0
手術/内視鏡+薬物	—	3.1	0.2	1.9	40.1	—	32.1	45.9	34.2	13.0	10.6	12.2	9.7	—
手術/内視鏡+その他	—	0.3	0.4	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡+放射線+薬物	—	3.2	1.6	15.4	2.1	0.0	—	4.5	—	5.4	2.6	3.5	2.0	—
他の組み合わせ	2.0	0.8	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.5	0.6	0.4	3.4
治療なし	11.8	5.8	—	0.0	9.9	0.0	0.0	5.1	0.0	0.0	14.0	13.1	14.5	61.5
(内訳) 外科的治療	—	2.0	—	—	9.5	—	—	9.8	—	—	3.8	—	—	—
鏡視下治療	0.6	10.6	—	—	44.0	—	—	47.3	—	—	11.1	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。(URL: <https://jhcr-cs.ganjo.jp/hbcrtables/>)

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-6-1 (1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）
（2020年-2022年）

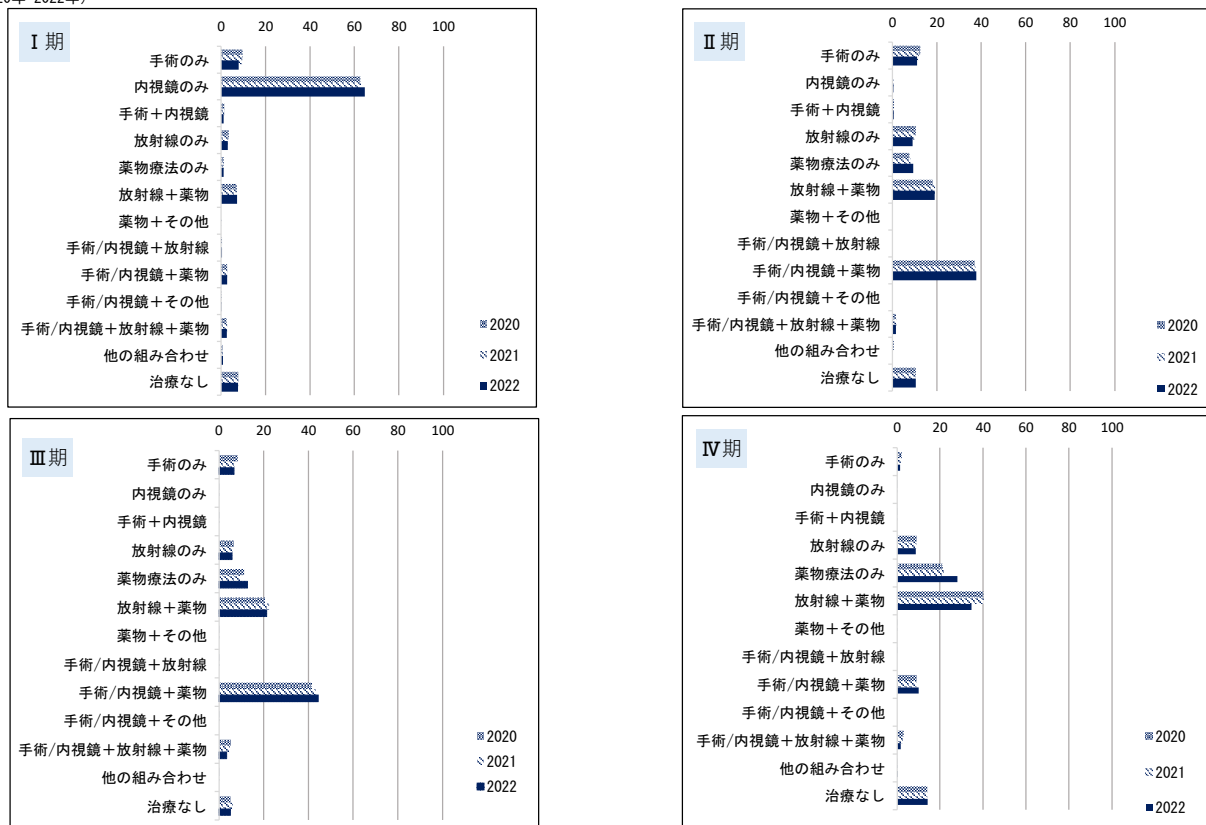
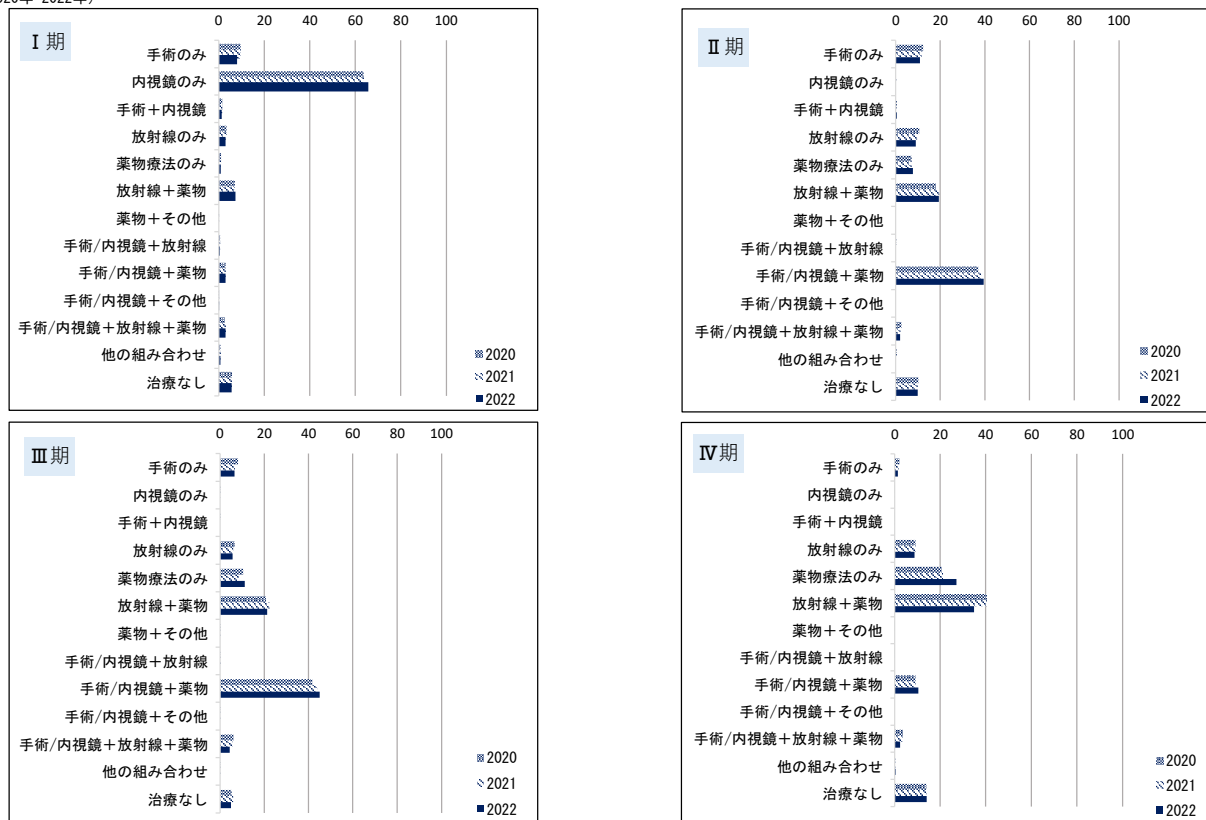


表4-6-1 (2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）
（2020年-2022年）



< 腺癌 >

●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合 < 腺癌 >

表4-6-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療)

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明
全体	28 100.0	732 100.0	478 100.0	199 100.0	122 100.0	29 100.0	93 100.0	342 100.0	30 100.0	89 100.0	525 100.0	203 100.0	322 100.0	47 100.0
手術のみ	—	20.5	13.2	43.2	46.7	82.8	35.5	17.8	40.0	55.1	6.3	11.8	—	0.0
内視鏡のみ	71.4	63.8	83.7	32.7	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—
手術+内視鏡	0.0	6.4	—	19.6	—	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—	0.0	0.0	3.4	—	4.3	—
薬物療法のみ	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	9.4	0.0	0.0	37.3	16.7	50.3	21.3
放射線+薬物	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	5.8	0.0	0.0	10.5	7.9	12.1	0.0
薬物+その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡+放射線	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡+薬物	0.0	1.4	0.0	—	27.0	—	32.3	57.0	53.3	43.8	25.1	53.2	7.5	—
手術/内視鏡+その他	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡+放射線+薬物	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0
他の組み合わせ	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0
治療なし	—	6.0	—	—	11.5	—	12.9	7.3	0.0	0.0	16.6	7.9	22.0	61.7
(内訳) 外科的治療	—	5.7	—	—	19.7	—	—	17.8	—	—	8.4	—	—	—
鏡視下治療	0.0	22.3	—	—	58.2	—	—	58.2	—	—	23.4	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-6-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む)

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明
全体	28 100.0	732 100.0	478 100.0	199 100.0	122 100.0	29 100.0	93 100.0	342 100.0	30 100.0	89 100.0	525 100.0	203 100.0	322 100.0	47 100.0
手術のみ	—	21.0	13.4	44.7	45.9	82.8	34.4	17.0	40.0	51.7	6.1	11.3	—	0.0
内視鏡のみ	75.0	64.1	84.3	32.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
手術+内視鏡	0.0	7.0	—	21.1	—	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—	0.0	0.0	3.4	—	4.3	—
薬物療法のみ	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	7.0	0.0	0.0	34.9	15.8	46.9	21.3
放射線+薬物	0.0	—	0.0	0.0	—	—	—	6.1	0.0	0.0	10.7	7.9	12.4	0.0
薬物+その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡+放射線	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡+薬物	0.0	1.6	0.0	—	29.5	—	35.5	59.9	53.3	47.2	27.2	54.2	10.2	—
手術/内視鏡+その他	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡+放射線+薬物	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	—	—	0.0
他の組み合わせ	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0
治療なし	—	4.5	0.0	0.0	10.7	—	12.9	7.3	0.0	0.0	16.6	7.9	22.0	61.7
(内訳) 外科的治療	—	6.1	—	—	19.7	—	—	18.1	—	—	9.0	—	—	—
鏡視下治療	0.0	23.2	—	—	59.0	—	—	60.2	—	—	25.1	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-6-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む)

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明
全体	28 100.0	732 100.0	478 100.0	199 100.0	122 100.0	29 100.0	93 100.0	342 100.0	30 100.0	89 100.0	525 100.0	203 100.0	322 100.0	47 100.0
手術のみ	—	21.0	13.4	44.7	45.9	82.8	34.4	16.7	40.0	50.6	5.9	10.8	—	0.0
内視鏡のみ	75.0	63.8	84.1	31.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
手術+内視鏡	0.0	7.2	2.1	21.6	—	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—	0.0	0.0	3.4	—	4.3	—
薬物療法のみ	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	6.4	0.0	0.0	34.3	14.8	46.6	21.3
放射線+薬物	0.0	—	0.0	0.0	—	—	—	6.1	0.0	0.0	11.0	8.4	12.7	0.0
薬物+その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡+放射線	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡+薬物	0.0	1.6	0.0	—	29.5	—	35.5	60.5	53.3	47.2	27.4	55.2	9.9	—
手術/内視鏡+その他	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡+放射線+薬物	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	—	—	0.0
他の組み合わせ	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0
治療なし	—	4.5	0.0	0.0	10.7	—	12.9	7.3	0.0	0.0	16.6	7.9	22.0	61.7
(内訳) 外科的治療	—	6.3	—	—	19.7	—	—	18.4	—	—	9.1	—	—	—
鏡視下治療	0.0	23.5	—	—	59.0	—	—	60.5	—	—	25.1	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。(URL: <https://jhcr-cs.ganjoho.jp/hbortables/>)

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-6-1 (1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）
(2020年-2022年)

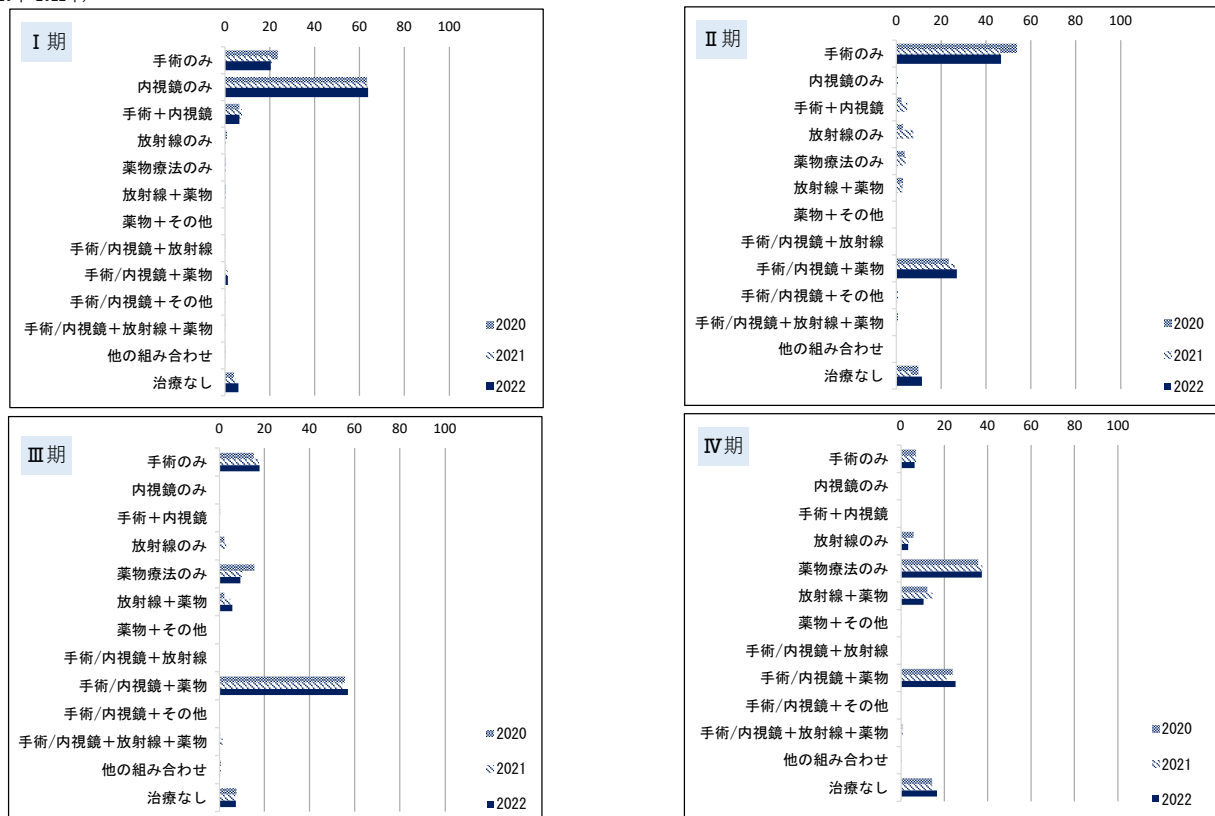
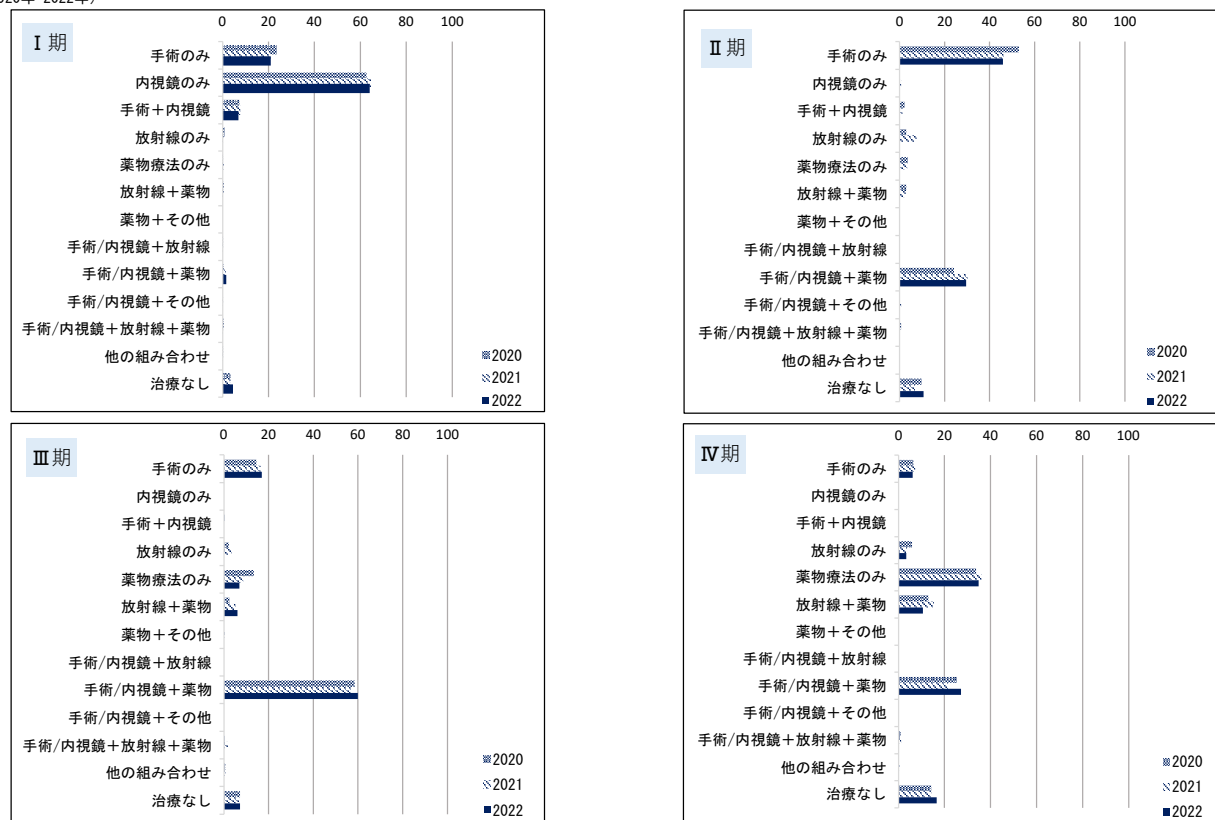


表4-6-1 (2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）
(2020年-2022年)



7. 膵臓がん（膵臓癌）

	全登録		症例区分80 その他を除く	初回治療開始例	治療前ステージ集計			術後病理学的ステージ集計		
	全登録数	施設数			対象数*1	%*2	施設数	対象数*1	%*2	施設数
2020	42,157	855	40,610	31,441	膵臓癌	30,116	95.8	844	8,886	28.3
					高分化型神経内分泌腫瘍	1,313	4.2	399	958	3.0
2021	43,584	862	41,960	32,457	膵臓癌	31,011	95.5	857	8,869	27.3
					高分化型神経内分泌腫瘍	1,436	4.4	438	956	2.9
2022	44,723	838	42,706	32,911	膵臓癌	31,406	95.4	828	8,993	27.3
					高分化型神経内分泌腫瘍	1,488	4.5	423	1,013	3.1

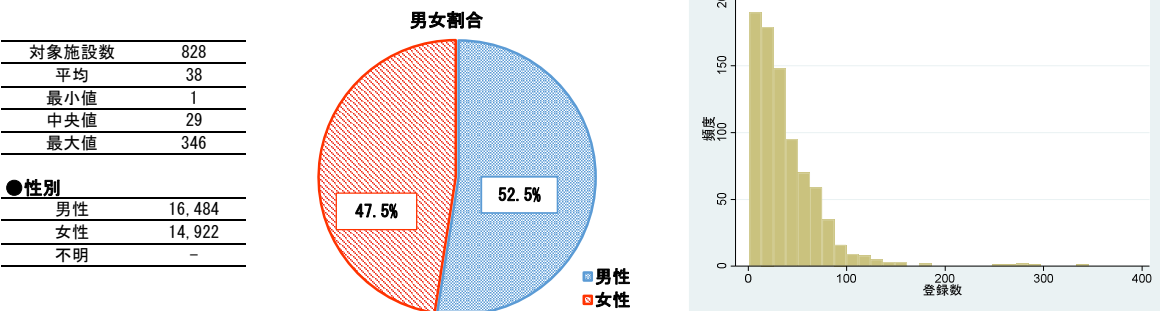
*1治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象数の定義は、集計方法を参照

*2分母は自施設初回治療開始例

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

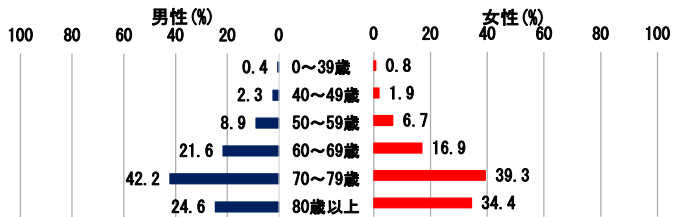
●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は29例で、最小登録数が1例、最大登録数が346例で2021年診断例とほぼ同様であった。



●年齢

	平均	標準偏差	中央値
全体	73.9	10.7	74.9
拠点	73.2	10.7	74.4
拠点外	76.1	10.4	77.0



●UICC TNM病期分布

表4-7-3よりI・IV期の割合が最も多く約44%を占め、次いでI期が約24%であった。登録割合の傾向について、2018年以降はI期での登録が増加し、IV期での登録が若干減少している。

表4-7-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	0期	I期	IIA	IIB	II期	IIIA	IIIB	IIIV期	IV期	不明	該当無	合計
2020	1.2	26.5	10.3	16.1	11.3	5.5	5.8	12.4	43.4	5.2	0.0	30,116
2021	1.2	27.1	10.5	16.5	11.0	5.3	5.6	12.5	43.2	5.1	0.0	31,011
2022	1.4	27.4	11.3	16.1	10.5	5.4	5.1	12.2	43.2	5.3	0.0	31,406

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-7-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	0期	I期	IIA	IIB	II期	IIIA	IIIB	IIIV期	IV期	適用外等/ 術前治療後	不明	該当無	合計
2020	8.5	19.4	10.0	9.4	23.4	5.6	17.9	8.0	3.8	36.6	0.3	0.0	8,886
2021	8.4	17.9	9.7	8.3	19.8	4.8	15.0	6.2	3.5	43.9	0.3	0.1	8,869
2022	10.0	16.2	9.1	7.1	16.6	4.6	11.9	5.2	3.3	48.6	0.2	-	8,993

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-7-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

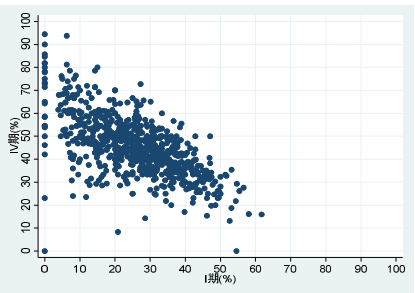
	0期	I期	IIA	IIB	II期	IIIA	IIIB	IIIV期	IV期	不明	該当無	合計
2020	2.6	21.2	8.1	13.1	14.6	5.2	9.4	14.5	44.3	2.9	0.0	30,116
2021	2.5	23.1	8.9	14.2	13.7	5.1	8.6	14.1	43.9	2.8	0.0	31,011
2022	2.9	23.9	9.7	14.1	12.9	5.3	7.6	13.6	43.9	2.9	0.0	31,406
男性	3.3	24.0	9.5	14.5	13.2	5.5	7.7	13.1	44.0	2.5	0.0	16,484
女性	2.5	23.7	10.0	13.7	12.6	5.1	7.5	14.1	43.8	3.3	0.0	14,922

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-7-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布 (対象例10例以上の711施設)

	中央値	最小値	25%値	(四分位範囲)	75%値	最大値
0期	0.0	0.0	0.0	1.4	1.4	15.6
I期	25.0	0.0	15.4	17.3	32.7	58.1
II期	10.0	0.0	5.9	9.9	15.8	42.9
III期	10.9	0.0	7.7	7.7	15.4	47.6
IV期	44.8	0.0	36.8	16.9	53.7	94.4

(参考) 施設毎の0/I期とIV期の割合の分布図



●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-7-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IV期	不明
全体	916 100.0	7,495 100.0	3,062 100.0	4,433 100.0	4,044 100.0	1,667 100.0	2,377 100.0	4,259 100.0	13,788 100.0	904 100.0
手術のみ	94.0	10.3	14.6	7.4	15.8	13.3	17.6	4.1	0.7	0.0
内視鏡のみ	0.0	—	—	—	—	—	—	0.0	—	0.0
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
放射線のみ	0.0	1.0	1.1	1.0	0.6	0.9	—	0.8	1.1	—
薬物療法のみ	—	21.1	14.0	26.1	25.3	28.5	23.1	58.9	57.7	24.0
放射線＋薬物	0.0	2.2	1.4	2.8	1.5	2.0	1.1	6.0	1.1	—
薬物＋その他	0.0	—	—	—	—	—	—	0.3	0.3	—
手術/内視鏡＋放射線	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	3.4	46.1	52.3	41.8	39.3	31.3	44.9	9.3	1.7	5.3
手術/内視鏡＋その他	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	2.1	2.0	2.1	1.0	1.0	0.9	0.5	—	—
他の組み合わせ	0.0	0.2	—	0.2	0.6	0.7	0.5	0.4	0.2	—
治療なし	2.3	16.7	14.2	18.4	15.6	21.8	11.3	19.6	37.2	68.5
（内訳）外科的治療	64.8	45.8	—	—	47.9	—	—	12.3	1.9	4.9
鏡視下治療	32.5	12.9	—	—	8.4	—	—	1.7	0.5	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-7-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IV期	不明
全体	916 100.0	7,495 100.0	3,062 100.0	4,433 100.0	4,044 100.0	1,667 100.0	2,377 100.0	4,259 100.0	13,788 100.0	904 100.0
手術のみ	95.0	10.0	14.1	7.2	15.1	12.8	16.7	3.8	0.7	0.0
内視鏡のみ	0.0	—	—	—	—	—	—	0.0	—	0.0
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
放射線のみ	0.0	1.0	1.1	1.0	0.6	0.9	—	0.9	1.1	—
薬物療法のみ	—	18.7	12.2	23.2	23.4	26.6	21.2	56.5	57.4	24.0
放射線＋薬物	0.0	2.1	1.2	2.7	1.3	1.9	1.0	6.3	1.2	—
薬物＋その他	0.0	—	—	—	—	—	—	0.3	0.3	—
手術/内視鏡＋放射線	0.0	—	—	—	—	0.0	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	3.7	48.6	54.5	44.6	41.8	33.6	47.6	11.2	2.0	5.3
手術/内視鏡＋その他	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	2.6	2.4	2.7	1.4	1.4	1.3	1.0	—	—
他の組み合わせ	0.0	0.2	—	0.2	0.5	0.6	0.5	0.5	0.2	—
治療なし	—	16.5	14.1	18.2	15.5	21.7	11.2	19.5	37.2	68.5
（内訳）外科的治療	65.3	48.1	—	—	50.0	—	—	14.4	2.2	4.9
鏡視下治療	33.4	13.3	—	—	8.5	—	—	1.8	0.5	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-7-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む**）

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IV期	不明
全体	916 100.0	7,495 100.0	3,062 100.0	4,433 100.0	4,044 100.0	1,667 100.0	2,377 100.0	4,259 100.0	13,788 100.0	904 100.0
手術のみ	95.0	10.0	14.0	7.2	14.9	12.5	16.6	3.6	0.6	0.0
内視鏡のみ	0.0	—	—	—	—	—	—	0.0	—	0.0
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
放射線のみ	0.0	1.1	1.1	1.0	0.6	1.0	—	1.0	1.1	—
薬物療法のみ	—	17.7	11.3	22.1	22.6	25.7	20.4	54.6	57.3	23.3
放射線＋薬物	0.0	2.4	1.5	3.0	1.6	2.2	1.1	7.8	1.2	1.2
薬物＋その他	0.0	—	—	—	—	—	—	0.3	0.4	—
手術/内視鏡＋放射線	0.0	—	—	—	—	0.0	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	3.8	49.4	55.2	45.3	42.7	34.6	48.3	11.7	2.0	5.5
手術/内視鏡＋その他	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	2.6	2.4	2.8	1.4	1.5	1.3	1.0	—	—
他の組み合わせ	0.0	0.3	—	0.2	0.5	0.6	0.5	0.6	0.2	—
治療なし	—	16.4	14.0	18.1	15.3	21.2	11.1	19.3	37.0	68.4
（内訳）外科的治療	65.3	48.7	—	—	50.7	—	—	14.7	2.2	5.1
鏡視下治療	33.5	13.4	—	—	8.5	—	—	1.8	0.5	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL: <https://jhcr-cs.ganjocho.jp/hbortables/>）

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-7-1 (1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）
(2020年-2022年)

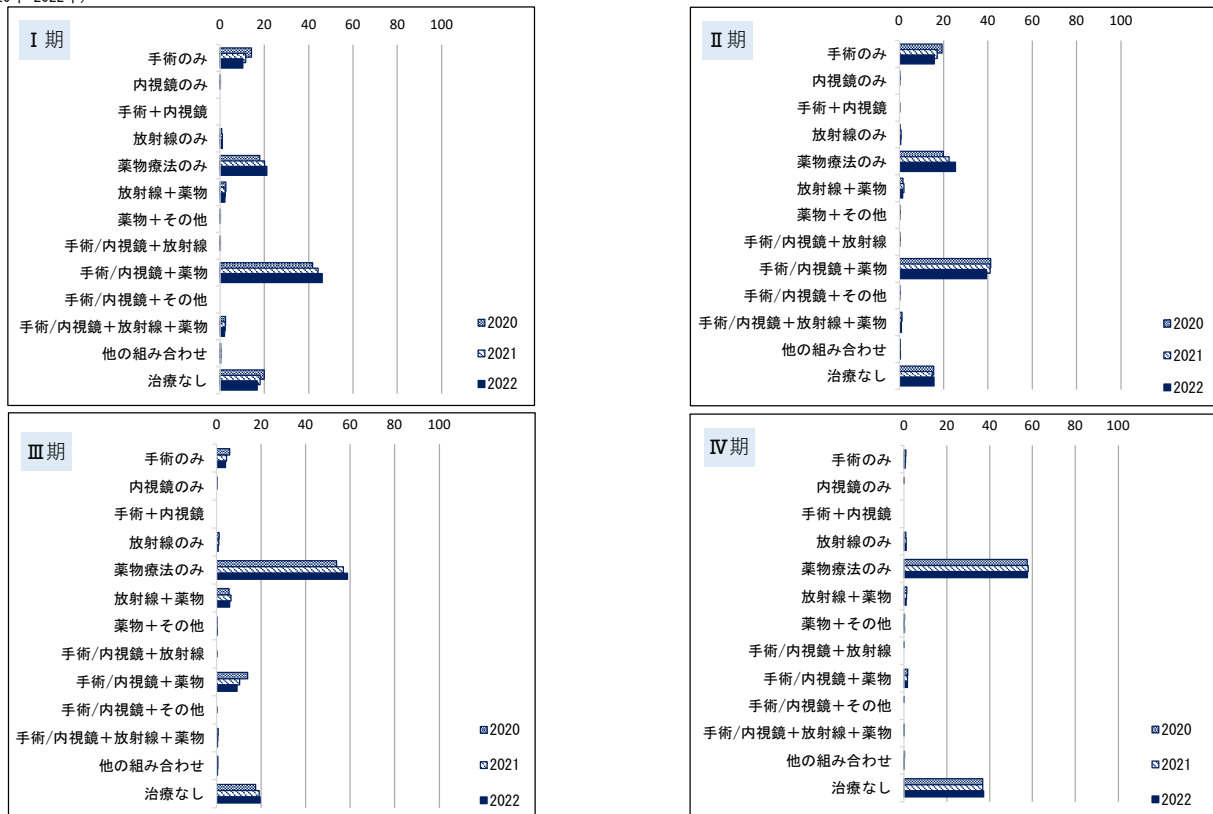
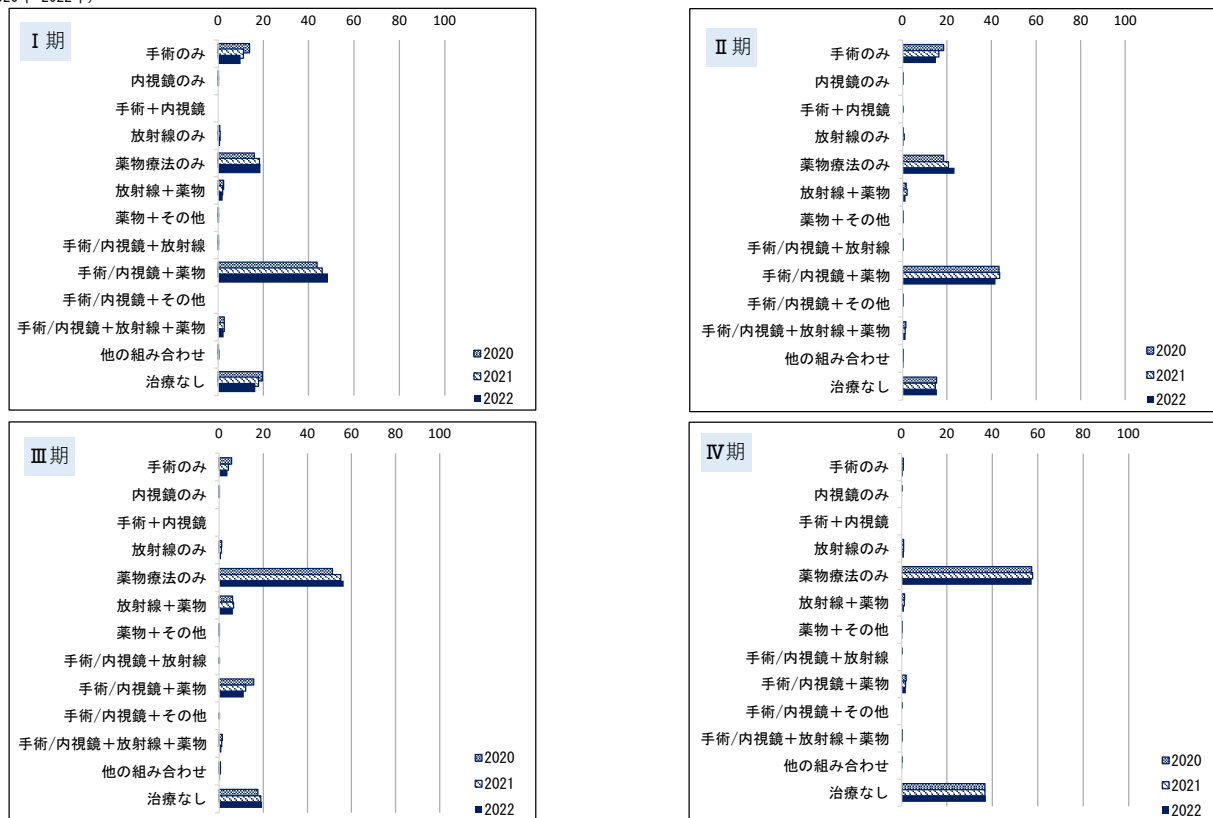


表4-7-1 (2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）
(2020年-2022年)



膵高分化型神経内分泌腫瘍

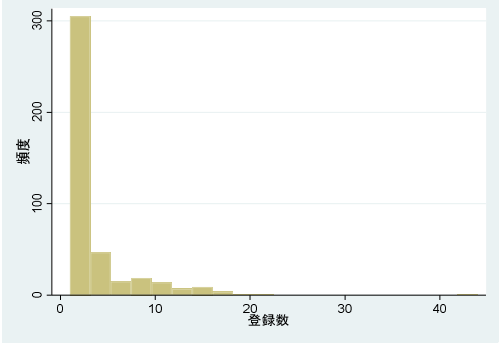
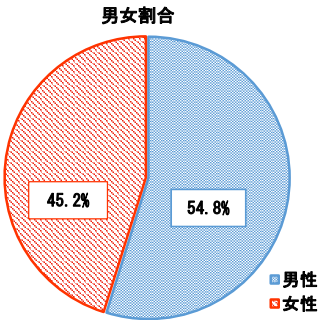
●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は2例で、最小登録数が1例、最大登録数が44例であった。

対象施設数	423
平均	4
最小値	1
中央値	2
最大値	44

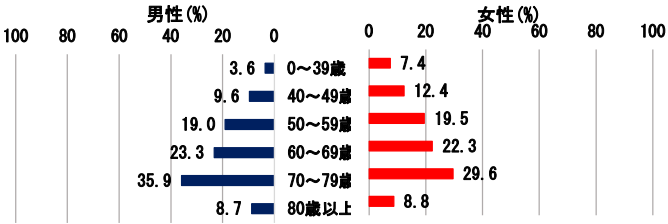
●性別

男性	816
女性	672
不明	-



●年齢

	平均	標準偏差	中央値
全体	64.2	13.6	66.6
拠点	63.8	13.5	65.9
拠点外	67.0	13.6	70.8



●UICC TNM病期分布

表4-7②-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当無	合計
2020	0.0	49.4	20.4	3.6	12.6	13.9	0.0	1,313
2021	0.0	52.0	18.9	2.4	14.8	11.8	0.0	1,436
2022	-	52.6	19.8	2.5	13.8	11.2	0.0	1,488

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-7②-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	0期	I期	II期	III期	IV期	適用外等	不明	該当無	合計
2020	0.1	64.1	20.0	10.0	3.5	2.0	0.1	0.1	958
2021	0.0	63.8	20.1	11.5	3.1	1.3	0.2	0.0	956
2022	-	63.2	23.3	9.8	2.4	1.0	-	-	1,013

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-7②-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当無	合計
2020	0.0	59.6	17.4	8.8	13.3	0.8	0.0	1,313
2021	0.0	59.3	16.1	8.5	14.9	1.2	0.0	1,436
2022	-	59.3	18.3	7.2	14.3	0.7	0.0	1,488
男性	-	59.7	16.4	7.4	15.7	-	0.0	816
女性	0.0	58.9	20.7	7.0	12.6	-	0.0	672

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-7②-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）

総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	不明
全体	883 100.0	273 100.0	107 100.0	213 100.0	11 100.0
手術のみ	67.0	83.2	86.9	7.5	—
内視鏡のみ	0.0	—	0.0	0.0	—
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—
放射線のみ	0.0	—	0.0	—	0.0
薬物療法のみ	—	—	—	70.4	0.0
放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	—	0.0
薬物＋その他	0.0	0.0	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	—	—	—	—	—
手術/内視鏡＋薬物	1.1	—	—	4.7	—
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	—	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	—	—	—	—
他の組み合わせ	—	0.0	0.0	0.0	—
治療なし	30.8	12.1	—	12.2	—
（内訳）外科的治療	29.8	43.2	59.8	8.5	—
鏡視下治療	38.4	41.0	33.6	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-7②-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）

総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	不明
全体	883 100.0	273 100.0	107 100.0	213 100.0	11 100.0
手術のみ	71.5	86.1	86.9	7.5	—
内視鏡のみ	0.0	—	0.0	0.0	—
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—
放射線のみ	0.0	—	0.0	—	0.0
薬物療法のみ	—	—	—	69.5	0.0
放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	—	0.0
薬物＋その他	0.0	0.0	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	—	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋薬物	1.1	—	—	4.7	—
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	—	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	—	—	—	—
他の組み合わせ	—	0.0	0.0	0.0	—
治療なし	26.3	9.2	—	11.7	—
（内訳）外科的治療	31.5	45.1	59.8	8.5	—
鏡視下治療	41.2	42.1	34.6	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-7②-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に他施設で実施した治療を含む**）

総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	不明
全体	883 100.0	273 100.0	107 100.0	213 100.0	11 100.0
手術のみ	71.5	86.1	86.9	7.5	—
内視鏡のみ	0.0	—	0.0	0.0	—
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—
放射線のみ	0.0	—	0.0	—	0.0
薬物療法のみ	—	—	—	69.0	0.0
放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	4.7	0.0
薬物＋その他	0.0	0.0	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	—	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋薬物	1.1	—	—	4.7	—
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	—	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	—	—	—	—
他の組み合わせ	—	0.0	0.0	0.0	—
治療なし	26.3	9.2	—	11.7	—
（内訳）外科的治療	31.5	45.1	59.8	8.5	—
鏡視下治療	41.2	42.1	34.6	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL：<https://jhcr-cs.ganjoho.jp/hbortables/>）

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-7②-1 (1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）
(2020年-2022年)

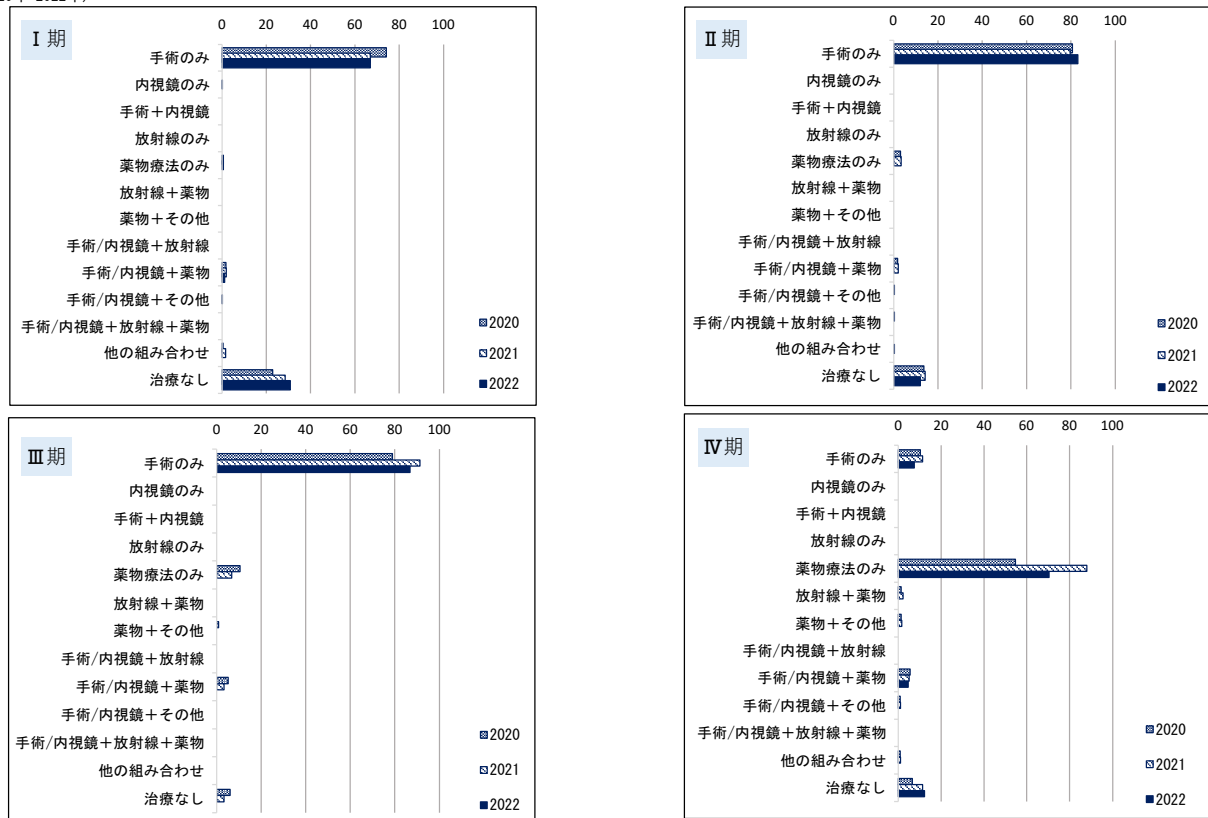
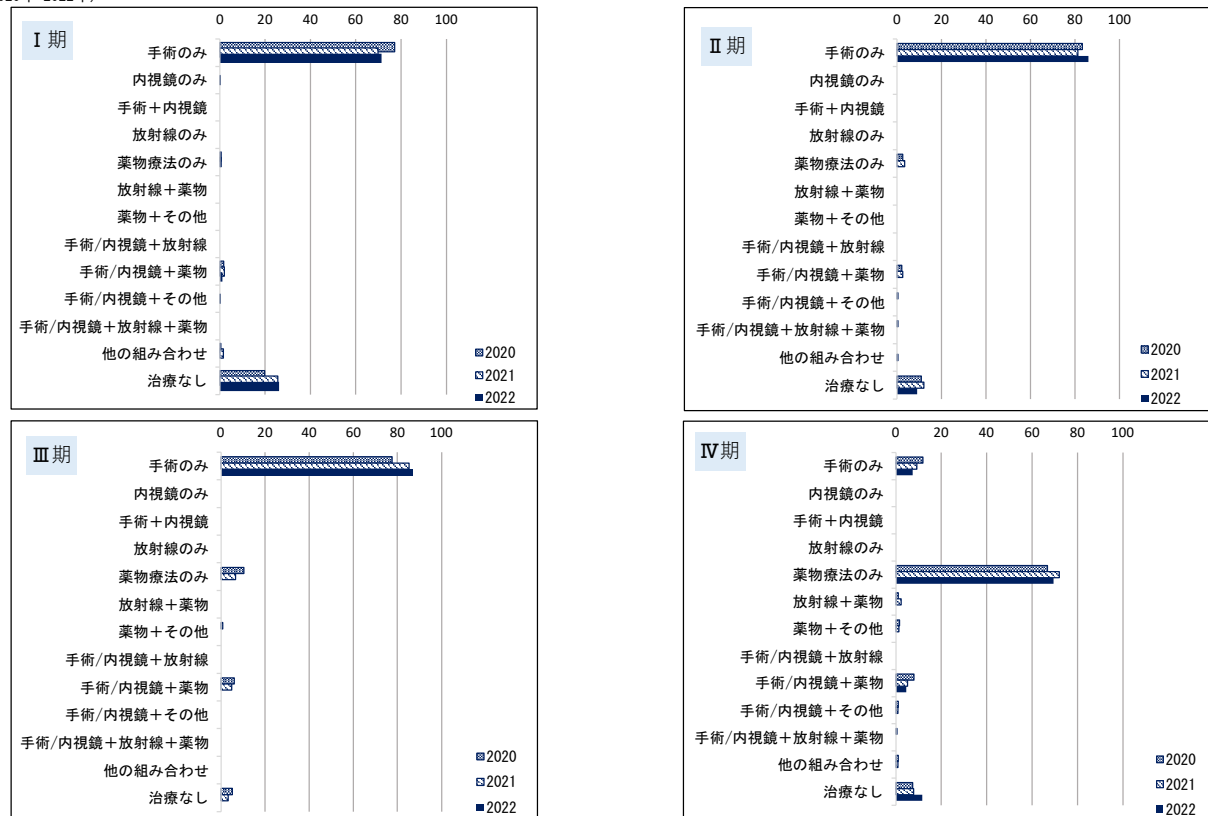


表4-7②-1 (2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）
(2020年-2022年)



8. 前立腺がん（前立腺癌）

	全登録		症例区分80 その他を除く	初回治療開始例	治療前ステージ集計			術後病理学的ステージ集計		
	全登録数	施設数			対象数*1	%*2	施設数	対象数*1	%*2	施設数
2020	83,632	846	80,495	59,711	59,665	99.9	812	18,833	31.5	603
2021	91,706	854	88,123	66,340	66,306	99.9	823	21,629	32.6	597
2022	98,787	834	95,106	71,259	71,200	99.9	799	23,759	33.3	594

*1治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象数の定義は、集計方法を参照

*2分母は自施設初回治療開始例

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

(注)2022年症例はpT2aNOMOを術後病期Ⅱとし、「a,b,c」の亜分類も許容しておりpT2aNOMOは術後病期Ⅰとなっていた。

2023年症例よりpT2では「a,b,c」をつけないこととなるため、本報告書ではpT2aNOMOの登録であっても術後病期Ⅱと変換して集計した(2,946例)。

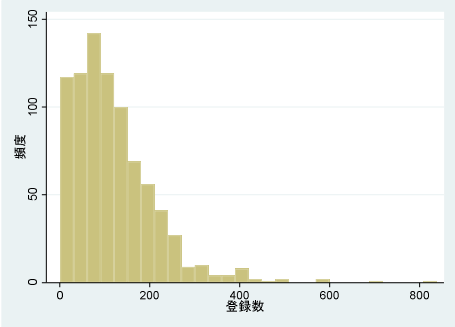
●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は76例で、最小登録数が1例、最大登録数が452例であった。

対象施設数	799
平均	89
最小値	1
中央値	76
最大値	452

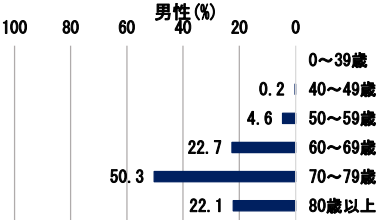
●性別

男性	71,198
女性	(1-3)
不明	-



●年齢

	平均	標準偏差	中央値
全体	74.0	7.9	74.2
拠点	73.5	7.9	73.8
拠点外	75.4	7.9	75.3



●UICC TNM病期分布

表4-8-3よりⅡ期の割合が最も多く約35%を占め、次いでⅠ期が約29%であった。

表4-8-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	I期	II期	III期	IV期	不明	該当無	合計
2020	45.5	21.6	12.1	17.8	2.9	0.0	59,665
2021	45.7	22.2	12.0	17.4	2.8	0.0	66,306
2022	46.4	22.3	11.9	16.9	2.5	-	71,200

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-8-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	I期	II期	III期	IV期	適用外等	不明	該当無	合計
2020	17.5	46.2	20.2	3.4	11.4	1.4	0.0	18,833
2021	17.7	46.1	20.2	3.3	10.8	1.9	0.0	21,629
2022	0.8	62.1	19.5	3.0	12.7	1.8	-	23,759

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-8-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

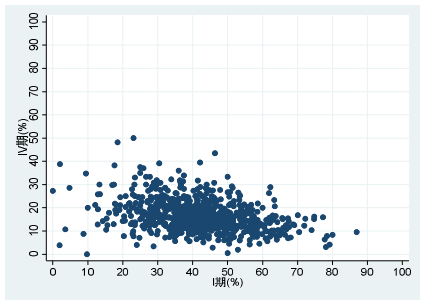
	I期	II期	III期	IV期	不明	該当無	合計
2020	34.5	28.8	16.6	18.7	1.4	0.0	59,665
2021	34.4	29.4	16.6	18.2	1.4	0.0	66,306
2022	29.3	35.2	16.5	17.7	1.3	-	71,200

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-8-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布 (対象例20例以上の692施設)

	中央値	最小値	25%値	(四分位範囲)	75%値	最大値
I期	44.2	7.1	35.3	18.0	53.3	82.1
II期	20.6	0.0	14.3	14.9	29.2	63.5
III期	10.7	0.0	7.0	8.7	15.7	38.6
IV期	17.6	0.0	13.1	10.7	23.8	52.2

(参考) 施設毎のⅠ期とⅣ期の割合の分布図



●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-8-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）

総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	不明
全体	20,870 100.0	25,094 100.0	11,729 100.0	12,600 100.0	906 100.0
手術のみ	1.0	54.0	35.5	4.0	2.8
内視鏡のみ	1.2	0.2	—	—	3.0
手術＋内視鏡	0.0	—	—	0.0	0.0
放射線のみ	8.8	1.9	0.6	0.3	1.4
薬物療法のみ	57.2	31.3	51.9	84.2	71.4
放射線＋薬物	4.0	2.1	2.8	6.3	—
薬物＋その他	0.1	0.1	0.1	0.3	—
手術/内視鏡＋放射線	—	—	0.4	0.1	0.0
手術/内視鏡＋薬物	3.9	2.7	4.0	1.8	1.5
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	—	0.1	0.2	0.0
他の組み合わせ	0.9	0.1	—	0.2	—
治療なし	22.8	7.5	4.5	2.6	18.3
（内訳）外科的治療	0.3	3.1	1.5	0.9	1.3
鏡視下治療	4.5	53.7	38.4	5.0	2.4

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-8-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）

総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	不明
全体	20,870 100.0	25,094 100.0	11,729 100.0	12,600 100.0	906 100.0
手術のみ	1.1	58.3	37.0	3.7	2.8
内視鏡のみ	1.2	0.2	—	—	2.9
手術＋内視鏡	0.0	—	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	9.9	2.2	0.8	0.3	1.4
薬物療法のみ	42.0	23.0	37.5	80.4	69.8
放射線＋薬物	17.7	9.2	15.1	9.6	2.9
薬物＋その他	0.1	—	—	0.2	—
手術/内視鏡＋放射線	—	0.1	0.8	0.1	0.0
手術/内視鏡＋薬物	6.1	4.2	6.8	2.5	1.9
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.1	0.1	0.5	0.5	0.0
他の組み合わせ	0.9	0.1	—	0.2	—
治療なし	20.9	2.5	1.5	2.3	17.9
（内訳）外科的治療	0.4	3.2	1.7	1.0	1.3
鏡視下治療	6.7	59.4	43.1	5.7	2.6

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-8-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む**）

総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	不明
全体	20,870 100.0	25,094 100.0	11,729 100.0	12,600 100.0	906 100.0
手術のみ	1.1	58.2	36.9	3.7	2.8
内視鏡のみ	1.2	0.2	—	—	2.9
手術＋内視鏡	0.0	—	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	9.9	2.2	0.8	0.3	1.4
薬物療法のみ	38.2	21.0	35.3	79.7	68.4
放射線＋薬物	21.3	11.2	17.2	10.3	4.2
薬物＋その他	0.1	0.0	—	0.3	—
手術/内視鏡＋放射線	—	0.1	0.8	0.1	0.0
手術/内視鏡＋薬物	6.3	4.3	6.8	2.6	2.0
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.1	0.1	0.6	0.5	0.0
他の組み合わせ	1.0	0.2	—	0.2	—
治療なし	20.8	2.5	1.5	2.3	17.8
（内訳）外科的治療	0.4	3.3	1.7	1.0	1.3
鏡視下治療	6.9	59.5	43.2	5.7	2.8

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL：<https://jhcr-cs.ganjoho.jp/hbortables/>）

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-8-1 (1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）
(2020年-2022年)

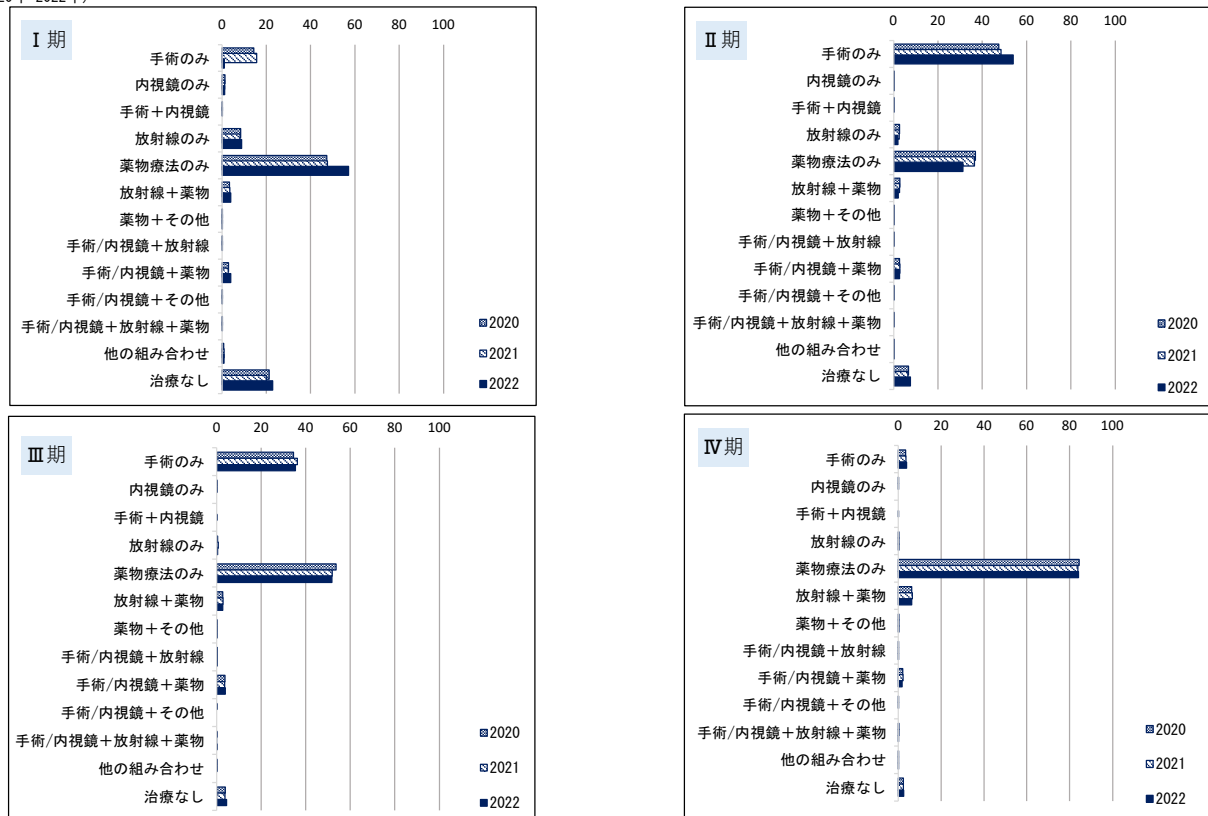
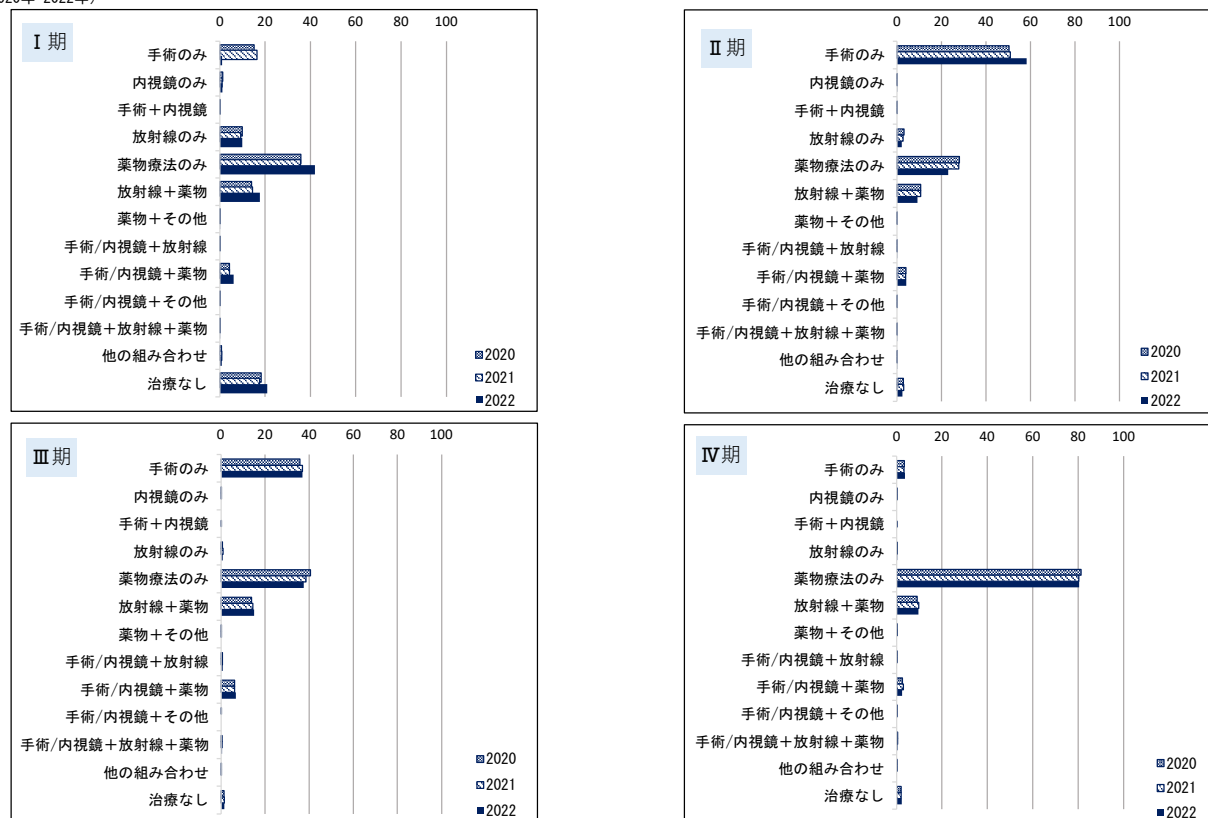


表4-8-1 (2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）
(2020年-2022年)



9. 子宮頸がん（子宮頸癌）

	全登録		症例区分80 その他を除く	初回治療開始例	治療前ステージ集計			術後病理学的ステージ集計		
	全登録数	施設数			対象数*1	%*2	施設数	対象数*1	%*2	施設数
2020	34,130	794	33,391	28,068	28,031	99.9	706	21,259	75.7	676
2021	36,898	796	36,124	30,523	30,497	99.9	702	23,188	76.0	675
2022	34,865	762	34,123	28,618	28,586	99.9	671	21,523	75.2	650

*1治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象数の定義は、集計方法を参照

*2分母は自施設初回治療開始例

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

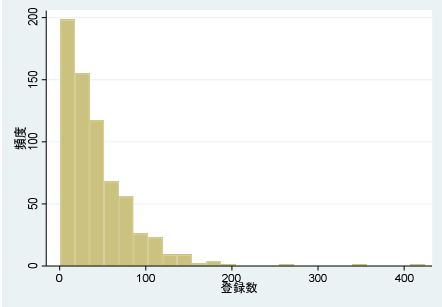
●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は32例で、最小登録数が1例、最大登録数が424例であった。

対象施設数	671
平均	43
最小値	1
中央値	32
最大値	424

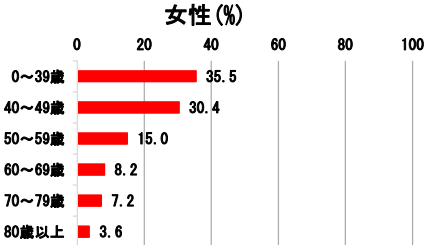
●性別

男性	0
女性	28,586
不明	-



●年齢

	平均	標準偏差	中央値
全体	47.5	14.7	44.4
拠点	48.0	14.9	44.8
拠点外	45.7	13.9	43.1



●UICC TNM病期分布

表4-9-3より0期の割合が最も多く約64%を占め、次いで1期が約12%であった。登録割合の変動について、2020年以降大きな変化は見られない。

表4-9-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明	該当無	合計
2020	66.0	12.6	3.1	9.5	5.0	1.7	3.4	7.0	0.4	6.7	4.6	1.2	3.4	4.7	0.0	28,031
2021	66.7	12.0	3.4	8.6	4.7	1.6	3.1	7.6	0.3	7.2	4.3	1.3	3.1	4.8	0.0	30,497
2022	65.7	12.0	3.4	8.6	5.0	1.6	3.4	7.9	0.4	7.6	4.6	1.2	3.3	4.7	-	28,586

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-9-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	適用外等/ 術前治療後	不明	該当無	合計
2020	77.5	14.9	5.8	9.2	2.0	1.0	1.0	3.2	0.0	3.2	0.3	0.0	0.0	1.5	0.4	0.1	21,259
2021	78.7	14.1	6.0	8.1	2.0	1.0	1.0	3.2	0.0	3.1	0.2	0.0	0.2	1.4	0.4	0.0	23,188
2022	78.7	14.2	6.2	8.0	2.0	1.0	1.0	3.0	-	2.9	0.3	-	0.3	1.3	0.4	0.1	21,523

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-9-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

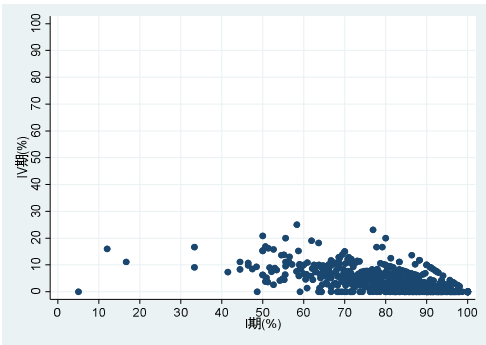
	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明	該当無	合計
2020	68.0	13.1	4.6	8.5	5.1	1.7	3.4	8.6	0.4	8.2	4.8	1.2	3.5	0.4	0.0	28,031
2021	69.0	12.5	4.8	7.7	4.7	1.6	3.2	9.0	0.4	8.7	4.4	1.3	3.1	0.4	0.0	30,497
2022	63.6	11.7	4.7	7.1	4.8	1.6	3.3	8.8	0.4	8.5	4.4	1.2	3.2	0.3	0.0	28,586

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-9-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布 (対象例10例以上の559施設)

	中央値	最小値	25%値	(四分位範囲)	75%値	最大値
0期	71.8	0.0	58.8	26.2	85.0	100.0
I期	8.6	0.0	3.3	11.3	14.6	50.0
II期	3.2	0.0	0.0	7.0	7.0	31.3
III期	4.8	0.0	0.0	10.0	10.0	68.0
IV期	3.3	0.0	0.0	6.8	6.8	25.0

(参考) 施設毎の0/I期とIV期の割合の分布図



●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-9-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明
全体	19,397 100.0	3,579 100.0	1,426 100.0	2,152 100.0	1,471 100.0	473 100.0	995 100.0	2,698 100.0	107 100.0	2,591 100.0	1,348 100.0	358 100.0	990 100.0	93 100.0
手術のみ	82.5	64.1	87.6	48.5	7.1	15.2	3.3	2.4	0.0	2.5	0.7	—	—	34.4
内視鏡のみ	0.6	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—
手術＋内視鏡	—	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	—	5.0	—	8.0	18.0	17.3	18.3	12.5	30.8	11.8	21.4	35.5	16.4	10.8
薬物療法のみ	0.0	—	0.0	—	—	—	—	2.1	—	2.1	30.0	6.4	38.6	—
放射線＋薬物	—	3.9	—	6.5	42.8	25.6	51.1	55.5	53.3	55.6	28.0	43.3	22.5	—
薬物＋その他	—	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	—	5.5	—	8.8	3.9	9.9	1.1	0.9	0.0	0.9	—	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	—	8.7	—	14.3	9.9	12.9	8.3	7.3	—	7.6	3.5	0.0	4.7	—
手術/内視鏡＋その他	0.9	—	—	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	6.4	—	10.4	14.1	14.6	14.0	15.7	—	16.3	1.6	—	1.6	0.0
他の組み合わせ	4.3	—	—	—	—	0.0	—	0.5	0.0	0.5	—	—	—	—
治療なし	11.6	5.6	10.0	2.7	3.1	3.2	3.0	2.9	10.3	2.6	14.0	12.0	14.7	39.8
（内訳）外科的治療	72.5	67.8	—	—	33.2	—	—	25.3	—	—	5.6	—	—	28.0
鏡視下治療	11.0	17.2	—	—	2.2	—	—	1.1	—	—	—	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-9-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明
全体	19,397 100.0	3,579 100.0	1,426 100.0	2,152 100.0	1,471 100.0	473 100.0	995 100.0	2,698 100.0	107 100.0	2,591 100.0	1,348 100.0	358 100.0	990 100.0	93 100.0
手術のみ	86.0	65.5	92.3	47.8	6.6	14.0	3.1	2.3	0.0	2.4	0.7	—	—	34.4
内視鏡のみ	0.6	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—
手術＋内視鏡	—	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	—	5.1	—	8.1	17.8	17.3	18.0	12.6	30.8	11.8	21.1	35.2	16.1	10.8
薬物療法のみ	0.0	—	0.0	—	—	—	—	1.7	—	1.7	28.2	6.4	36.1	—
放射線＋薬物	—	4.0	—	6.5	42.8	25.4	51.2	55.6	53.3	55.7	29.4	43.3	24.3	—
薬物＋その他	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	—	6.0	—	9.7	4.4	10.8	1.3	0.9	0.0	0.9	—	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	—	8.9	—	14.6	9.9	13.3	8.1	7.3	—	7.5	3.9	0.0	5.4	—
手術/内視鏡＋その他	1.0	—	—	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	6.6	—	10.8	14.7	15.2	14.5	16.4	—	17.0	2.0	—	2.1	0.0
他の組み合わせ	4.3	—	—	—	—	0.0	—	0.5	0.0	0.5	—	—	—	—
治療なし	8.0	3.0	5.0	1.7	3.1	3.2	3.0	2.6	10.3	2.3	13.9	12.0	14.6	39.8
（内訳）外科的治療	75.0	69.4	—	—	33.6	—	—	25.7	—	—	6.4	—	—	28.0
鏡視下治療	12.1	18.2	—	—	2.2	—	—	1.3	—	—	—	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-9-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む**）

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明
全体	19,397 100.0	3,579 100.0	1,426 100.0	2,152 100.0	1,471 100.0	473 100.0	995 100.0	2,698 100.0	107 100.0	2,591 100.0	1,348 100.0	358 100.0	990 100.0	93 100.0
手術のみ	86.0	64.9	92.2	46.8	6.2	13.1	2.9	2.1	0.0	2.2	—	—	—	33.3
内視鏡のみ	0.6	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	—
手術＋内視鏡	0.1	—	—	—	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	—	5.1	—	8.1	17.9	17.3	18.1	12.6	30.8	11.8	21.4	36.0	16.2	11.8
薬物療法のみ	0.0	—	0.0	—	—	—	—	1.5	—	1.5	28.1	6.1	36.1	—
放射線＋薬物	—	4.0	—	6.6	42.8	25.4	51.2	55.8	53.3	55.9	29.5	43.6	24.3	—
薬物＋その他	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	—	6.4	—	10.2	4.4	10.8	1.4	1.0	0.0	1.0	—	—	—	—
手術/内視鏡＋薬物	—	9.0	—	14.8	9.9	13.3	8.1	7.3	—	7.5	3.9	0.0	5.4	—
手術/内視鏡＋その他	1.0	—	—	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	6.8	—	11.2	15.0	16.1	14.6	16.6	—	17.2	2.1	—	2.2	0.0
他の組み合わせ	4.3	0.3	—	—	—	0.0	—	0.5	0.0	0.5	—	—	—	—
治療なし	8.0	3.0	5.0	1.6	3.0	3.2	2.9	2.6	10.3	2.3	13.6	11.2	14.4	38.7
（内訳）外科的治療	75.0	69.5	—	—	33.6	—	—	25.8	—	—	6.4	—	—	28.0
鏡視下治療	12.1	18.2	—	—	2.2	—	—	1.3	—	—	—	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL：<https://jhcr-cs.ganjocho.jp/hbortables/>）

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-9-1(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）
（2020年-2022年）

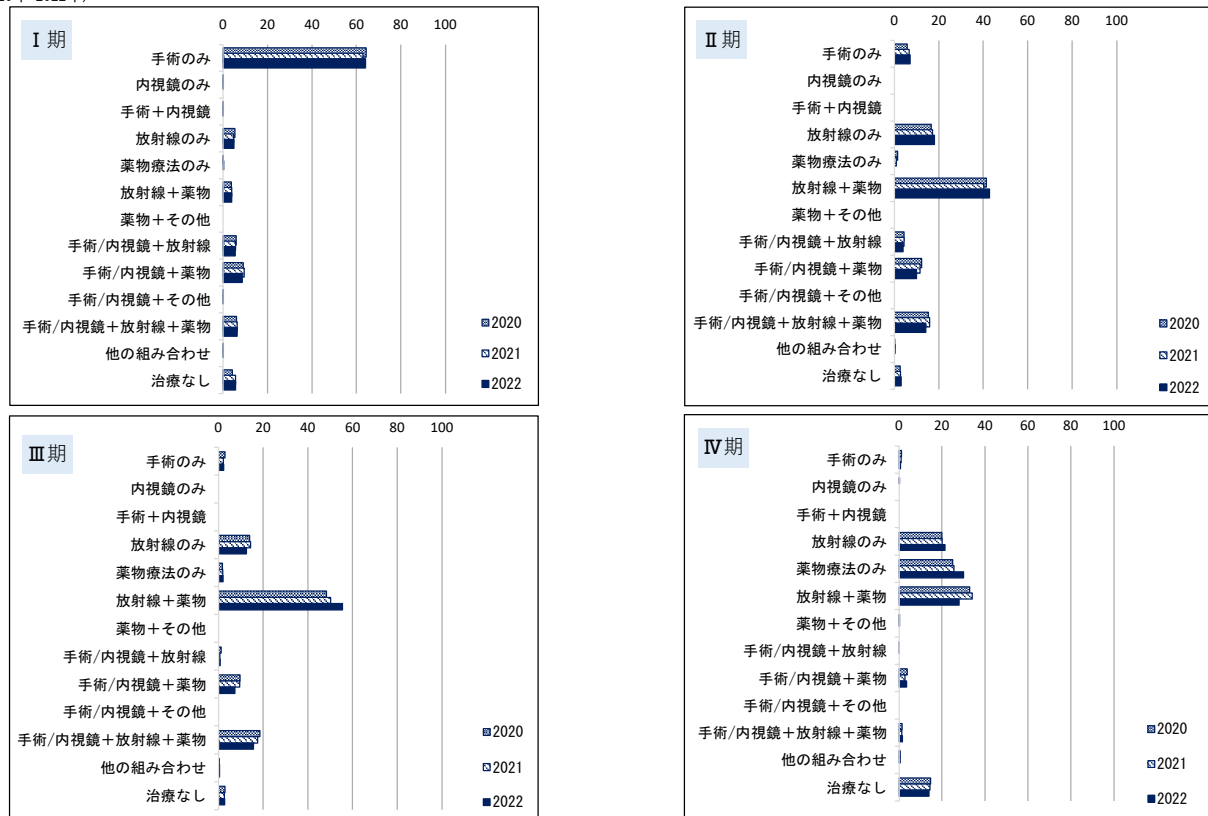
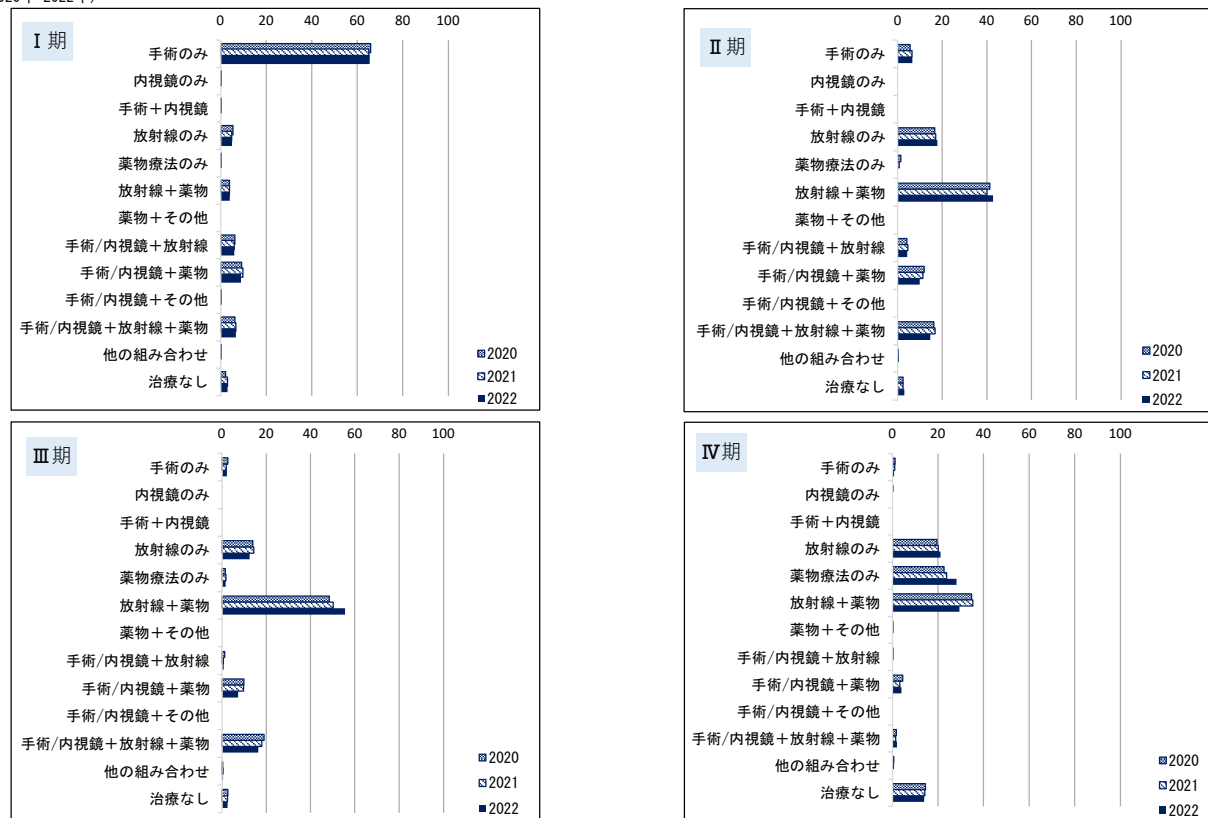


表4-9-1(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）
（2020年-2022年）



10. 子宮体がん（子宮体癌）・子宮肉腫

	全登録		症例区分80 その他を除く	初回治療開始例	治療前ステージ集計			術後病理学的ステージ集計		
	全登録数	施設数			対象数*1	%*2	施設数	対象数*1	%*2	施設数
2020	19,611	788	19,154	15,724	子宮内膜癌	15,022	95.5	649	13,799	87.8
					子宮肉腫	613	3.9	318	557	3.5
2021	21,189	791	20,677	16,914	子宮内膜癌	16,160	95.5	646	14,829	87.7
					子宮肉腫	625	3.7	316	570	3.4
2022	20,944	776	20,496	16,989	子宮内膜癌	16,230	95.5	631	14,886	87.6
					子宮肉腫	637	3.7	323	592	3.5

*1治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象数の定義は、集計方法を参照

*2分母は自施設初回治療開始例

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

子宮体がん（子宮体癌）

●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は17例で、最小登録数が1例、最大登録数が299例であった。

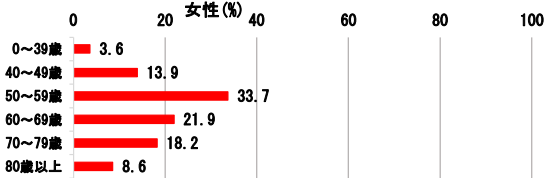
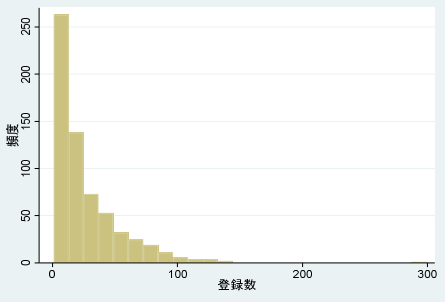
対象施設数	631
平均	26
最小値	1
中央値	17
最大値	299

●性別

男性	0
女性	16,230
不明	-

●年齢

	平均	標準偏差	中央値
全体	61.3	12.7	59.6
拠点	61.2	12.6	59.4
拠点外	62.0	13.2	60.3



●UICC TNM病期分布

表4-10①-3よりI期の割合が最も多く約71%を占め、次いでIII期が約13%であった。登録割合の変動について、2020年以降大きな変化は見られない。

表4-10①-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	I期	IA期	IB期	II期	III期	IIIA期	IIIB期	IIIC期	IV期	IVA期	IVB期	不明	該当無	合計
2020	71.7	54.4	17.2	4.1	8.5	2.1	0.9	5.6	7.8	0.5	7.3	8.0	0.1	15,022
2021	71.6	54.7	16.8	3.9	8.9	2.3	0.6	6.0	7.7	0.5	7.2	7.9	0.1	16,160
2022	71.4	55.0	16.5	3.6	8.6	1.8	0.7	6.0	7.9	0.4	7.6	8.4	-	16,230

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-10①-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	I期	IA期	IB期	II期	III期	IIIA期	IIIB期	IIIC期	IV期	IVA期	IVB期	適用外等	不明	その他	合計
2020	74.4	57.9	16.5	6.0	12.5	3.5	1.0	8.1	4.6	0.2	4.4	2.0	0.4	0.0	13,799
2021	73.9	57.7	16.2	6.3	12.5	3.6	0.9	8.1	4.6	0.3	4.3	2.2	0.4	0.1	14,829
2022	74.2	58.2	16.0	6.1	12.7	3.5	1.1	8.1	4.6	0.2	4.5	2.0	0.5	-	14,886

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-10①-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

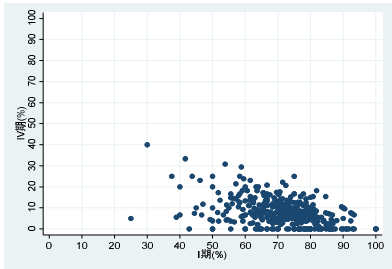
	I期	IA期	IB期	II期	III期	IIIA期	IIIB期	IIIC期	IV期	IVA期	IVB期	不明	その他	合計
2020	71.2	55.5	15.8	5.8	13.0	3.4	1.2	8.4	9.3	0.5	8.8	0.7	0.1	15,022
2021	70.8	55.2	15.6	6.1	13.0	3.5	1.0	8.4	9.2	0.6	8.7	0.8	0.1	16,160
2022	70.8	55.5	15.3	5.8	13.2	3.5	1.3	8.5	9.2	0.4	8.9	0.9	-	16,230

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-10①-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布 (対象例10例以上の406施設)

	中央値	最小値	25%値	(四分位範囲)	75%値	最大値
I期	72.7	25.0	65.4	13.2	78.6	100.0
II期	2.5	0.0	0.0	5.3	5.3	30.0
III期	7.8	0.0	4.3	7.5	11.8	33.3
IV期	7.1	0.0	3.8	7.3	11.1	40.0

(参考) 施設毎のI期とIV期の割合の分布図



●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-10①-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療)

総合ステージ	I 期	IA期	IB期	II期	IIIA期	IIIB期	IIIC期	IV期	IVA期	IVB期	不明	
全体	11,491 100.0	9,000 100.0	2,491 100.0	945 100.0	2,143 100.0	560 100.0	207 100.0	1,376 100.0	1,501 100.0	61 100.0	1,440 100.0	16,176 100.0
手術のみ	71.0	80.5	36.5	25.1	13.7	18.6	16.4	11.3	8.1	—	8.0	18.4
内視鏡のみ	0.2	0.2	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術＋内視鏡	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	0.8	0.5	1.7	1.5	2.7	2.5	5.3	2.4	4.9	—	4.7	7.8
薬物療法のみ	1.3	1.6	—	—	3.3	—	6.8	3.7	25.1	19.7	25.3	7.8
放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	2.0	—	2.0	0.0
薬物＋その他	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線	0.3	—	1.1	1.5	1.1	—	—	0.8	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	24.5	15.1	58.4	69.8	75.5	75.0	62.3	77.6	42.8	29.5	43.4	10.6
手術/内視鏡＋その他	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	—	—	—	—	0.0	—	—	1.1	—	1.1	—
他の組み合わせ	—	—	—	0.0	—	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0
治療なし	1.7	1.6	1.8	1.6	3.0	1.8	5.8	3.1	15.6	27.9	15.1	53.9
（内訳） 外科的治療	52.3	-	-	76.5	79.1	-	-	-	49.8	-	-	100.0
鏡視下治療	43.6	-	-	20.1	11.6	-	-	-	2.7	-	-	19.9

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-10①-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む)

※手術日かつ化学療法に日数課税実施した治療を含む												
総合ステージ	I期	IA期	IB期	II期	IIIA期	IIIB期	IIIC期	IV期	IVA期	IVB期	不明	
全体	11,491 100.0	9,000 100.0	2,491 100.0	945 100.0	2,143 100.0	560 100.0	207 100.0	1,376 100.0	1,501 100.0	61 100.0	1,440 100.0	16,185 100.0
手術のみ	71.0	80.8	35.7	24.2	12.6	18.2	14.5	10.0	7.8	—	7.7	18.4
内視鏡のみ	0.2	0.2	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術＋内視鏡	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	0.8	0.5	1.8	1.5	2.7	2.3	5.3	2.4	4.9	—	4.8	7.8
薬物療法のみ	1.2	1.4	—	—	2.8	—	5.3	3.3	20.7	18.0	20.8	—
放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	—	2.1	—	2.1	0.0
薬物＋その他	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線	0.3	—	1.1	1.4	1.1	—	—	0.8	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	25.0	15.5	59.3	70.8	76.6	75.5	63.8	78.9	46.8	31.1	47.5	12.1
手術/内視鏡＋その他	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.1	—	—	—	1.0	0.0	—	1.3	1.8	—	1.8	—
他の組み合わせ	—	—	—	0.0	—	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0
治療なし	1.3	1.2	1.6	1.6	2.9	—	5.8	3.0	15.5	27.9	14.9	53.9
(内訳) 外科的治療	52.6	-	-	76.6	79.8	-	-	-	54.2	-	-	100.0
鏡視下治療	43.8	-	-	20.1	11.6	-	-	-	2.7	-	-	20.6

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-10①-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む)

総合ステージ	I期	IA期	IB期	II期	IIIA期	IIIB期	IIIC期	IV期	IVA期	IVB期	不明	
全体	11,491 100.0	9,000 100.0	2,491 100.0	945 100.0	2,143 100.0	560 100.0	207 100.0	1,376 100.0	1,501 100.0	61 100.0	1,440 100.0	16,182 100.0
手術のみ	70.8	80.7	35.4	23.9	12.1	18.0	14.0	9.4	7.5	—	7.4	19.1
内視鏡のみ	0.2	0.2	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術＋内視鏡	0.2	0.2	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	0.8	0.6	1.8	1.5	2.7	2.3	5.3	2.4	4.9	—	4.8	7.8
薬物療法のみ	1.2	1.4	—	—	2.8	—	5.3	3.2	20.7	18.0	20.8	—
放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	—	2.1	—	2.1	0.0
薬物＋その他	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線	0.3	—	1.1	1.5	1.2	—	—	0.9	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	25.1	15.6	59.5	71.0	76.9	75.9	64.3	79.3	47.2	31.1	47.9	12.1
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.1	—	—	—	1.1	0.0	—	1.4	1.8	—	1.8	—
他の組み合わせ	—	—	—	0.0	—	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0
治療なし	1.3	1.2	1.6	1.6	2.9	—	5.8	3.0	15.5	27.9	14.9	53.2
（内訳） 外科的治療	52.6	-	-	76.6	79.9	-	-	-	54.2	-	-	100.0
鏡視下治療	43.8	-	-	20.1	11.6	-	-	-	2.7	-	-	21.3

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。(URL: <https://jhcr-cs.ganjocho.jp/hbcrtables/>)

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-10①-1 (1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）
(2020年-2022年)

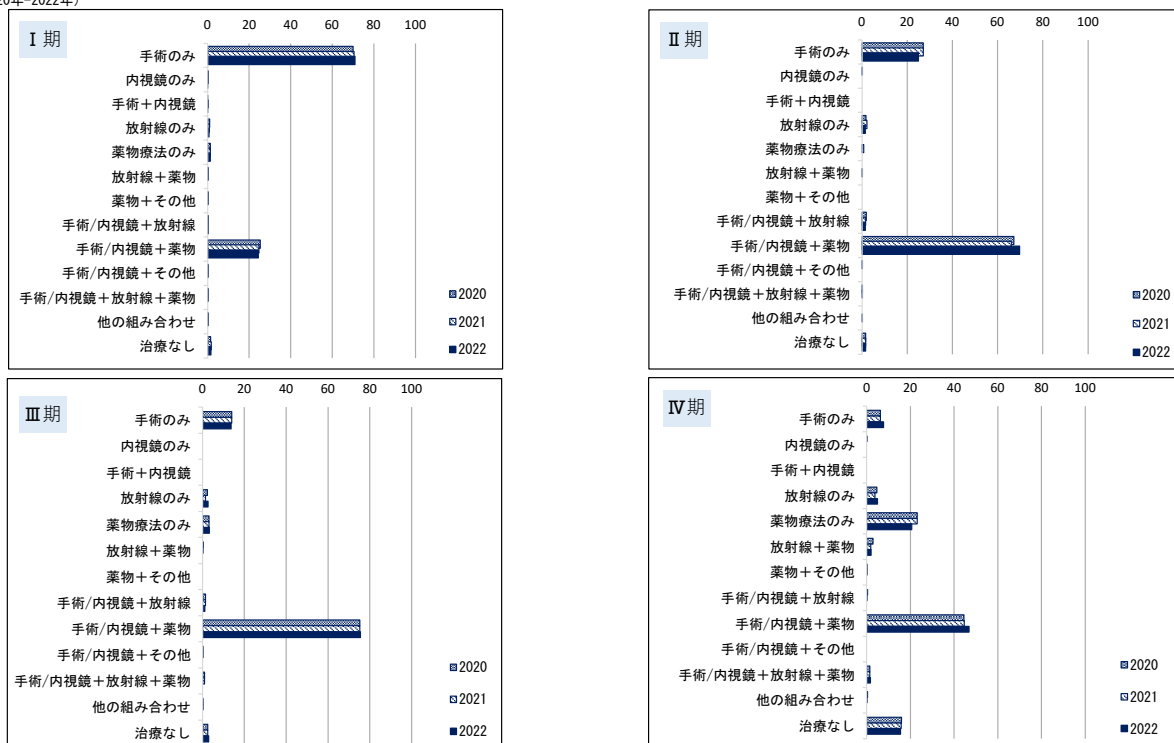
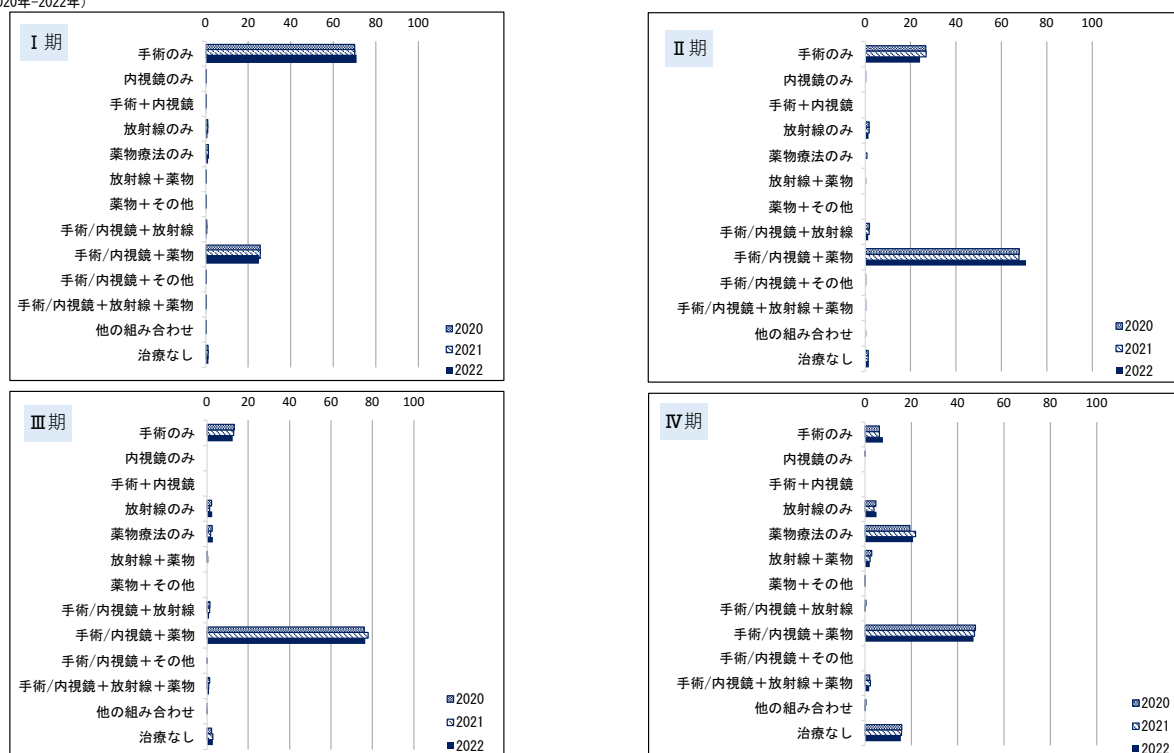


表4-10①-1 (2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）
(2020年-2022年)



子宮肉腫

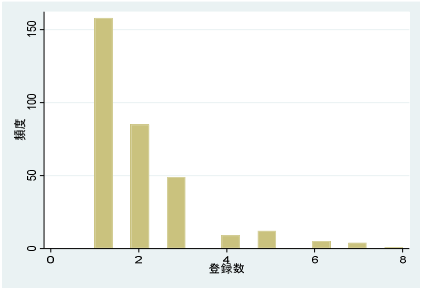
●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は2例で、最小登録数が1例、最大登録数が8例であった。

対象施設数	323
平均	2
最小値	1
中央値	2
最大値	8

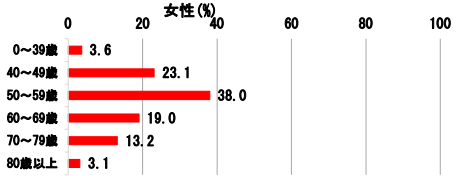
●性別

男性	0
女性	637
不明	-



●年齢

	平均	標準偏差	中央値
全体	57.4	11.4	55.3
拠点	57.7	11.4	55.4
拠点外	56.0	10.9	54.5



●UICC TNM病期分布

表4-10②-3よりI期の割合が最も多く約65%を占め、次いでIV期が約22%であった。

表4-10②-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	I期	IA	IB	IC	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明	該当無	合計
2020	39.2	8.2	30.0	-	4.9	2.0	2.8	3.6	1.3	0.8	1.5	16.8	0.7	16.2	35.6	0.0	613
2021	41.9	9.9	31.7	0.3	3.5	1.0	2.2	4.5	0.6	0.8	3.0	19.7	1.1	18.6	30.4	0.0	625
2022	39.4	9.3	29.4	-	2.8	-	-	6.3	2.5	-	3.5	17.7	-	17.1	33.8	0.0	637

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-10②-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	I期	IA	IB	IC	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	適用外等/ 術前治療後	不明	該当無	合計
2020	68.0	15.6	49.9	-	7.5	2.2	5.4	6.5	2.7	2.2	1.6	14.7	0.7	14.0	0.9	2.2	0.2	557
2021	66.1	15.3	50.0	0.9	7.0	3.2	3.3	6.8	2.1	2.1	2.6	17.2	0.7	16.5	0.4	2.5	0.0	570
2022	69.4	13.7	53.7	2.0	5.1	1.7	3.2	6.4	2.5	2.0	1.9	17.7	-	16.7	0.0	-	0.0	592

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-10②-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

	I期	IA	IB	IC	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明	該当無	合計
2020	63.3	14.5	46.5	-	7.5	2.0	5.5	6.5	2.6	2.1	1.8	19.9	0.8	19.1	2.8	0.0	613
2021	61.3	14.2	46.2	0.8	6.6	2.9	3.2	6.9	1.9	1.9	3.0	23.5	1.4	22.1	1.8	0.0	625
2022	65.0	12.7	50.4	1.9	4.9	1.6	3.1	7.1	2.7	1.9	2.5	22.0	-	20.9	-	0.0	637

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-10②-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療)

総合ステージ	I期	IA	IB	IC	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明
全体	414 100.0	81 100.0	321 100.0	(4-6) 100.0	31 100.0	10 100.0	20 100.0	45 100.0	17 100.0	12 100.0	16 100.0	140 100.0	(4-6) 100.0	133 100.0	(7-9) 100.0
手術のみ	82.1	87.7	80.4	3.4	32.3	—	—	35.6	—	—	—	20.0	—	18.8	—
内視鏡のみ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
手術+内視鏡	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—
放射線のみ	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—
薬物療法のみ	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	12.1	—	12.0	—
放射線+薬物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—
薬物+その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
手術/内視鏡+放射線	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—
手術/内視鏡+薬物	16.9	—	19.0	—	64.5	—	65.0	51.1	58.8	—	—	50.0	—	51.1	—
手術/内視鏡+その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
手術/内視鏡+放射線+薬物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—
他の組み合わせ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0	—
治療なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	9.3	—	9.8	—
(内訳) 外科的治療	89.1	—	—	—	96.8	—	—	84.4	—	—	—	70.7	—	—	—
鏡視下治療	10.6	—	—	—	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-10-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む)

総合ステージ	I期	IA	IB	IC	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明
全体	819 100.0	81 100.0	321 100.0	(4-6) 101.0	31 100.0	10 100.0	20 100.0	45 100.0	17 100.0	12 100.0	16 100.0	140 100.0	(4-6) 100.0	133 100.0	(7-9) 100.0
手術のみ	81.9	87.7	80.1	3.4	32.3	—	—	35.6	—	—	—	19.3	—	18.0	—
内視鏡のみ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
手術+内視鏡	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—
放射線のみ	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—
薬物療法のみ	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	12.1	—	12.0	—
放射線+薬物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—
薬物+その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
手術/内視鏡+放射線	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—
手術/内視鏡+薬物	17.1	—	19.3	—	64.5	—	65.0	51.1	58.8	—	—	49.3	—	50.4	—
手術/内視鏡+その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
手術/内視鏡+放射線+薬物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—
他の組み合わせ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0	—
治療なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	9.3	—	9.8	—
(内訳) 外科的治療	89.1	—	—	—	96.8	—	—	84.4	—	—	—	70.7	—	—	—
鏡視下治療	10.6	—	—	—	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-10②-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む)

総合ステージ	I期	IA	IB	IC	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明
全体	414 100.0	81 100.0	321 100.0	(4-6) 101.0	31 100.0	10 100.0	20 100.0	45 100.0	17 100.0	12 100.0	16 100.0	140 100.0	(4-6) 100.0	133 100.0	(7-9) 100.0
手術のみ	81.6	87.7	79.8	3.4	32.3	—	—	33.3	—	—	—	19.3	—	18.0	—
内視鏡のみ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
手術+内視鏡	—	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—
放射線のみ	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—
薬物療法のみ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	12.1	—	12.0	—
放射線+薬物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—
薬物+その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
手術/内視鏡+放射線	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—
手術/内視鏡+薬物	17.4	—	19.6	—	64.5	—	65.0	53.3	58.8	—	—	49.3	—	50.4	—
手術/内視鏡+その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
手術/内視鏡+放射線+薬物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—
他の組み合わせ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	—	—	—	—
治療なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	8.6	—	9.0	—
(内訳) 外科的治療	89.4	—	—	—	96.8	—	—	84.4	—	—	—	70.7	—	—	—
鏡視下治療	10.6	—	—	—	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。(URL: <https://jhc-r-es.gan.joho.jp/hcortables/>)

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-10②-1 (1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）
(2020年-2022年)

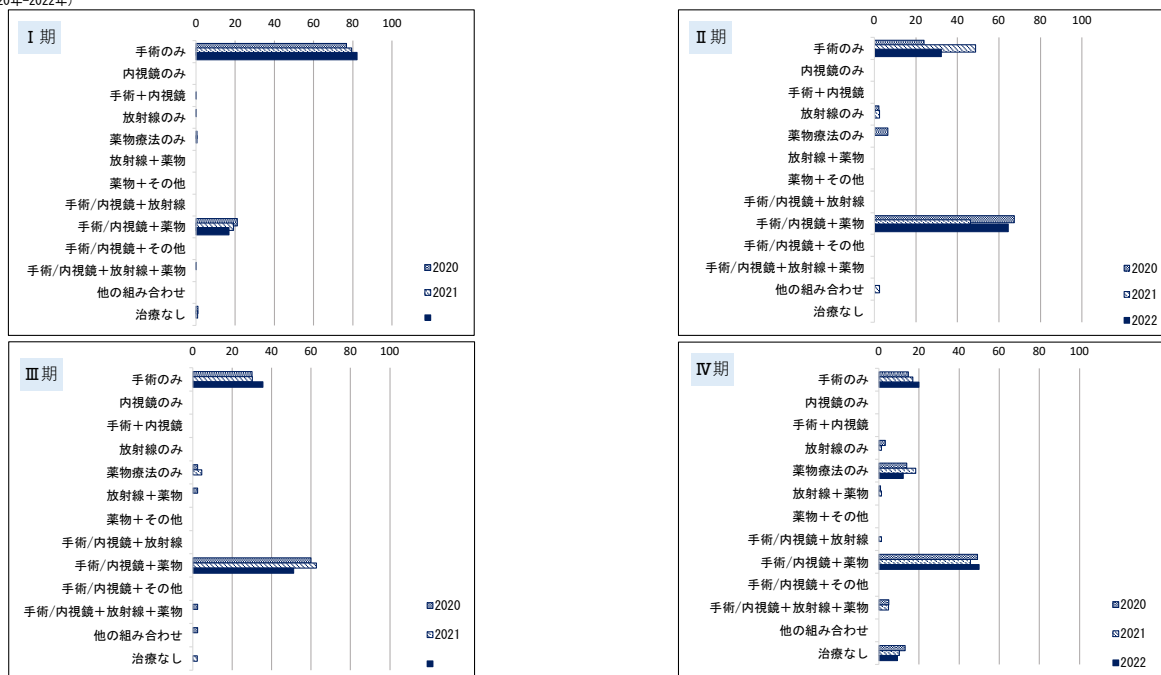
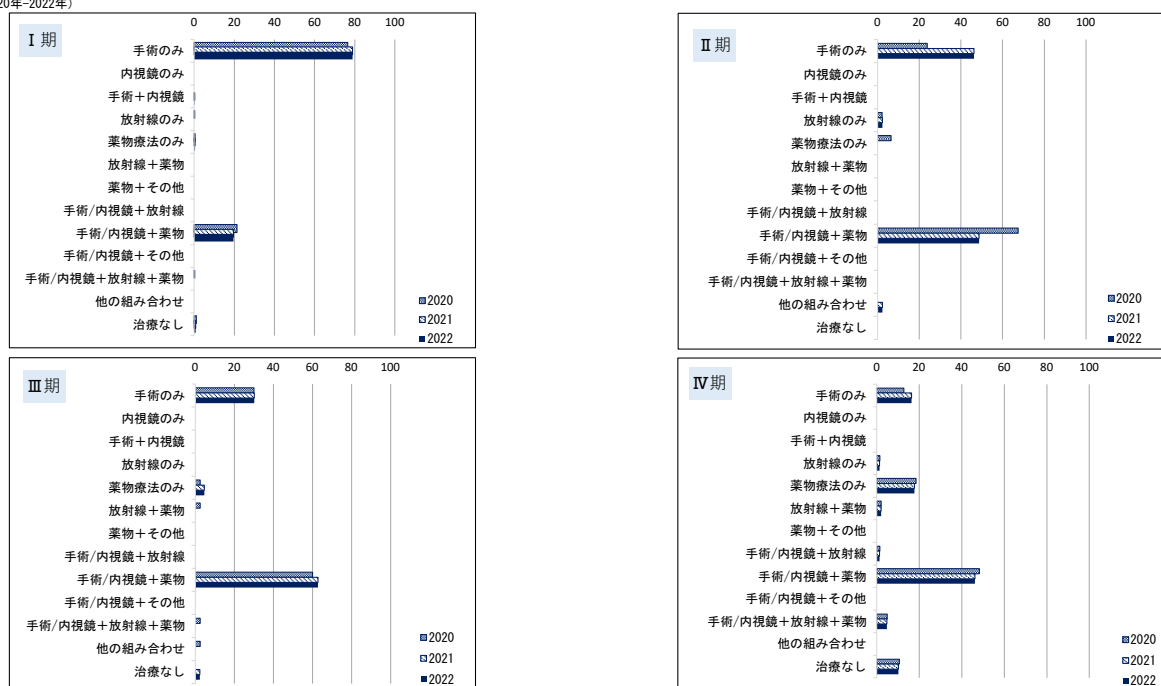


表4-10②-1 (2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）
(2020年-2022年)



11. 膀胱がん（膀胱癌）

	全登録		症例区分80 その他を除く	初回治療開始例	治療前ステージ集計			術後病理学的ステージ集計		
	全登録数	施設数			対象数*1	%*2	施設数	対象数*1	%*2	施設数
2020	38,546	834	37,995	32,192	32,154	99.9	780	29,803	92.6	758
2021	40,883	844	40,280	34,245	34,191	99.9	785	31,661	92.5	765
2022	40,593	823	39,993	33,710	33,646	99.8	770	31,222	92.6	746

*1治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象数の定義は、集計方法を参照

*2分母は自施設初回治療開始例

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

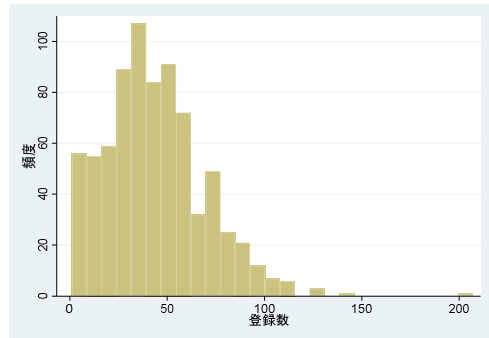
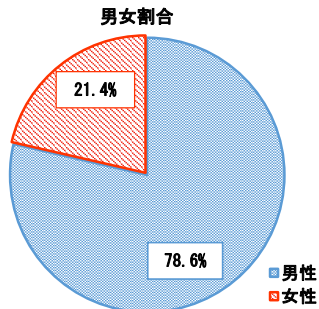
●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は42例で、最小登録数が1例、最大登録数が207例であった。

男女割合	
対象施設数	770
平均	44
最小値	1
中央値	42
最大値	207

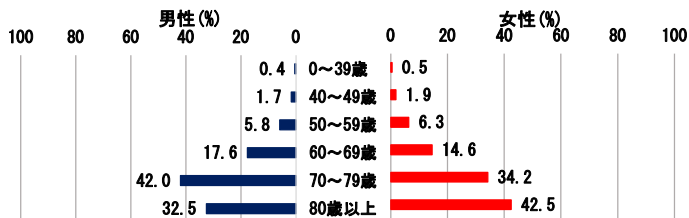
●性別

性別	
男性	26,447
女性	7,199
不明	-



●年齢

	平均	標準偏差	中央値
全体	75.4	10.3	76.0
拠点	75.2	10.3	75.7
拠点外	75.7	10.4	76.7



●UICC TNM病期分布

表4-11-3より男女別にみると、男性は0/I期77.3%、IV期2.9%、女性は0/I期67.5%、IV期5.2%であり、女性の方がやや進行した状態での登録が多い傾向にある。

表4-11-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	0期	0a	0is	I期	II期	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明	該当無	合計
2020	38.5	32.6	5.9	29.8	12.3	7.3	6.3	1.0	3.4	1.1	2.3	8.8	0.0	32,154
2021	39.5	33.2	6.3	29.8	12.0	6.9	5.9	1.0	3.3	1.1	2.2	8.5	0.0	34,191
2022	40.1	34.2	6.0	29.5	12.0	7.1	6.2	0.9	3.2	1.1	2.2	8.0	0.0	33,646

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-11-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	0期	0a	0is	I期	II期	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	適用外等	不明	その他	合計
2020	45.0	43.7	1.3	3.9	2.2	2.2	1.8	0.4	1.6	0.4	1.2	2.9	42.2	0.0	29,803
2021	44.9	43.8	1.2	3.4	1.9	1.6	1.3	0.3	1.4	0.4	1.0	2.9	43.8	0.1	31,661
2022	44.6	43.5	1.0	3.3	1.8	1.5	1.2	0.2	1.5	0.4	1.0	3.1	44.2	0.1	31,222

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-11-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

	0期	0a	0is	I期	II期	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明	その他	合計
2020	49.5	43.7	5.8	25.2	11.3	7.9	6.6	1.3	3.5	1.1	2.4	2.6	0.0	32,154
2021	49.6	43.4	6.3	25.7	11.2	7.2	6.1	1.1	3.4	1.1	2.3	2.9	0.0	34,191
2022	49.5	43.6	5.9	25.7	11.4	7.3	6.3	1.0	3.4	1.1	2.3	2.6	0.0	33,646
男性	51.1	44.8	6.3	26.2	11.0	6.5	5.6	0.9	2.9	0.9	2.0	2.3	0.0	26,447
女性	43.7	39.1	4.6	23.8	13.2	10.4	9.0	1.4	5.2	2.0	3.2	3.7	0.0	7,199

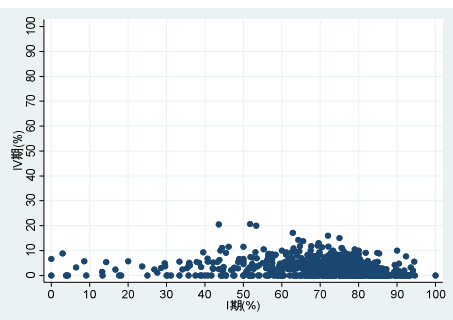
亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-11-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布

	中央値	最小値	25%値	（四分位範囲）	75%値	最大値
0期	42.5	0.0	28.6	24.0	52.6	88.9
I期	27.8	0.0	20.0	16.8	36.8	83.6
II期	11.3	0.0	7.1	8.6	15.7	53.6
III期	6.5	0.0	3.6	6.2	9.8	35.9
IV期	2.7	0.0	0.0	5.0	5.0	20.7

（対象例10例以上の711施設）

（参考）施設毎の0/I期とIV期の割合の分布図



院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-11-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療)

総合ステージ	0期	0a期	0is期	I期	II期	III期	IIIA期	IIIB期	IV期	IVA期	IIB期	不明
全体	16,667 100.0	14,667 100.0	2,000 100.0	8,649 100.0	3,845 100.0	2,469 100.0	2,121 100.0	348 100.0	1,142 100.0	378 100.0	764 100.0	874 100.0
手術のみ	0.7	0.7	0.9	1.2	2.3	4.7	5.0	3.4	1.6	—	1.4	—
内視鏡のみ	40.1	43.3	16.4	31.1	28.9	16.2	17.0	11.2	12.3	12.2	12.3	17.7
手術＋内視鏡	0.3	0.2	0.6	1.1	4.0	5.6	5.8	4.6	—	—	—	—
放射線のみ	—	—	—	0.2	1.2	3.3	3.6	—	4.5	4.2	4.6	2.2
薬物療法のみ	0.3	0.2	0.9	0.6	2.1	6.5	6.0	9.5	16.7	16.7	16.8	2.1
放射線＋薬物	—	—	0.0	—	—	1.0	0.9	—	2.5	—	3.0	—
薬物＋その他	0.1	—	0.7	—	0.0	—	—	0.0	—	—	—	—
手術/内視鏡＋放射線	—	—	—	0.2	4.0	3.7	4.0	—	2.5	—	2.7	—
手術/内視鏡＋薬物	37.5	40.8	13.5	26.7	42.3	43.4	42.0	51.7	30.3	36.0	27.5	15.8
手術/内視鏡＋その他	11.3	7.9	36.6	21.0	3.7	1.3	1.5	—	—	0.0	—	5.8
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	—	0.0	—	4.9	3.3	3.5	—	3.1	—	3.4	—
他の組み合わせ	8.4	5.7	28.3	15.6	2.8	1.1	1.3	0.0	0.9	—	—	6.2
治療なし	1.3	1.2	2.3	2.2	3.6	9.7	9.3	12.1	24.3	20.9	26.0	46.9
(内訳) 外科的治療	0.6	—	—	1.6	7.6	11.7	—	—	2.8	—	—	2.4
鏡視下治療	0.9	—	—	2.8	14.3	22.4	—	—	2.9	—	—	1.8

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-11-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む)

総合ステージ	0期	0a期	0is期	I期	II期	III期	IIIA期	IIIB期	IV期	IVA期	IIB期	不明
全体	16,667 100.0	14,667 100.0	2,000 100.0	8,649 100.0	3,845 100.0	2,469 100.0	2,121 100.0	348 100.0	1,142 100.0	378 100.0	764 100.0	874 100.0
手術のみ	0.7	0.7	0.9	1.2	2.4	4.5	4.9	—	1.6	—	1.4	—
内視鏡のみ	40.2	43.5	16.3	31.0	28.0	15.4	16.1	10.6	12.3	12.2	12.3	18.2
手術＋内視鏡	0.3	0.2	0.8	1.2	4.1	5.1	5.4	3.7	—	—	—	—
放射線のみ	—	—	—	0.2	1.1	3.3	3.6	—	4.5	4.2	4.6	2.3
薬物療法のみ	0.2	0.1	0.9	0.5	1.4	4.9	4.5	7.8	16.0	15.9	16.1	2.1
放射線＋薬物	—	—	0.0	—	0.3	1.1	1.1	—	2.6	—	3.1	—
薬物＋その他	0.1	—	0.7	—	0.0	—	—	0.0	—	—	—	—
手術/内視鏡＋放射線	0.1	—	—	0.2	4.1	3.9	4.1	—	2.6	—	2.9	—
手術/内視鏡＋薬物	37.8	41.1	13.7	27.1	43.0	46.0	44.4	55.7	30.7	36.2	28.0	15.9
手術/内視鏡＋その他	11.3	7.9	36.8	21.0	3.7	1.3	1.5	—	—	0.0	—	5.8
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	—	0.0	—	5.7	3.9	4.1	—	3.7	3.2	3.9	—
他の組み合わせ	8.3	5.7	28.1	15.6	2.8	1.2	1.4	0.0	1.1	—	—	6.2
治療なし	0.9	0.7	2.0	1.9	3.3	9.3	8.9	11.8	24.1	20.9	25.7	46.2
(内訳) 外科的治療	0.7	—	—	1.7	9.5	13.7	—	—	3.5	—	—	2.6
鏡視下治療	1.0	—	—	3.3	18.4	27.2	—	—	3.9	—	—	2.5

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-11-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む)

総合ステージ	0期	0a期	0is期	I期	II期	III期	IIIA期	IIIB期	IV期	IVA期	IIB期	不明
全体	16,667 100.0	14,667 100.0	2,000 100.0	8,649 100.0	3,845 100.0	2,469 100.0	2,121 100.0	348 100.0	1,142 100.0	378 100.0	764 100.0	874 100.0
手術のみ	0.7	0.7	0.9	1.2	2.4	4.5	5.0	—	1.5	—	1.4	—
内視鏡のみ	39.8	43.2	15.1	30.4	26.7	14.6	15.3	10.1	12.1	12.2	12.0	17.8
手術＋内視鏡	0.3	0.2	0.8	1.2	4.4	5.2	5.5	3.7	—	—	—	—
放射線のみ	—	—	—	0.2	1.2	3.3	3.6	—	4.6	4.5	4.6	2.5
薬物療法のみ	0.2	0.1	0.9	0.5	1.2	4.8	4.3	7.8	15.8	15.9	15.8	1.9
放射線＋薬物	—	—	0.0	—	0.4	1.1	1.1	—	2.8	—	3.4	—
薬物＋その他	0.1	—	0.7	—	0.0	—	—	0.0	—	—	—	—
手術/内視鏡＋放射線	0.1	—	—	0.2	4.5	4.2	4.5	—	2.8	—	3.0	—
手術/内視鏡＋薬物	37.7	41.0	13.4	26.9	43.1	46.3	44.6	56.3	30.8	36.2	28.1	16.4
手術/内視鏡＋その他	11.6	8.1	37.8	21.4	3.8	1.4	1.6	—	—	0.0	—	5.8
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	—	0.0	—	6.2	4.0	4.2	—	3.7	3.2	3.9	—
他の組み合わせ	8.5	5.8	28.5	15.9	2.9	1.3	1.5	0.0	1.1	—	—	6.2
治療なし	0.9	0.7	2.0	1.9	3.2	9.2	8.8	11.8	24.0	20.6	25.7	45.9
(内訳) 外科的治療	0.7	—	—	1.7	9.9	14.1	—	—	3.5	—	—	2.9
鏡視下治療	1.0	—	—	3.4	19.4	27.7	—	—	3.9	—	—	2.6

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。(URL: <https://jhcr-cs.ganjocho.jp/hbortables/>)

院内がん登録全国集計

IV. 腫瘍結果詳細

図4-11-1(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療）
(2020年-2022年)

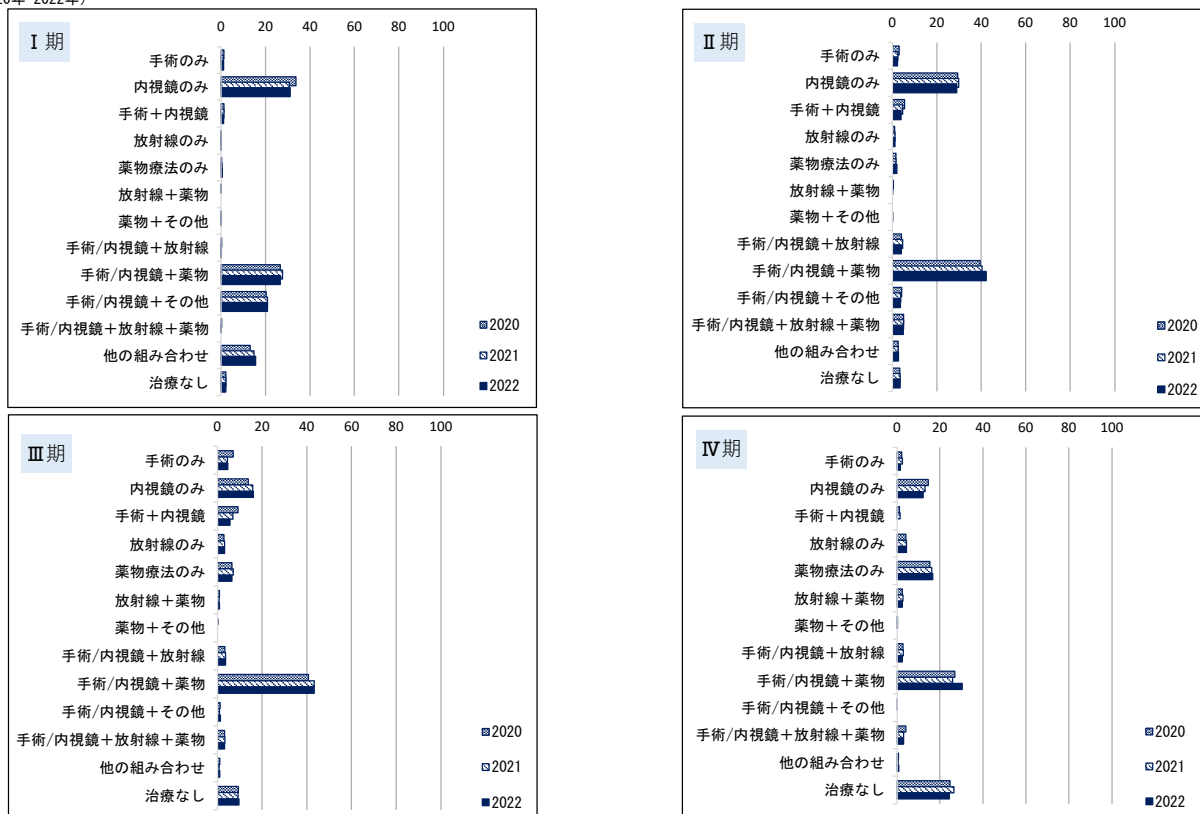
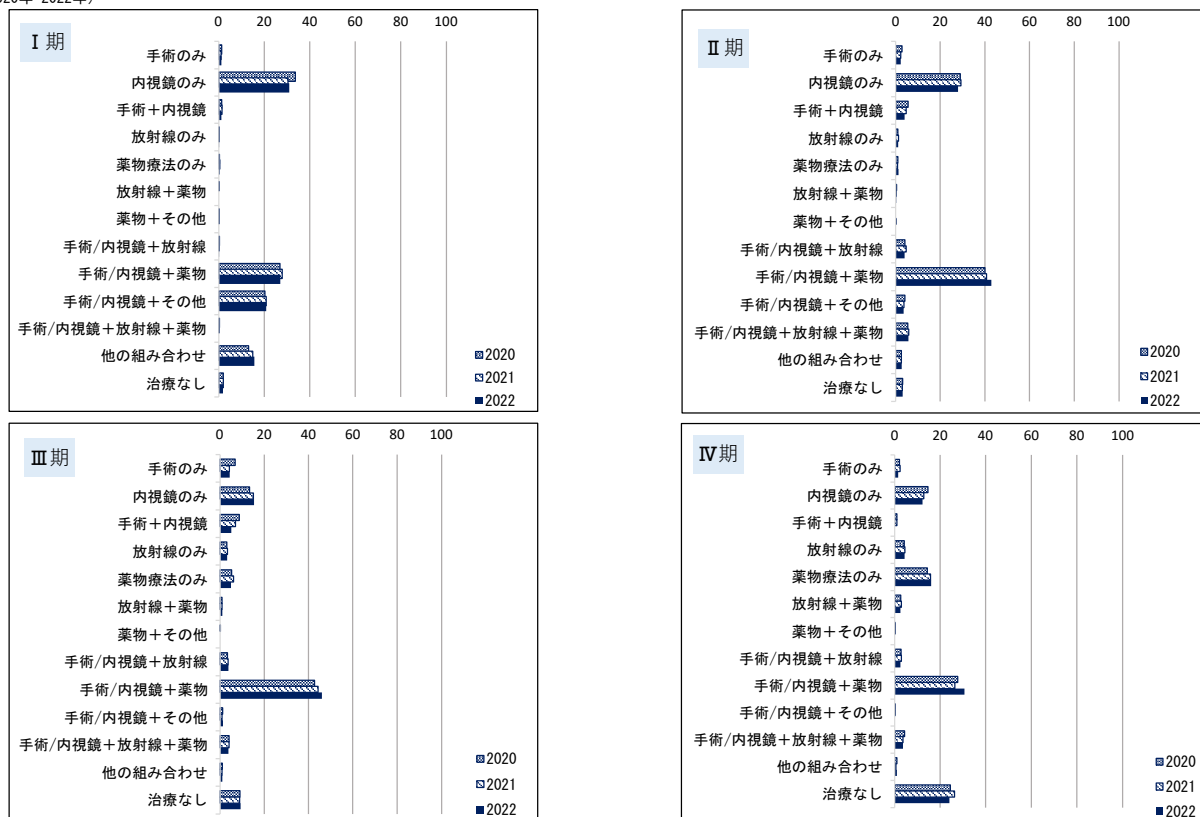


表4-11-1(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む）
(2020年-2022年)



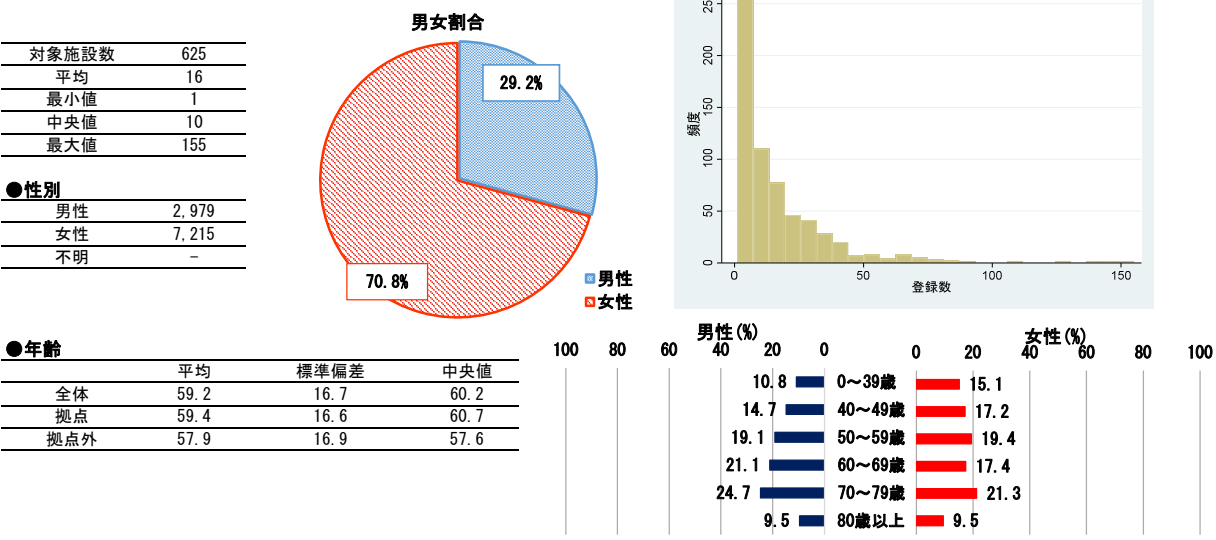
12. 甲状腺がん（乳頭・濾胞がん、未分化がん、髄様がん）

	全登録		症例区分80 その他を除く	初回治療開 始例	治療前ステージ集計			術後病理学的ステージ集計			
	全登録数	施設数			対象数*1	%*2	施設数	対象数*1	%*2	施設数	
2020	14,950	783	14,508	10,383	乳頭・濾胞癌	9,736	93.8	628	8,765	84.4	600
					未分化癌	301	2.9	195	131	1.3	101
					髄様癌	108	1.0	87	100	1.0	80
2021	15,689	792	15,212	10,964	乳頭・濾胞癌	10,297	93.9	656	9,195	83.9	623
					未分化癌	271	2.5	175	93	0.8	68
					髄様癌	132	1.2	102	122	1.1	95
2022	15,121	773	14,637	10,451	乳頭・濾胞癌	9,778	93.6	618	8,682	83.1	585
					未分化癌	281	2.7	186	88	0.8	67
					髄様癌	135	1.3	101	126	1.2	96

*1治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象数の定義は、集計方法を参照
*2分母は自施設初回治療開始例
2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

●施設別登録数

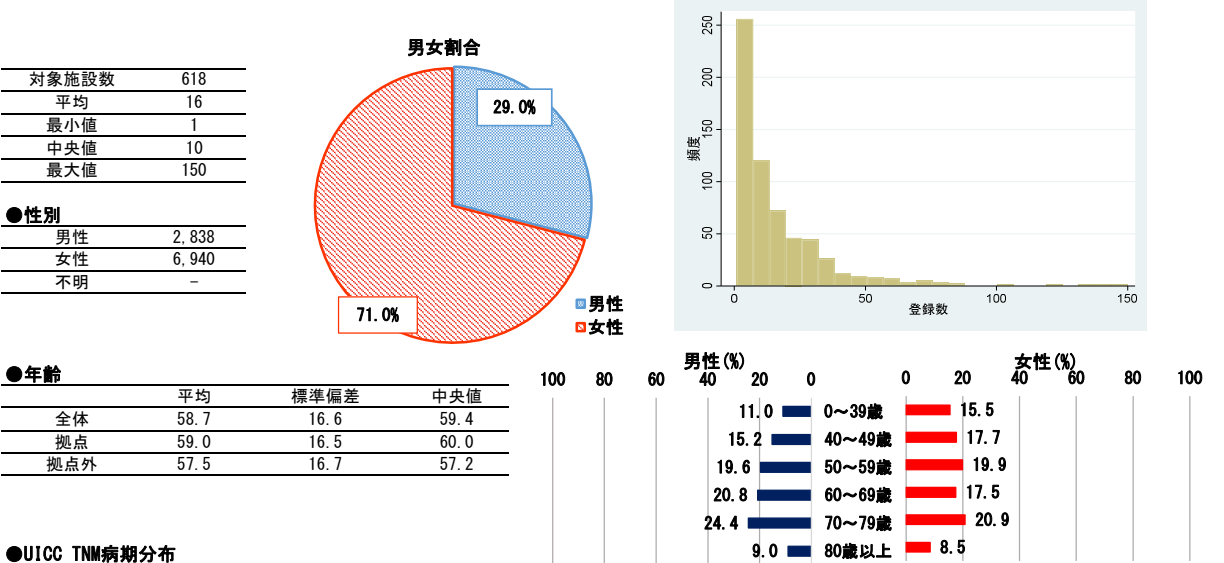
施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は10例で、最小登録数が1例、最大登録数が155例であった。



甲状腺乳頭・濾胞がん（甲状腺乳頭・濾胞癌）

●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は10例で、最小登録数が1例、最大登録数が150例であった。



●UICC TNM病期分布

表4-12①-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	0期	I期	II期	III期	IV期	IVA期	IVB期	不明	該当無	合計
2020	0.0	65.9	15.0	3.5	4.2	0.0	0.0	11.5	0.0	9,736
2021	0.0	64.6	15.6	3.5	4.2	0.3	3.8	12.1	0.0	10,297
2022	0.0	64.8	15.3	3.2	4.4	0.3	4.1	12.3	-	9,778

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-12①-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	I期	II期	III期	IV期	IVA期	IVB期	適用外等	不明	該当無	合計
2020	64.2	28.0	3.5	3.2	0.2	3.1	0.3	0.8	0.0	8,765
2021	65.6	26.4	3.8	3.0	0.1	2.9	0.4	0.8	0.0	9,195
2022	66.3	25.8	3.5	3.2	-	3.2	0.4	0.8	0.0	8,682

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

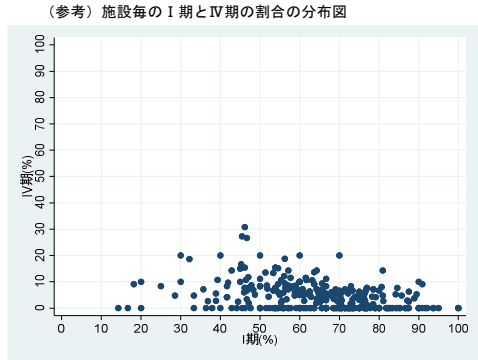
表4-12①-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

	I期	II期	III期	IV期	IVA期	IVB期	不明	該当無	合計
2020	64.6	26.6	3.7	4.3	0.0	0.0	0.8	0.0	9,736
2021	65.5	25.3	3.9	4.3	0.3	4.1	1.0	0.0	10,297
2022	66.2	24.6	3.7	4.6	0.3	4.3	1.0	0.0	9,778
男性	58.1	29.8	4.2	6.3	0.4	5.9	1.6	0.0	2,838
女性	69.5	22.5	3.4	3.9	0.2	3.6	0.7	0.0	6,940

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-12①-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布 (対象例10例以上の312施設)

	中央値	最小値	25%値	(四分位範囲)	75%値	最大値
I期	65.4	14.3	54.5	20.5	75.0	100.0
II期	15.0	0.0	8.4	11.6	20.0	44.4
III期	2.1	0.0	0.0	5.8	5.8	27.3
IV期	3.6	0.0	0.0	7.1	7.1	30.8



院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

表4-12①-1（参考） UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合
55歳未満

	I期	II期	III期	IV期	IVA	IVB	不明	該当無	合計
2020	88.5	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	0.0	3,942
2021	87.5	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	9.9	0.0	4,295
2022	88.2	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	10.2	0.0	4,089

55歳以上	I期	II期	III期	IV期	IVA	IVB	不明	該当無	合計
2020	50.6	23.8	5.8	7.0	0.6	6.4	12.8	0.0	5,794
2021	48.2	25.1	6.0	7.2	0.6	6.6	13.6	0.0	6,002
2022	48.0	25.1	5.4	7.5	0.5	7.0	13.9	－	5,689

表4-12①-2（参考） UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合
55歳未満

	I期	II期	III期	IV期	IVA	IVB	適用外等	不明	該当無	合計
2020	97.3	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0	5,024
2021	97.2	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	4,062
2022	97.6	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	－	－	3,856

55歳以上	I期	II期	III期	IV期	IVA	IVB	適用外等	不明	該当無	合計
2020	39.6	47.2	6.0	5.6	0.3	5.3	1.3	0.4	0.0	5,024
2021	40.6	45.5	6.8	5.4	0.2	5.2	0.5	1.3	0.5	5,133
2022	41.3	44.6	6.3	5.8	－	5.7	0.6	1.3	0.0	4,826

表4-12①-3（参考） UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合
55歳未満

	I期	II期	III期	IV期	IVA	IVB	不明	該当無	合計
2020	97.4	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3,942
2021	97.2	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4,295
2022	97.7	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	－	0.0	4,089

55歳以上	I期	II期	III期	IV期	IVA	IVB	不明	該当無	合計
2020	42.4	43.0	6.1	7.2	0.6	6.7	0.0	0.0	5,794
2021	42.8	41.5	6.7	7.4	0.5	6.9	0.0	0.0	6,002
2022	43.6	40.8	6.3	7.9	0.5	7.4	1.5	0.0	5,689

●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-12①-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）

総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	IVA	IVB	不明
全体	6,475 100.0	2,406 100.0	357 100.0	447 100.0	28 100.0	419 100.0	93 100.0
手術のみ	73.3	72.9	60.2	37.6	—	38.9	39.8
内視鏡のみ	0.6	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	—	—
放射線のみ	0.0	—	—	6.7	—	6.0	—
薬物療法のみ	0.2	—	—	7.6	—	6.9	—
放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	2.7	—	2.6	0.0
薬物＋その他	—	—	—	—	—	—	—
手術/内視鏡＋放射線	1.0	3.0	5.6	9.6	0.0	10.3	0.0
手術/内視鏡＋薬物	9.6	12.7	14.6	13.6	—	14.1	—
手術/内視鏡＋その他	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.4	1.0	2.8	2.7	—	2.6	—
他の組み合わせ	0.2	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0
治療なし	14.7	10.0	12.9	18.6	—	17.7	51.6
（内訳）外科的治療	81.7	88.7	83.2	62.0	—	—	38.7
鏡視下治療	2.6	0.9	0.0	2.5	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-12①-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）

総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	IVA	IVB	不明
全体	6,475 100.0	2,406 100.0	357 100.0	447 100.0	28 100.0	419 100.0	93 100.0
手術のみ	75.5	72.7	55.2	32.4	—	33.4	40.9
内視鏡のみ	0.6	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	—	—
放射線のみ	0.0	—	—	6.7	—	6.0	—
薬物療法のみ	0.2	—	—	7.6	—	6.9	—
放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	2.9	—	2.9	0.0
薬物＋その他	—	—	—	—	—	—	—
手術/内視鏡＋放射線	2.3	6.1	12.6	15.4	0.0	16.5	0.0
手術/内視鏡＋薬物	10.0	13.0	13.7	13.9	—	14.3	—
手術/内視鏡＋その他	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.8	1.9	4.8	3.6	—	3.6	—
他の組み合わせ	0.2	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0
治療なし	10.3	5.9	10.1	16.6	—	15.5	50.5
（内訳）外科的治療	85.9	92.8	86.3	64.2	—	—	39.8
鏡視下治療	2.7	1.0	0.0	—	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-12①-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む**）

総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	IVA	IVB	不明
全体	6,475 100.0	2,406 100.0	357 100.0	447 100.0	28 100.0	419 100.0	93 100.0
手術のみ	74.3	69.2	49.3	26.4	—	27.2	39.8
内視鏡のみ	0.6	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	—	—
放射線のみ	0.0	—	—	5.8	—	5.0	—
薬物療法のみ	0.2	—	—	7.6	—	6.9	—
放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	2.9	—	2.9	0.0
薬物＋その他	—	—	—	—	—	—	—
手術/内視鏡＋放射線	3.5	9.4	18.5	21.9	—	23.2	—
手術/内視鏡＋薬物	9.8	12.6	13.2	11.6	—	11.9	—
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	—	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	1.1	2.5	5.0	6.0	—	6.2	—
他の組み合わせ	0.2	0.0	—	—	0.0	—	0.0
治療なし	10.3	5.9	9.8	16.6	—	15.5	50.5
（内訳）外科的治療	85.9	92.8	86.3	65.1	—	—	39.8
鏡視下治療	2.7	1.0	0.0	—	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL：<https://jhcr-cs.ganjoho.jp/hbortables/>）

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-12①-1(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）
(2020年-2022年)

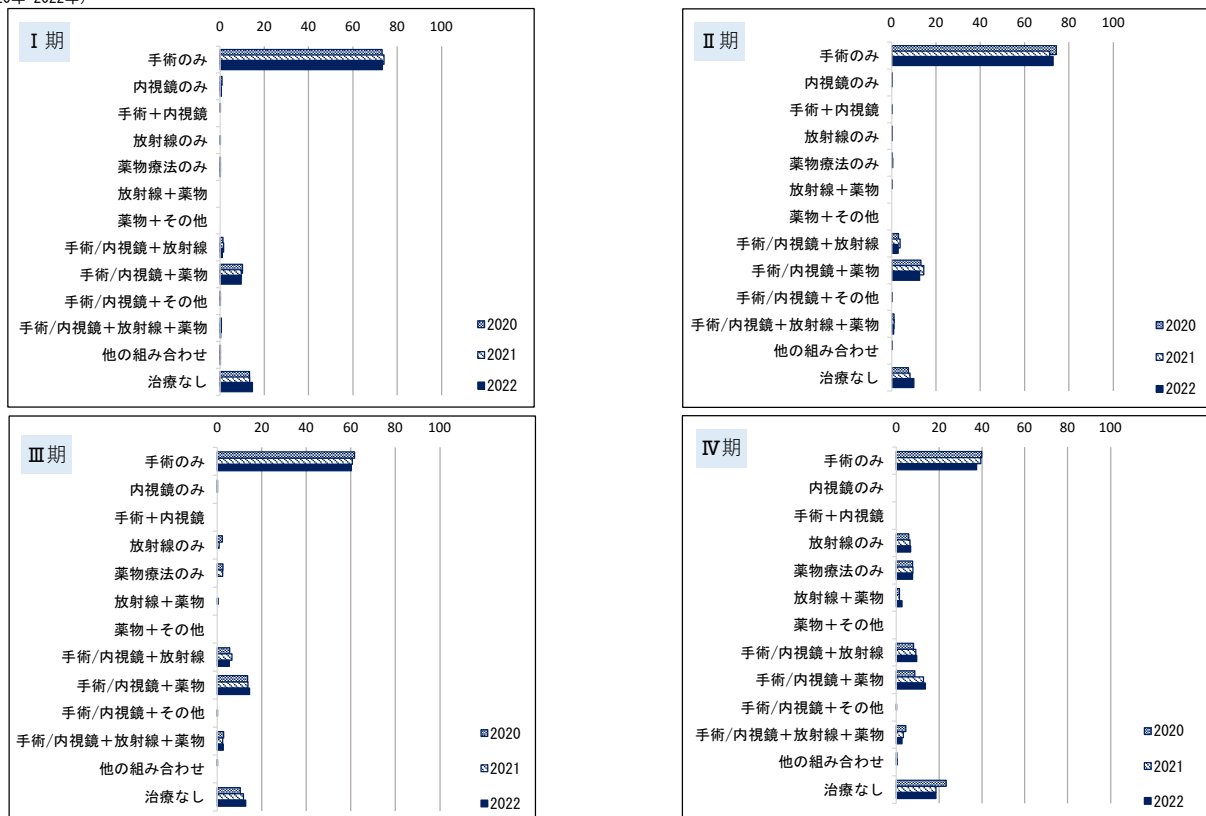
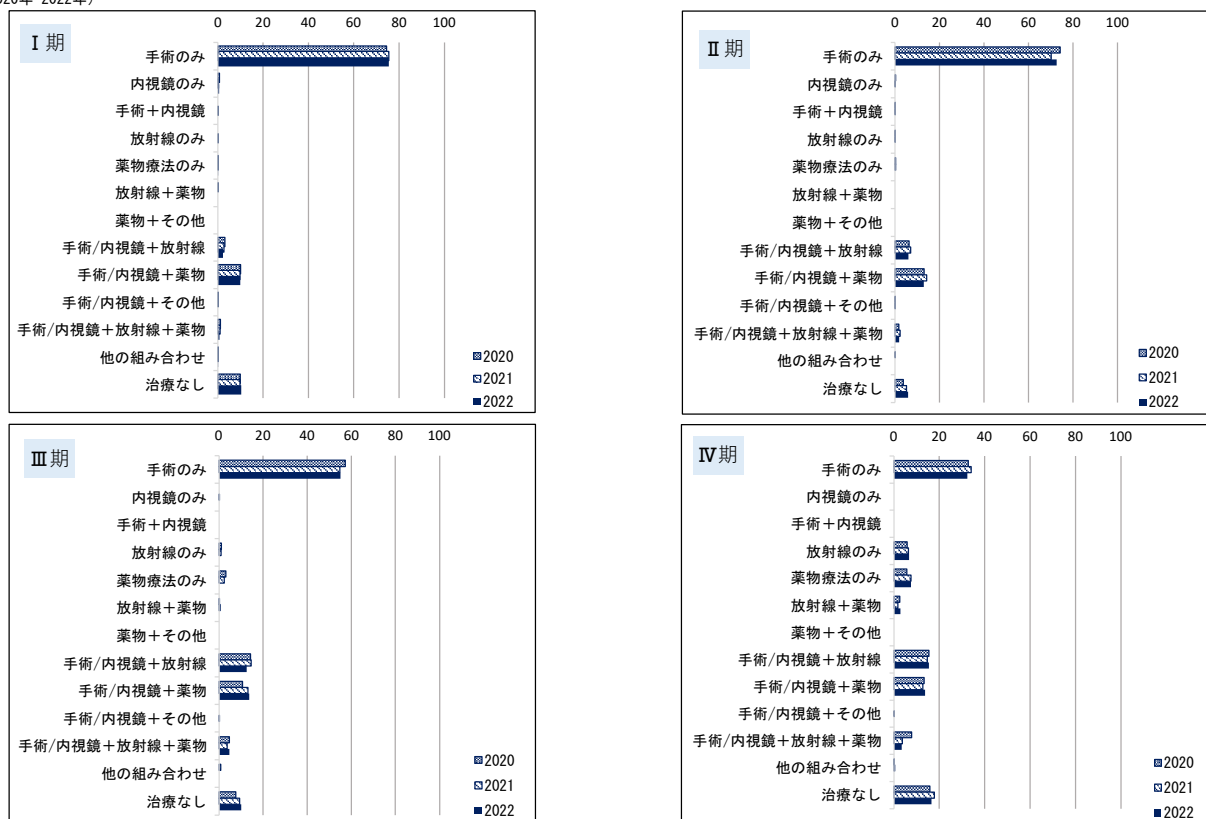


図4-12①-1(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）
(2020年-2022年)



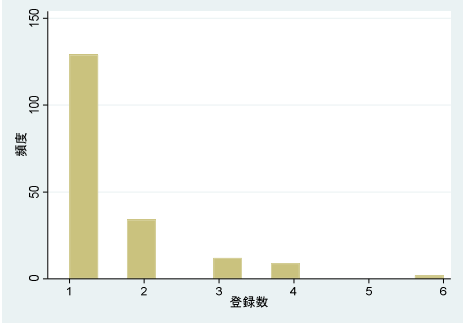
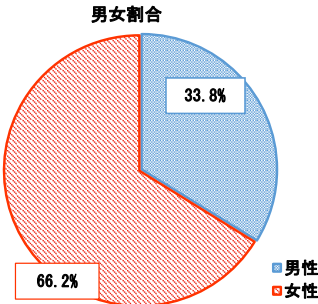
甲状腺未分化がん（甲状腺未分化癌）

●施設別登録数

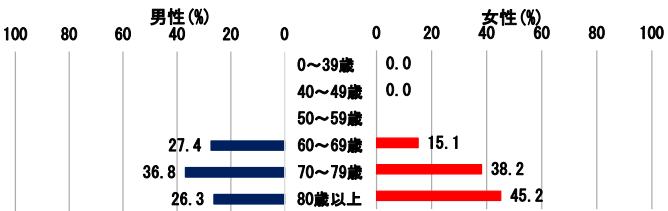
施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は1例で、最小登録数が1例、最大登録数が6例であった。

対象施設数	186
平均	2
最小値	1
中央値	1
最大値	6

●性別	
男性	95
女性	186
不明	-



●年齢	平均	標準偏差	中央値
全体	76.4	9.7	76.3
拠点	76.0	9.8	75.8
拠点外	78.9	8.6	79.3



●UICC TNM病期分布

表4-12②-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	I期	II期	III期	IV期	IVA期	IVB期	IVC期	不明	該当無	合計
2020	0.3	0.3	0.3	92.4	8.0	38.2	46.2	6.6	0.0	301
2021	0.0	0.0	0.0	90.4	7.4	33.9	0.0	9.6	0.0	271
2022	0.0	0.0	0.0	94.0	-	39.1	0.0	6.0	0.0	281

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-12②-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	I期	II期	III期	IV期	IVA期	IVB期	IVC期	適用外等	不明	該当無	合計
2020	0.0	1.5	0.8	94.7	8.4	56.5	29.8	2.3	0.8	0.0	131
2021	0.0	0.0	0.0	94.6	7.5	57.0	0.0	2.2	3.2	2.2	93
2022	0.0	0.0	0.0	0.0	-	55.7	0.0	-	-	0.0	88

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-12②-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

	II期	III期	IV期	IVA期	IVB期	IVC期	不明	該当無	合計
2020	0.7	0.3	96.3	5.0	44.2	47.2	2.7	0.0	301
2021	0.0	0.0	96.3	5.5	39.5	0.0	3.7	0.0	271
2022	0.0	0.0	96.8	-	40.2	0.0	-	0.0	281
男性	0.0	0.0	94.7	-	42.1	0.0	-	0.0	95
女性	0.0	0.0	97.8	-	39.2	0.0	-	0.0	186

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-12②-4(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療)

総合ステージ	IV期	IVA	IVB	IVC	不明
全体	272 100.0	(4-6) 100.0	113 100.0	0 100.0	(7-9) 100
手術のみ	12.1	—	15.0	0.0	—
内視鏡のみ	—	—	—	0.0	—
手術＋内視鏡	—	—	—	0.0	—
放射線のみ	8.1	—	8.8	0.0	—
薬物療法のみ	22.8	—	16.8	0.0	—
放射線＋薬物	5.5	—	—	0.0	—
薬物＋その他	—	—	0.0	0.0	—
手術/内視鏡＋放射線	7.0	—	14.2	0.0	—
手術/内視鏡＋薬物	7.7	—	8.8	0.0	—
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	0.0	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	4.8	—	—	0.0	—
他の組み合わせ	—	—	—	0.0	—
治療なし	31.6	—	24.8	0.0	—
(内訳) 外科的治療	31.3				—
鏡視下治療	—	-	-	-	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-12①-4(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む)

総合ステージ	IV期	IVA	IVB	IVC	不明
全体	272 100.0	(4-6) 100.0	113 100.0	0 100.0	(7-9) 100
手術のみ	11.8	—	14.2	0.0	—
内視鏡のみ	—	—	—	0.0	—
手術＋内視鏡	—	—	—	0.0	—
放射線のみ	8.1	—	8.8	0.0	—
薬物療法のみ	22.8	—	16.8	0.0	—
放射線＋薬物	5.5	—	—	0.0	—
薬物＋その他	—	—	0.0	0.0	—
手術/内視鏡＋放射線	7.0	—	14.2	0.0	—
手術/内視鏡＋薬物	7.7	—	8.8	0.0	—
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	0.0	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	5.5	—	8.8	0.0	—
他の組み合わせ	—	—	—	0.0	—
治療なし	31.3	—	23.9	0.0	—
(内訳) 外科的治療	31.6				—
鏡視下治療	—	-	-	-	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-12②-4(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む)

総合ステージ	IV期	IVA	IVB	IVC	不明
全体	272 100.0	(4-6) 100.0	113 100.0	0 100.0	(7-9) 100
手術のみ	11.8	—	14.2	0.0	—
内視鏡のみ	—	—	—	0.0	—
手術＋内視鏡	—	—	—	0.0	—
放射線のみ	8.1	—	8.8	0.0	—
薬物療法のみ	22.1	—	16.8	0.0	—
放射線＋薬物	6.6	—	—	0.0	—
薬物＋その他	—	—	0.0	0.0	—
手術/内視鏡＋放射線	7.0	—	14.2	0.0	—
手術/内視鏡＋薬物	7.4	—	—	0.0	—
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	0.0	—
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	5.9	—	9.7	0.0	—
他の組み合わせ	—	—	—	0.0	—
治療なし	30.9	—	23.0	0.0	—
(内訳) 外科的治療	31.6				—
鏡視下治療	—	-	-	-	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。(URL: <https://jhor-cs.ganjocho.jp/hbortables/>)

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-12②-1(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療）
(2020年-2022年)

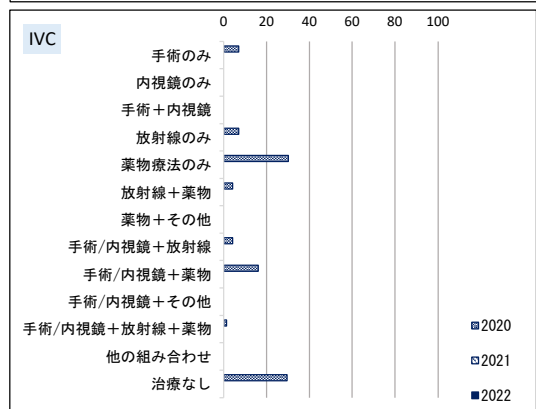
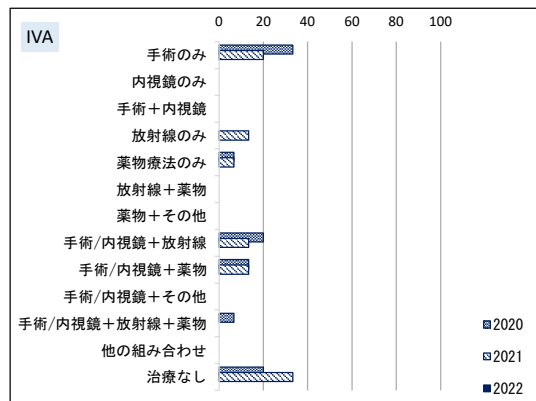
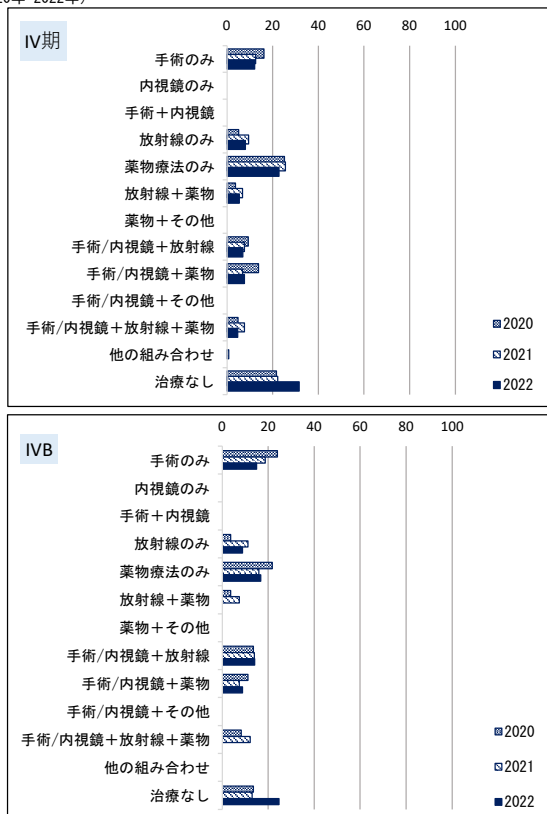
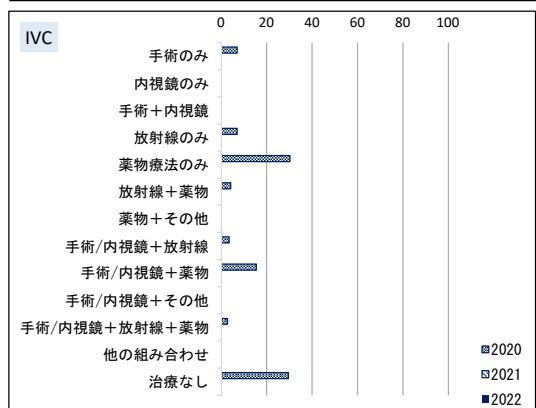
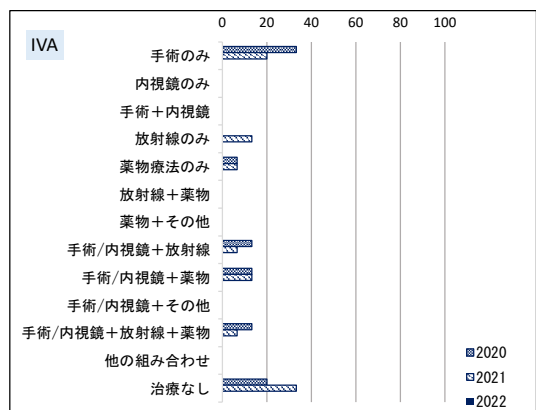
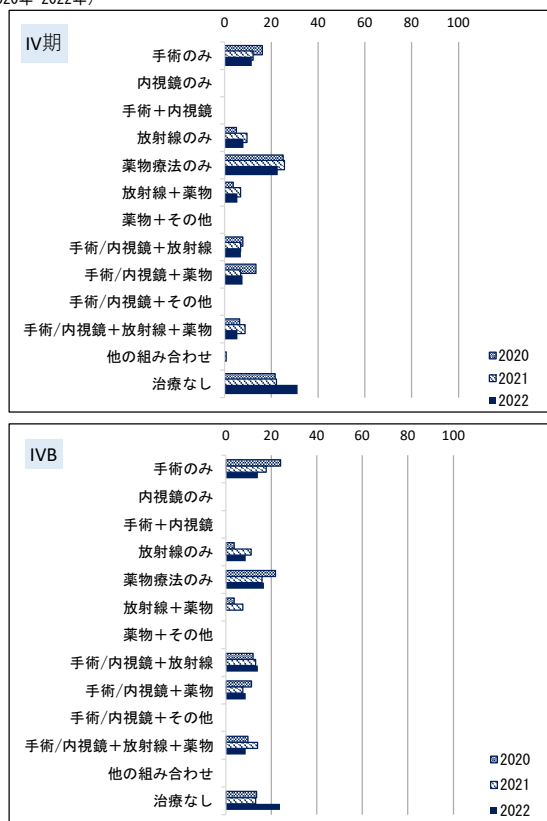


表4-12②-1(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む）
(2020年-2022年)



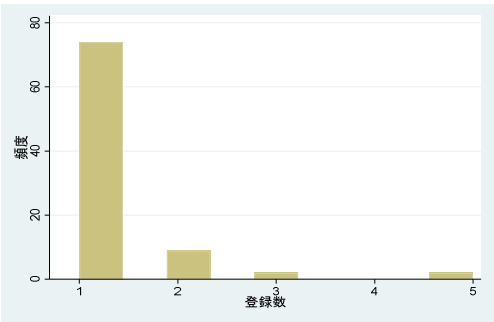
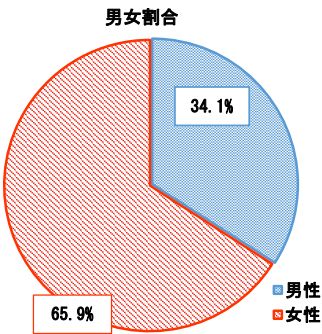
甲状腺髄様がん（甲状腺髄様癌）

●施設別登録数

対象施設数	101
平均	1
最小値	1
中央値	1
最大値	4

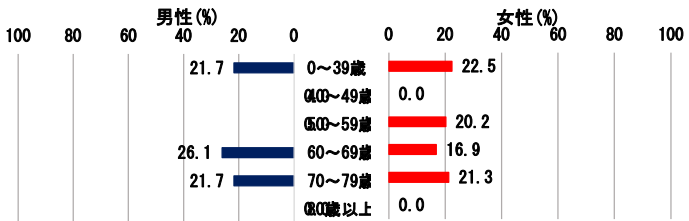
●性別

男性	46
女性	89
不明	-



●年齢

	平均	標準偏差	中央値
全体	56.9	19.0	58.5
拠点	56.8	19.2	58.3
拠点外	57.3	18.2	60.4



●UICC TNM病期分布

表4-12③-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	I期	II期	III期	IV期	IVA期	IVB期	IVC期	不明	該当無	合計
2020	34.3	28.7	3.7	22.2	16.7	0.9	4.6	11.1	0.0	108
2021	28.8	28.8	6.8	26.5	17.4	0.0	0.0	9.1	0.0	132
2022	36.3	20.0	8.1	20.7	12.6	-	0.0	14.8	0.0	135

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-12③-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	I期	II期	III期	IV期	IVA期	IVB期	IVC期	適用外等	不明	該当無	合計
2020	33.0	20.0	20.0	25.0	23.0	0.0	2.0	1.0	1.0	0.0	100
2021	35.2	16.4	18.9	27.9	23.0	0.0	0.0	0.8	0.8	0.0	122
2022	34.9	19.0	14.3	31.7	26.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	126

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-12③-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

	I期	II期	III期	IV期	IVA期	IVB期	IVC期	不明	該当無	合計
2020	33.3	19.4	18.5	28.7	23.1	0.9	4.6	0.0	0.0	108
2021	34.8	15.9	17.4	31.8	21.2	0.0	0.0	0.0	0.0	132
2022	33.3	19.3	13.3	34.1	25.2	-	0.0	0.0	0.0	135
男性	23.9	-	-	47.8	34.8	0.0	0.0	0.0	0.0	46
女性	38.2	20.2	14.6	27.0	20.2	-	0.0	0.0	0.0	89

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-12③-4(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療)

総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	IVA	IVB	IVC
全体	45 100.0	26 100.0	18 100.0	46 100.0	34 100.0	0 100.0	0 100.0
手術のみ	84.4	88.5	83.3	60.9	79.4	0.0	0.0
内視鏡のみ	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	0.0	0.0
放射線のみ	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0
薬物療法のみ	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0
薬物＋その他	—	—	—	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線	—	—	—	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋薬物	—	0.0	—	21.7	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0
他の組み合わせ	—	—	—	—	—	0.0	0.0
治療なし	—	—	—	—	—	0.0	0.0
(内訳) 外科的治療	88.9	84.6	88.9	80.4	—	0.0	0.0
鏡視下治療	—	—	0.0	—	—	0.0	0.0

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-12③-4(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む)

総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	IVA	IVB	IVC
全体	45 100.0	26 100.0	18 100.0	46 100.0	34 100.0	0 100.0	0 100.0
手術のみ	86.7	92.3	94.4	60.9	79.4	0.0	0.0
内視鏡のみ	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	0.0	0.0
放射線のみ	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0
薬物療法のみ	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0
薬物＋その他	—	—	—	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線	—	—	—	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋薬物	—	0.0	—	23.9	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0
他の組み合わせ	—	—	—	—	—	0.0	0.0
治療なし	—	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0
(内訳) 外科的治療	91.1	88.5	100.0	82.6	—	0.0	0.0
鏡視下治療	—	—	0.0	—	—	0.0	0.0

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-12③-4(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以降に他施設で実施した治療を含む)

総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	IVA	IVB	IVC
全体	45 100.0	26 100.0	18 100.0	46 100.0	34 100.0	0 100.0	0 100.0
手術のみ	86.7	92.3	88.9	60.9	79.4	0.0	0.0
内視鏡のみ	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	0.0	0.0
放射線のみ	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0
薬物療法のみ	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0
薬物＋その他	—	—	—	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線	—	—	—	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋薬物	—	0.0	—	23.9	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋その他	—	—	—	—	—	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0
他の組み合わせ	—	—	—	—	—	0.0	0.0
治療なし	—	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0
(内訳) 外科的治療	91.1	88.5	100.0	100.0	—	0.0	0.0
鏡視下治療	—	—	0.0	82.6	—	0.0	0.0

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。(URL: <https://jhcr-cs.ganjoho.jp/hbortables/>)

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-12③-1(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）
（2020年-2022年）

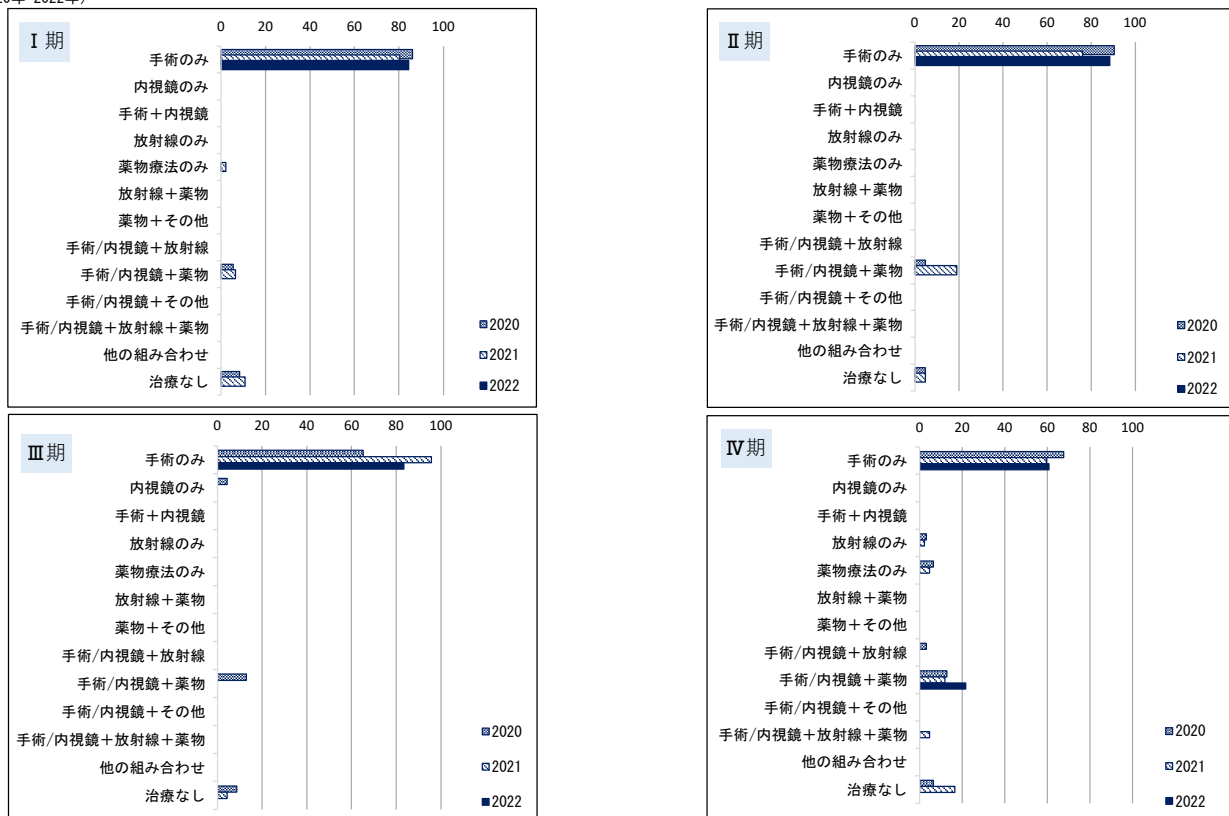
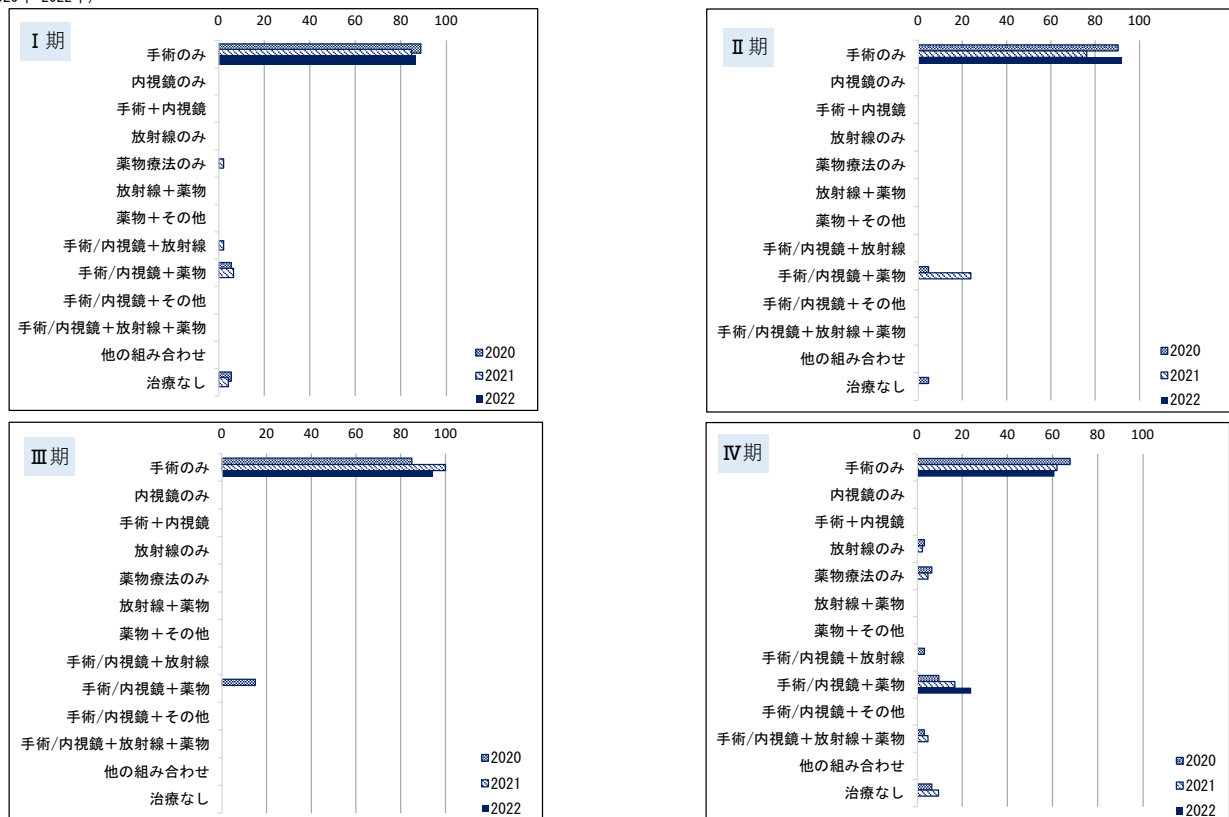


表4-12③-1(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）
（2020年-2022年）



13. 胆嚢がん（胆嚢癌）

	全登録		症例区分80 その他を除く	初回治療開始例	治療前ステージ集計			術後病理学的ステージ集計		
	全登録数	施設数			対象数*1	%*2	施設数	対象数*1	%*2	施設数
2020	16,978	844	16,447	13,229	5,289	40.0	799	2,474	18.7	692
2021	17,364	854	16,771	13,351	5,275	39.5	803	2,450	18.4	692
2022	16,982	831	16,329	12,999	5,148	39.6	787	2,461	18.9	677

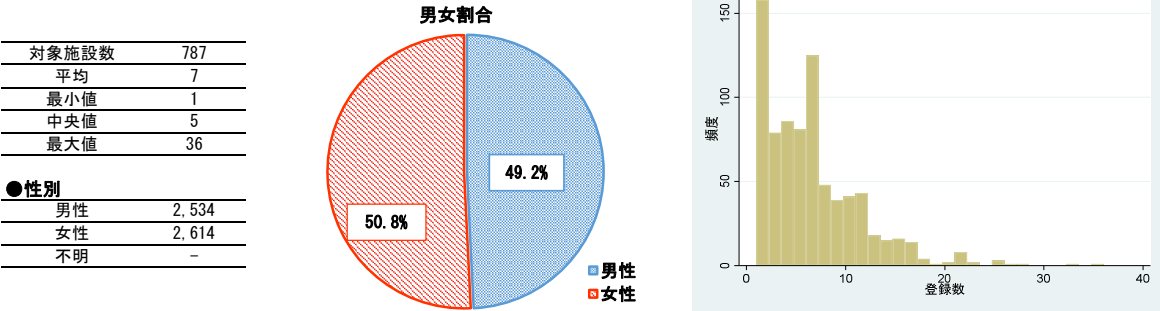
*1治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象数の定義は、集計方法を参照

*2分母は自施設初回治療開始例

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は5例で、最小登録数が1例、最大登録数36例であった。

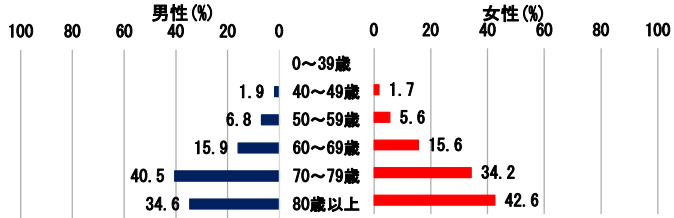


●性別

男性	2,534
女性	2,614
不明	-

●年齢

	平均	標準偏差	中央値
全体	76.0	10.6	77.2
拠点	75.3	10.6	76.0
拠点外	77.7	10.6	79.0



●UICC TNM病期分布

表4-13-3よりIV期の割合が最も多く約44%を占め、次いでIII期が約20%であった。登録割合の変動について、2020年以降大きな変化は見られない。

表4-13-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	0期	I期	IIA期	IIB期	II期	IIIA期	IIIB期	III期	IIIA期	IIIB期	IV期	IVA期	IVB期	不明	該当無	合計
2020	1.2	7.4	4.1	3.3	9.5	6.4	3.2	18.0	9.4	8.6	42.0	4.7	37.2	21.8	0.0	5,289
2021	0.7	7.0	3.6	3.4	9.9	7.0	2.9	19.1	9.8	9.3	41.4	4.6	36.8	21.9	0.0	5,275
2022	0.8	7.2	3.2	4.0	10.0	6.3	3.7	18.4	10.0	8.4	40.2	5.1	35.1	23.4	0.0	5,148

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-13-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	0期	I期	IIA期	IIB期	II期	IIIA期	IIIB期	III期	IIIA期	IIIB期	IV期	適用外等/ 術前治療後	不明	該当無	合計
2020	12.9	19.3	10.8	8.5	30.8	20.0	10.8	23.1	8.7	14.3	10.8	1.5	1.8	0.0	2,474
2021	13.0	19.0	10.6	8.4	31.4	19.3	12.1	20.9	7.0	13.9	12.2	2.0	1.5	0.0	2,450
2022	13.4	18.0	9.9	8.0	33.9	19.0	14.9	20.8	7.8	13.0	10.9	1.4	1.7	0.0	2,461

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-13-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

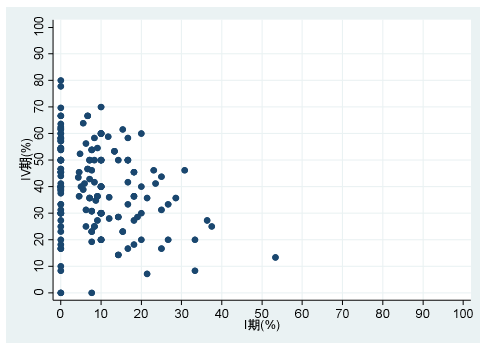
	0期	I期	IIA期	IIB期	II期	IIIA期	IIIB期	III期	IIIA期	IIIB期	IV期	IVA期	IVB期	不明	該当無	合計
2020	6.0	9.9	5.5	4.4	15.2	9.9	5.4	19.7	8.7	11.0	45.1	4.6	40.5	4.0	0.0	5,289
2021	6.0	9.3	5.2	4.2	15.3	9.5	5.8	19.7	8.2	11.5	45.4	4.7	40.7	4.2	0.0	5,275
2022	6.4	9.2	5.0	4.2	16.9	9.5	7.4	20.0	8.9	11.0	43.6	5.0	38.6	3.9	0.0	5,148
男性	6.6	9.7	5.0	4.7	17.1	9.7	7.4	20.2	9.7	10.5	42.5	5.2	37.3	3.8	0.0	2,534
女性	6.2	8.6	5.0	3.7	16.8	9.4	7.3	19.7	8.2	11.5	44.8	4.9	39.9	4.0	0.0	2,614

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-13-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布 (対象例10例以上の171施設)

	中央値	最小値	25%値	(四分位範囲)	75%値	最大値
0期	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3
I期	7.7	0.0	0.0	10.0	10.0	53.3
II期	9.1	0.0	4.5	12.2	16.7	41.7
III期	18.2	0.0	10.0	17.3	27.3	60.0
IV期	40.0	0.0	30.0	20.0	50.0	80.0

(参考) 施設毎の0/I期とIV期の割合の分布図



●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-13-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療)

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明
全体	329	472	256	214	872	491	380	1,028	460	568	2,246	259	1,987	201
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
手術のみ	97.0	87.7	91.0	84.6	75.3	74.5	76.3	28.6	27.4	29.6	4.5	7.3	4.1	14.4
内視鏡のみ	—	—	—	—	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	—	—	0.0	0.0
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
放射線のみ	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	—	—	—	0.8	—	0.9	—
薬物療法のみ	0.0	—	—	0.0	—	—	—	18.5	15.0	21.3	43.9	45.2	43.8	10.0
放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
薬物＋その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.4	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	—	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	—	5.3	—	7.0	20.1	20.2	20.0	21.9	14.6	27.8	7.3	6.6	7.4	—
手術/内視鏡＋その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	0.0	—	0.0
他の組み合わせ	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	—	—	—	0.5	—	—	—
治療なし	—	6.1	4.7	7.9	3.7	4.1	3.2	29.1	40.7	19.7	41.6	36.7	42.2	70.6
(内訳) 外科的治療	31.6	39.0	—	—	57.7	—	—	40.2	—	—	10.4	—	—	7.0
鏡視下治療	67.2	54.0	—	—	37.7	—	—	10.9	—	—	2.0	—	—	9.5

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-13-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む)

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明
全体	329	472	256	214	872	491	380	1,028	460	568	2,246	259	1,987	201
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
手術のみ	97.6	88.3	91.4	85.5	75.3	74.5	76.3	28.0	26.3	29.4	4.1	6.6	3.7	14.4
内視鏡のみ	—	—	—	—	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	—	—	0.0	0.0
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
放射線のみ	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	—	—	—	0.8	—	0.9	—
薬物療法のみ	0.0	—	—	0.0	—	—	—	17.7	14.6	20.2	43.9	46.3	43.6	10.4
放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.5	—	0.5	—
薬物＋その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.4	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	—	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	—	5.3	—	7.0	20.5	20.8	20.3	23.3	16.3	29.0	7.8	7.3	7.9	—
手術/内視鏡＋その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	0.0	—	0.0
他の組み合わせ	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	—	—	—	0.5	—	—	—
治療なし	0.0	5.5	4.3	7.0	3.2	3.5	2.9	28.9	40.4	19.5	41.5	35.5	42.2	70.1
(内訳) 外科的治療	31.9	39.0	—	—	57.7	—	—	41.3	—	—	10.6	—	—	7.0
鏡視下治療	67.5	54.7	—	—	38.2	—	—	10.8	—	—	2.0	—	—	9.5

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-13-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以降に他施設で実施した治療を含む)

総合ステージ	0期	I期	IA	IB	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IV期	IVA	IVB	不明
全体	329	472	256	214	872	491	380	1,028	460	568	2,246	259	1,987	201
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
手術のみ	97.6	88.1	91.0	85.5	75.0	74.1	76.1	27.1	25.9	28.2	4.0	6.6	3.7	13.9
内視鏡のみ	—	—	—	—	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	—	—	0.0	0.0
手術＋内視鏡	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	—	—	—	0.9	—	1.0	—
薬物療法のみ	0.0	—	—	0.0	—	—	—	17.4	14.8	19.5	43.9	46.3	43.6	10.4
放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.7	—	0.7	—
薬物＋その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.4	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	—	0.0	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	—	5.3	—	7.0	20.9	21.2	20.5	23.9	16.3	30.1	7.8	7.7	7.9	—
手術/内視鏡＋その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	0.0	—	0.0
他の組み合わせ	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	—	—	—	0.6	—	—	—
治療なし	0.0	5.5	4.3	7.0	3.2	3.5	2.9	28.8	40.2	19.5	41.1	35.1	41.9	70.1
(内訳) 外科的治療	32.2	39.0	—	—	57.8	—	—	41.4	—	—	10.6	—	—	7.0
鏡視下治療	67.2	54.7	—	—	38.1	—	—	10.7	—	—	1.9	—	—	9.5

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。(URL: <https://jhcr-cs.ganjoho.jp/hbortables/>)

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-13-1(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療）
(2020年-2022年)

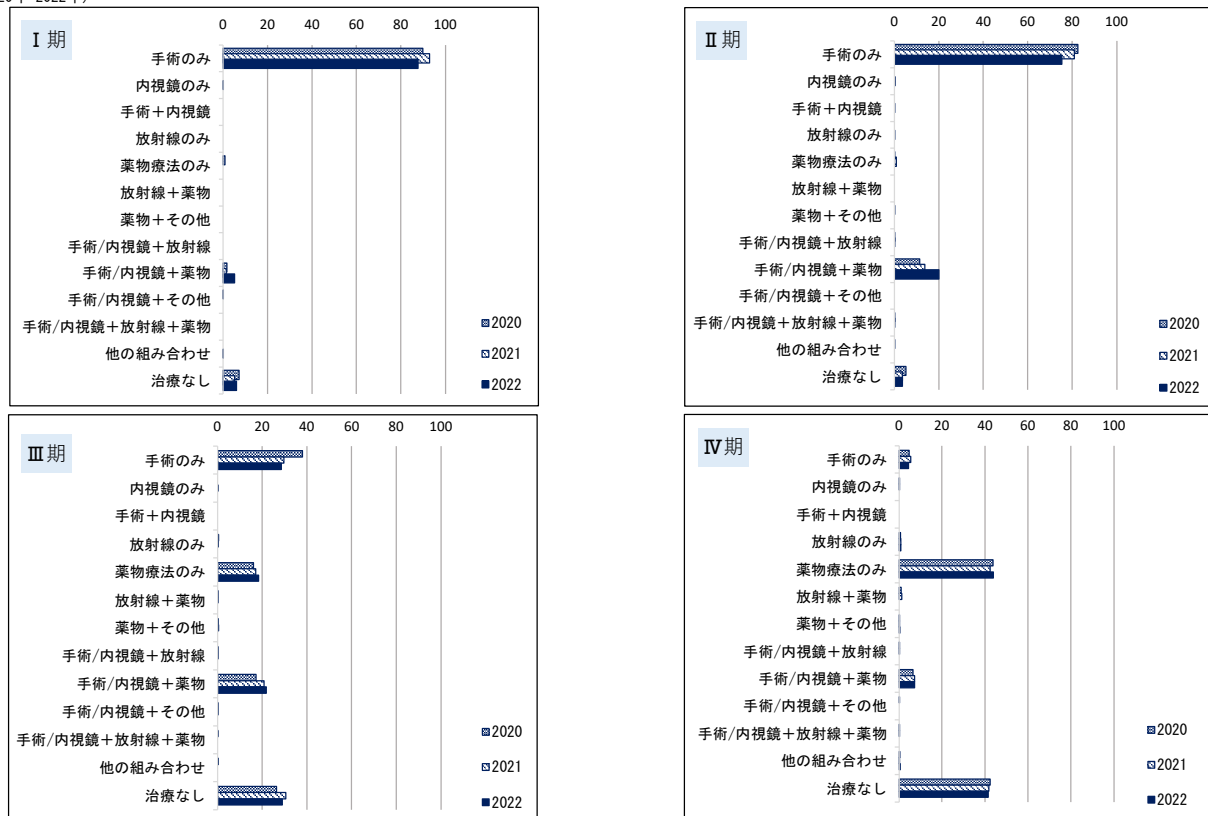
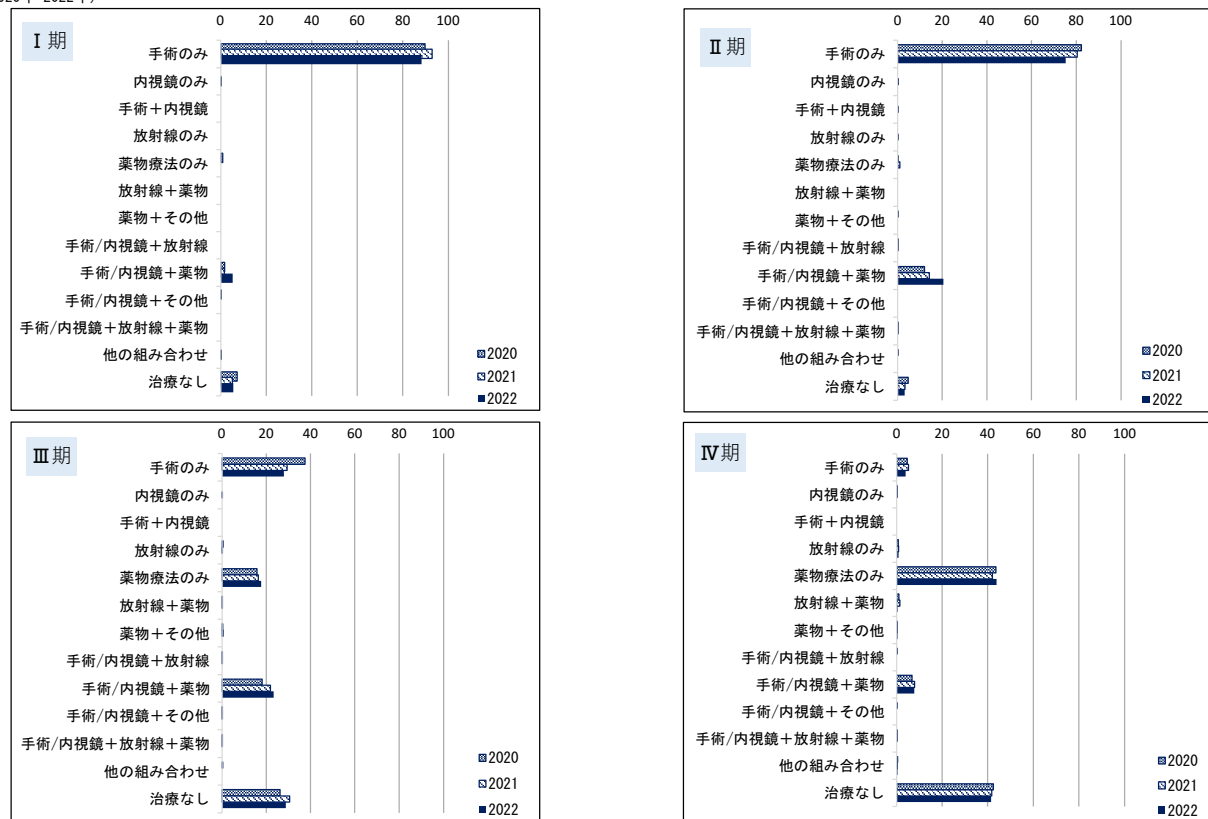


表4-13-1(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む）
(2020年-2022年)



14. 喉頭がん（喉頭癌）

	全登録		症例区分80 その他を除く	初回治療開始例	治療前ステージ集計			術後病理学的ステージ集計		
	全登録数	施設数			対象数*1	%*2	施設数	対象数*1	%*2	施設数
2020	5,730	649	5,602	4,496	4,458	99.2	502	1,541	34.3	350
2021	5,914	660	5,781	4,606	4,592	99.7	501	1,618	35.1	348
2022	5,729	644	5,593	4,446	4,435	99.8	505	1,434	32.3	355

*1治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象数の定義は、集計方法を参照

*2分母は自施設初回治療開始例

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は6例で、最小登録数が1例、最大登録数が53例であった。

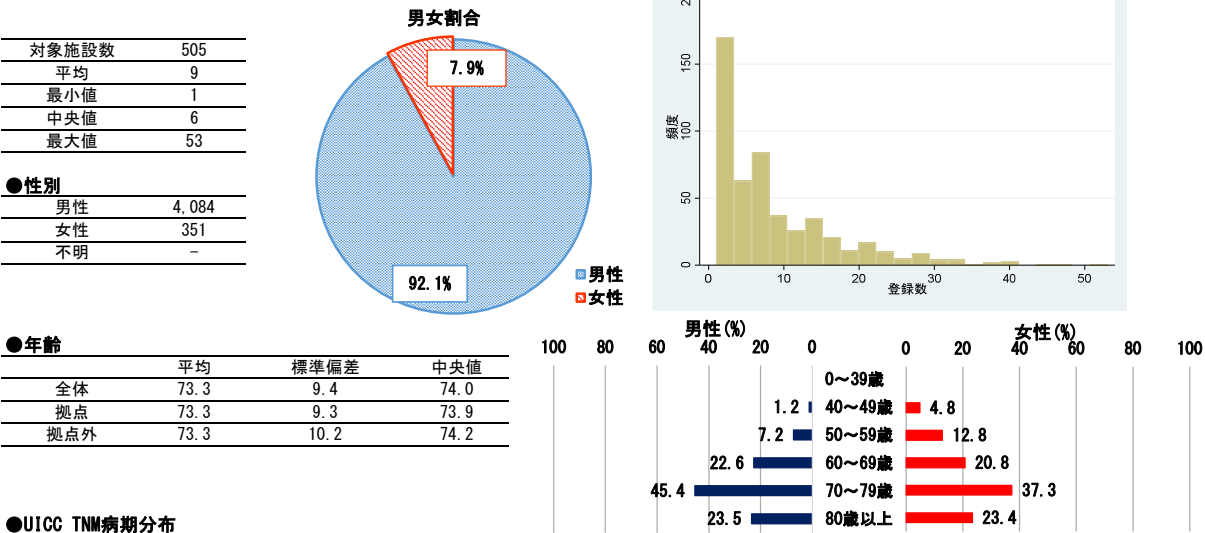


表4-14-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	0期	I期	II期	III期	IV期	IVA期	IVB期	IVC期	不明	該当無	合計
2020	5.2	36.3	20.3	15.8	17.7	14.5	1.7	1.5	4.6	0.0	4,458
2021	5.0	37.1	18.9	16.4	18.0	14.8	1.6	0.0	4.6	0.0	4,592
2022	5.0	39.7	19.2	15.0	16.6	13.3	1.6	0.0	4.5	0.0	4,435

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-14-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	0期	I期	II期	III期	IV期	IVA期	IVB期	IVC期	適用外等	不明	該当無	合計
2020	12.5	30.6	9.8	13.3	26.3	19.1	6.4	0.9	5.5	1.9	0.0	1,541
2021	12.4	31.4	8.4	13.0	28.0	21.0	6.2	0.0	5.2	1.5	0.1	1,618
2022	13.6	34.4	7.9	12.7	24.6	17.8	6.6	0.0	5.0	1.7	0.0	1,434

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-14-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

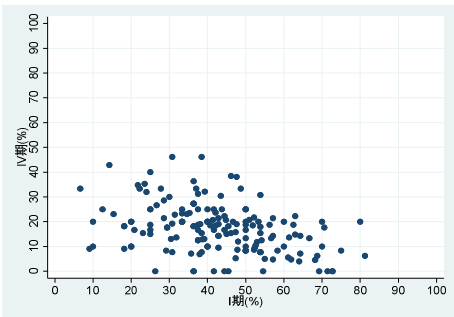
	0期	I期	II期	III期	IV期	IVA期	IVB期	IVC期	不明	該当無	合計
2020	6.7	37.6	21.2	14.8	18.7	13.6	3.5	1.6	1.0	0.0	4,458
2021	6.5	39.1	19.4	14.8	19.3	14.4	3.3	0.0	1.0	0.0	4,592
2022	6.9	41.3	19.8	13.7	17.5	12.6	3.3	0.0	0.7	0.0	4,435
男性	7.1	41.3	19.9	13.6	17.5	12.7	3.2	0.0	0.6	0.0	4,084
女性	5.1	40.7	19.1	15.1	17.9	11.4	4.8	0.0	-	0.0	351

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-14-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布 (対象例10例以上の167施設)

	中央値	最小値	25%値	(四分位範囲)	75%値	最大値
0期	0.0	0.0	0.0	7.7	7.7	30.0
I期	37.9	0.0	29.2	18.6	47.8	81.3
II期	18.8	0.0	10.0	16.7	26.7	60.0
III期	15.0	0.0	8.3	13.4	21.7	43.8
IV期	17.9	0.0	10.0	12.9	22.9	46.2

(参考) 施設毎の0/I期とIV期の割合の分布図



●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-14-5 (1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療)

総合ステージ	0期	I期	II期	III期	IV期	IVA期	IVB期	IVC期	不明
全体	306 100.0	1,831 100.0	880 100.0	607 100.0	778 100.0	560 100.0	147 100.0	0 100.0	33 100.0
手術のみ	13.4	6.7	6.6	26.7	31.0	37.7	19.7	0.0	0.0
内視鏡のみ	43.1	14.1	2.7	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	—	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	24.2	63.4	45.6	13.5	6.8	6.3	8.8	0.0	—
薬物療法のみ	—	1.0	—	—	4.9	2.0	—	0.0	—
放射線＋薬物	—	3.4	35.6	44.8	24.7	27.9	10.9	0.0	0.0
薬物＋その他	0.0	—	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線	3.6	5.4	2.3	1.6	6.7	4.1	19.7	0.0	0.0
手術/内視鏡＋薬物	0.0	—	—	—	3.7	3.8	—	0.0	—
手術/内視鏡＋その他	—	1.1	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	—	1.3	—	8.9	5.7	25.2	0.0	0.0
他の組み合わせ	—	1.0	1.3	—	—	—	0.0	0.0	—
治療なし	10.8	3.7	3.2	8.6	13.0	12.1	10.9	0.0	63.6
(内訳) 外科的治療	11.8	7.6	8.1	30.5	100.0	—	—	0.0	—
鏡視下治療	—	1.8	—	—	49.9	—	—	0.0	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-14-5 (2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む)

総合ステージ	0期	I期	II期	III期	IV期	IVA期	IVB期	IVC期	不明
全体	306 100.0	1,831 100.0	880 100.0	607 100.0	778 100.0	560 100.0	147 100.0	0 100.0	33 100.0
手術のみ	14.1	6.6	6.6	26.9	30.6	37.7	18.4	0.0	0.0
内視鏡のみ	43.8	14.3	2.7	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	—	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	24.5	63.7	45.2	13.3	7.1	6.6	8.8	0.0	—
薬物療法のみ	—	0.9	—	—	4.9	2.0	—	0.0	—
放射線＋薬物	—	3.5	35.5	44.6	24.6	27.9	10.9	0.0	0.0
薬物＋その他	0.0	—	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線	3.6	5.5	2.7	1.8	6.7	4.1	19.7	0.0	0.0
手術/内視鏡＋薬物	0.0	—	—	—	3.9	3.8	—	0.0	—
手術/内視鏡＋その他	—	1.1	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	—	1.7	—	9.3	5.7	26.5	0.0	0.0
他の組み合わせ	—	1.0	1.3	—	—	—	0.0	0.0	—
治療なし	9.2	3.0	3.0	8.4	12.7	11.8	10.9	0.0	63.6
(内訳) 外科的治療	11.8	7.6	8.8	30.8	50.0	—	—	0.0	—
鏡視下治療	3.6	1.8	—	—	—	—	—	0.0	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-14-5 (3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む)

総合ステージ	0期	I期	II期	III期	IV期	IVA期	IVB期	IVC期	不明
全体	306 100.0	1,831 100.0	880 100.0	607 100.0	778 100.0	560 100.0	147 100.0	0 100.0	33 100.0
手術のみ	14.1	6.5	6.5	26.7	30.6	37.7	18.4	0.0	0.0
内視鏡のみ	43.5	14.1	2.7	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	—	0.0	0.0	0.0
放射線のみ	24.5	63.6	44.9	13.3	7.2	6.6	8.8	0.0	—
薬物療法のみ	—	0.9	—	—	4.9	2.0	—	0.0	—
放射線＋薬物	—	3.5	35.6	44.6	24.6	27.9	10.9	0.0	0.0
薬物＋その他	0.0	—	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線	3.9	5.8	3.0	2.0	6.7	4.1	19.7	0.0	—
手術/内視鏡＋薬物	0.0	—	—	1.6	3.7	3.6	—	0.0	—
手術/内視鏡＋その他	—	1.1	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	—	1.8	—	9.4	5.9	26.5	0.0	0.0
他の組み合わせ	—	1.0	1.3	—	—	—	0.0	0.0	—
治療なし	9.2	2.9	3.0	8.4	12.6	11.8	10.9	0.0	63.6
(内訳) 外科的治療	11.8	7.7	8.8	30.8	100.0	—	—	0.0	—
鏡視下治療	3.6	1.9	—	—	50.0	—	—	0.0	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。(URL: <https://jhor-cs.ganjoho.jp/hbortables/>)

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-14-1(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）
(2020年-2022年)

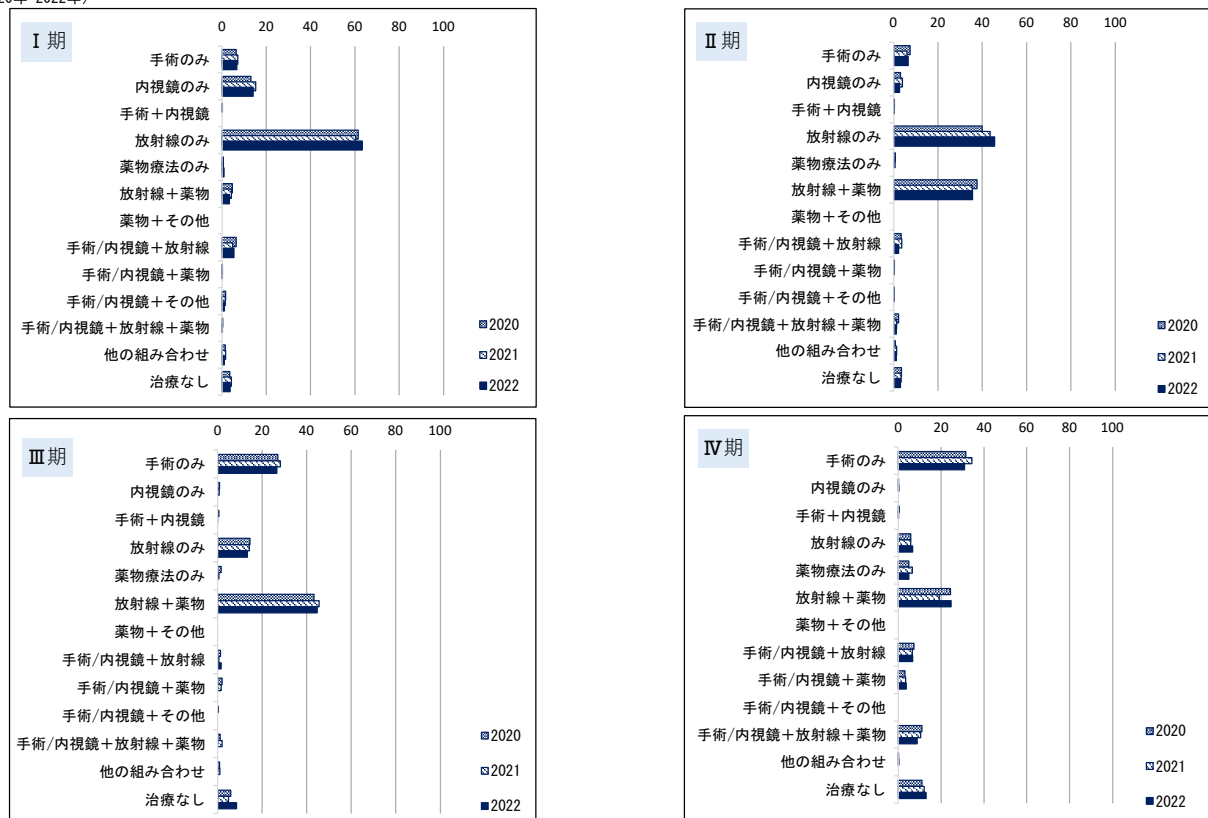
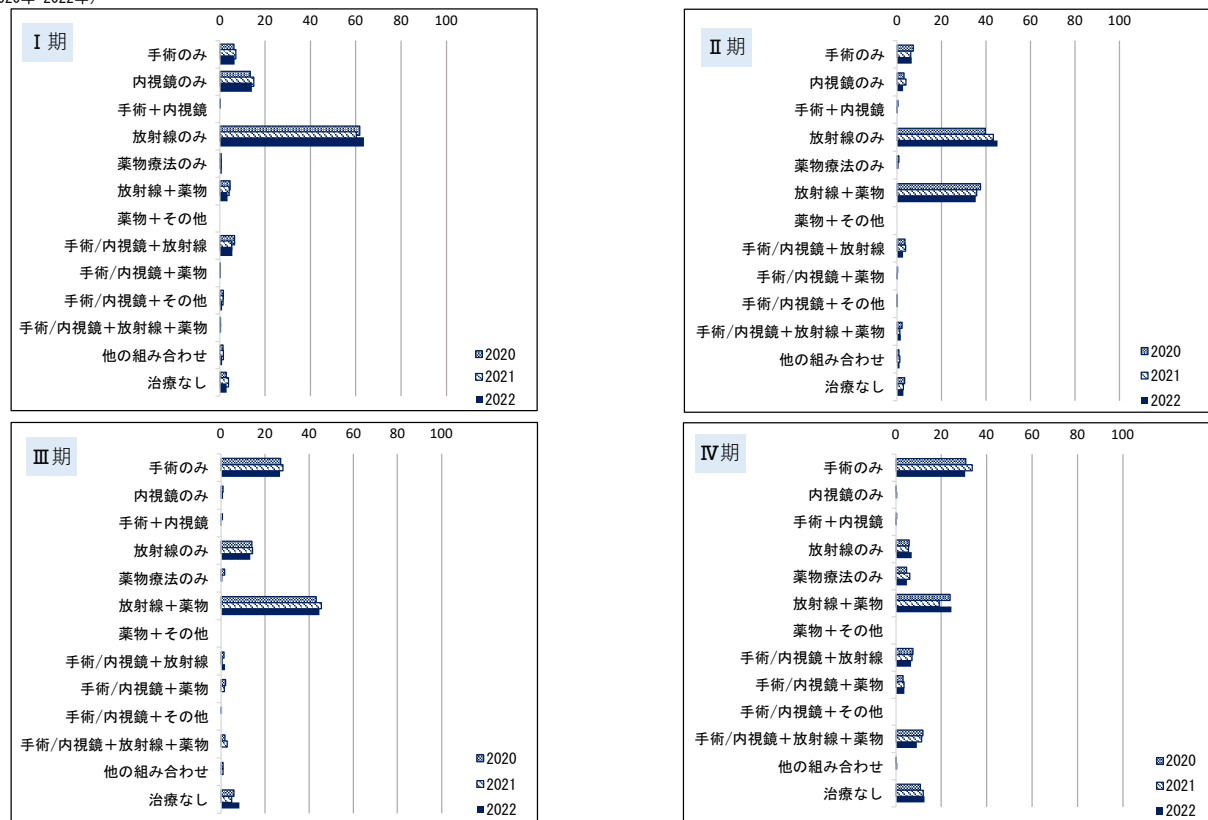


表4-14-1(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）
(2020年-2022年)



15. 腎がん（腎癌）

	全登録		症例区分80 その他を除く	初回治療開始例	治療前ステージ集計			術後病理学的ステージ集計		
	全登録数	施設数			対象数*1	%*2	施設数	対象数*1	%*2	施設数
2020	20,252	826	19,709	16,258	16,079	98.9	756	12,799	78.7	684
2021	21,201	833	20,614	17,072	16,982	99.5	760	13,506	79.1	679
2022	21,542	822	20,922	17,015	16,922	99.5	750	13,323	78.3	672

*1治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象数の定義は、集計方法を参照

*2分母は自施設初回治療開始例

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

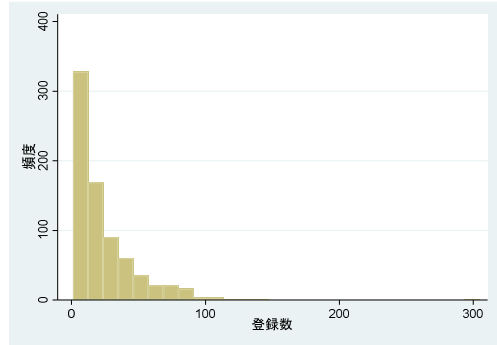
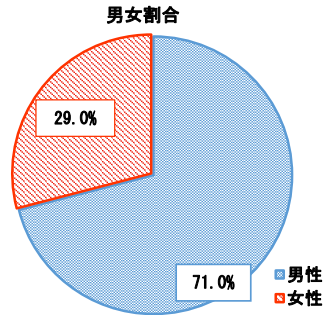
●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は14例で、最小登録数が1例、最大登録数が305例で2020年診断例とほぼ同様であった。

対象施設数	750
平均	23
最小値	1
中央値	14
最大値	305

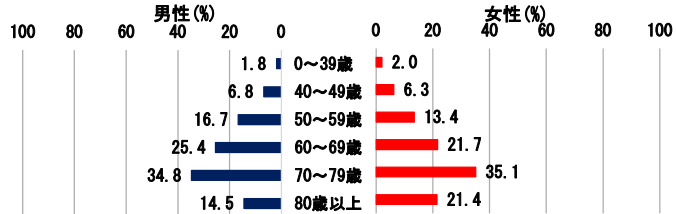
●性別

男性	12,007
女性	4,915
不明	-



●年齢

	平均	標準偏差	中央値
全体	68.4	12.3	70.4
拠点	68.0	12.2	70.1
拠点外	69.7	12.4	71.6



●UICC TNM病期分布

表4-15-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	I期	II期	III期	IV期	不明	該当無	合計
2020	69.5	5.3	8.8	12.3	3.5	0.6	16,079
2021	70.3	5.2	8.6	11.7	3.6	0.5	16,982
2022	70.0	4.6	9.9	11.7	3.2	0.6	16,922

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-15-1a 腎細胞癌に限定したUICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	I期	II期	III期	IV期	不明	該当無	合計
2020	72.3	5.7	8.9	9.7	3.5	0.0	13,837
2021	73.0	5.6	8.8	9.0	3.5	0.0	14,608
2022	72.4	4.9	10.2	9.2	3.3	-	14,595

表4-15-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	I期	II期	III期	IV期	適用外等	不明	該当無	合計
2020	76.7	4.8	12.6	4.0	1.3	0.3	0.2	12,799
2021	76.7	4.4	13.9	3.4	1.2	0.4	0.1	13,506
2022	76.6	3.8	14.8	2.9	1.4	0.3	0.2	13,323

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-15-2a 腎細胞癌に限定したUICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	I期	II期	III期	IV期	適用外等	不明	該当無	合計
2020	77.1	4.8	12.7	4.0	1.0	0.3	0.0	12,674
2021	77.0	4.4	13.9	3.3	1.0	0.4	0.0	13,408
2022	77.1	3.8	14.9	2.9	1.1	0.3	0.0	13,215

表4-15-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

	I期	II期	III期	IV期	不明	該当無	合計
2020	70.2	4.3	11.9	12.3	0.7	0.6	16,079
2021	70.2	4.0	12.9	11.7	0.7	0.5	16,982
2022	72.4	3.6	14.7	9.2	0.2	0.0	16,922
男性	70.3	3.1	13.7	11.9	0.5	0.6	12,007
女性	69.0	4.3	14.2	11.2	0.6	0.7	4,915

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

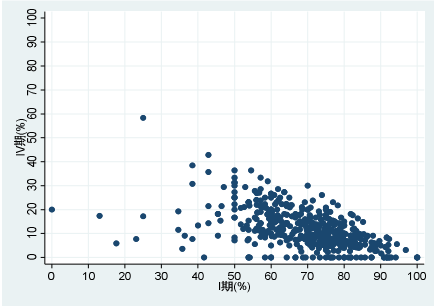
表4-15-3a 腎細胞癌に限定したUICC TNM分類 総合ステージ別登録数の割合

	I期	II期	III期	IV期	不明	該当無	合計
2020	73.1	4.5	12.5	9.6	0.2	0.0	13,837
2021	72.9	4.2	13.7	8.9	0.2	0.0	14,608
2022	72.4	3.6	14.7	9.2	0.2	0.0	14,595

表4-15-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布 (対象例10例以上の481施設)

	中央値	最小値	25%値	(四分位範囲)	75%値	最大値
I 期	70.7	0.0	60.9	17.7	78.6	100.0
II 期	4.2	0.0	0.0	7.7	7.7	23.1
III 期	9.1	0.0	4.5	9.1	13.6	41.7
IV 期	10.8	0.0	6.5	10.2	16.7	58.3

(参考) 施設毎の I 期と IV 期の割合の分布図



●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-15-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療**）

総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	不明
全体	11,832 100.0	581 100.0	2,337 100.0	1,982 100.0	88 100.0
手術のみ	81.6	83.1	72.6	8.4	—
内視鏡のみ	—	—	0.0	0.0	0.0
手術＋内視鏡	0.0	0.0	0.0	—	0.0
放射線のみ	0.3	—	—	4.1	—
薬物療法のみ	0.3	3.3	7.4	44.9	11.4
放射線＋薬物	—	0.0	—	9.3	0.0
薬物＋その他	—	0.0	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	0.0	0.0	—	1.1	0.0
手術/内視鏡＋薬物	0.1	2.9	11.8	11.2	—
手術/内視鏡＋その他	—	0.0	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	0.0	—	1.4	0.0
他の組み合わせ	2.9	—	—	—	—
治療なし	14.5	10.0	7.5	19.1	75.0
（内訳）外科的治療	5.3	20.1	16.8	10.1	—
鏡視下治療	76.5	65.9	68.0	12.2	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-15-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む**）

総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	不明
全体	11,832 100.0	581 100.0	2,337 100.0	1,982 100.0	88 100.0
手術のみ	86.2	84.7	72.5	7.6	11.4
内視鏡のみ	—	—	0.0	0.0	0.0
手術＋内視鏡	0.0	0.0	0.0	—	0.0
放射線のみ	0.4	—	—	4.1	—
薬物療法のみ	0.3	2.8	6.5	43.2	11.4
放射線＋薬物	—	0.0	—	9.1	0.0
薬物＋その他	—	0.0	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	—	0.0	—	1.0	0.0
手術/内視鏡＋薬物	0.2	3.8	14.9	13.9	—
手術/内視鏡＋その他	—	0.0	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	0.0	—	1.9	0.0
他の組み合わせ	2.9	—	—	—	—
治療なし	9.9	7.9	5.5	18.7	72.7
（内訳）外科的治療	5.5	20.7	17.3	10.9	—
鏡視下治療	80.9	67.8	70.4	13.7	11.4

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-15-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（**診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む**）

総合ステージ	I期	II期	III期	IV期	不明
全体	11,832 100.0	581 100.0	2,337 100.0	1,982 100.0	88 100.0
手術のみ	86.2	84.5	72.3	7.4	11.4
内視鏡のみ	—	—	0.0	0.0	0.0
手術＋内視鏡	—	0.0	0.0	—	0.0
放射線のみ	0.4	—	—	4.1	—
薬物療法のみ	0.3	2.8	6.4	42.7	11.4
放射線＋薬物	—	0.0	—	9.5	0.0
薬物＋その他	—	0.0	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	—	0.0	—	1.0	0.0
手術/内視鏡＋薬物	0.2	4.0	15.1	14.0	—
手術/内視鏡＋その他	—	0.0	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	0.0	—	2.0	0.0
他の組み合わせ	2.9	—	—	—	—
治療なし	9.9	7.9	5.5	18.7	72.7
（内訳）外科的治療	5.6	20.7	17.3	11.0	—
鏡視下治療	80.9	67.8	70.4	13.7	11.4

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL：<https://jhcr-cs.ganjocho.jp/hbortables/>）

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-15-1(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療）
(2020年-2022年)

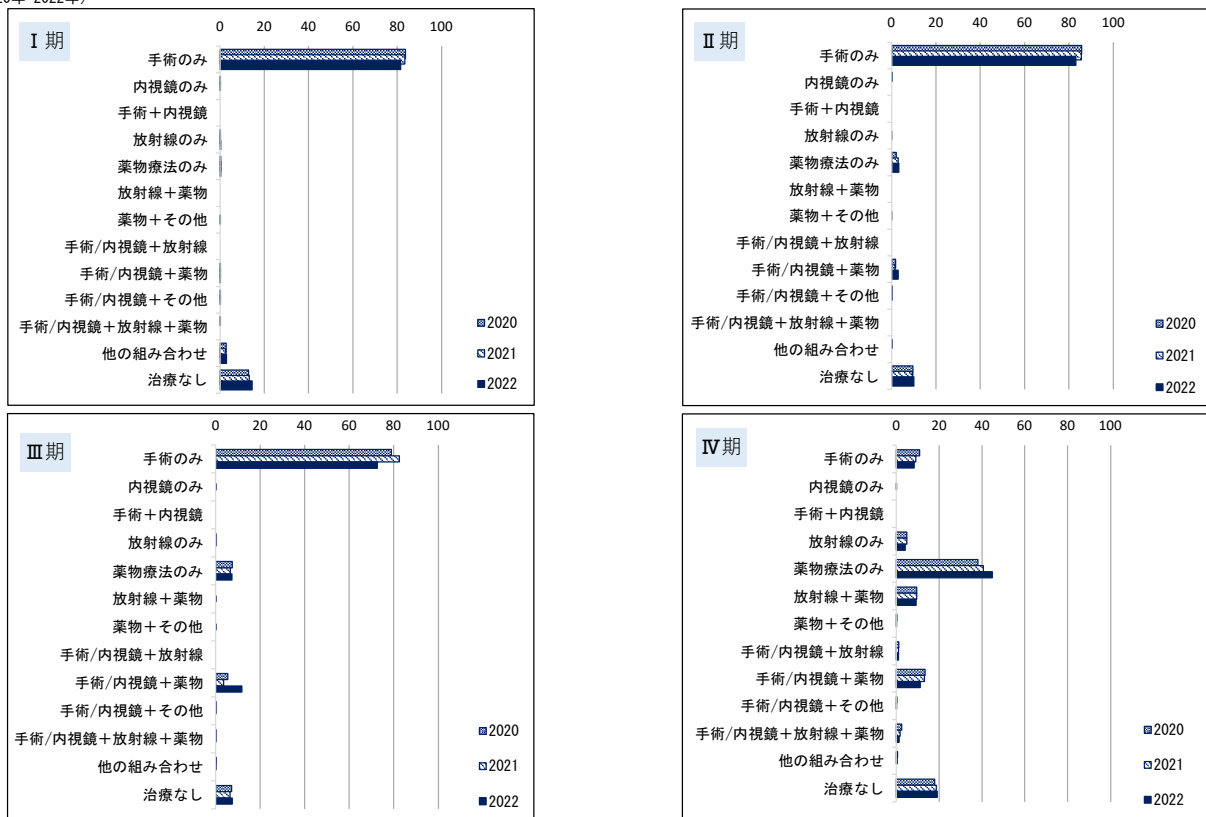
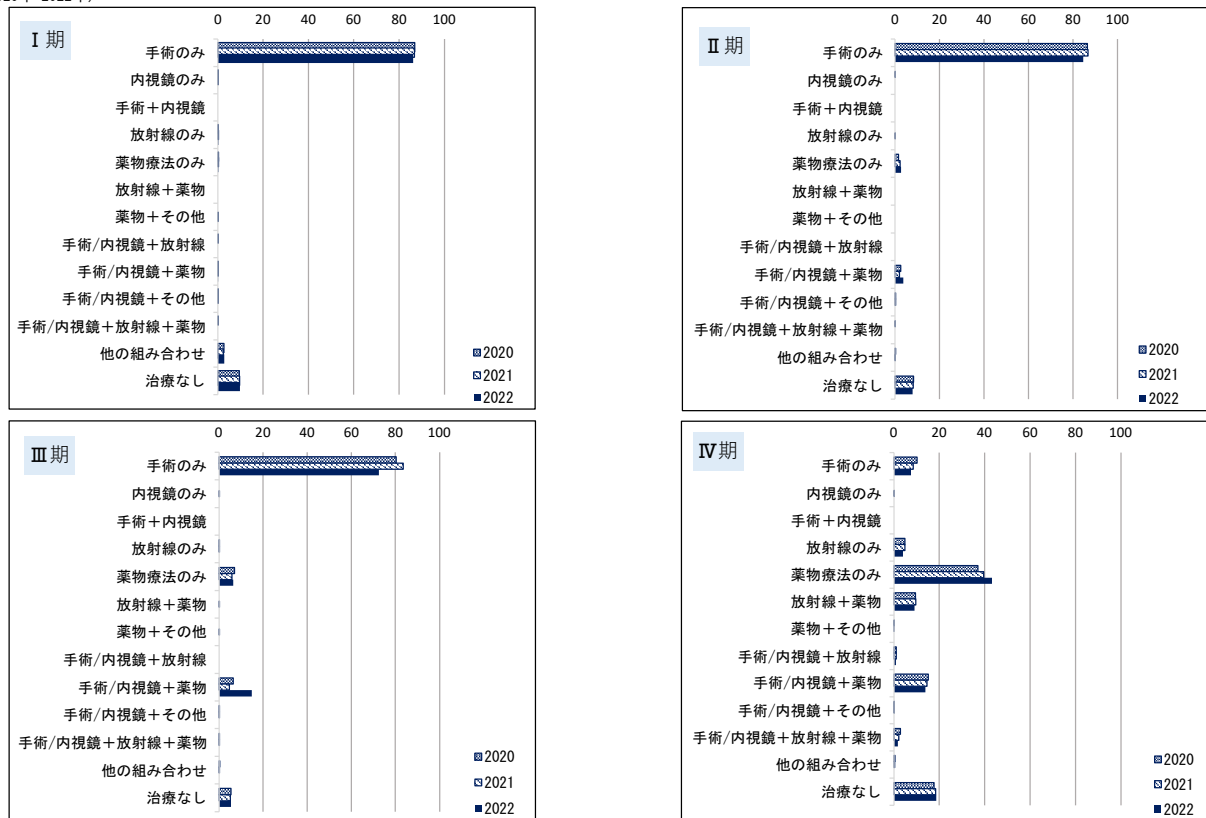


表4-15-1(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む）
(2020年-2022年)



16. 腎盂・尿管がん（腎盂・尿管癌）

	全登録		症例区分80 その他を除く	初回治療開始例	治療前ステージ集計			術後病理学的ステージ集計		
	全登録数	施設数			対象数*1	%*2	施設数	対象数*1	%*2	施設数
2020	10,301	806	10,053	8,306	8,282	99.7	730	5,801	69.8	669
2021	10,714	810	10,471	8,688	8,684	99.9	745	5,968	68.7	675
2022	10,719	800	10,470	8,650	8,646	100.0	735	5,832	67.4	664

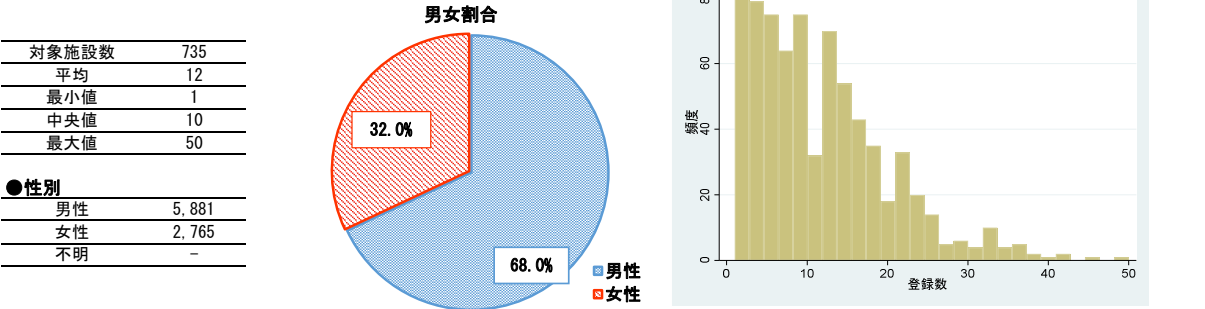
*1治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象数の定義は、集計方法を参照

*2分母は自施設初回治療開始例

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は10例で、最小登録数が1例、最大登録数が50例であった。



●性別

男性	5,881
女性	2,765
不明	-

●年齢

	平均	標準偏差	中央値
全体	76.4	9.2	77.3
拠点	76.0	9.2	76.9
拠点外	77.5	9.0	78.3

●UICC TNM病期分布

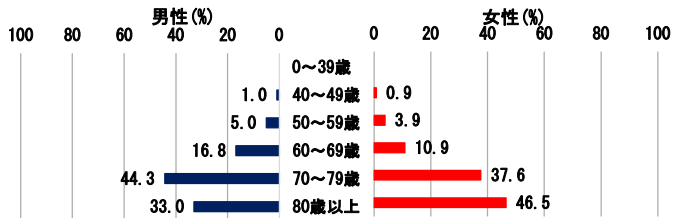


表4-16-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	0期	0a期	0is期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当無	合計
2020	12.9	9.9	3.0	18.3	15.0	13.0	24.9	16.0	0.0	8,282
2021	13.9	11.1	2.8	17.7	15.5	12.6	24.7	15.6	0.0	8,684
2022	13.5	10.8	2.7	17.2	15.8	12.9	25.7	14.8	0.0	8,646

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-16-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	0期	0a期	0is期	I期	II期	III期	IV期	適用外等	不明	その他	合計
2020	25.1	20.1	5.1	16.9	12.5	27.1	8.1	9.2	1.0	0.0	5,801
2021	25.5	20.7	4.7	16.0	13.3	26.9	8.2	9.2	0.9	0.0	5,968
2022	24.1	19.6	4.5	15.8	12.5	26.8	7.9	11.9	1.0	-	5,832

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-16-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

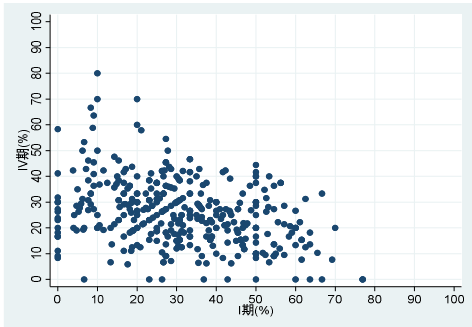
	0期	0a期	0is期	I期	II期	III期	IV期	不明	その他	合計
2020	19.6	15.1	4.5	15.0	11.7	22.1	26.7	5.0	0.0	8,282
2021	19.6	15.5	4.1	14.0	12.3	22.0	26.8	5.3	0.0	8,684
2022	18.6	14.7	4.0	14.2	12.0	22.1	28.0	5.0	0.0	8,646
男性	19.8	15.7	4.0	15.2	12.2	21.9	26.1	4.8	0.0	5,881
女性	16.1	12.3	3.8	12.0	11.7	22.7	32.0	5.4	0.0	2,765

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-16-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布 (対象例10例以上の401施設)

	中央値	最小値	25%値	(四分位範囲)	75%値	最大値
0期	10.5	0.0	4.5	15.5	20.0	57.1
I期	16.7	0.0	7.7	18.6	26.3	61.5
II期	14.3	0.0	7.7	15.4	23.1	58.8
III期	10.5	0.0	6.7	11.5	18.2	54.5
IV期	25.0	0.0	16.7	16.6	33.3	80.0

(参考) 施設毎の0/I期とIV期の割合の分布図



●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-16-5 (1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療)

総合ステージ	0期	0a	0is	I期	II期	III期	IV期	不明
全体	1,610 100.0	1,267 100.0	343 100.0	1,228 100.0	1,039 100.0	1,913 100.0	2,422 100.0	434 100.0
手術のみ	80.2	82.3	72.3	69.9	58.5	46.5	6.3	—
内視鏡のみ	2.1	2.7	0.0	1.1	1.3	—	0.4	—
手術＋内視鏡	1.5	1.6	—	1.2	1.2	0.8	—	0.0
放射線のみ	—	—	0.0	1.0	2.6	0.6	3.4	3.5
薬物療法のみ	1.6	1.5	—	3.7	5.2	4.0	41.5	10.6
放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	3.1	—
薬物＋その他	—	—	0.0	0.0	0.0	—	—	—
手術/内視鏡＋放射線	—	—	0.0	—	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	4.2	4.5	3.2	7.2	19.7	41.0	18.2	10.1
手術/内視鏡＋その他	1.0	0.8	—	0.8	—	0.7	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	—	0.0
他の組み合わせ	4.2	1.7	13.4	1.4	—	—	—	3.0
治療なし	5.0	4.6	6.4	13.4	9.9	5.4	25.9	69.1
(内訳) 外科的治療	9.2	—	—	7.3	8.2	10.8	5.7	—
鏡視下治療	76.8	—	—	71.5	71.9	78.3	18.0	9.2

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-16-5 (2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む)

総合ステージ	0期	0a	0is	I期	II期	III期	IV期	不明
全体	1,610 100.0	1,267 100.0	343 100.0	1,228 100.0	1,039 100.0	1,913 100.0	2,422 100.0	434 100.0
手術のみ	81.5	83.7	73.5	70.2	58.9	44.7	6.0	—
内視鏡のみ	2.0	2.6	0.0	1.1	1.0	—	0.4	—
手術＋内視鏡	1.6	1.7	—	1.3	1.5	0.5	—	0.0
放射線のみ	—	—	0.0	1.0	2.5	0.6	3.4	3.7
薬物療法のみ	1.2	1.2	—	2.9	3.6	3.0	39.7	9.4
放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	—	—	—	3.3	—
薬物＋その他	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
手術/内視鏡＋放射線	—	—	0.0	—	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	4.7	5.0	3.8	8.2	21.8	44.8	20.4	11.8
手術/内視鏡＋その他	1.2	0.9	—	0.9	—	0.6	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.5	0.0
他の組み合わせ	4.0	1.5	13.1	1.3	—	—	—	2.8
治療なし	3.5	3.0	5.2	12.8	8.9	4.8	25.6	68.2
(内訳) 外科的治療	9.5	—	—	7.4	8.8	11.4	6.4	2.3
鏡視下治療	78.6	—	—	72.8	74.4	79.6	19.4	10.6

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-16-5 (3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合 (診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む)

総合ステージ	0期	0a	0is	I期	II期	III期	IV期	不明
全体	1,610 100.0	1,267 100.0	343 100.0	1,228 100.0	1,039 100.0	1,913 100.0	2,422 100.0	434 100.0
手術のみ	81.3	83.4	73.5	70.0	58.8	44.5	5.7	—
内視鏡のみ	2.0	2.5	0.0	1.1	1.0	—	—	—
手術＋内視鏡	1.7	1.8	—	1.3	1.5	0.5	—	0.0
放射線のみ	—	—	0.0	1.0	2.5	0.6	3.4	3.5
薬物療法のみ	1.2	1.2	—	2.9	3.5	2.8	39.6	9.4
放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	—	—	—	3.3	—
薬物＋その他	—	—	0.0	0.0	0.0	—	—	—
手術/内視鏡＋放射線	—	—	0.0	—	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋薬物	4.8	5.1	3.8	8.3	21.8	45.1	20.6	11.8
手術/内視鏡＋その他	1.2	1.0	—	1.0	—	0.7	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.5	0.0
他の組み合わせ	4.0	1.5	13.1	1.3	—	—	—	3.0
治療なし	3.5	3.0	5.2	12.8	8.9	4.8	25.6	68.0
(内訳) 外科的治療	9.5	—	—	7.4	8.8	11.4	6.4	2.3
鏡視下治療	78.7	—	—	72.8	74.4	79.6	19.4	10.8

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。(URL: <https://jhcr-cs.ganjoho.jp/hbortables/>)

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-16-1(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療）
（2020年-2022年）

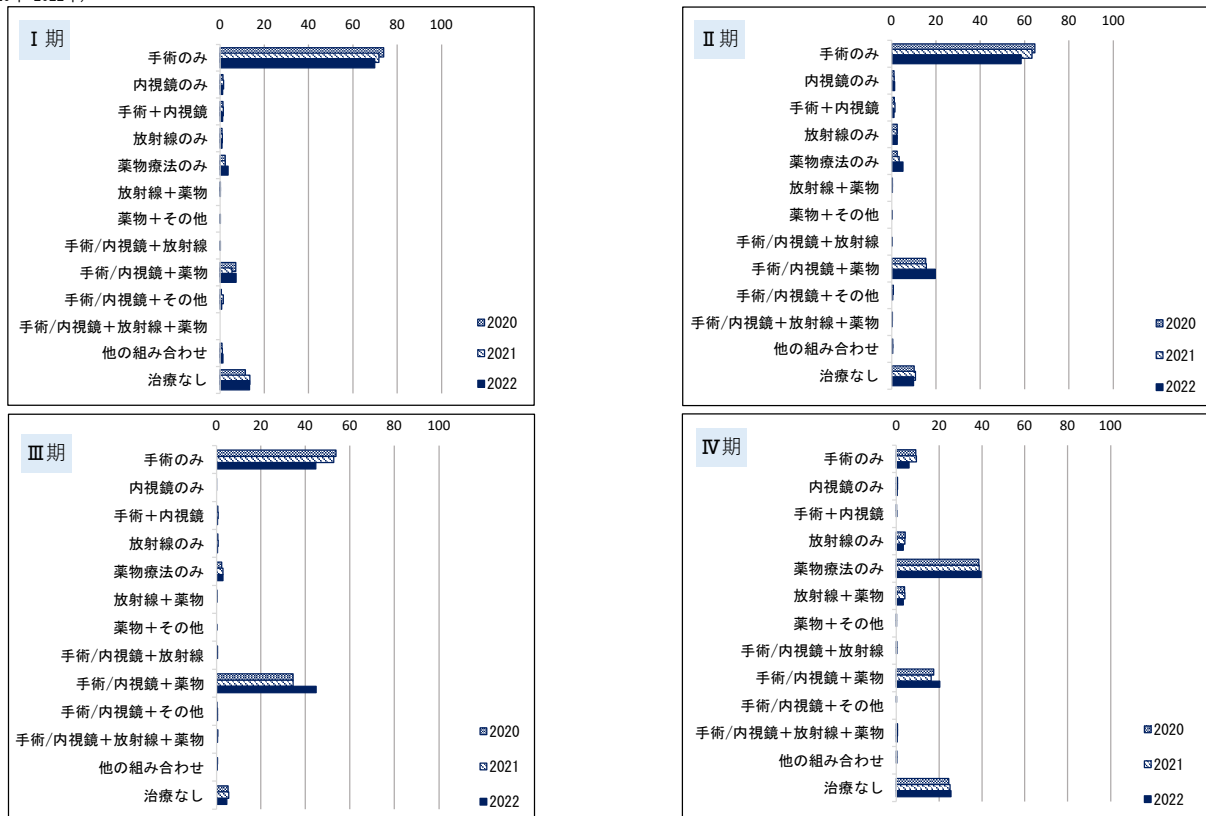
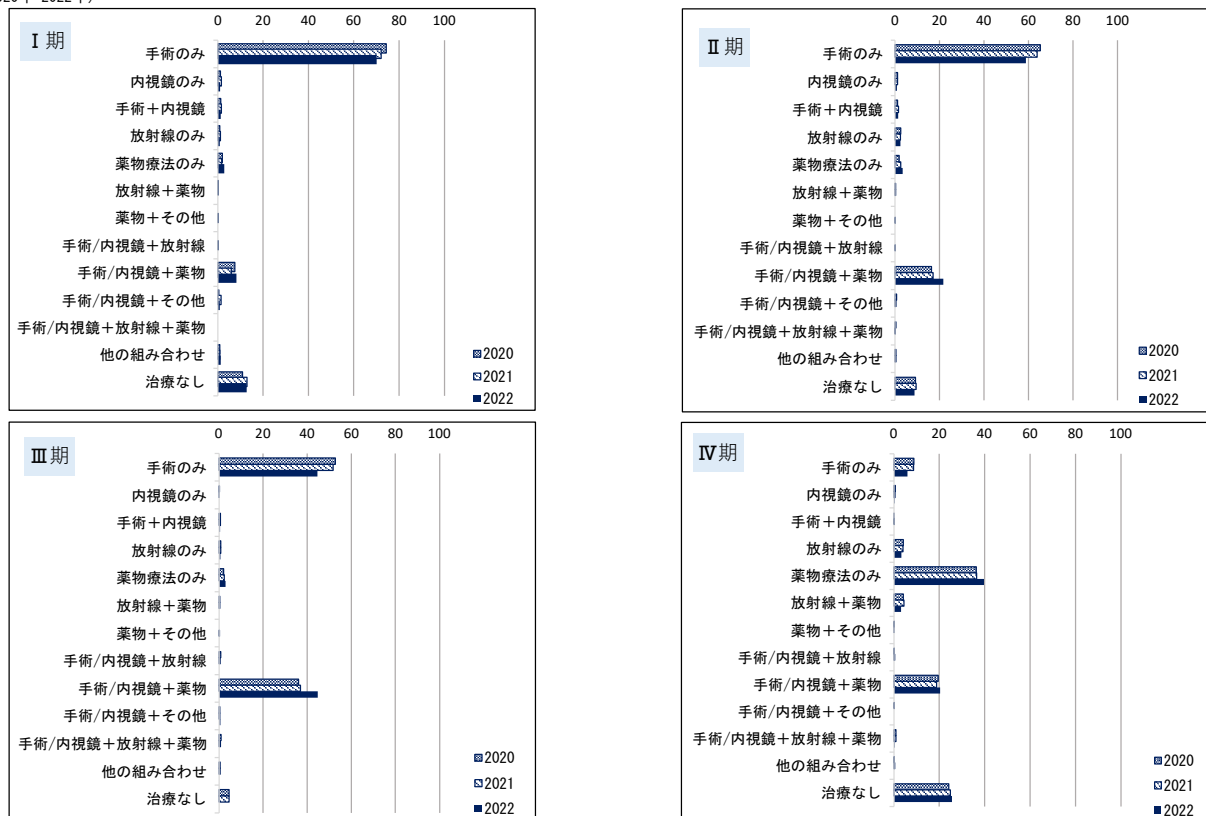


表4-16-1(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む）
（2020年-2022年）



17. 卵巣がん（卵巣癌）（女）

	全登録		症例区分80 その他を除く	初回治療開始例	治療前ステージ集計			術後病理学的ステージ集計		
	全登録数	施設数			対象数*1	%*2	施設数	対象数*1	%*2	施設数
2020	15,478	790	15,144	12,304	12,122	98.5	688	10,434	84.8	627
2021	16,633	809	16,241	13,096	12,798	97.7	681	11,068	84.5	630
2022	16,208	790	15,788	12,791	12,502	97.7	670	10,632	83.1	601

*1治療前ステージ、術後病理学的ステージ集計対象数の定義は、集計方法を参照

*2分母は自施設初回治療開始例

2016年からは都道府県推薦病院・小児がん拠点病院を、2017年から任意参加病院を含む

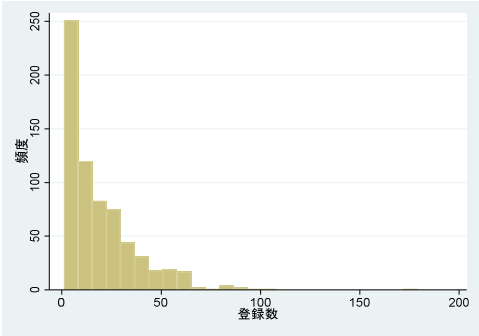
●施設別登録数

施設別登録数と分布を以下に示す。施設別登録数をみると、1施設当たりの登録数の中央値は13例で、最小登録数が1例、最大登録数が179例であった。

対象施設数	670
平均	19
最小値	1
中央値	13
最大値	179

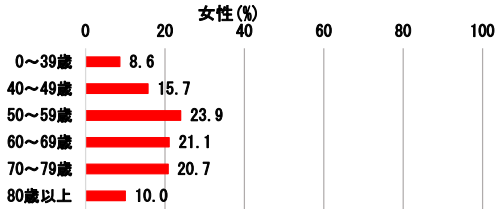
●性別

男性	0
女性	12,502
不明	-



●年齢

	平均	標準偏差	中央値
全体	60.5	15.4	60.8
拠点	60.4	15.2	60.7
拠点外	61.4	15.8	61.5



●UICC TNM病期分布

表4-17-1 UICC TNM分類 治療前ステージ別登録数の割合

	I期	IA	IB	IC	II期	IIA	IIB	III期	IIIA1	IIIA2	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明	該当無	合計
2020	34.9	27.1	1.9	5.2	4.7	2.1	2.4	21.7	2.1	1.1	5.2	13.3	15.1	3.4	11.3	23.6	0.0	12,122
2021	35.5	28.2	1.8	4.8	4.7	2.2	2.4	21.4	2.1	1.0	5.1	13.1	14.5	3.4	10.8	24.0	0.0	12,798
2022	33.7	27.3	1.4	4.6	4.6	1.8	2.6	22.1	2.2	1.1	5.5	13.3	16.0	3.4	12.2	23.6	-	12,502

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-17-2 UICC TNM分類 術後病理学的ステージ別登録数の割合

	I期	IA	IB	IC	II期	IIA	IIB	III期	IIIA1	IIIA2	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	適用外等	不明	該当無	合計
2020	54.9	29.3	1.5	23.9	7.0	3.0	4.0	16.1	2.5	1.5	4.0	7.6	6.3	1.3	4.9	11.7	2.3	0.3	10,434
2021	56.2	29.9	1.3	24.9	6.9	2.7	4.2	16.2	3.0	1.6	4.0	7.6	6.3	1.3	4.9	11.7	2.3	0.3	11,068
2022	55.6	29.1	1.3	25.1	6.8	2.6	4.1	16.4	2.4	1.7	4.2	8.1	6.9	1.6	5.2	12.5	1.6	0.2	10,632

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-17-3 UICC TNM分類総合ステージ別登録数の割合

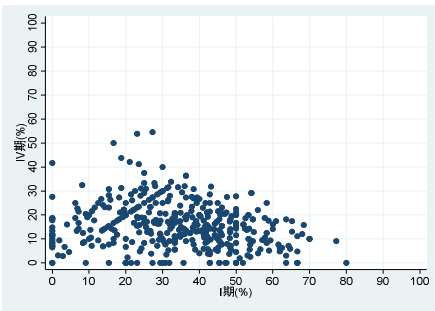
	I期	IA	IB	IC	II期	IIA	IIB	III期	IIIA1	IIIA2	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明	該当無	合計
2020	48.3	25.8	1.4	20.9	6.8	2.8	3.8	25.6	2.6	1.8	5.6	15.6	15.9	3.5	12.0	3.4	0.0	12,122
2021	49.4	26.4	1.2	21.7	6.8	2.6	4.1	25.2	4.8	0.0	5.4	15.1	15.5	3.5	11.6	3.1	0.0	12,798
2022	48.0	25.3	1.1	21.5	6.5	2.5	3.9	25.7	2.5	1.9	5.9	15.3	17.2	3.7	13.1	2.6	-	12,502

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-17-4 UICC TNM分類治療前ステージ施設別の病期の割合の分布 (対象例10例以上の408施設)

	中央値	最小値	25%値	(四分位範囲)	75%値	最大値
I 期	33.3	0.0	21.4	24.1	45.5	80.0
II 期	3.8	0.0	0.0	7.7	7.7	30.8
III 期	21.4	0.0	14.3	14.7	29.0	60.0
IV 期	14.7	0.0	8.7	12.1	20.8	54.5

(参考) 施設毎の I 期と IV 期の割合の分布図



●UICC TNM分類病期別にみた治療方法の割合

表4-17-5(1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療）

総合ステージ	I期	IA	IB	IC	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明
全体	6,005 100.0	3,163 100.0	139 100.0	2,693 100.0	816 100.0	314 100.0	488 100.0	3,208 100.0	316 100.0	241 100.0	738 100.0	1,913 100.0	2,146 100.0	457 100.0	1,636 100.0
手術のみ	61.1	78.9	66.9	39.8	15.7	15.0	16.6	6.5	8.2	15.8	7.5	4.7	4.1	—	4.6
内視鏡のみ	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
放射線のみ	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—
薬物療法のみ	0.2	—	0.0	—	5.4	5.4	4.3	22.4	7.0	11.6	17.1	28.4	33.3	31.3	33.9
放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0	—	0.0	—
薬物＋その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	—	—	—	—	—
手術/内視鏡＋放射線	—	—	0.0	—	—	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—
手術/内視鏡＋薬物	37.7	19.6	30.9	59.5	74.6	76.1	75.2	64.7	80.7	67.2	67.5	60.7	46.9	53.4	45.2
手術/内視鏡＋その他	—	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	—
他の組み合わせ	—	0.0	0.0	—	—	0.0	—	—	0.0	0.0	—	—	—	—	—
治療なし	0.9	1.2	—	0.4	3.1	3.5	—	6.0	3.2	5.0	7.6	5.9	14.4	13.1	14.7
（内訳）外科的治療	90.4	—	—	—	88.4	—	—	67.4	—	—	—	—	—	—	—
鏡視下治療	8.5	—	—	—	2.9	—	—	4.1	—	—	—	—	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-17-5(2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療）

総合ステージ	I期	IA	IB	IC	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明
全体	6,005 100.0	3,163 100.0	139 100.0	2,693 100.0	816 100.0	314 100.0	488 100.0	3,208 100.0	316 100.0	241 100.0	738 100.0	1,913 100.0	2,146 100.0	457 100.0	1,636 100.0
手術のみ	60.9	79.0	66.9	39.4	15.3	15.3	15.8	6.3	8.2	15.4	7.0	4.6	3.8	—	4.3
内視鏡のみ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
放射線のみ	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—
薬物療法のみ	—	—	0.0	—	4.4	4.5	3.3	16.6	5.4	8.7	12.7	21.0	26.2	25.6	26.3
放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—
薬物＋その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	—	—	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—
手術/内視鏡＋薬物	38.1	19.9	30.9	60.0	76.1	77.1	77.0	70.8	82.3	70.5	72.4	68.4	54.2	59.1	53.1
手術/内視鏡＋その他	—	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	—	0.0	—	—	0.0	—	—	—	0.0	0.0	—	—	0.0	—
他の組み合わせ	—	0.0	0.0	—	—	0.0	—	—	0.0	0.0	—	—	—	—	—
治療なし	0.7	0.8	—	0.4	2.9	3.2	—	5.8	3.2	5.0	7.5	5.7	14.4	13.1	14.6
（内訳）外科的治療	90.6	—	—	—	89.5	—	—	73.6	—	—	—	—	—	—	—
鏡視下治療	8.6	—	—	—	2.9	—	—	3.8	—	—	—	—	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

表4-17-5(3) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合（診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療と他施設実施を含む）

総合ステージ	I期	IA	IB	IC	II期	IIA	IIB	III期	IIIA	IIIB	IIIC	IV期	IVA	IVB	不明
全体	6,005 100.0	3,163 100.0	139 100.0	2,693 100.0	816 100.0	314 100.0	488 100.0	3,208 100.0	316 100.0	241 100.0	738 100.0	1,913 100.0	2,146 100.0	457 100.0	1,636 100.0
手術のみ	60.6	78.9	66.9	38.8	15.0	15.0	15.4	6.1	7.9	15.4	6.6	4.4	3.6	—	4.1
内視鏡のみ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—
手術＋内視鏡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
放射線のみ	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	—	—	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—
薬物療法のみ	—	—	0.0	—	4.4	4.5	3.3	16.4	5.4	8.7	12.5	20.7	26.0	25.6	26.0
放射線＋薬物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—
薬物＋その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0
手術/内視鏡＋放射線	—	—	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—
手術/内視鏡＋薬物	38.4	20.0	30.9	60.5	76.5	77.4	77.5	71.3	82.6	70.5	72.9	68.9	54.6	58.9	53.7
手術/内視鏡＋その他	—	—	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手術/内視鏡＋放射線＋薬物	—	—	0.0	—	—	0.0	—	—	—	0.0	—	—	—	—	—
他の組み合わせ	—	0.0	0.0	—	—	0.0	—	—	0.0	0.0	—	—	—	—	—
治療なし	0.7	0.8	—	0.4	2.9	3.2	—	5.8	3.2	5.0	7.5	5.7	14.3	13.1	14.5
（内訳）外科的治療	90.6	—	—	—	89.5	—	—	73.9	—	—	—	—	—	—	—
鏡視下治療	8.5	—	—	—	2.9	—	—	3.8	—	—	—	—	—	—	—

亜分類不明等があるため、亜分類の合計が必ずしも当該病期の総数と一致しない

※UICC TNM分類治療前及び術後病理学的病期別にみた治療方法の割合は、院内がん登録全国集計結果閲覧システム参照。（URL: <https://jhcr-cs.ganjocho.jp/hbortables/>）

院内がん登録全国集計
IV. 腫瘍結果詳細

図4-17-1 (1) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以内に自施設で実施した治療）
(2020年-2022年)

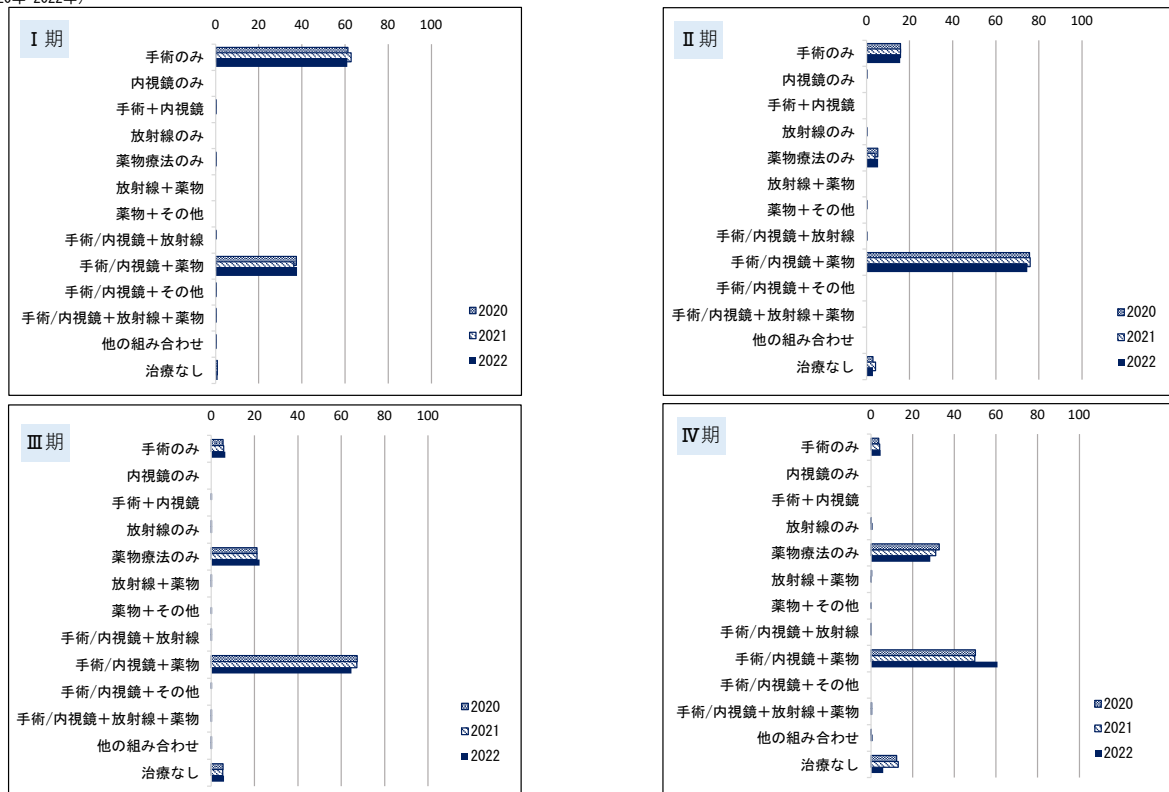
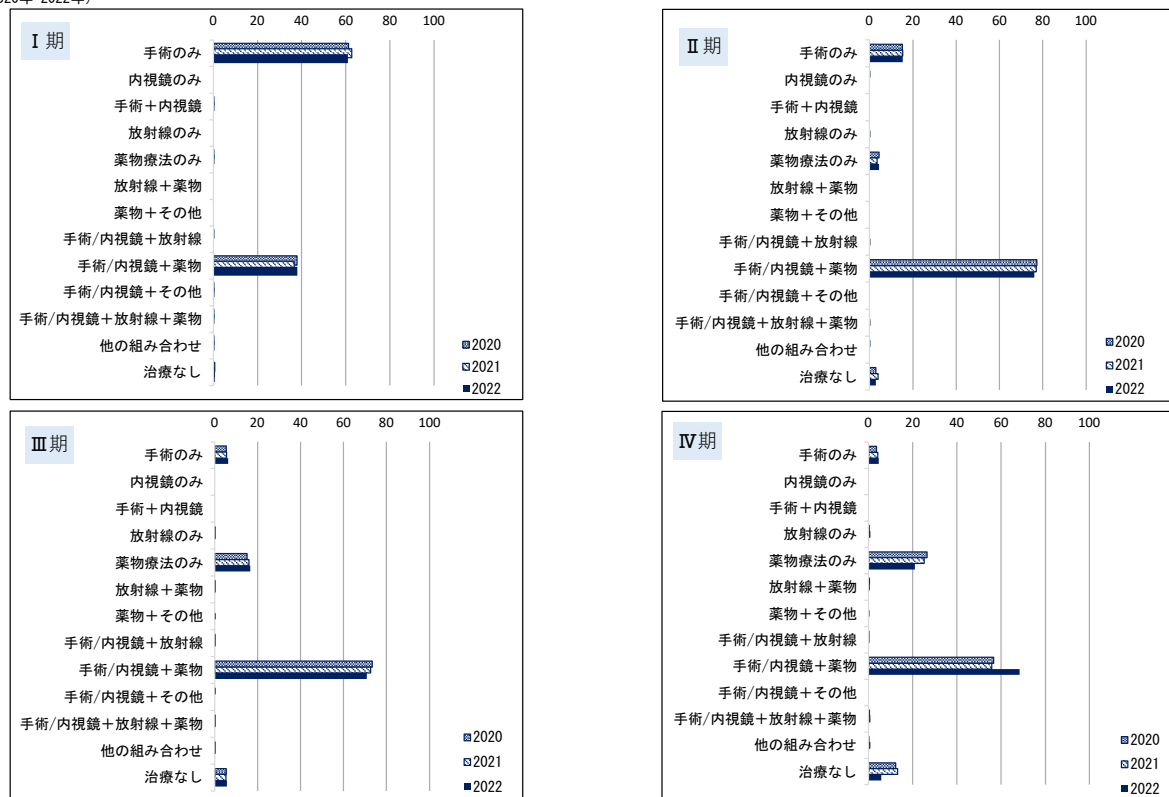


表4-17-1 (2) UICC TNM分類総合ステージ別にみた治療方法の割合の経年傾向（診断日から5ヶ月以降に自施設で実施した治療を含む）
(2020年-2022年)



18. 病名の告知

がん診療連携拠点病院等院内がん登録標準登録様式 2016 年版より、新たに追加された項目の一つ。これは、初回治療方針が決定された際に、病名の告知が行なわれていたかを判断するための項目であり、当該腫瘍病名（いわゆる悪性腫瘍「がん」であること）が、患者本人に初回治療開始前に告知されたか否かで判断される。よって、ここでは自施設において初回治療が開始された例（症例区分 20: 自施設診断・自施設初回治療開始例、30: 他施設診断・自施設初回治療開始例）を集計対象とした。

表 4-18-1 初回治療開始時に病名告知有の登録数の割合の分布：施設、都道府県別

	平均	標準偏差	中央値	最小値	p25	p75	最大値
施設別							
2020(全体)	93.6	9.2	96.2	0.6	92.5	98.1	100.0
成人拠点	95.9	4.5	97.3	65.1	94.7	98.7	100.0
県推薦	92.4	8.4	94.9	21.2	90.6	97.3	100.0
任意	90.7	8.0	92.8	56.5	86.8	96.2	100.0
2021(全体)	94.2	9.0	96.8	13.5	93.4	98.5	100.0
成人拠点	96.4	4.0	97.6	66.4	95.5	98.8	100.0
県推薦	93.1	8.4	95.5	14.3	91.1	97.9	100.0
任意	91.1	7.9	93.3	69.1	87.9	96.8	99.9
2022(全体)	94.5	9.3	97.1	6.9	94.1	98.6	100.0
成人拠点	96.8	3.7	97.9	69.2	95.9	99.1	100.0
小児拠点	25.5	19.6	21.1	6.9	11.4	31.3	61.1
拠点外	92.9	9.2	95.8	29.0	91.9	97.9	100.0
都道府県別							
2018	95.4	1.8	96.0	89.8	94.4	96.7	98.1
2019	95.7	1.5	96.1	90.6	94.9	96.9	97.9
2020	95.9	1.5	96.2	90.8	95.1	97.2	97.9
2021	96.4	1.3	96.7	92.0	95.7	97.4	98.6
2022	96.7	1.3	97.1	93.2	95.9	97.6	98.9

表 4-18-2 初回治療開始時に病名有の登録数の割合の分布（20 歳以上）：施設、都道府県別

	平均	標準偏差	中央値	最小値	p25	p75	最大値
施設別							
2020(全体)	94.2	7.0	96.3	0.0	92.8	98.3	100.0
成人拠点	96.0	4.6	97.4	65.1	94.9	98.8	100.0
県推薦	92.5	8.6	94.9	0.0	90.7	97.3	100.0
任意	90.7	8.0	92.8	56.5	86.8	96.2	100.0
2021(全体)	94.6	7.5	96.9	0.0	93.6	98.5	100.0
成人拠点	96.5	4.1	97.8	66.4	95.6	98.9	100.0
県推薦	93.2	8.5	95.7	0.0	91.1	97.9	100.0
任意	91.1	7.9	93.3	69.1	87.9	96.8	99.9
2022(全体)	95.1	7.3	97.1	0.0	94.2	98.7	100.0
成人拠点	96.8	3.7	98.0	69.2	96.0	99.1	100.0
小児拠点	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
拠点外	93.0	9.6	95.8	0.0	92.0	98.0	100.0
都道府県別							
2018	95.5	1.8	96.0	90.0	94.7	96.8	98.2
2019	95.8	1.5	96.2	90.8	95.0	97.1	98.1
2020	96.0	1.6	96.3	90.8	95.2	97.3	98.2
2021	96.5	1.3	96.7	92.2	95.7	97.5	98.7
2022	96.8	1.3	97.1	93.2	96.0	97.8	99.0

19. 症状緩和的治療

2016 年診断例よりがん診療連携拠点病院等院内がん登録標準登録様式 2016 年版への登録様式が変更となり、新たに症状緩和的治療の有無(自施設)の項目が追加された。これは、当該腫瘍の初回治療のタイミングで、症状の緩和を目的とした治療の実施の有無について登録されるものであり、従来の「特異的」症状緩和治療の範囲に限定されるものではなく、診療行為として、緩和ケア加算が算定されている場合や投薬・処置の実地等の医行為が対象であり、精神的サポート等の無形に近い症状緩和的なアプローチは含まないものと標準登録様式で定義されている。依然、院内がん登録実務担当者の間において、どのような治療を登録するか解釈にばらつきがある可能性がある。あくまでも、参考値としてご覧いただきたい。

ここでは自施設において初回治療を開始された例(症例区分 20: 自施設診断・自施設初回治療開始例、症例区分 30: 他施設診断・自施設初回治療開始例)を集計対象とした。

表 4-19-1 自施設初回治療開始例における症状緩和的治療有の登録数の割合の分布：施設、都道府県別

	平均	標準偏差	中央値	最小値	p25	p75	最大値
施設別							
2020(全体)	10.8	8.8	9.1	0.0	5.3	13.9	94.9
成人拠点	9.9	7.2	8.6	0.0	5.2	12.7	72.2
県推薦	12.1	10.4	9.9	0.0	5.7	14.7	94.9
任意	10.4	8.4	8.9	0.0	3.5	14.7	33.6
2021(全体)	10.7	8.2	9.1	0.0	5.5	13.8	67.3
成人拠点	9.8	6.7	8.5	0.0	5.1	12.4	53.8
県推薦	11.6	8.3	9.8	0.0	5.8	15.4	51.7
任意	12.2	12.1	8.2	0.0	4.6	15.6	64.4
2022(全体)	10.7	9.4	8.7	0.0	5.1	13.5	95.4
成人拠点	9.8	7.2	8.4	0.0	5.1	12.6	64.7
小児拠点	8.7	9.2	8.4	0.0	0.0	17.2	18.4
拠点外	11.8	11.4	9.1	0.0	5.1	15.2	95.4
都道府県別							
2018	10.1	3.5	9.5	4.6	8.1	10.9	21.0
2019	9.5	3.4	8.9	4.8	7.6	10.3	23.0
2020	9.7	2.7	9.4	4.7	8.0	10.9	18.8
2021	9.5	2.5	9.2	4.4	8.1	10.8	17.0
2022	9.4	2.6	9.3	4.4	7.8	10.5	16.2

院内がん登録全国集計

IV. 腫瘍結果詳細

表 4-19-2 自施設初回治療開始例における症状緩和的治療有の登録数の割合の分布（20 歳以上）：施設、都道府県別

	平均	標準偏差	中央値	最小値	p25	p75	最大値
施設別							
2020(全体)	10.7	8.6	9.1	0.0	5.3	13.7	94.9
成人拠点	9.9	7.2	8.6	0.0	5.2	12.7	72.2
県推薦	11.8	10.2	9.8	0.0	5.7	14.7	94.9
任意	10.4	8.4	8.9	0.0	3.5	14.7	33.6
2021(全体)	10.6	7.9	9.1	0.0	5.4	13.7	64.4
成人拠点	9.8	6.7	8.5	0.0	5.1	12.4	53.8
県推薦	11.4	8.2	9.8	0.0	5.6	15.2	51.7
任意	12.2	12.1	8.2	0.0	4.6	15.6	64.4
2022(全体)	10.6	9.3	8.7	0.0	5.0	13.4	95.4
成人拠点	9.8	7.2	8.4	0.0	5.1	12.5	64.7
小児拠点	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
拠点外	11.5	11.1	8.9	0.0	5.0	14.9	95.4
都道府県別							
2018	10.1	3.5	9.5	4.6	8.0	10.9	21.0
2019	9.5	3.4	8.9	4.8	7.6	10.3	23.1
2020	9.7	2.7	9.4	4.7	8.0	10.9	18.8
2021	9.5	2.5	9.2	4.3	8.1	10.8	17.0
2022	9.4	2.6	9.4	4.4	7.7	10.4	16.2

V. 2022 年全国集計：特別集計 2018～2022 年における診断月等要因別の登録数の比較

2020 年 1 月に世界保健機関が、「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態 (Public Health Emergency of International Concern:PHEIC)」と宣言して以降、2022 年もオミクロン株のような感染力の強い変異株の登場などにより本邦における感染者数はこれまで以上に増加した。一方、ウイルスの性質がわかったことで適切な感染対策がなされ、ワクチンや抗ウイルス薬などを含めた医療提供体制が整備され、社会活動の継続と感染対策との両立が模索された。全国がん登録の集計には時間を要するため、より早期に結果を算出できる院内がん登録データを用いて 2020 年、2021 年と新型コロナウイルス感染症流行下における本邦のがん患者の動向を確認する目的で分析を行ってきた。そのなかで、新規がん登録件数は 2020 年で減少したが 2021 年には 2018-19 年平均程度まで回復したものの、検診発見例は 2018-19 年平均登録数まで回復していないこと、少なくとも 2020 年に診断されなかった分の患者数の増加がまだ確認できていないことが示唆された。そのため、継続的に新規がん登録数の推移を確認する必要があると考え、2022 年も同様の分析を行った。本集計では院内がん登録全国集計参加の全種別の病院 (がん診療連携拠点病院等、小児がん拠点病院、拠点外病院) における全がんや各がん種の登録数、治療件数の推移などを報告する。

本集計では、2018 年診断例から 2022 年診断例において継続的に院内がん登録全国集計に参加した 749 施設 (このうちがん診療連携拠点病院等は 451 施設) 合計 5,112,915 例を対象に集計を行った。

1. 症例区分別登録数の推移

2018～2022 年診断例について、全がんでの症例区分別登録数の推移を図 5-1、2022 年診断例の症例区分別登録数と 2018-19 年平均登録数との比較を表 5-1 に示した。全登録数でみると、2018-19 年平均登録数と比較して 2020 年診断例は 96.0%と 40,800 件減少したが、2021 年診断例は 101.0%と 10,111 件増加、2022 年診断例は 102.3%と 23,669 例増加しており、登録数の回復傾向は 2022 年も継続した。

図 5-1 症例区分別登録数の診断年別推移

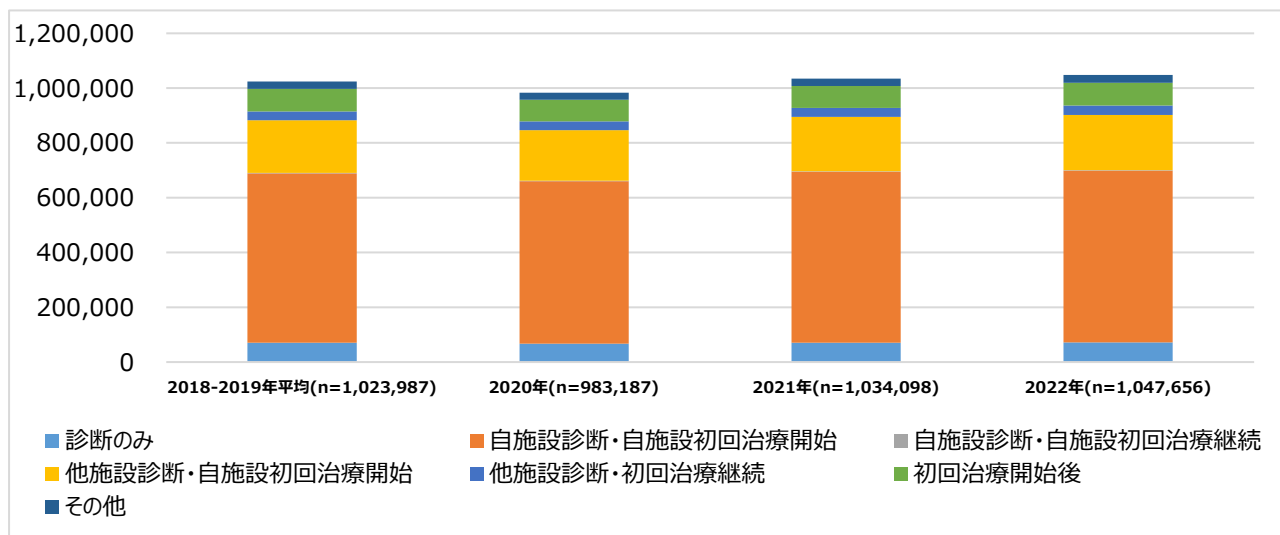


表 5-1 2018-19 年平均登録数と 2022 年との症例区分毎年間登録数の比較

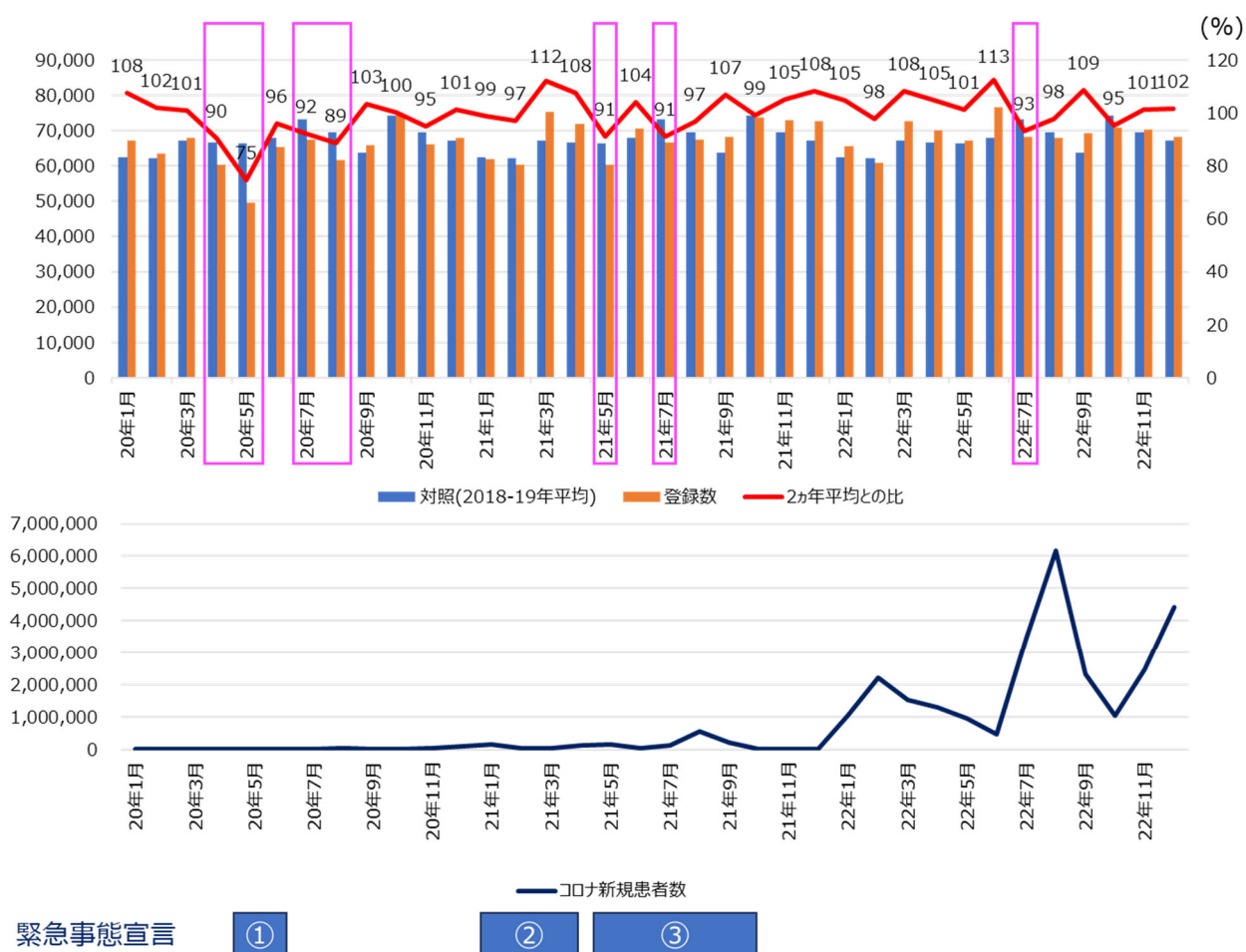
	診断のみ	自施設診断・ 自施設初回治療開始	自施設診断・ 自施設初回治療 継続	他施設診断・ 自施設初回治療開始	他施設診断・ 初回治療継続	初回治療開始 後
2018-19 年 平均との 比較割合	102.4% (+1,693 件)	101.3% (+7,978 件)	100.5% (+10 件)	105.0% (+9,658 件)	107.8% (+2,478 件)	100.9% (+729 件)

2. 診断月別登録数の推移

2-1. 全がん

全がんの自施設初回治療開始例における診断月別登録数の推移を2018-19年平均登録数と2020年1月～2022年12月とを比較する形で図5-2-1に示した。また、2020年1月～2022年12月の新型コロナウイルス感染症の月別新規患者数の推移もあわせて図5-2-1に示した。2020年全がんの自施設初回治療開始例の年間登録数は777,340件で2018-19年平均登録数と比較して95.9%(33,111件減)であったのに対して、2021年の年間登録数は822,260件で2018-19年平均登録数と比較して101.5%(11,808件増)、2022年の年間登録数は828,085件で2018-19年平均登録数と比較して102.2%(17,633件増)であった。診断月毎の登録数を見ると、2020年4-5月、2020年7-8月、2021年5月、7月、2022年7月に登録数が特に減少していた。初回の緊急事態宣言に加えて、新型コロナウイルス感染症の新規患者数が急激に増加する頃に、新規がん登録数が減少しやすい可能性が予測されるが、2022年1月頃など必ずしもそうではない場合もあり、感染症がある状況への慣れなど様々な原因が複合して影響していると考えられる。

図5-2-1 初回治療開始例の診断月別登録数の推移

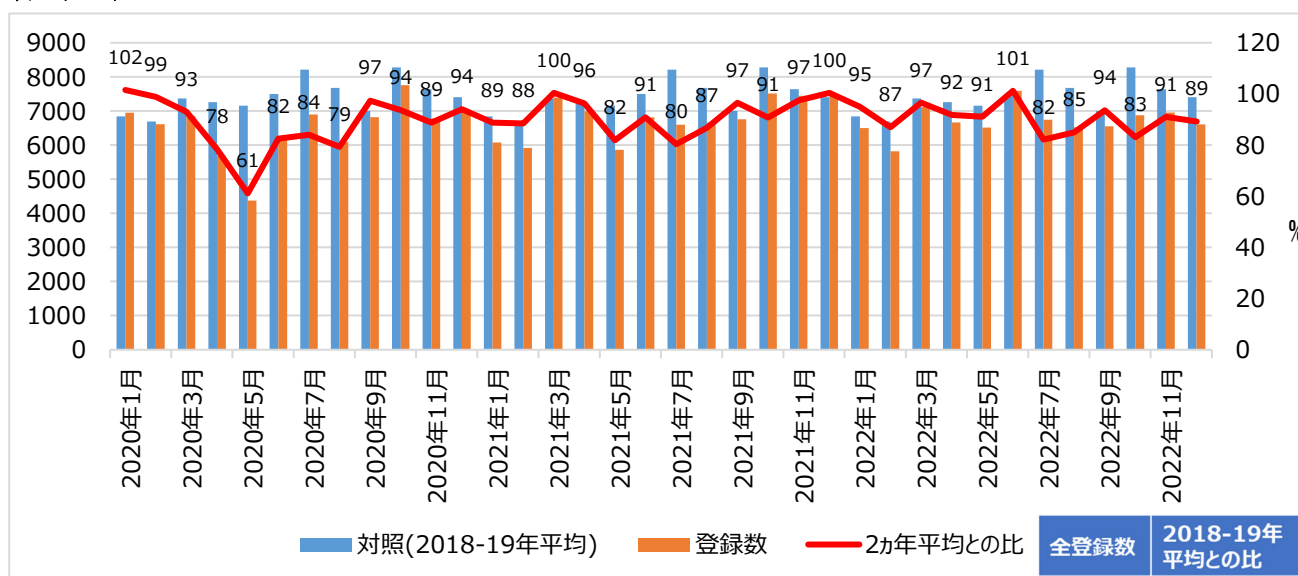


2-2. 部位別

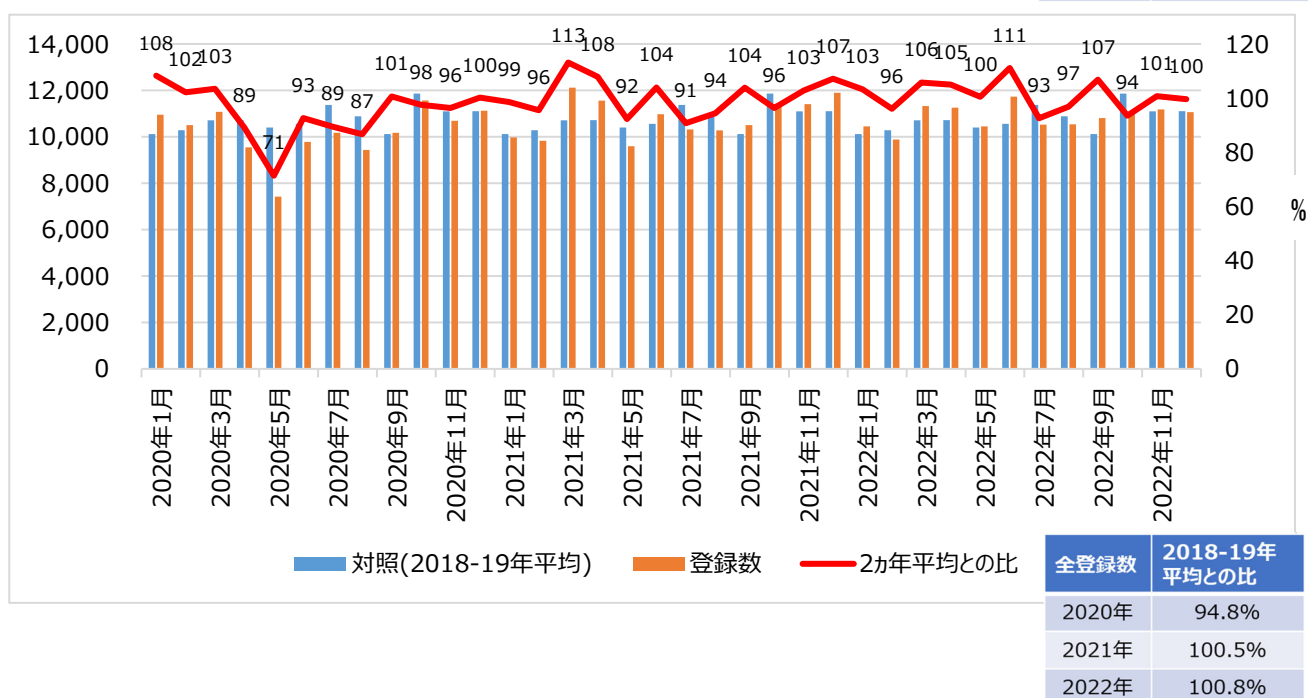
登録数の多い6部位（胃、大腸、肺、乳房、前立腺、膵臓）および、それ以外で対策型がん検診の推奨部位である子宮頸部における、自施設初回治療開始例の診断月別登録数の推移を2018-19年平均登録数と2020年1月～2022年12月とを比較する形で図5-2-2に示した。2020年は膵臓以外の全ての部位で2018-19年平均登録数よりも登録数が減少したが、2021年の登録数は回復傾向で大腸、肺では2018-19年平均登録数と同程度となり、2022年も登録数にほぼ変化はなかった。乳房、前立腺は2021年・2022年と2018-19年平均よりも登録数が増加している。一方で、胃、子宮頸部では2022年には2021年よりも登録数が減少した。また、表5-2に各年における診断月別登録数を示した。

図5-2-2 各部位における初回治療開始例の診断月別登録数の推移

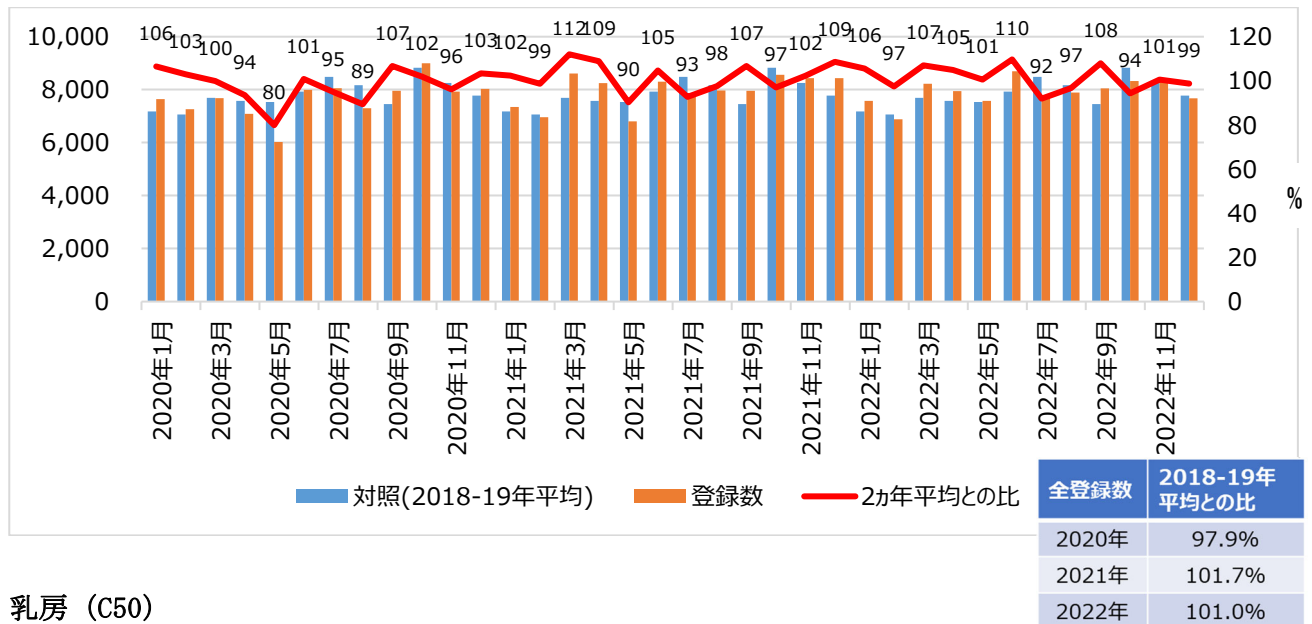
胃 (C16)



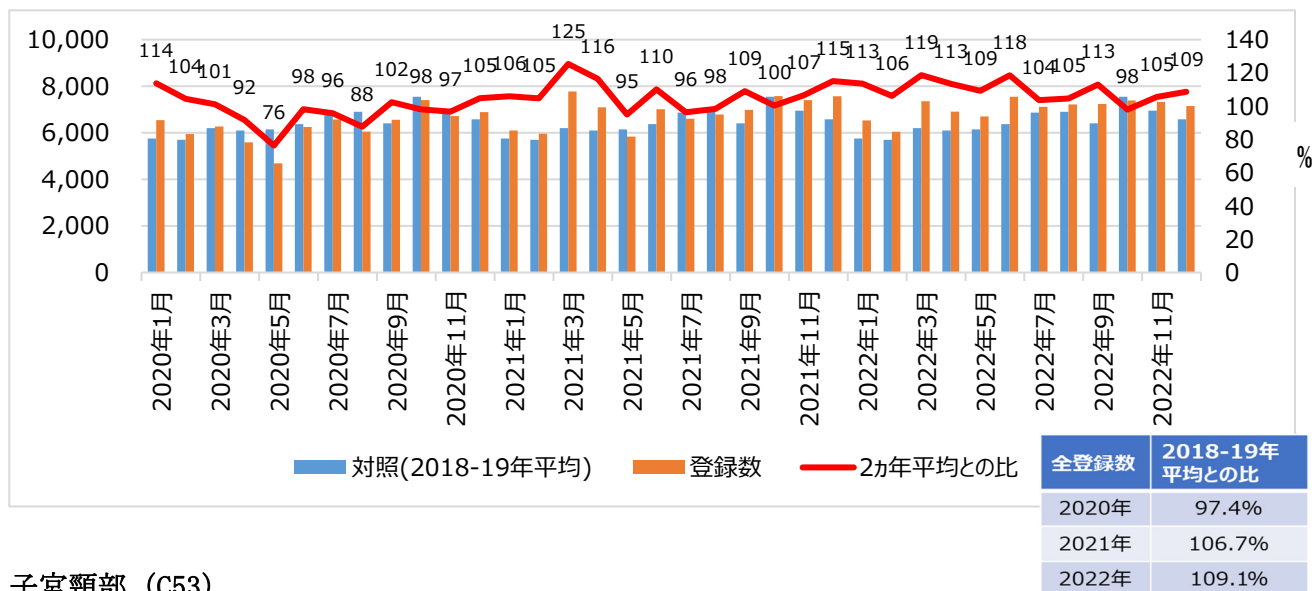
大腸 (C18-20)



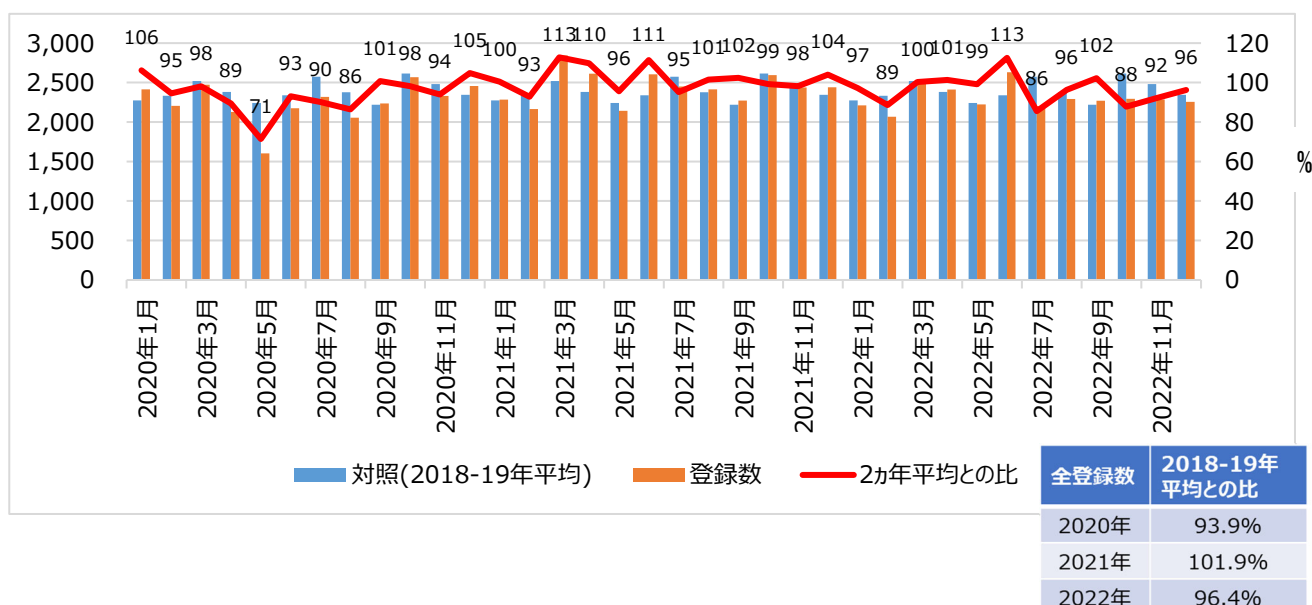
肺 (C33, 34)



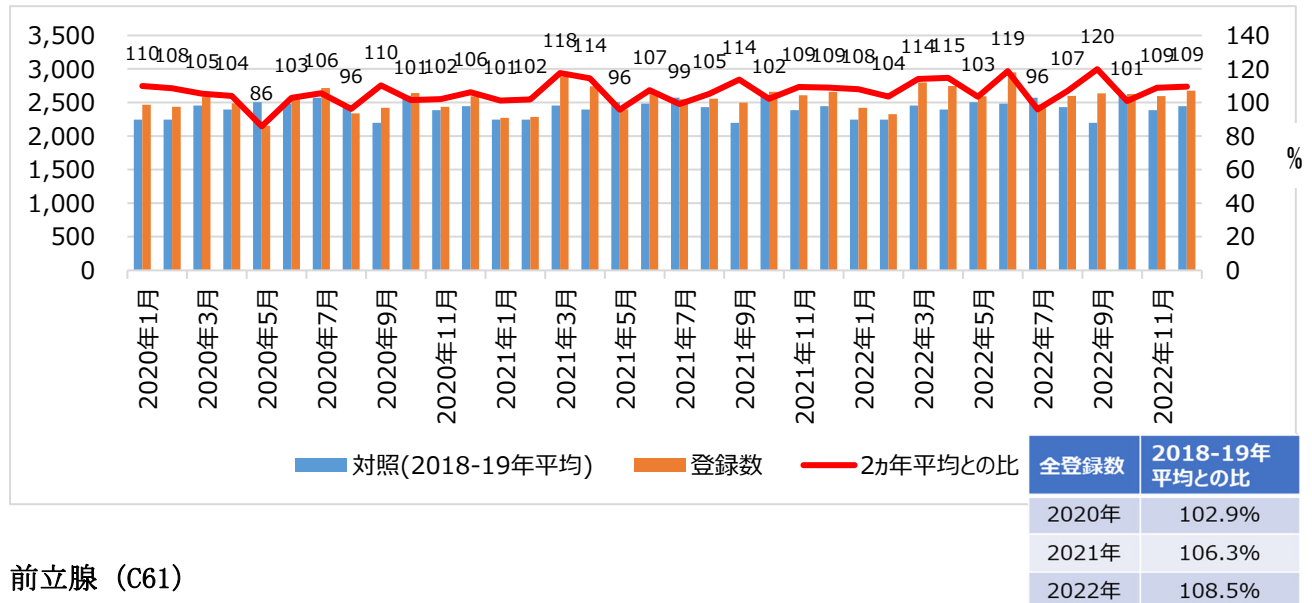
乳房 (C50)



子宮頸部 (C53)



膵臓 (C25)



前立腺 (C61)

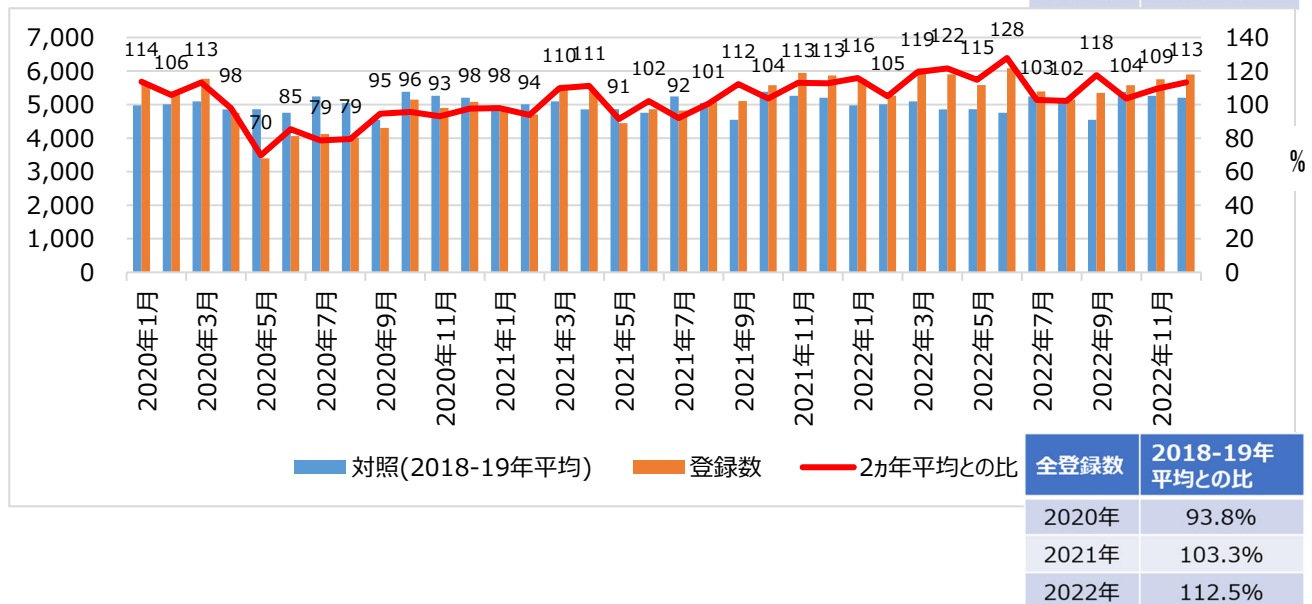


表 5-2 全がん、各部位における初回治療開始例の診断月別登録数

がん種	全がん					C16 (胃)				
	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1月	60,918	64,031	67,295	61,865	65,525	6,787	6,897	6,947	6,073	6,498
2月	60,175	64,358	63,462	60,448	60,807	6,577	6,802	6,612	5,916	5,815
3月	66,362	68,026	67,856	75,415	72,716	7,437	7,290	6,849	7,391	7,112
4月	64,132	69,247	60,283	71,796	70,006	7,185	7,334	5,691	6,990	6,660
5月	66,791	65,861	49,554	60,446	67,211	7,402	6,905	4,371	5,857	6,513
6月	67,735	68,183	65,331	70,666	76,546	7,521	7,473	6,184	6,811	7,590
7月	70,226	76,065	67,482	66,716	68,215	8,009	8,412	6,895	6,594	6,742
8月	70,035	69,206	61,636	67,380	68,073	7,801	7,550	6,085	6,659	6,520
9月	60,339	67,308	65,898	68,154	69,257	6,690	7,311	6,815	6,757	6,551
10月	74,659	74,077	74,653	73,677	70,988	8,569	7,986	7,753	7,512	6,875
11月	70,083	68,890	66,013	72,958	70,461	7,871	7,406	6,782	7,446	6,953
12月	64,000	70,196	67,877	72,739	68,280	7,156	7,655	6,961	7,435	6,607
総数	795,455	825,448	777,340	822,260	828,085	89,005	89,021	77,945	81,441	80,436

がん種	C18, 19, 20 (結腸、S状結腸直腸移行部、直腸)					C25 (膵臓)				
	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1月	9,849	10,381	10,950	9,968	10,447	2,174	2,315	2,466	2,271	2,422
2月	9,748	10,821	10,502	9,823	9,878	2,187	2,305	2,436	2,286	2,326
3月	10,492	10,924	11,076	12,118	11,323	2,423	2,485	2,582	2,884	2,799
4月	10,265	11,171	9,544	11,559	11,251	2,211	2,577	2,488	2,740	2,745
5月	10,560	10,232	7,420	9,593	10,444	2,537	2,473	2,151	2,398	2,592
6月	10,537	10,580	9,781	10,969	11,730	2,341	2,625	2,551	2,665	2,948
7月	10,968	11,770	10,169	10,314	10,523	2,418	2,727	2,714	2,547	2,468
8月	11,076	10,686	9,431	10,273	10,537	2,383	2,481	2,339	2,557	2,599
9月	9,581	10,648	10,174	10,504	10,802	2,082	2,314	2,422	2,497	2,635
10月	11,952	11,763	11,562	11,426	11,089	2,585	2,621	2,640	2,661	2,626
11月	11,231	10,960	10,690	11,407	11,178	2,428	2,344	2,435	2,608	2,595
12月	10,674	11,531	11,120	11,897	11,058	2,377	2,512	2,593	2,661	2,676
総数	126,933	131,467	122,419	129,851	130,260	28,146	29,779	29,817	30,775	31,431

がん種	C33-34 (気管+肺)					C50 (乳房)				
	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1月	6,837	7,514	7,641	7,344	7,573	5,470	6,035	6,544	6,093	6,528
2月	6,744	7,371	7,261	6,959	6,876	5,242	6,144	5,941	5,957	6,039
3月	7,483	7,887	7,677	8,609	8,219	6,007	6,389	6,268	7,770	7,355
4月	7,207	7,938	7,081	8,244	7,940	5,798	6,385	5,583	7,092	6,908
5月	7,459	7,605	6,017	6,798	7,570	5,968	6,313	4,685	5,833	6,702
6月	7,917	7,935	7,988	8,295	8,689	6,491	6,243	6,249	7,006	7,544
7月	7,998	8,955	8,049	7,858	7,786	6,682	7,044	6,571	6,606	7,112
8月	8,211	8,116	7,292	7,965	7,889	6,814	6,987	6,048	6,783	7,218
9月	7,129	7,776	7,951	7,953	8,042	5,859	6,953	6,554	6,982	7,236
10月	8,832	8,818	8,990	8,560	8,322	7,515	7,574	7,398	7,573	7,388
11月	8,287	8,210	7,926	8,432	8,291	6,981	6,910	6,713	7,399	7,327
12月	7,504	8,035	8,027	8,433	7,671	6,257	6,893	6,887	7,563	7,144
総数	91,608	96,160	91,900	95,450	94,868	75,084	79,870	75,441	82,657	84,501

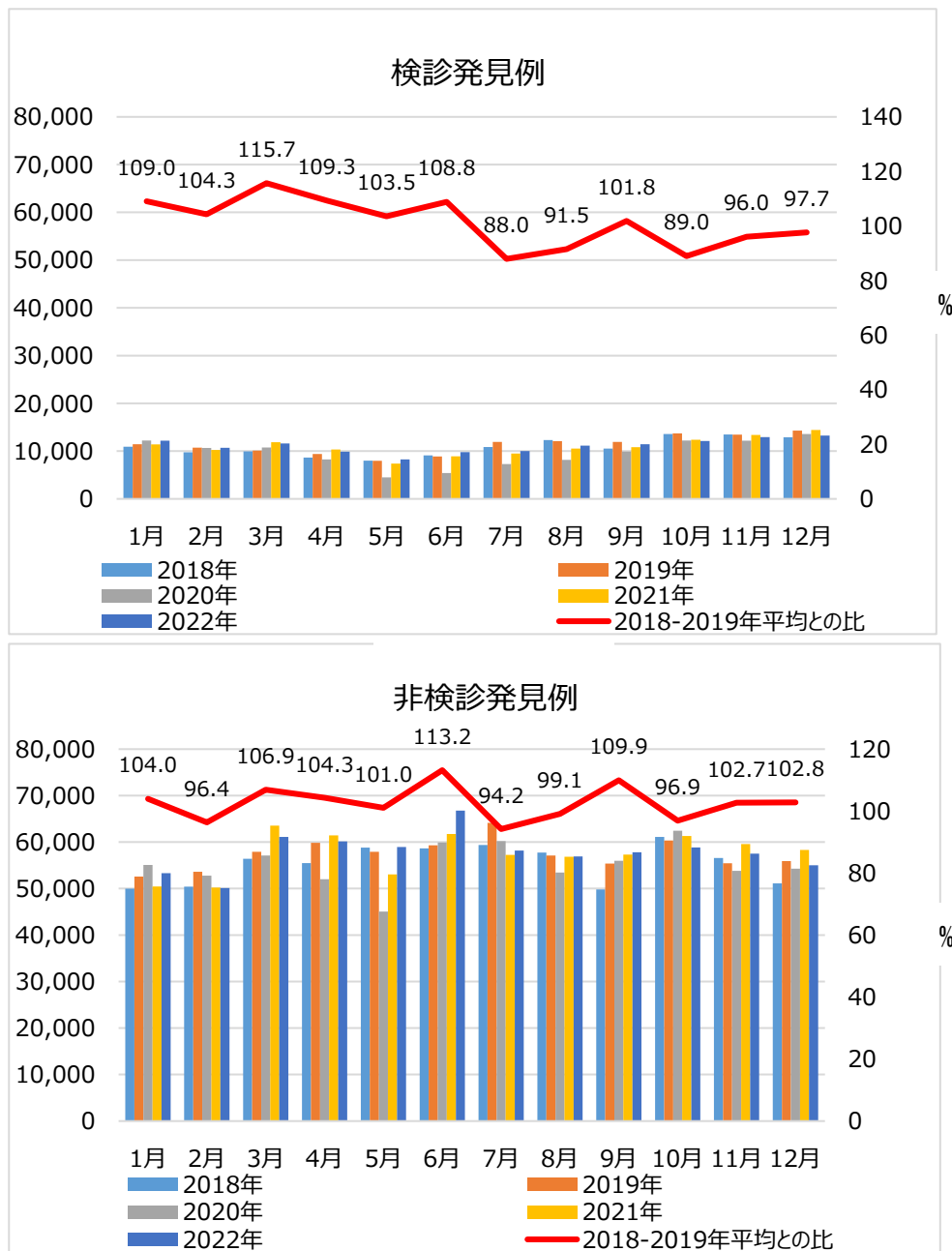
がん種	C53 (子宮頸)					C61 (前立腺)				
	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1月	2,178	2,370	2,414	2,284	2,210	5,128	4,823	5,653	4,869	5,765
2月	2,323	2,341	2,204	2,164	2,067	5,144	4,878	5,296	4,702	5,262
3月	2,496	2,543	2,472	2,843	2,527	5,322	4,868	5,766	5,590	6,084
4月	2,296	2,466	2,128	2,613	2,412	4,822	4,887	4,752	5,398	5,902
5月	2,261	2,223	1,602	2,142	2,223	4,918	4,810	3,395	4,446	5,584
6月	2,381	2,295	2,175	2,605	2,631	4,667	4,850	4,059	4,860	6,082
7月	2,510	2,637	2,319	2,450	2,201	4,967	5,520	4,124	4,825	5,391
8月	2,409	2,347	2,054	2,413	2,291	4,979	5,109	4,008	5,071	5,154
9月	2,176	2,262	2,236	2,272	2,269	4,210	4,887	4,303	5,104	5,346
10月	2,703	2,525	2,567	2,594	2,294	5,174	5,592	5,146	5,579	5,579
11月	2,540	2,423	2,331	2,437	2,285	5,015	5,510	4,898	5,946	5,755
12月	2,241	2,448	2,457	2,439	2,256	4,686	5,725	5,083	5,866	5,896
総数	28,514	28,880	26,959	29,256	27,666	59,032	61,459	56,483	62,256	67,800

3. 発見経緯別登録数の推移

3-1. 全がん

全がんの自施設初回治療開始例を対象として、発見経緯別（がん検診・健康診断・人間ドックの検診発見例と自覚症状など非検診発見例）に月別登録数の推移を2018～2022年診断例について示した（図5-3-1）。検診発見例について2018-19年平均登録数と比較して、2020年は115,183件で86.6%、2021年は131,216件で98.7%、2022年は133,335件で100.3%であった。一方で非検診発見例は2018-19年平均登録数と比較して、2020年は662,157件で97.7%、2021年は691,044件で102.0%、2022年は694,750件で102.5%であった。

図5-3-1 全がんにおける発見経緯別の月別登録数の推移



3-2. 対策型がん検診推奨部位

対策型がん検診の推奨部位である、胃、大腸、肺、乳房、子宮頸部に限定した場合の発見経緯別登録数の月別推移を 2018-19 年平均登録数と比較する形で 2020～22 年診断例の自施設初回治療開始例について示した（図 5-3-2、図 5-3-3）。市区町村におけるがん検診延期が求められた期間は 2020 年 4-5 月であったが、2020 年は 80,866 件で 85.9%、2021 年は 91,611 件で 97.3%、2022 年は 91,242 件で 96.9%と、2022 年時点でも検診発見例は 2018-19 年平均登録数まで回復していない。検診受診率や精密検査受診率とあわせた評価が必要であるが、検診等の受診控えや受診しないことの習慣化、新型コロナウイルス感染症の患者対応により健診センターを一時閉鎖する等受け入れ側の体制変化が 2022 年も続いていた可能性が要因として考えられる。胃、大腸では検診発見例の数は 2018-19 年平均登録数よりも少なく、2022 年も 2021 年と同程度で推移し、検診発見例が占める割合は 2018-19 年平均登録数よりもやや減少したままであった。乳房では検診発見例の数が 2018-19 年平均登録数よりも 2021 年には増加し、2022 年も同様に増加した。非検診発見例も同様に増加しており、検診発見例が占める割合は 2018-19 年平均登録数と同程度であった。肺、子宮頸部では検診発見例の数が 2020 年に 2018-19 年平均登録数よりも 11.5-12.5%減少し、2021 年には 2018-19 年平均登録数に対してそれぞれ 98.7%、98.3%と回復傾向であったものの、2022 年には 2018-19 年平均登録数に対してそれぞれ 96.9%、91.2%と再度減少した。検診発見例が占める割合も同様に 2018-19 年平均登録数より減少した。また、表 5-3 に発見経緯別の月別登録数を部位ごとに示した。

図 5-3-2 対策型がん検診推奨部位全体における発見経緯別の月別登録数の推移

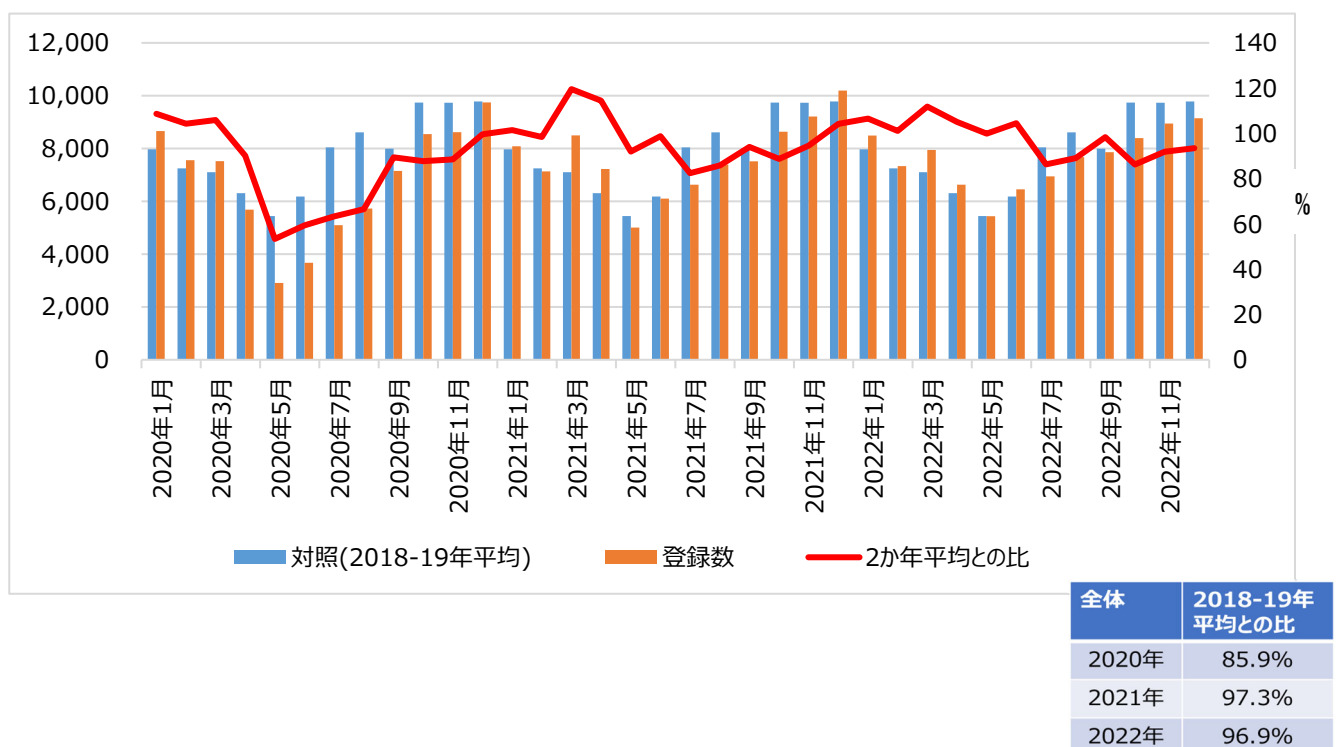
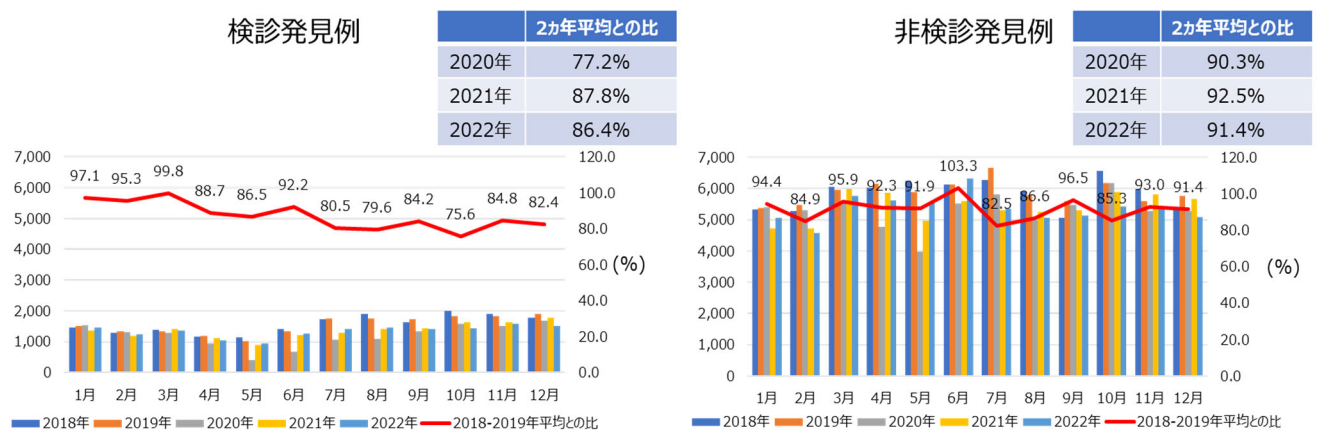
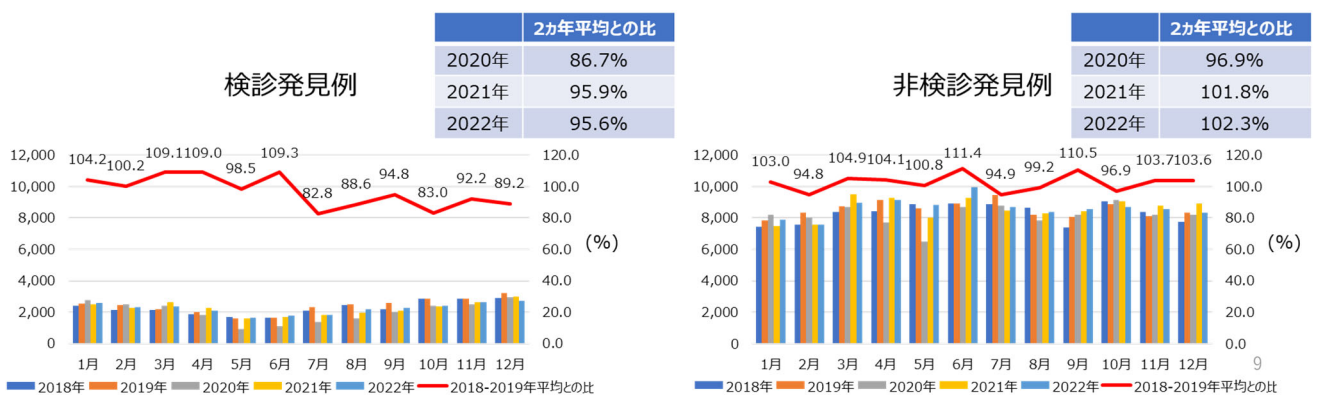


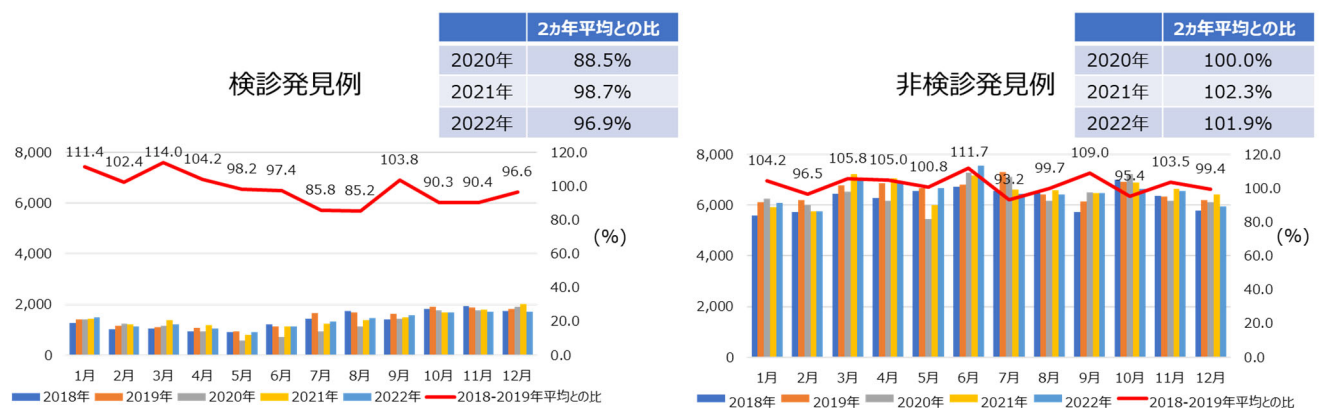
図 5-3-3 対策型がん検診推奨の各部位における発見経緯別の月別登録数の推移
胃 (C16)



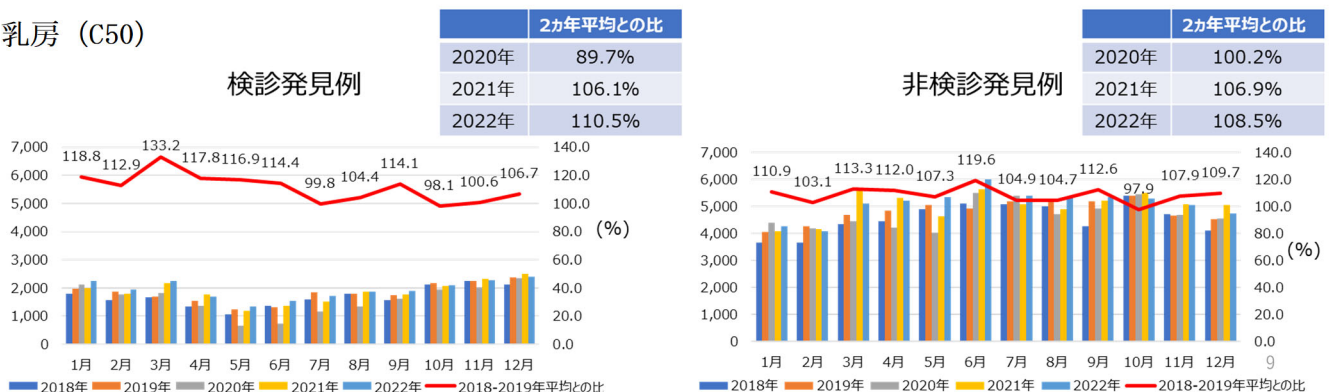
大腸 (C18-20)



肺 (C33, 34)



乳房 (C50)



子宮頸部 (C53)

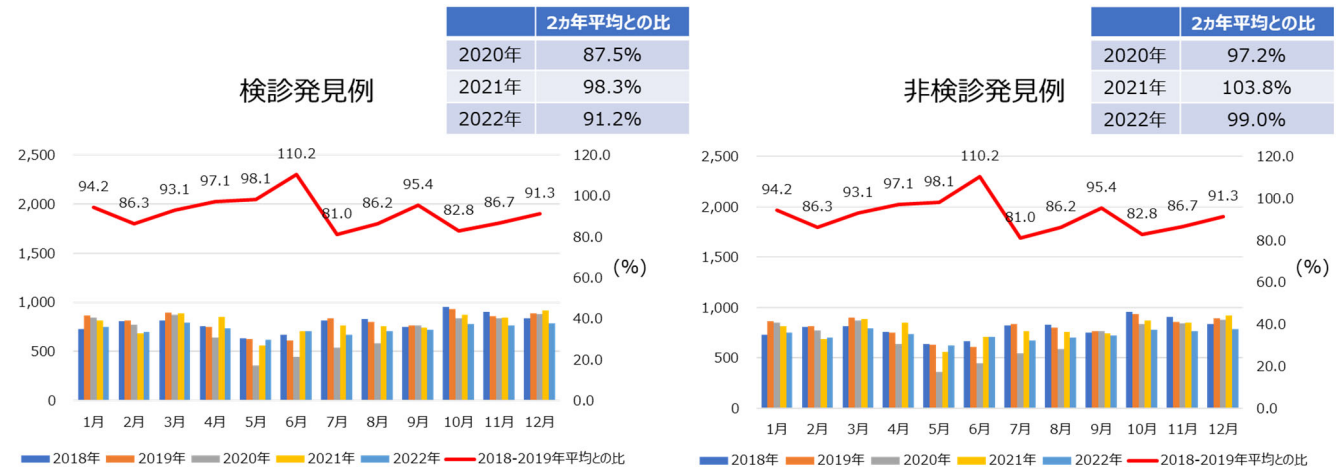


表 5-3 全がん、対策型がん検診推奨部位における発見経緯別の診断月別登録数

＜がん検診発見例＞						＜非がん検診発見例＞					
全がん						全がん					
	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1月	10,922	11,448	12,204	11,411	12,197	1月	49,996	52,583	55,091	50,454	53,328
2月	9,754	10,735	10,672	10,238	10,681	2月	50,421	53,623	52,790	50,210	50,126
3月	9,947	10,106	10,745	11,877	11,602	3月	56,415	57,920	57,111	63,538	61,114
4月	8,651	9,409	8,260	10,354	9,873	4月	55,481	59,838	52,023	61,442	60,133
5月	7,988	7,963	4,504	7,404	8,256	5月	58,803	57,898	45,050	53,042	58,955
6月	9,097	8,864	5,423	8,924	9,775	6月	58,638	59,319	59,908	61,742	66,771
7月	10,856	11,929	7,277	9,482	10,021	7月	59,370	64,136	60,205	57,234	58,194
8月	12,304	12,091	8,177	10,531	11,159	8月	57,731	57,115	53,459	56,849	56,914
9月	10,517	11,934	9,933	10,828	11,430	9月	49,822	55,374	55,965	57,326	57,827
10月	13,565	13,716	12,205	12,371	12,135	10月	61,094	60,361	62,448	61,306	58,853
11月	13,499	13,442	12,193	13,378	12,938	11月	56,584	55,448	53,820	59,580	57,523
12月	12,885	14,286	13,590	14,418	13,268	12月	51,115	55,910	54,287	58,321	55,012
総数	129,985	135,923	115,183	131,216	133,335	総数	665,470	689,525	662,157	691,044	694,750
胃 (C16)						胃 (C16)					
	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1月	1,463	1,512	1,536	1,360	1,445	1月	5,324	5,385	5,411	4,713	5,053
2月	1,285	1,331	1,298	1,190	1,247	2月	5,292	5,471	5,314	4,726	4,568
3月	1,373	1,327	1,274	1,413	1,347	3月	6,064	5,963	5,575	5,978	5,765
4月	1,154	1,187	929	1,116	1,038	4月	6,031	6,147	4,762	5,874	5,622
5月	1,144	1,026	411	886	939	5月	6,258	5,879	3,960	4,971	5,574
6月	1,402	1,344	668	1,207	1,266	6月	6,119	6,129	5,516	5,604	6,324
7月	1,723	1,749	1,073	1,288	1,398	7月	6,286	6,663	5,822	5,306	5,344
8月	1,898	1,761	1,096	1,407	1,456	8月	5,903	5,789	4,989	5,252	5,064
9月	1,630	1,716	1,329	1,441	1,408	9月	5,060	5,595	5,486	5,316	5,143
10月	2,005	1,817	1,574	1,632	1,444	10月	6,564	6,169	6,179	5,880	5,431
11月	1,888	1,814	1,503	1,623	1,569	11月	5,983	5,592	5,279	5,823	5,384
12月	1,773	1,895	1,678	1,768	1,512	12月	5,383	5,760	5,283	5,667	5,095
総数	18,738	18,479	14,369	16,331	16,069	総数	70,267	70,542	63,576	65,110	64,367

V. 特別集計

大腸 (C18, 19, 20)						大腸 (C18, 19, 20)					
	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1月	2,400	2,544	2,747	2,479	2,575	1月	7,449	7,837	8,203	7,489	7,872
2月	2,158	2,463	2,478	2,271	2,316	2月	7,590	8,358	8,024	7,552	7,562
3月	2,119	2,183	2,392	2,634	2,346	3月	8,373	8,741	8,684	9,484	8,977
4月	1,861	2,011	1,822	2,294	2,111	4月	8,404	9,160	7,722	9,265	9,140
5月	1,684	1,619	907	1,590	1,627	5月	8,876	8,613	6,513	8,003	8,817
6月	1,634	1,659	1,100	1,696	1,800	6月	8,903	8,921	8,681	9,273	9,930
7月	2,099	2,328	1,379	1,825	1,833	7月	8,869	9,442	8,790	8,489	8,690
8月	2,432	2,479	1,591	1,963	2,175	8月	8,644	8,207	7,840	8,310	8,362
9月	2,193	2,567	1,995	2,082	2,257	9月	7,388	8,081	8,179	8,422	8,545
10月	2,879	2,878	2,421	2,385	2,389	10月	9,073	8,885	9,141	9,041	8,700
11月	2,853	2,841	2,501	2,637	2,626	11月	8,378	8,119	8,189	8,770	8,552
12月	2,910	3,203	2,932	2,999	2,725	12月	7,764	8,328	8,188	8,898	8,333
総数	27,222	28,775	24,265	26,855	26,780	総数	99,711	102,692	98,154	102,996	103,480
肺 (C33, 34)						肺 (C33, 34)					
	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1月	1,253	1,399	1,398	1,434	1,477	1月	5,584	6,115	6,243	5,910	6,096
2月	1030	1163	1247	1201	1123	2月	5714	6208	6014	5,758	5,753
3月	1037	1099	1160	1376	1218	3月	6446	6788	6517	7,233	7,001
4月	931	1081	925	1185	1048	4月	6276	6857	6156	7,059	6,892
5月	904	938	579	784	904	5月	6555	6667	5438	6,014	6,666
6月	1205	1133	715	1115	1139	6月	6712	6802	7273	7180	7550
7月	1,443	1,650	942	1,246	1,327	7月	6,555	7,305	7,107	6,612	6,459
8月	1,728	1,695	1,123	1,385	1,458	8月	6,483	6,421	6,169	6,580	6,431
9月	1,407	1,628	1,437	1,478	1,575	9月	5,722	6,148	6,514	6,475	6,467
10月	1,832	1,894	1,757	1,677	1,682	10月	7,000	6,924	7,233	6,883	6,640
11月	1,923	1,885	1,759	1,786	1,722	11月	6,364	6,325	6,167	6,646	6,569
12月	1,728	1,830	1,915	2,014	1,718	12月	5,776	6,205	6,112	6,419	5,953
総数	16,421	17,395	14,957	16,681	16,391	総数	75,187	78,765	76,943	78,769	78,477
乳 (C50)						乳 (C50)					
	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1月	1,798	1,979	2,130	1,994	2,244	1月	3,672	4,056	4,414	4,099	4,284
2月	1,573	1,873	1,759	1,785	1,945	2月	3,669	4,271	4,182	4,172	4,094
3月	1,660	1,698	1,824	2,185	2,237	3月	4,347	4,691	4,444	5,585	5,118
4月	1,347	1,533	1,368	1,774	1,697	4月	4,451	4,852	4,215	5,318	5,211
5月	1,061	1,243	650	1,184	1,347	5月	4,907	5,070	4,035	4,649	5,355
6月	1,378	1,323	743	1,376	1,545	6月	5,113	4,920	5,506	5,630	5,999
7月	1,601	1,838	1,159	1,506	1,716	7月	5,081	5,206	5,412	5,100	5,396
8月	1,803	1,798	1,332	1,878	1,879	8月	5,011	5,189	4,716	4,905	5,339
9月	1,575	1,753	1,625	1,769	1,898	9月	4,284	5,200	4,929	5,213	5,338
10月	2,110	2,170	1,952	2,070	2,099	10月	5,405	5,404	5,446	5,503	5,289
11月	2,255	2,246	2,015	2,316	2,263	11月	4,726	4,664	4,698	5,083	5,064
12月	2,133	2,362	2,338	2,494	2,398	12月	4,124	4,531	4,549	5,069	4,746
総数	20,294	21,816	18,895	22,331	23,268	総数	54,790	58,054	56,546	60,326	61,233
子宮頸部 (C53)						子宮頸部 (C53)					
	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1月	727	865	847	816	750	1月	1451	1505	1567	1468	1460
2月	809	814	775	686	700	2月	1514	1527	1429	1478	1367
3月	813	897	871	886	796	3月	1683	1646	1601	1957	1731
4月	759	753	640	852	734	4月	1537	1713	1488	1761	1678
5月	634	630	358	562	620	5月	1627	1593	1244	1580	1603
6月	668	611	444	708	705	6月	1713	1684	1731	1897	1926
7月	819	835	542	762	670	7月	1691	1802	1777	1688	1531
8月	831	802	585	758	704	8月	1578	1545	1469	1655	1587
9月	748	764	762	743	721	9月	1428	1498	1474	1529	1548
10月	953	934	838	873	781	10月	1750	1591	1729	1721	1513
11月	904	858	839	848	764	11月	1636	1565	1492	1589	1521
12月	838	891	879	919	789	12月	1403	1557	1578	1520	1467
総数	9,503	9,654	8,380	9,413	8,734	総数	19,011	19,226	18,579	19,843	18,932

V. 特別集計

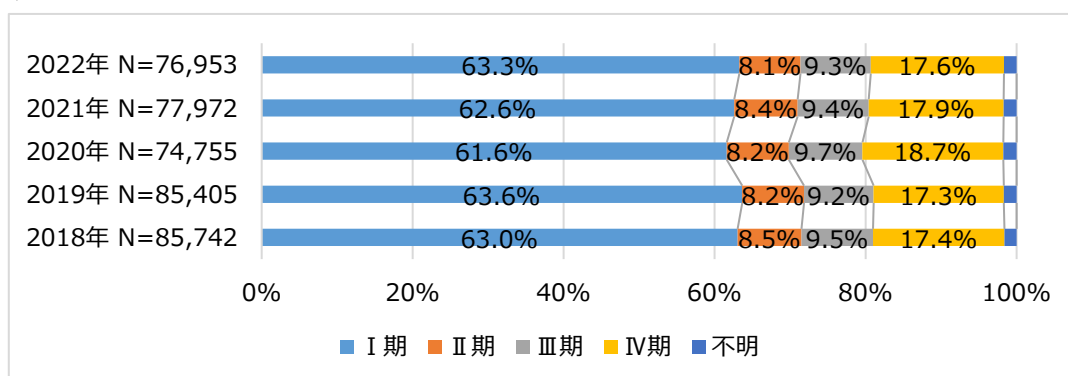
前立腺 (C61)						前立腺 (C61)					
	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1月	1,522	1,360	1,704	1,477	1,730	1月	3,606	3,463	3,949	3,392	4,035
2月	1,367	1,300	1,414	1,304	1,556	2月	3,777	3,578	3,882	3,398	3,706
3月	1,285	1,166	1,436	1,405	1,625	3月	4,037	3,702	4,330	4,185	4,459
4月	1,120	1,106	1,129	1,314	1,527	4月	3,702	3,781	3,623	4,084	4,375
5月	1,065	1,015	762	989	1,282	5月	3,853	3,795	2,633	3,457	4,302
6月	999	1,030	706	1,019	1,315	6月	3,668	3,820	3,353	3,841	4,767
7月	1,159	1,284	698	1,023	1,223	7月	3,808	4,236	3,426	3,802	4,168
8月	1,447	1,413	882	1,226	1,352	8月	3,532	3,696	3,126	3,845	3,802
9月	1,211	1,441	976	1,302	1,497	9月	2,999	3,446	3,327	3,802	3,849
10月	1,506	1,684	1,273	1,455	1,585	10月	3,668	3,908	3,873	4,124	3,994
11月	1,489	1,639	1,391	1,778	1,697	11月	3,526	3,871	3,507	4,168	4,058
12月	1,400	1,774	1,483	1,773	1,798	12月	3,286	3,951	3,600	4,093	4,098
総数	15,570	16,212	13,854	16,065	18,187	総数	43,462	45,247	42,629	46,191	49,613

4. UICC TNM 分類総合病期別登録数の推移

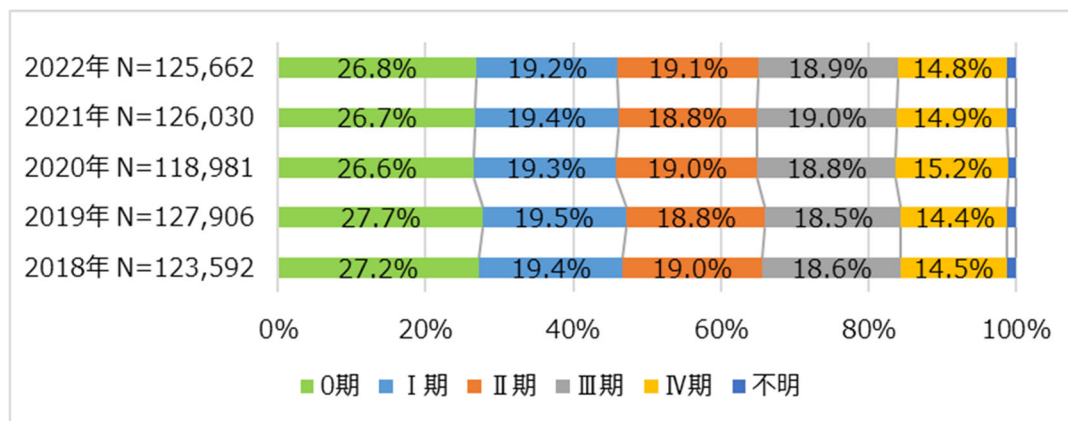
対策型がん検診推奨部位もしくは登録数の多いがんとして、胃がん、大腸がん、非小細胞肺がん、乳がん、子宮頸がん、前立腺がん、膵がんにおける、総合病期別登録割合を 2018～2022 年診断例の自施設初回治療開始例と比較した（図 5-4、表 5-4）。胃がん、大腸がん、乳がんでは 2018-19 年平均登録数と 2020～2022 年で病期別登録割合にほぼ変化はなかった。2018-19 年平均登録数と比較して、非小細胞肺がんと膵がんではⅠ期の割合が増加、前立腺がんではⅡ期の割合が増加、子宮頸がんでは 0・Ⅰ期の割合が減少した。膵がんは膵管内乳頭粘液性腫瘍（Intraductal Papillary Mucinous Neoplasm: IPMN）がフォローアップされるようになったことで早期に膵がんが診断されていることも一因と思われる。子宮頸がんの 0・Ⅰ期の割合の減少は、3-2 で示した検診発見例の減少が一因と考察される。

図 5-4 各がんにおける UICC TNM 総合病期別登録割合の推移

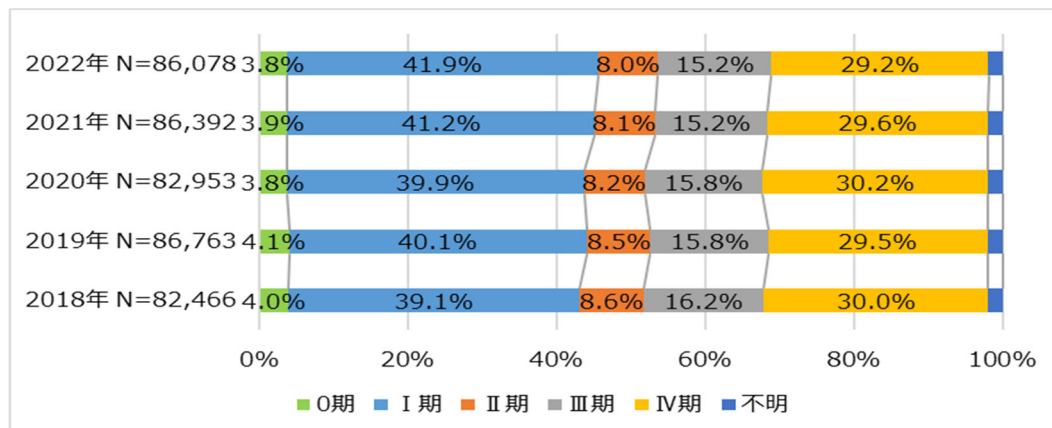
胃がん



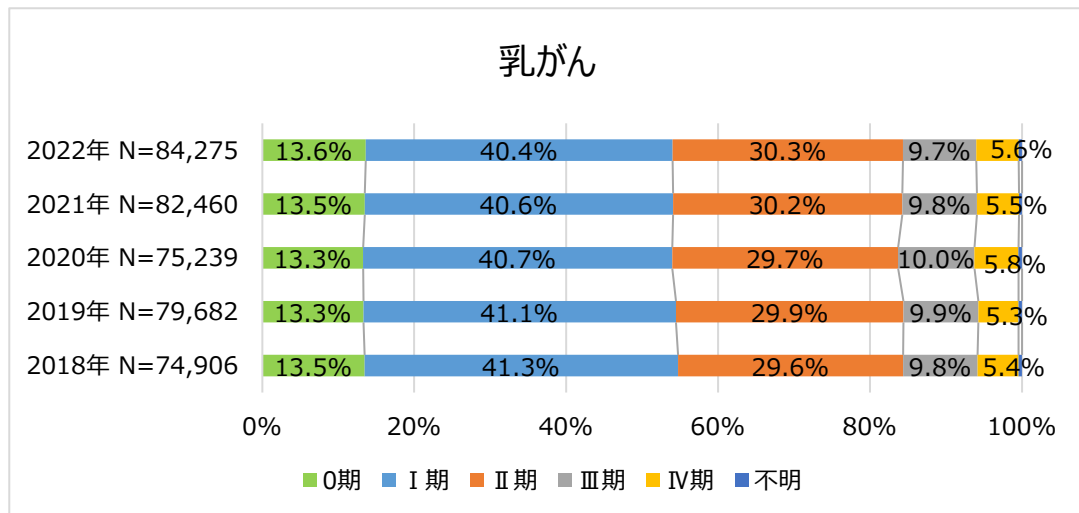
大腸がん



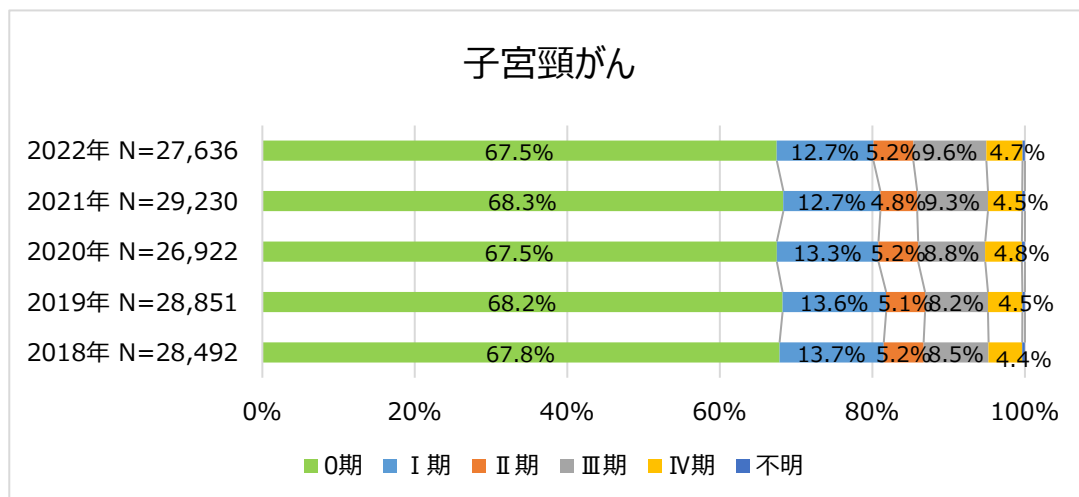
非小細胞肺がん



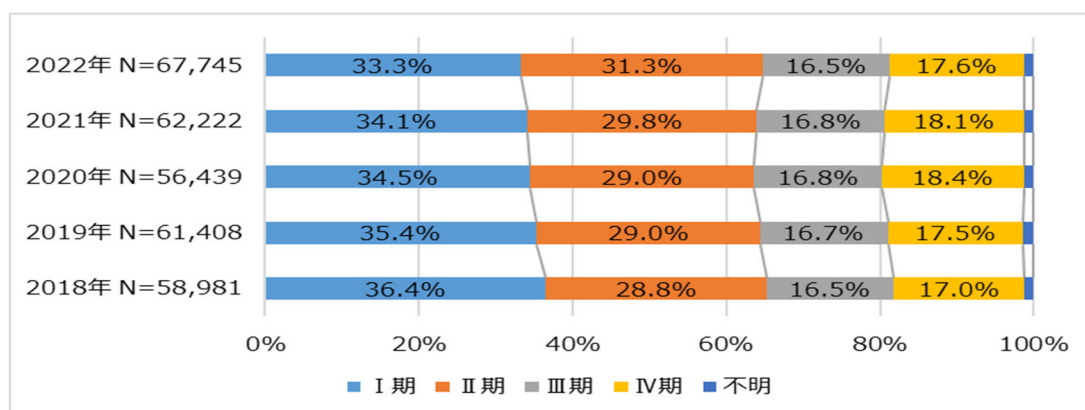
乳がん



子宮頸がん



前立腺がん



膀胱がん

V. 特別集計

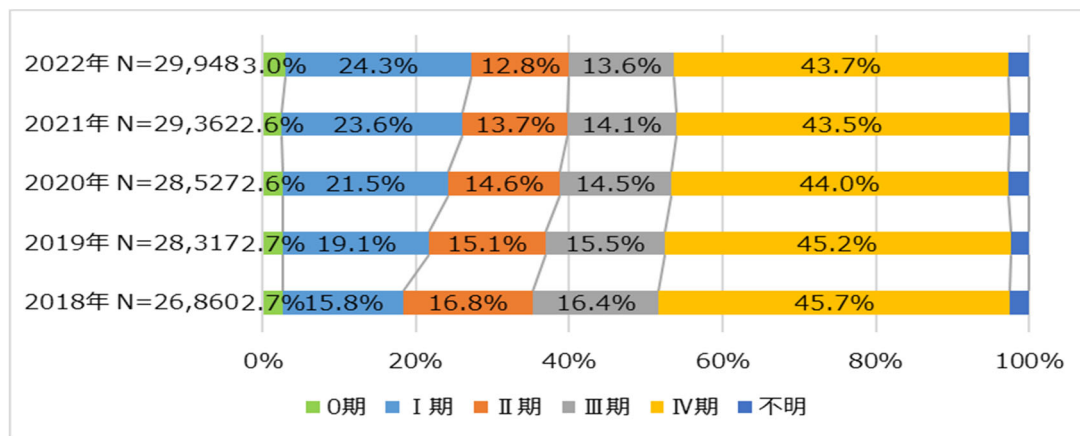


表 5-4 各がんにおける UICC TNM 病期別登録数

胃がん						大腸がん					
	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
I 期	54,056	54,356	46,050	48,815	48,700	0期	33,670	35,373	31,604	33,621	33,686
II 期	7,257	6,995	6,147	6,547	6,233	I 期	23,997	24,898	22,943	24,407	24,093
III 期	8,132	7,876	7,283	7,342	7,158	II 期	23,442	24,066	22,620	23,638	23,955
IV 期	14,910	14,737	13,956	13,930	13,574	III 期	23,034	23,600	22,391	23,976	23,782
不明	1,387	1,441	1,318	1,338	1,288	IV 期	17,892	18,411	18,028	18,841	18,581
その他	0	0	1	0	0	不明	1,557	1,558	1,395	1,547	1,565
総数	85,742	85,405	74,755	77,972	76,953	総数	123,592	127,906	118,981	126,030	125,662
膵がん						非小細胞肺がん					
	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
0期	712	760	755	753	892	0期	3,290	3,515	3,133	3,327	3,257
I 期	4,239	5,413	6,145	6,920	7,267	I 期	32,274	34,816	33,127	35,625	36,041
II 期	4,513	4,270	4,161	4,022	3,829	II 期	7,091	7,361	6,800	7,016	6,897
III 期	4,415	4,398	4,136	4,137	4,067	III 期	13,357	13,709	13,117	13,137	13,051
IV 期	12,273	12,801	12,562	12,778	13,083	IV 期	24,765	25,573	25,053	25,595	25,146
不明	708	675	768	752	810	不明	1,649	1,741	1,689	1,669	1,652
総数	26,860	28,317	28,527	29,362	29,948	その他	40	48	34	23	34
						総数	82,466	86,763	82,953	86,392	86,078
乳がん						子宮頸がん					
	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
0期	10,099	10,620	9,987	11,138	11,480	0期	19,326	19,685	18,169	19,972	18,643
I 期	30,899	32,779	30,626	33,459	34,048	I 期	3,896	3,913	3,586	3,718	3,507
II 期	22,192	23,856	22,356	24,886	25,543	II 期	1,486	1,476	1,400	1,414	1,446
III 期	7,345	7,855	7,560	8,095	8,142	III 期	2,424	2,379	2,363	2,710	2,647
IV 期	4,035	4,209	4,363	4,565	4,711	IV 期	1,264	1,302	1,298	1,312	1,308
不明	336	363	347	316	350	不明	96	96	106	104	85
その他	0	0	0	1	1	総数	28,492	28,851	26,922	29,230	27,636
総数	74,906	79,682	75,239	82,460	84,275						
前立腺がん											
	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年						
I 期	21,497	21,709	19,470	21,241	22,591						
II 期	16,993	17,823	16,385	18,514	21,233						
III 期	9,739	10,256	9,454	10,428	11,203						
IV 期	10,036	10,737	10,405	11,276	11,930						
不明	710	881	708	763	787						
その他	6	2	17	0	1						
総数	58,981	61,408	56,439	62,222	67,745						

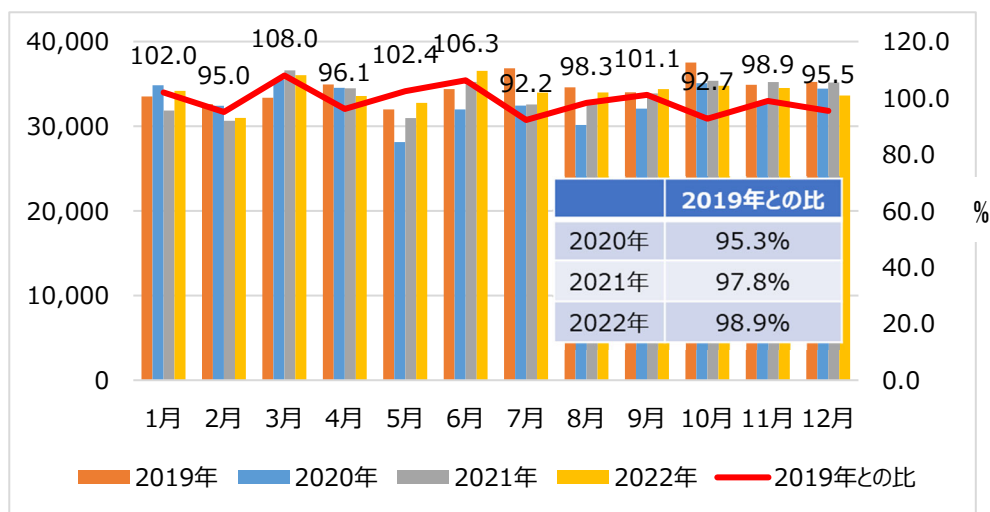
5. 治療関連登録数の推移

5-1. 全がん

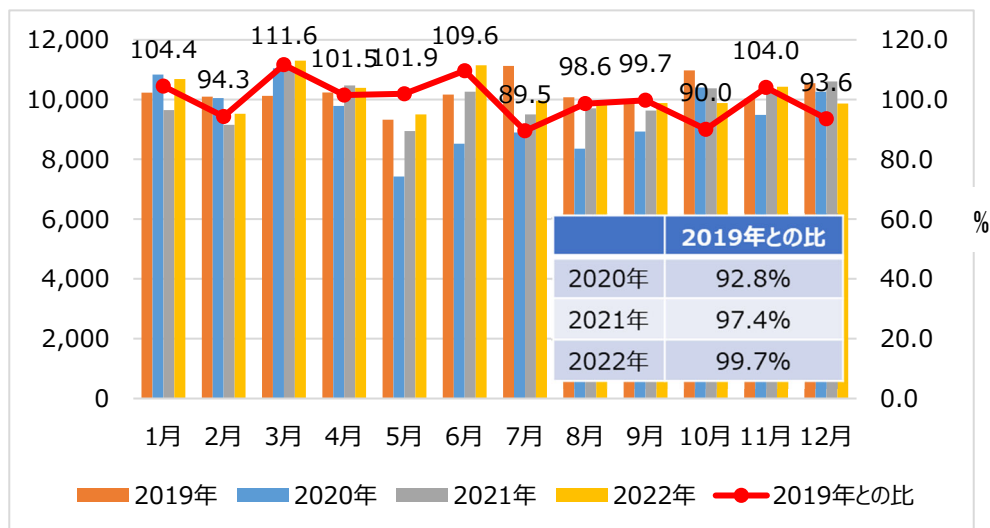
2018 年から 2022 年の自施設初回治療開始例を対象に、2019 年から 2022 年に自施設で実施された治療月別の登録数の推移を算出した（図 5-5-1）。2019 年の年間登録数と比較すると 2022 年診断例通年では、外科的・鏡視下治療が 409,318 件で 98.9%（4,522 件減）、内視鏡的治療が 122,489 件で 99.7%（339 件減）、放射線治療が 97,783 件で 103.7%（3,497 件増）、化学療法が 253,331 件で 101.8%（4,518 件増）、内分泌療法が 89,830 件で 109.5%（7,821 件増）であった。院内がん登録では、全国集計へデータ提出するまでの期間中に初回治療として実施された治療のみが登録されるため、限界があることに留意する必要がある。

図 5-5-1 初回治療開始例の治療月別登録数の推移

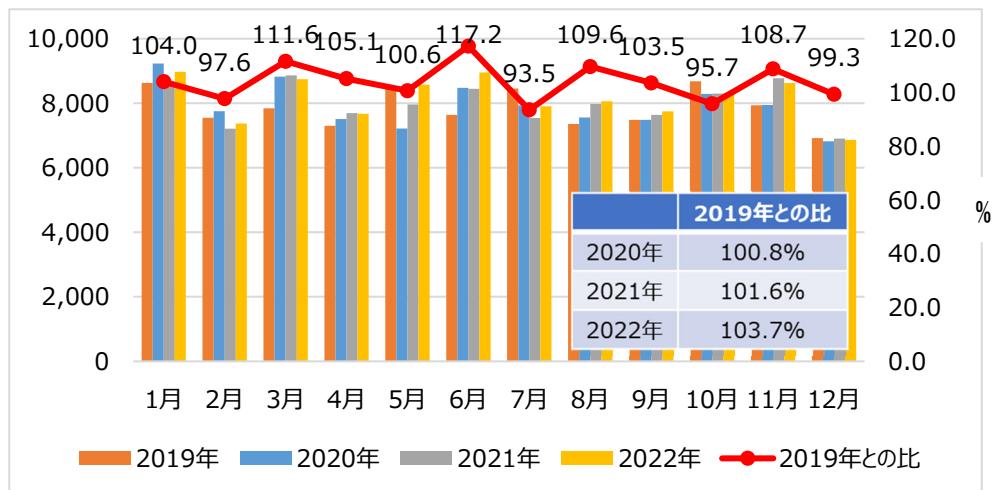
外科的治療+鏡視下治療



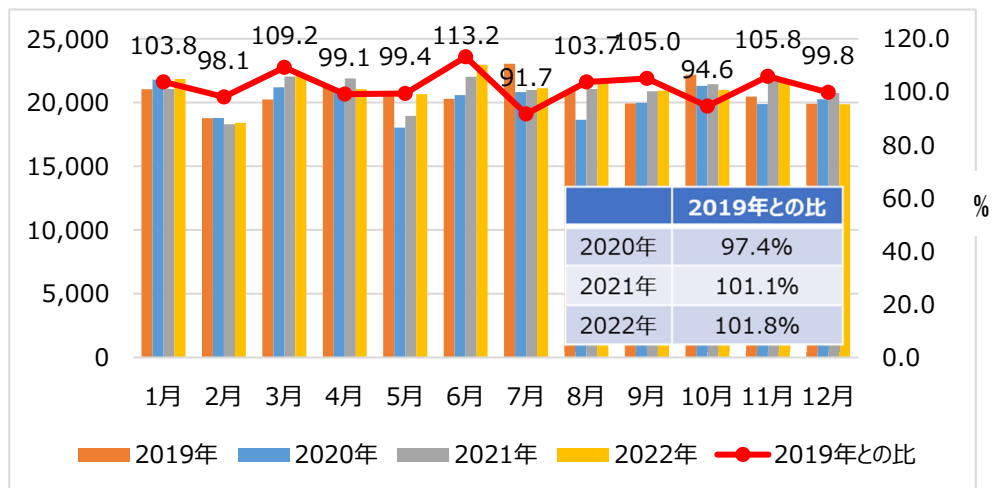
内視鏡的治療



放射線治療



化学療法



内分泌療法

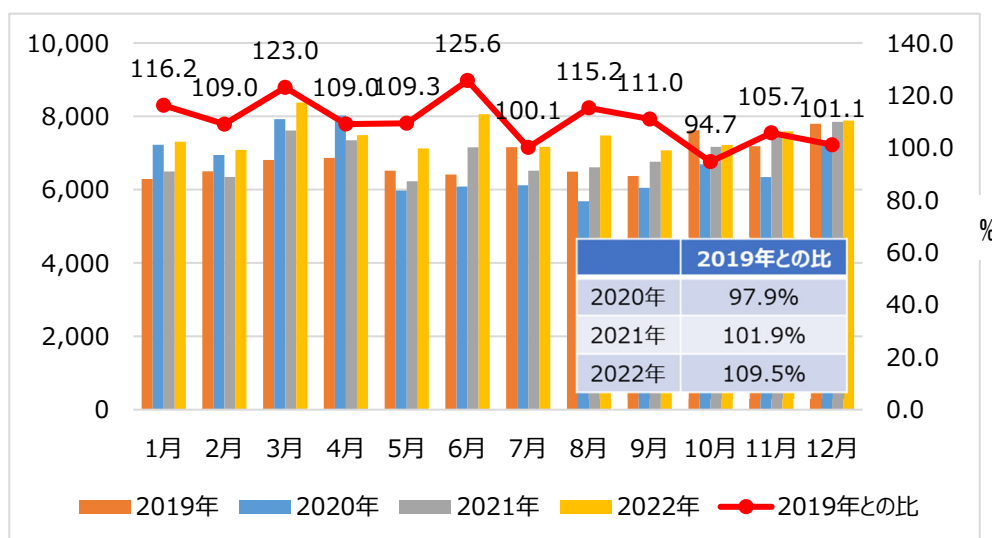


表 5-5-1 全がんにおける各治療の月別登録数

* 診断年月ではなく、当該施設で治療が行われた月毎の治療実施件数

外科的+鏡視下治療					
	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1月	6,544	33,513	34,841	31,850	34,173
2月	18,149	32,602	32,424	30,636	30,985
3月	27,271	33,353	35,513	36,587	36,028
4月	29,326	34,926	34,537	34,482	33,565
5月	30,712	31,989	28,119	30,963	32,760
6月	33,100	34,381	31,973	35,238	36,540
7月	33,701	36,840	32,430	32,577	33,969
8月	35,926	34,585	30,154	32,775	33,984
9月	30,484	34,002	32,070	33,876	34,384
10月	36,871	37,522	35,088	35,370	34,776
11月	35,665	34,892	32,792	35,222	34,519
12月	32,446	35,235	34,447	35,150	33,635
総数	350,195	413,840	394,388	404,726	409,318
内視鏡的治療					
	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1月	4,314	10,230	10,834	9,648	10,684
2月	6,854	10,095	10,048	9,152	9,520
3月	9,127	10,123	11,043	11,042	11,301
4月	9,157	10,236	9,785	10,470	10,388
5月	9,603	9,325	7,425	8,947	9,503
6月	9,718	10,166	8,522	10,259	11,143
7月	10,121	11,125	8,895	9,499	9,957
8月	10,364	10,075	8,354	9,705	9,936
9月	8,763	9,911	8,930	9,632	9,884
10月	10,474	10,975	10,399	10,376	9,881
11月	10,400	10,024	9,485	10,300	10,428
12月	9,593	10,543	10,263	10,606	9,864
総数	108,488	122,828	113,983	119,636	122,489
放射線治療					
	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1月	806	8,630	9,230	8,526	8,971
2月	2,671	7,546	7,748	7,207	7,368
3月	4,243	7,838	8,819	8,860	8,744
4月	4,691	7,299	7,508	7,688	7,671
5月	6,416	8,522	7,212	7,958	8,573
6月	6,003	7,636	8,476	8,445	8,951
7月	6,749	8,455	7,927	7,543	7,904
8月	7,055	7,354	7,555	7,971	8,059
9月	6,171	7,481	7,480	7,637	7,745
10月	7,870	8,679	8,287	8,296	8,309
11月	7,802	7,932	7,941	8,771	8,625
12月	5,650	6,914	6,816	6,902	6,863
総数	66,127	94,286	94,999	95,804	97,783

化学療法					
	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1月	3,844	21,048	21,791	21,058	21,843
2月	10,527	18,767	18,787	18,297	18,409
3月	15,858	20,244	21,190	22,035	22,109
4月	18,024	21,238	21,036	21,889	21,055
5月	20,317	20,775	18,030	18,943	20,652
6月	19,566	20,285	20,578	22,017	22,968
7月	20,862	23,040	20,814	20,981	21,120
8月	21,387	20,945	18,639	21,057	21,726
9月	18,444	19,924	19,971	20,884	20,930
10月	21,650	22,183	21,306	21,432	20,992
11月	20,995	20,469	19,880	22,109	21,666
12月	18,440	19,895	20,253	20,741	19,861
総数	209,914	248,813	242,275	251,443	253,331
内分泌療法					
	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1月	1,063	6,291	7,222	6,496	7,308
2月	2,869	6,497	6,946	6,348	7,082
3月	4,567	6,809	7,920	7,611	8,377
4月	5,109	6,867	8,022	7,344	7,486
5月	5,673	6,515	5,975	6,229	7,123
6月	5,449	6,413	6,086	7,154	8,057
7月	6,251	7,158	6,117	6,516	7,165
8月	6,690	6,490	5,683	6,610	7,476
9月	5,792	6,371	6,050	6,762	7,069
10月	6,883	7,621	6,692	7,166	7,217
11月	6,803	7,182	6,342	7,507	7,588
12月	6,670	7,795	7,202	7,848	7,882
総数	63,819	82,009	80,257	83,591	89,830

5-2. 各がん

対策型がん検診推奨部位もしくは登録数の多いがんとして、胃がん、大腸がん、非小細胞肺がん、乳がん、子宮頸がん、前立腺がん、膵がんの自施設初回治療開始例を対象に、2018 年から 2022 年における各治療の登録割合の推移を図 5-5-2・表 5-5-2 に示した。胃がん、大腸がん、子宮頸がんでは外科的治療+鏡視下治療の登録数・割合が 2018-19 年平均登録数と比較して 2021 年・2022 年と減少傾向であった。非小細胞肺がんでは化学療法の登録数・割合が 2018-19 年平均登録数と比較して 2021 年・2022 年と減少傾向であった。前立腺がんでは外科的治療+鏡視下治療と内分泌療法が、膵がんでは化学療法が、2018-19 年平均登録数と比較して 2021 年・2022 年と増加傾向であった。

各がんにおいて治療数・割合が減少している治療法として、子宮頸がんの外科的治療+鏡視下治療、非小細胞肺がんの化学療法について、病期と治療内容との関係を確認した。

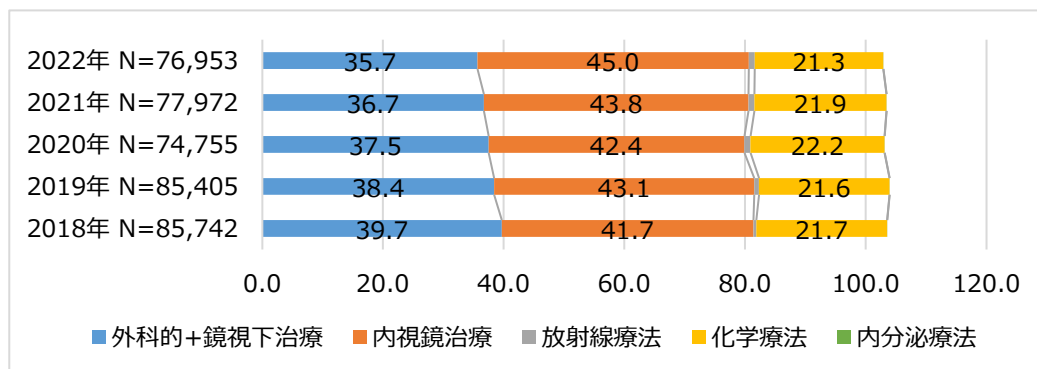
2022 年診断例の子宮頸がんでは外科的治療+鏡視下治療あり (20,602 例) のうち、93.4%を 0・Ⅰ期が占めていた。また、0・Ⅰ期 (22,150 例) の 86.9%が外科的治療+鏡視下治療ありであった。子宮頸がんにおいて 0・Ⅰ期が主に外科的治療+鏡視下治療を受けている病期であることが示唆された。この 0・Ⅰ期に対する外科的治療+鏡視下治療実施割合は 2018-19 年平均登録数で 89.1%であったが、2020 年は 86.5%、2021 年は 86.6%、2022 年は 86.9%と、2020 年以降は実施割合が低下したまま推移していた (図 5-5-3)。

2022 年診断例の非小細胞肺がんでは、化学療法あり (30,911 例) のうち、Ⅰ期は 13.4%、Ⅱ期が 8.1%、Ⅲ期が 27.6%、Ⅳ期が 49.9%であった。Ⅰ期 (36,041 例) において化学療法ありは 11.5%とⅡ・Ⅲ・Ⅳ期がそれぞれ 36.4%・65.3%・61.4%であったのに比較してⅠ期では化学療法を受ける患者が少ないことが示唆された。化学療法実施率は 2018-19 年平均登録数と比較してⅠ期では 0.5%程度減少、Ⅳ期では 1.3%程度減少した (図 5-5-4)。

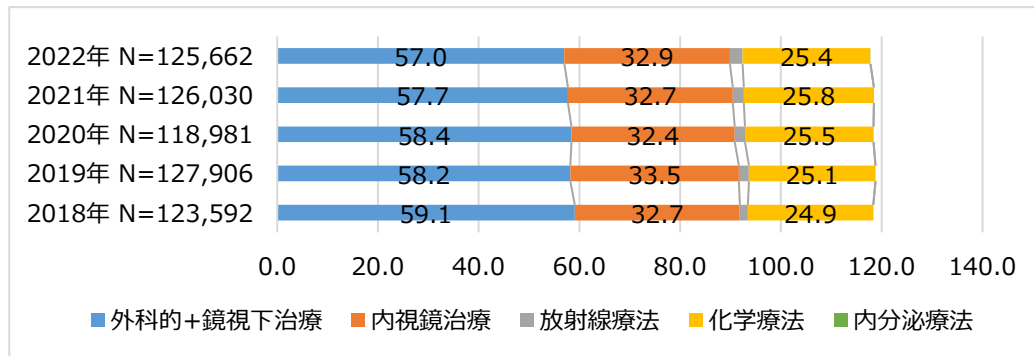
子宮頸がんの外科的治療+鏡視下治療の減少は子宮頸がん 0・Ⅰ期の減少、非小細胞肺がんの化学療法の減少はⅣ期に対する化学療法実施率の低下が、それぞれ影響している可能性が示唆された。

図 5-5-2 各がんの初回治療開始例における治療内容別登録割合の推移

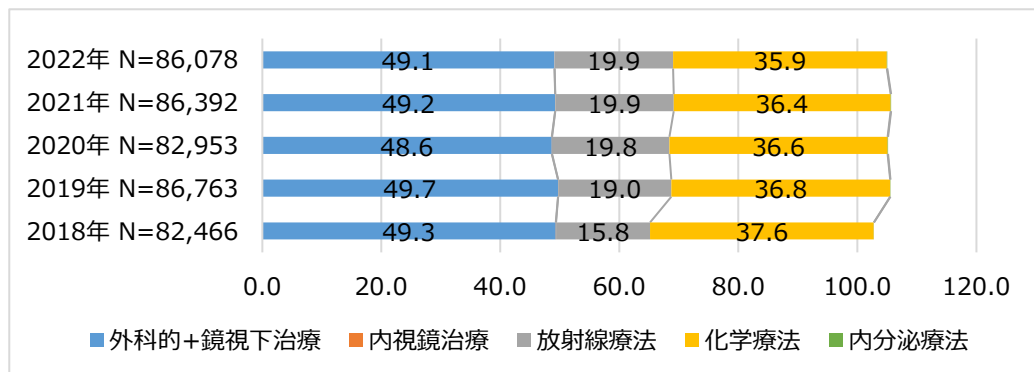
胃がん



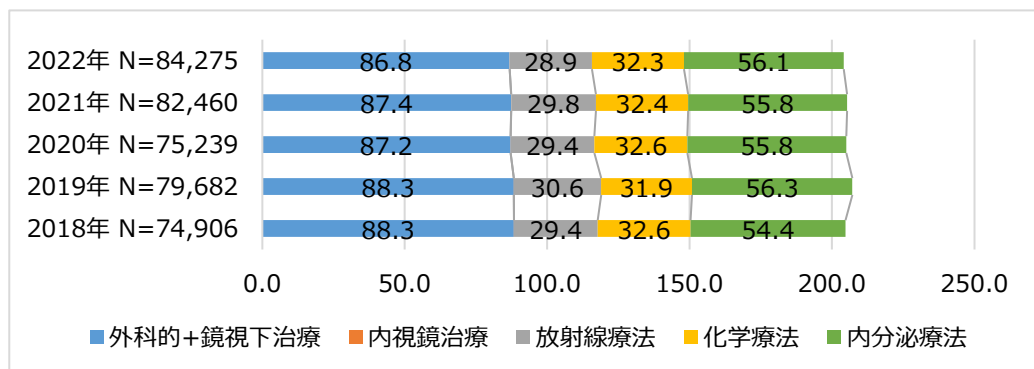
大腸がん



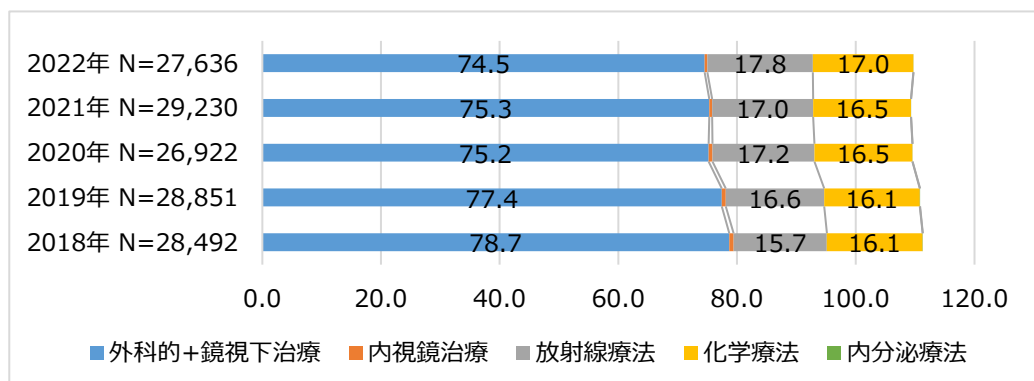
非小細胞肺癌



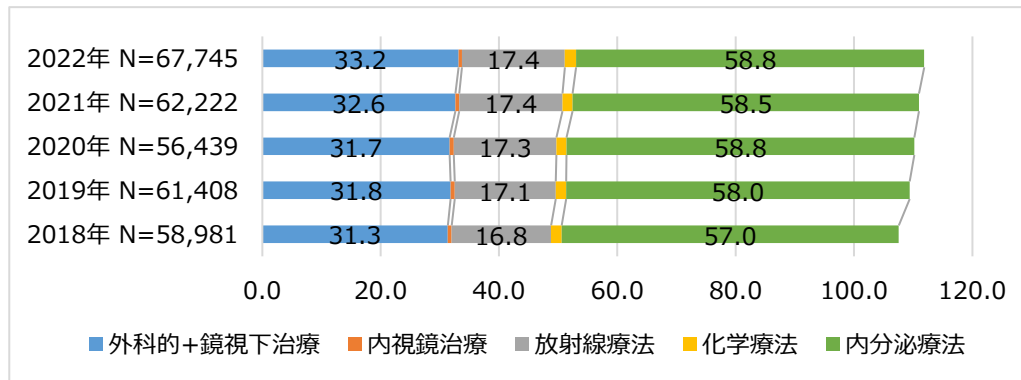
乳がん



子宮頸がん



前立腺がん



膵がん

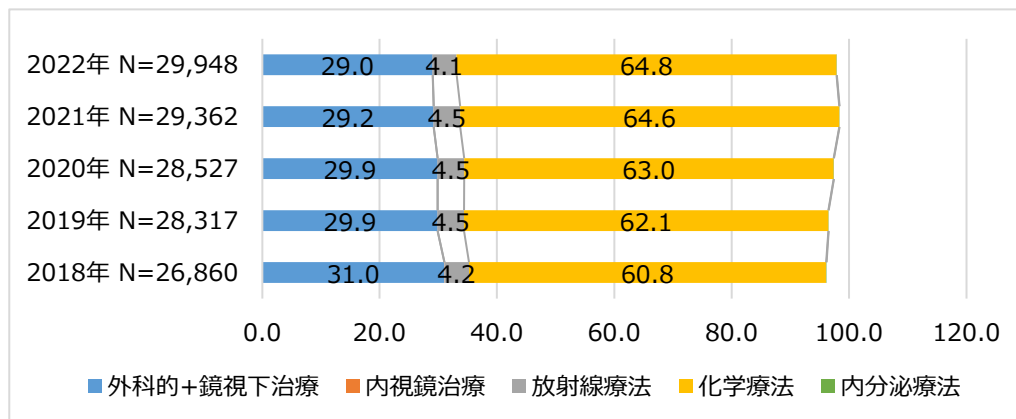
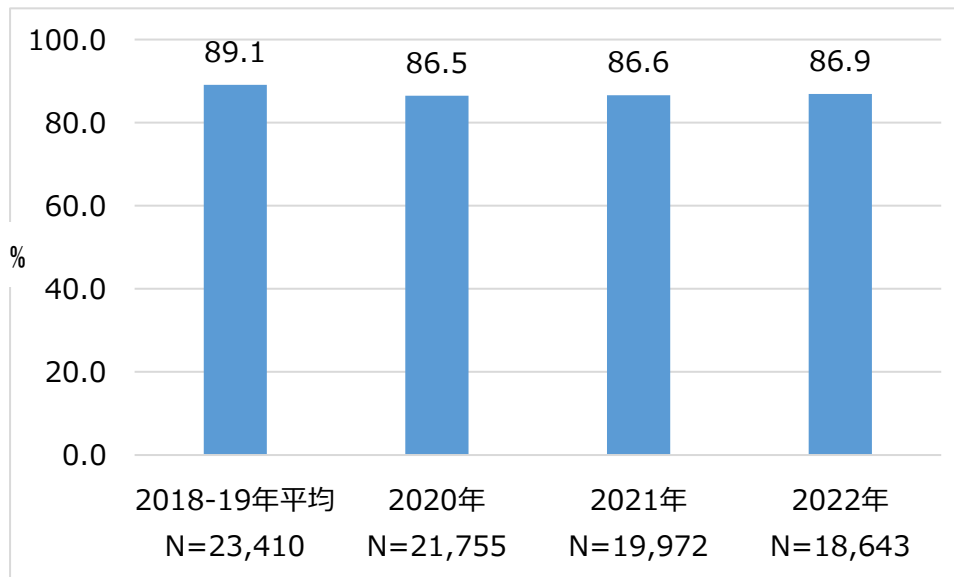


図 5-5-3 子宮頸がん総合病期 0 期、I 期に対する外科的+鏡視下治療実施率の経年推移



V. 特別集計

図 5-5-4 非小細胞がん総合病期別にみた化学療法実施率の経年推移

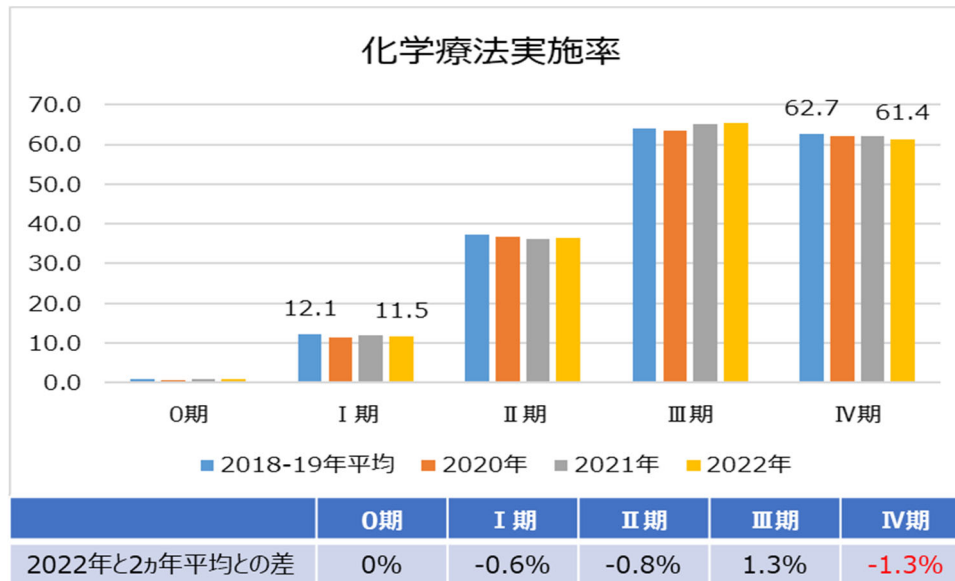


表 5-5-2 各がん種における治療法別登録数

	胃がん					大腸がん				
	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
外科的+鏡視下治療	34,043	32,832	28,045	28,644	27,451	73,016	74,455	69,530	72,763	71,638
内視鏡治療	35,763	36,791	31,680	34,184	34,591	40,471	42,794	38,531	41,224	41,296
放射線療法	391	669	752	763	758	1,988	2,528	2,439	2,764	3,155
化学療法	18,590	18,478	16,609	17,063	16,395	30,775	32,112	30,340	32,539	31,899
内分泌療法	30	20	19	20	20	29	30	34	29	19
総数	85,742	85,405	74,755	77,972	76,953	123,592	127,906	118,981	126,030	125,662

	膵がん					非小細胞肺がん				
	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
外科的+鏡視下治療	8,333	8,464	8,524	8,579	8,697	40,681	43,112	40,355	42,512	42,264
内視鏡治療	8	2	7	8	4	40	32	29	32	31
放射線療法	1,124	1,275	1,286	1,316	1,218	13,011	16,506	16,384	17,185	17,135
化学療法	16,343	17,579	17,963	18,968	19,393	30,999	31,898	30,399	31,484	30,911
内分泌療法	21	16	19	16	12	25	34	58	75	76
総数	26,860	28,317	28,527	29,362	29,948	82,466	86,763	82,953	86,392	86,078

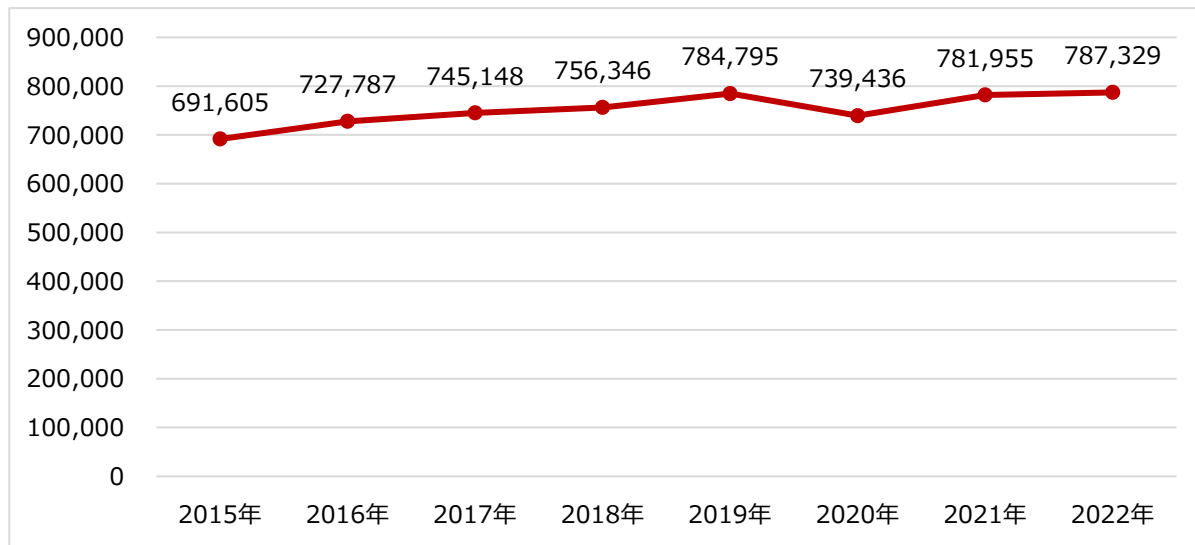
	乳がん					子宮頸がん				
	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
外科的+鏡視下治療	66,177	70,378	65,597	72,062	73,179	22,420	22,337	20,251	22,019	20,602
内視鏡治療	15	18	22	8	9	211	196	171	139	124
放射線療法	22,010	24,396	22,117	24,543	24,351	4,473	4,790	4,627	4,978	4,914
化学療法	24,425	25,400	24,565	26,695	27,216	4,596	4,646	4,445	4,814	4,685
内分泌療法	40,750	44,852	41,980	45,981	47,280	13	13	9	7	8
総数	74,906	79,682	75,239	82,460	84,275	28,492	28,851	26,922	29,230	27,636

	前立腺がん									
	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
外科的+鏡視下治療	18,490	19,550	17,876	20,303	22,478					
内視鏡治療	383	424	400	420	387					
放射線療法	9,906	10,479	9,782	10,844	11,767					
化学療法	1,061	1,092	964	1,071	1,293					
内分泌療法	33,592	35,644	33,176	36,415	39,849					
総数	58,981	61,408	56,439	62,222	67,745					

6. 参考（長期的な登録数の推移）

より長期的な登録数の推移を加味して 2020 年～2022 年の登録数の推移を検討する目的で、2015 年から 2022 年の 8 年間を通して院内がん登録データの提出があった施設にさらに限定して自施設初回治療例の登録数の推移を確認した（図 6）。対象施設数は 677 施設で、がん診療連携拠点病院等が 437 施設、小児拠点病院が 5 施設、拠点外施設は 235 施設であった。2015～2019 年にかけて全がんの登録数は増加していたが、2020 年で減少し、2021 年は 2019 年と同程度となった。2022 年も 2021 年とほぼ同程度の登録数であり、少なくとも 2020 年に減少した登録数が上乗せされている様子は見受けられなかった。

図 6 2015～2022 年で継続的に参加した施設における自施設初回治療開始例の推移



付表1-1

2022年 症状緩和の治療登録数：都道府県
全施設

	総数	あり	なし
全体	866,471	80,115	786,211
北海道	39,993	5,762	34,228
青森	9,862	1,459	8,401
岩手	9,588	989	8,597
宮城	15,801	1,355	14,442
秋田	9,261	1,036	8,222
山形	8,593	773	7,818
福島	10,923	1,038	9,882
茨城	17,282	1,482	15,796
栃木	15,713	1,623	14,090
群馬	14,111	1,450	12,660
埼玉	34,454	2,529	31,921
千葉	44,339	3,993	40,339
東京	99,071	7,412	91,644
神奈川	52,422	4,184	48,230
新潟	16,900	1,312	15,588
富山	8,750	933	7,817
石川	9,266	429	8,834
福井	6,047	977	5,070
山梨	4,614	344	4,268
長野	15,069	1,587	13,476
岐阜	13,390	1,004	12,383
静岡	25,971	2,971	22,991
愛知	48,767	6,243	42,519
三重	11,177	1,065	10,109
滋賀	9,971	1,192	8,779
京都	19,140	1,632	17,507
大阪	70,585	5,654	64,923
兵庫	35,824	3,407	32,407
奈良	10,034	442	9,586
和歌山	8,134	955	7,177
鳥取	5,901	576	5,325
島根	4,953	513	4,438
岡山	13,978	648	13,329
広島	22,574	2,332	20,242
山口	8,298	750	7,541
徳島	5,556	322	5,233
香川	6,351	555	5,796
愛媛	11,012	1,088	9,923
高知	5,010	459	4,549
福岡	32,240	2,275	29,959
佐賀	4,649	598	4,051
長崎	9,097	552	8,543
熊本	12,656	1,296	11,360
大分	5,808	542	5,266
宮崎	3,969	263	3,705
鹿児島	10,635	897	9,734
沖縄	8,732	1,217	7,513

関係者一覧

【監修】

井上 真奈美 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター

石井 太祐 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録分析室

【解析・執筆・編集】

石井 太祐 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録分析室

渡部 万里 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録分析室

新藤 奈奈世 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録分析室

【データ収集】

近藤 誓哉 国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター院内がん登録室

院内がん登録全国集計の事務局

国立がん研究センター がん対策研究所 がん登録センター院内がん登録分析室

担当：石井、渡部、新藤

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

電話:03-3547-5201(内線 1600)

メールアドレス:hbc_r_analysis@ml.res.ncc.go.jp

院内がん登録 2022 年全国集計 報告書

2024 年 1 月第 1 刷発行(非売品)

編 集 井上真奈美 石井太祐
発 行 国立研究開発法人 国立がん研究センター
がん対策研究所 がん登録センター
問い合わせ先： 院内がん登録分析室
〒104-0045 東京都中央区築地五丁目 1 番 1 号
電話 03-3542-2511